

七版皇子

傳
宗
加
皇
子

多 9
2241



多
2241
卷

22
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百



作桐家古朱書入
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百



Table with 2 columns and 2 rows of faint blue text.

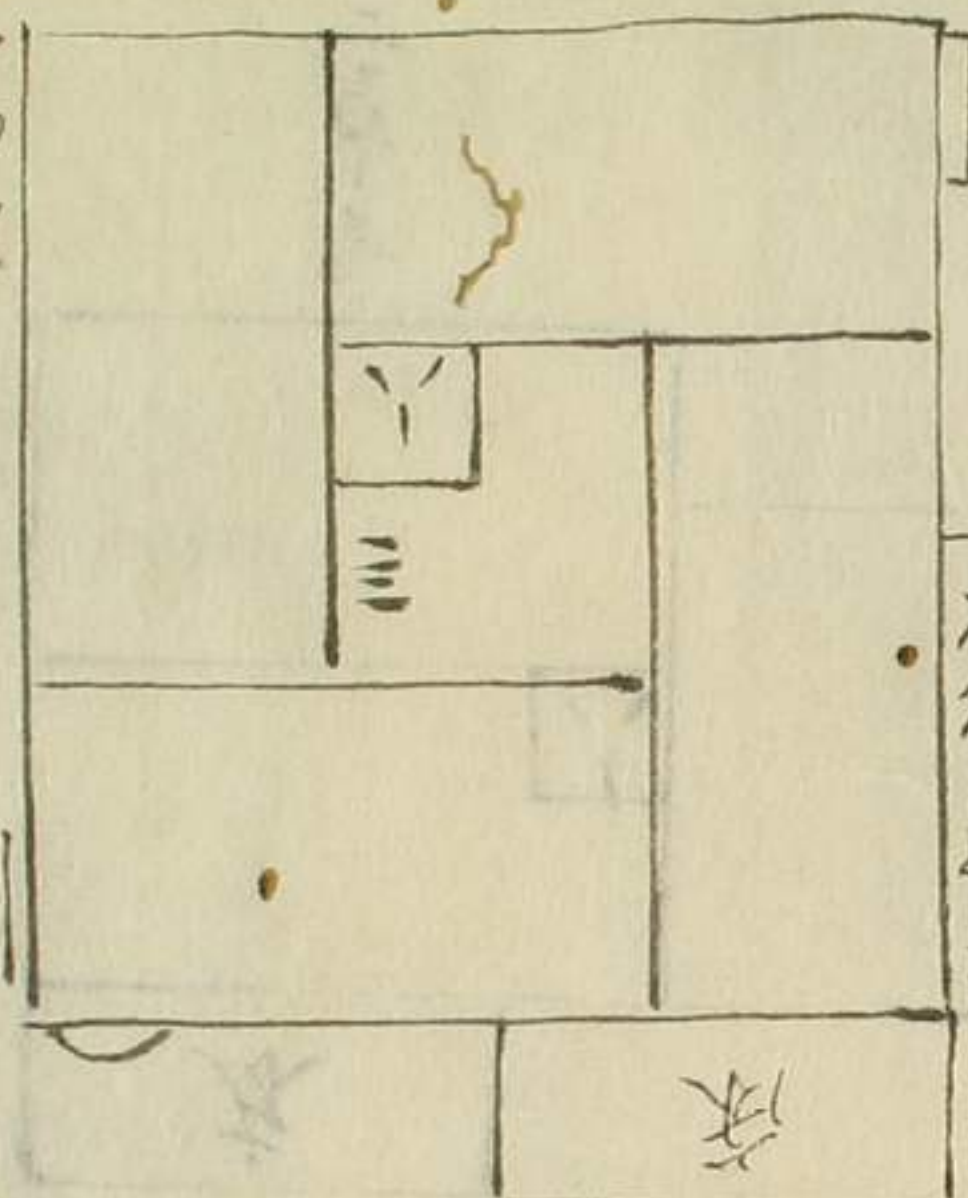




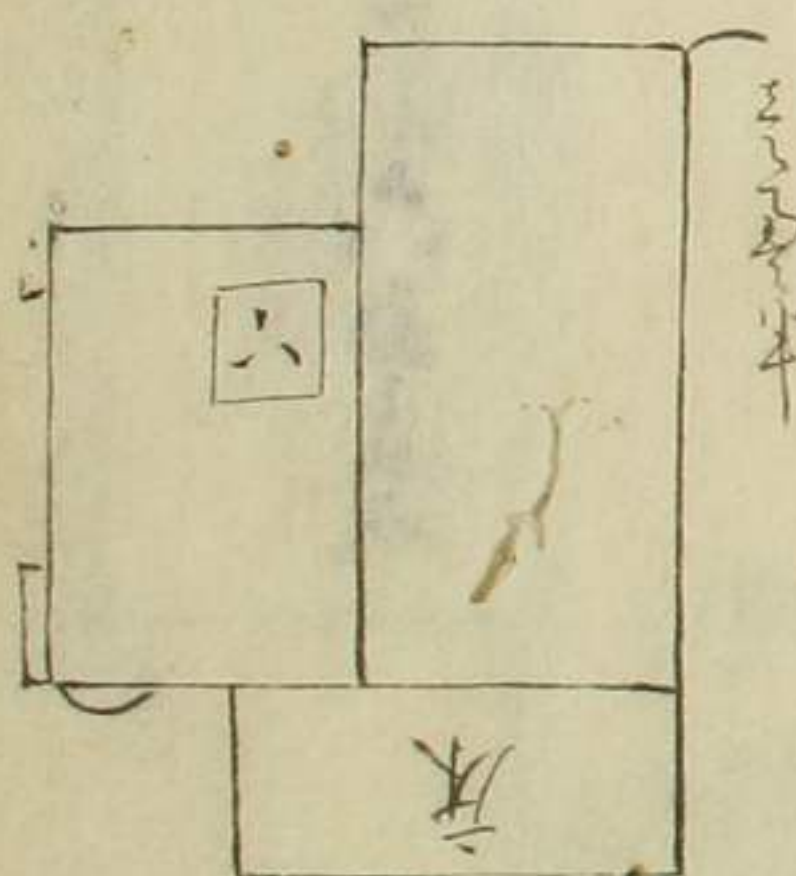
府 表 之 圖



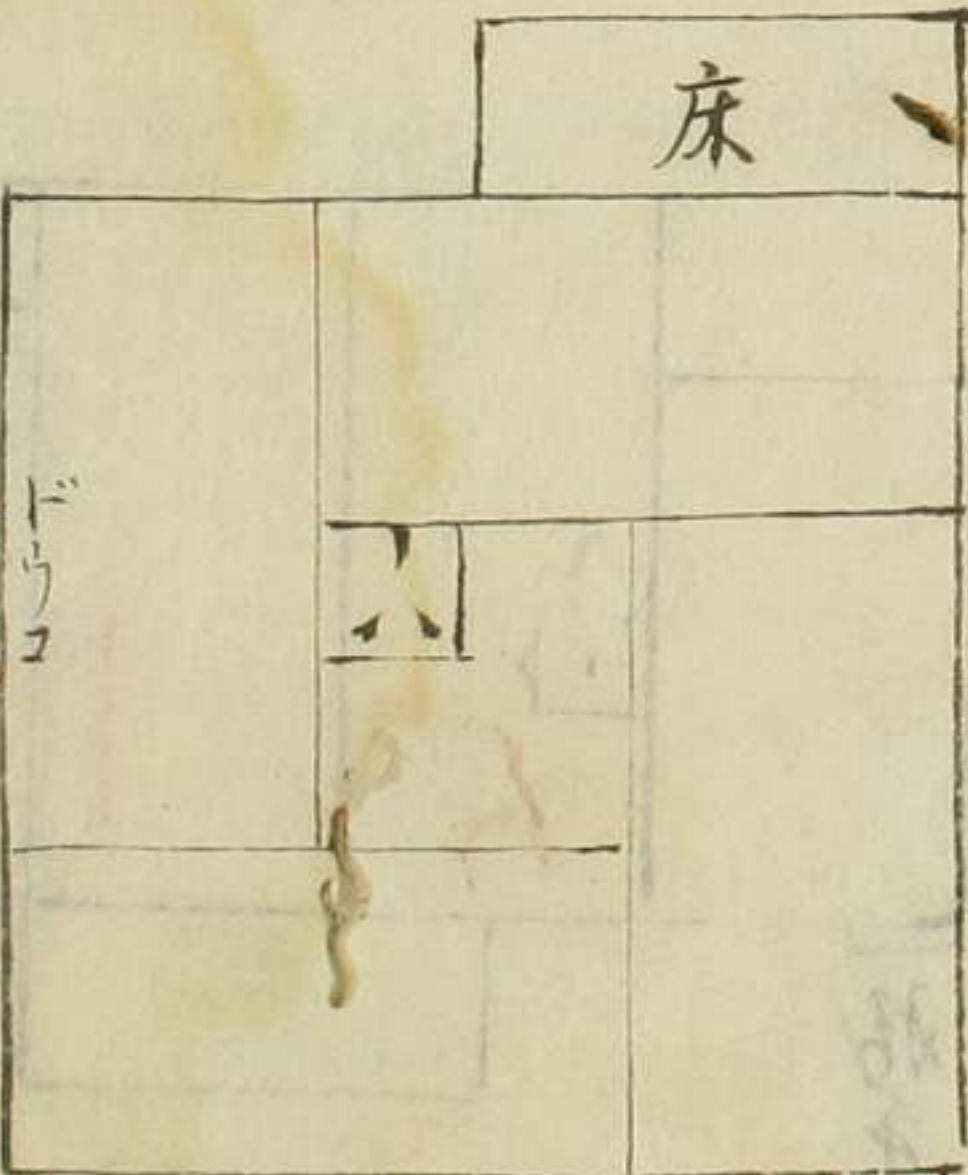
Handwritten notes in vertical Japanese characters next to the first diagram.



Handwritten notes in vertical Japanese characters next to the second diagram.



Handwritten notes in vertical Japanese characters next to the third diagram.

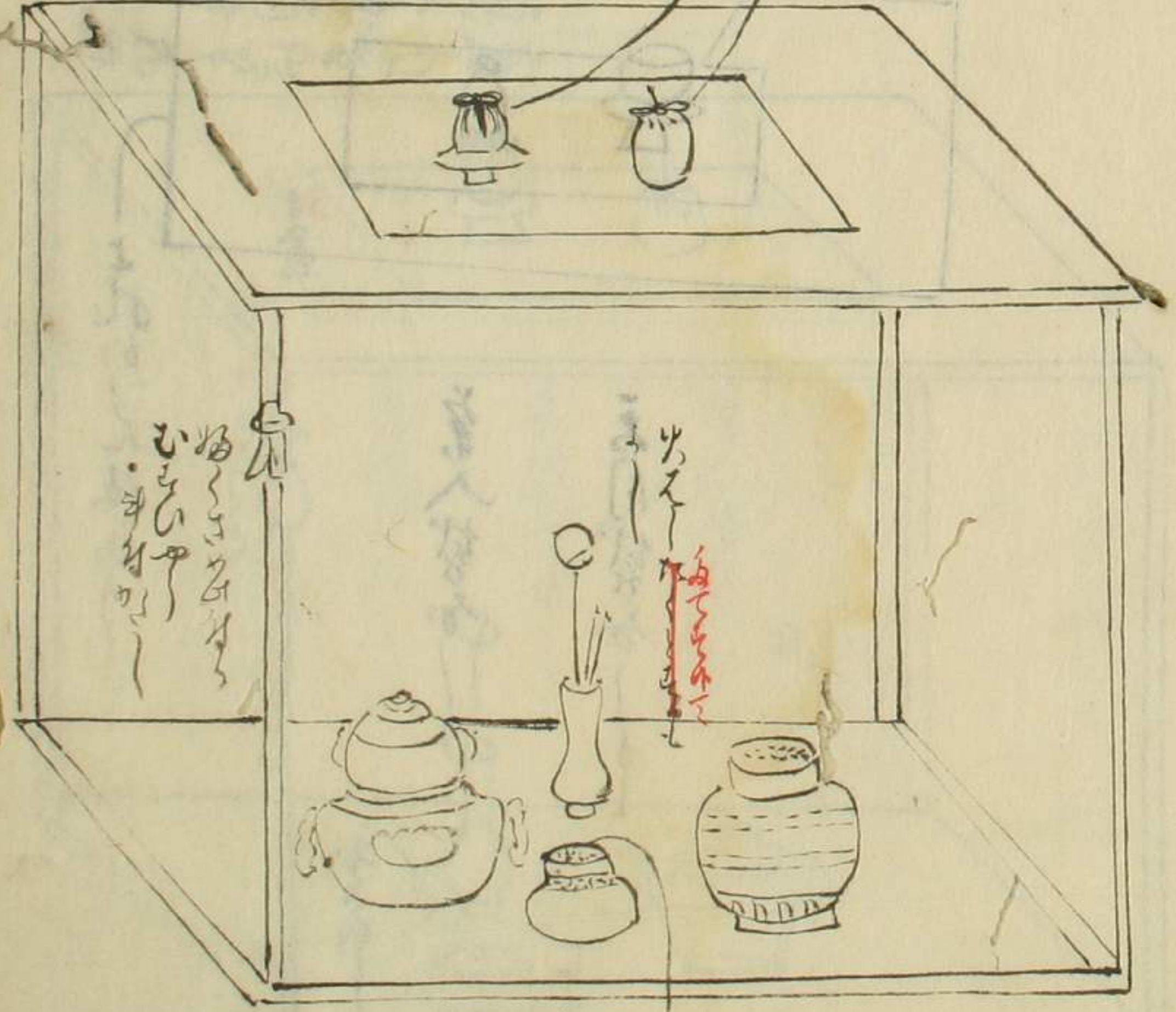


Handwritten notes in vertical Japanese characters next to the fourth diagram.

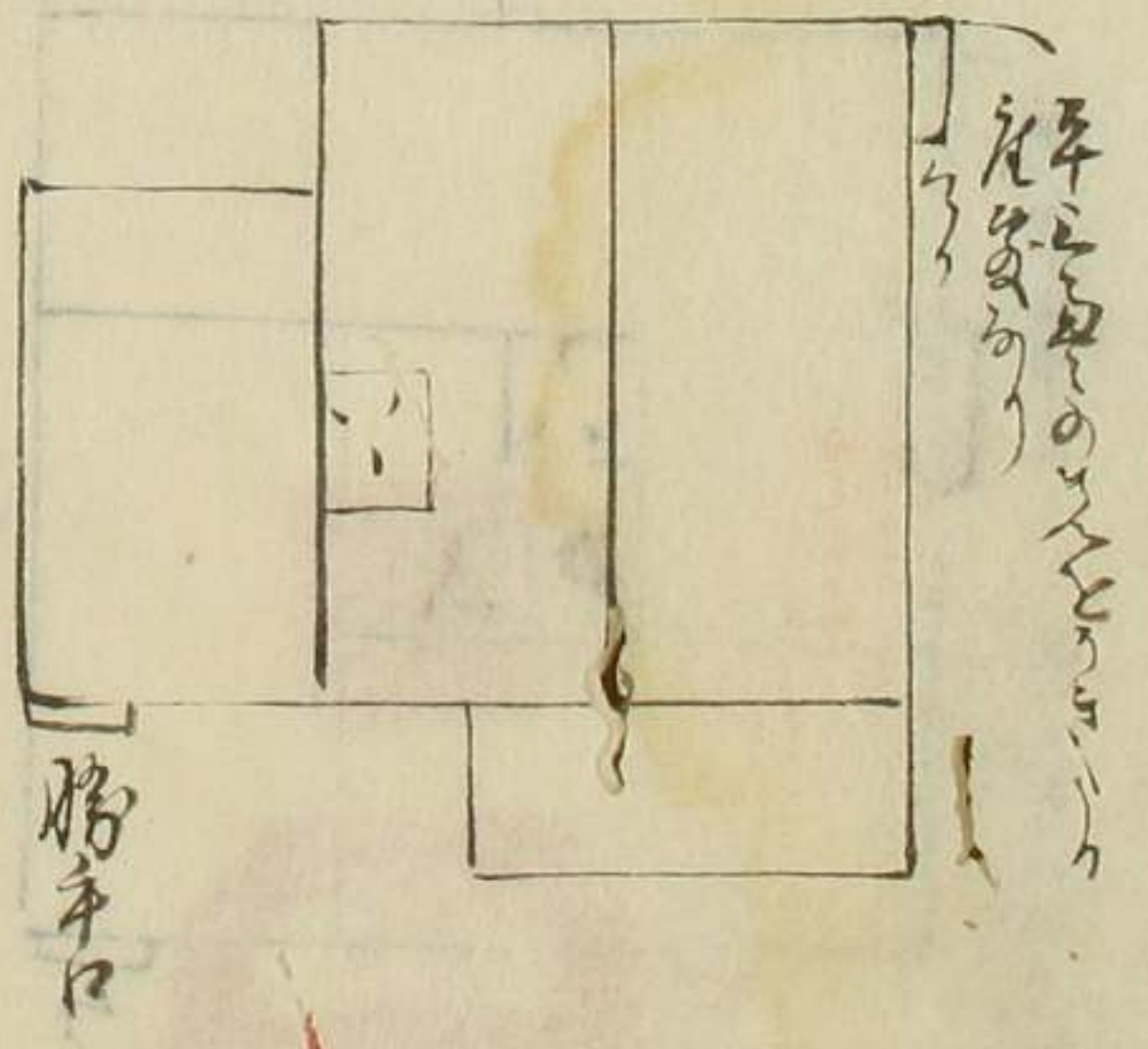
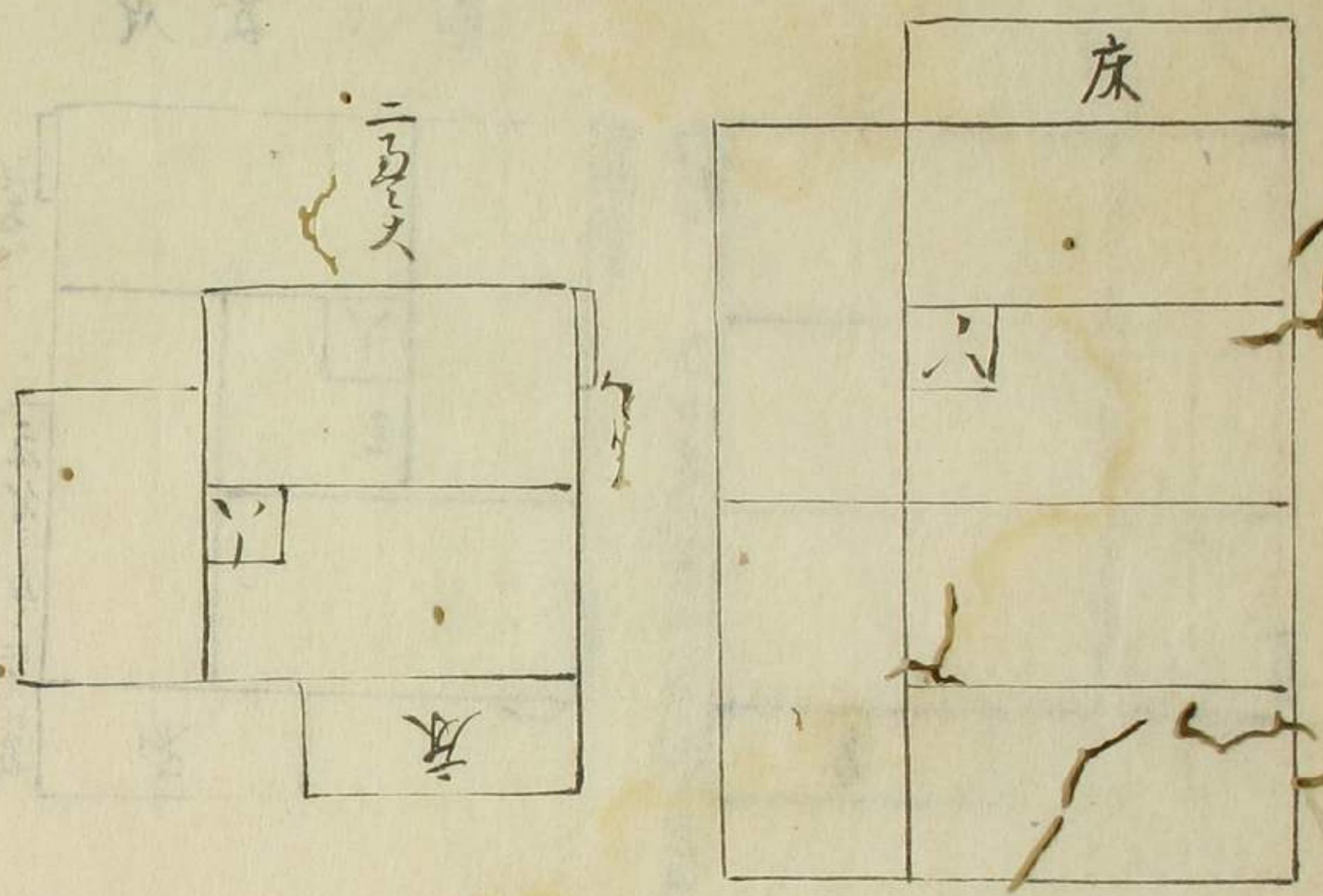


風邪真之屋子
 吉野屋之屋子
 同敷有

大入道大徳寺
 大入道大徳寺



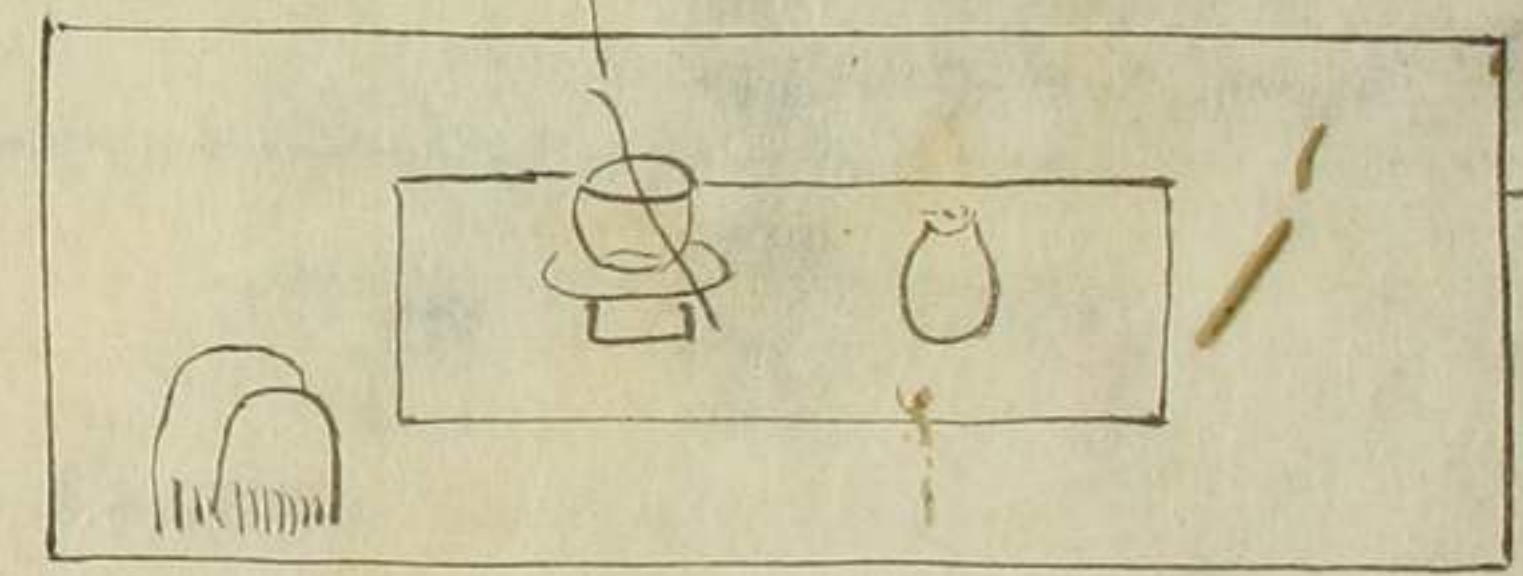
水指



大昔之六五尺

園が表裏の二層は
はじり付と成りて
中へ成りかゝるの
や

茶入と湯瓶
茶碗と湯杯



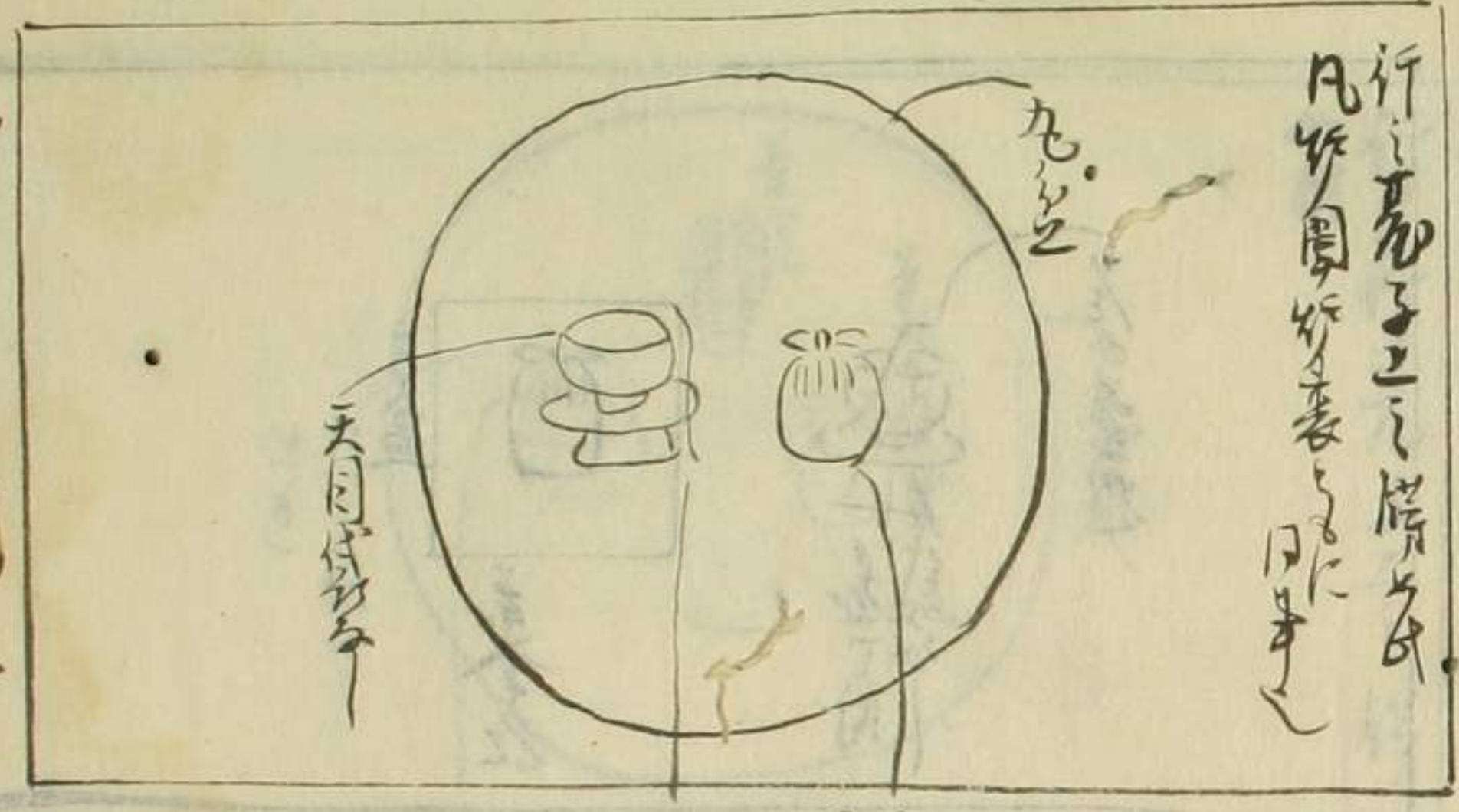
茶子と板あり

茶入袋あり

茶月袋あり

茶入茶子との袋
他茶月袋の時にかき立てて
袋とわけておいても茶月袋は二つあり
茶入茶子と二袋に茶子あり

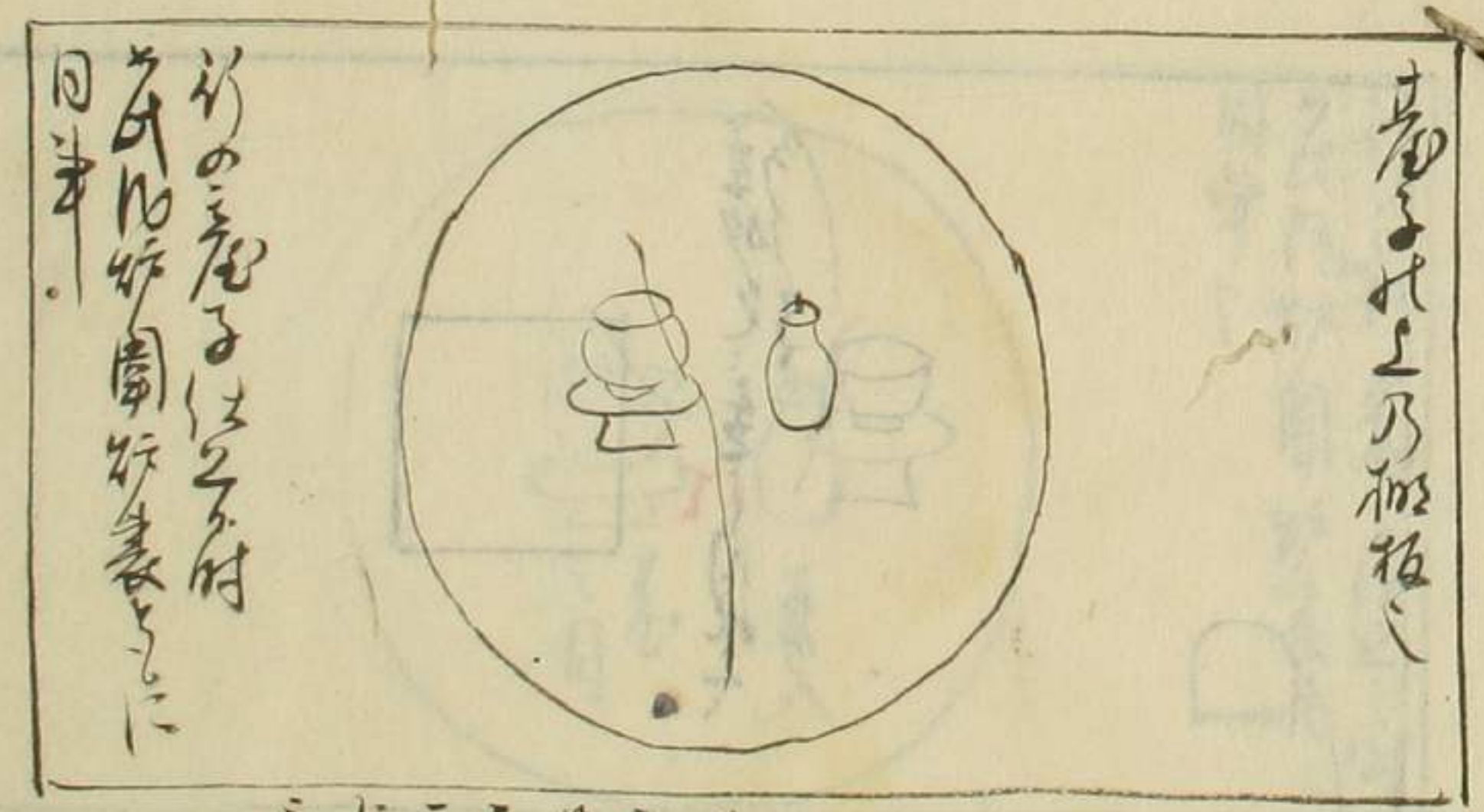
行々茶子とて板あり
凡て園が表裏の二層



茶入と湯瓶
茶碗と湯杯
茶子とて
茶月袋あり

茶子のとて板あり
凡て園が表裏の二層

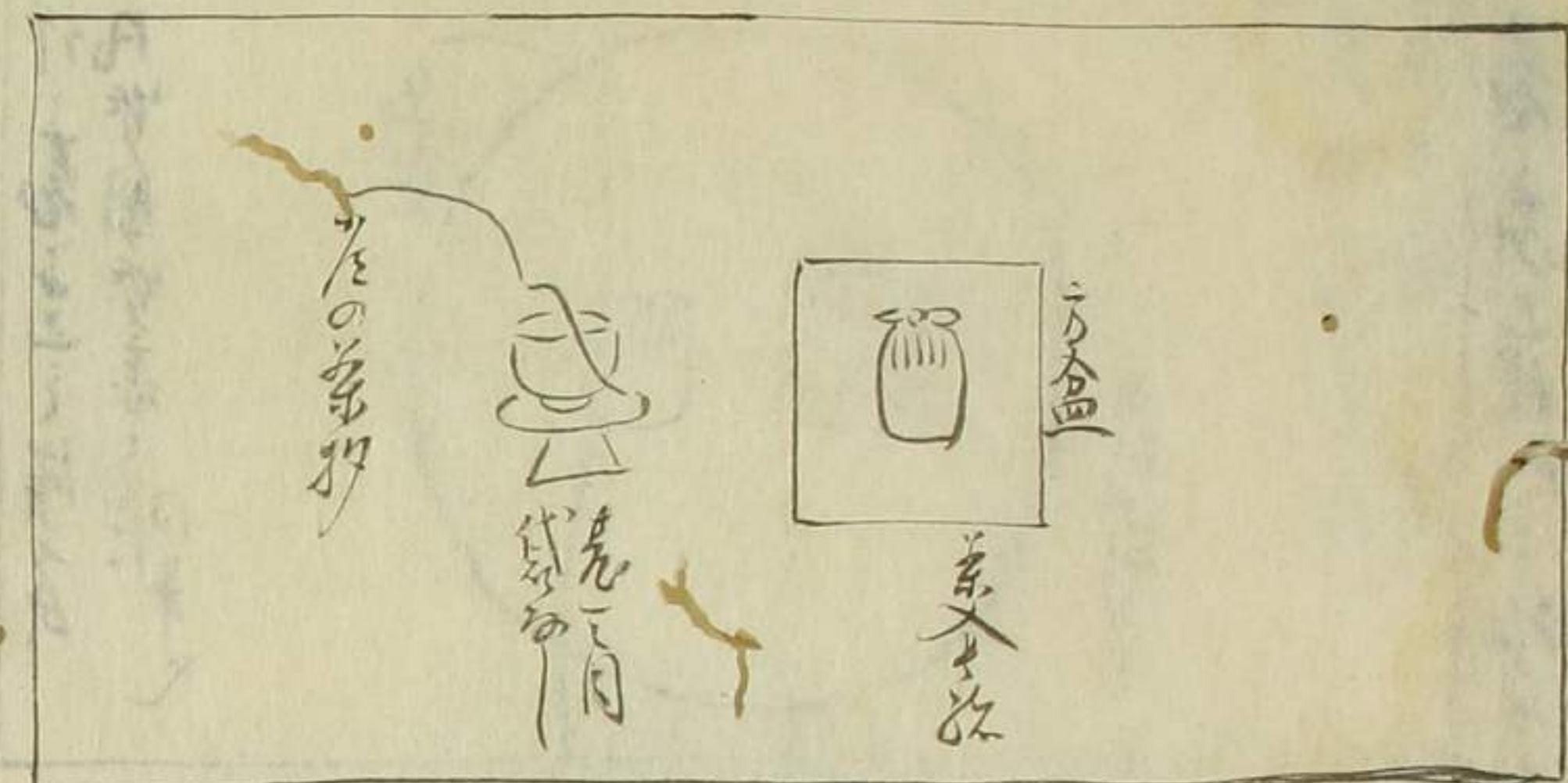
茶子とて乃板あり



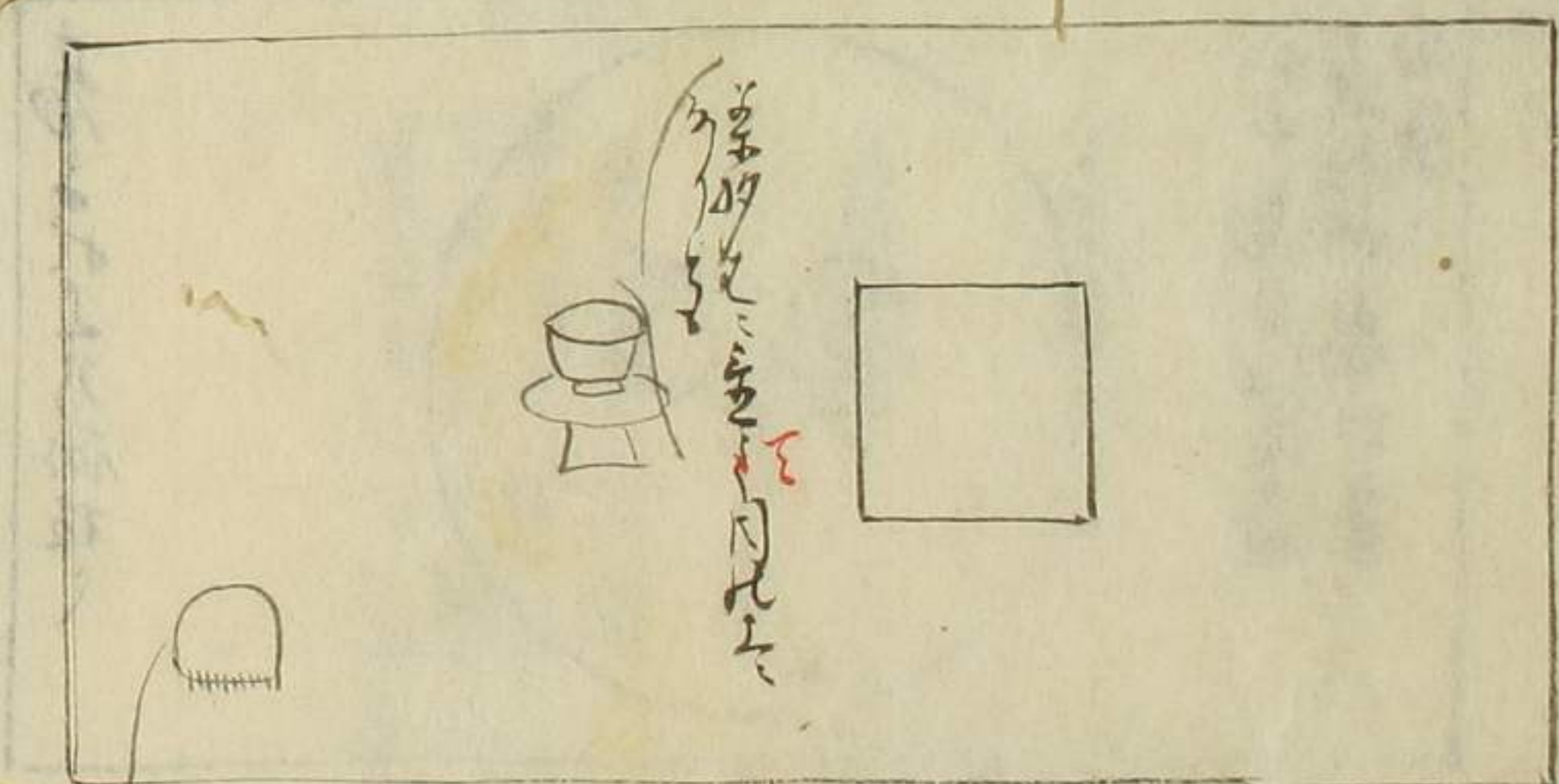
茶子とて乃板あり
茶月袋あり
茶入袋あり
茶碗と湯杯
茶子とて

茶子のとて板あり
凡て園が表裏の二層

車之老子之解之

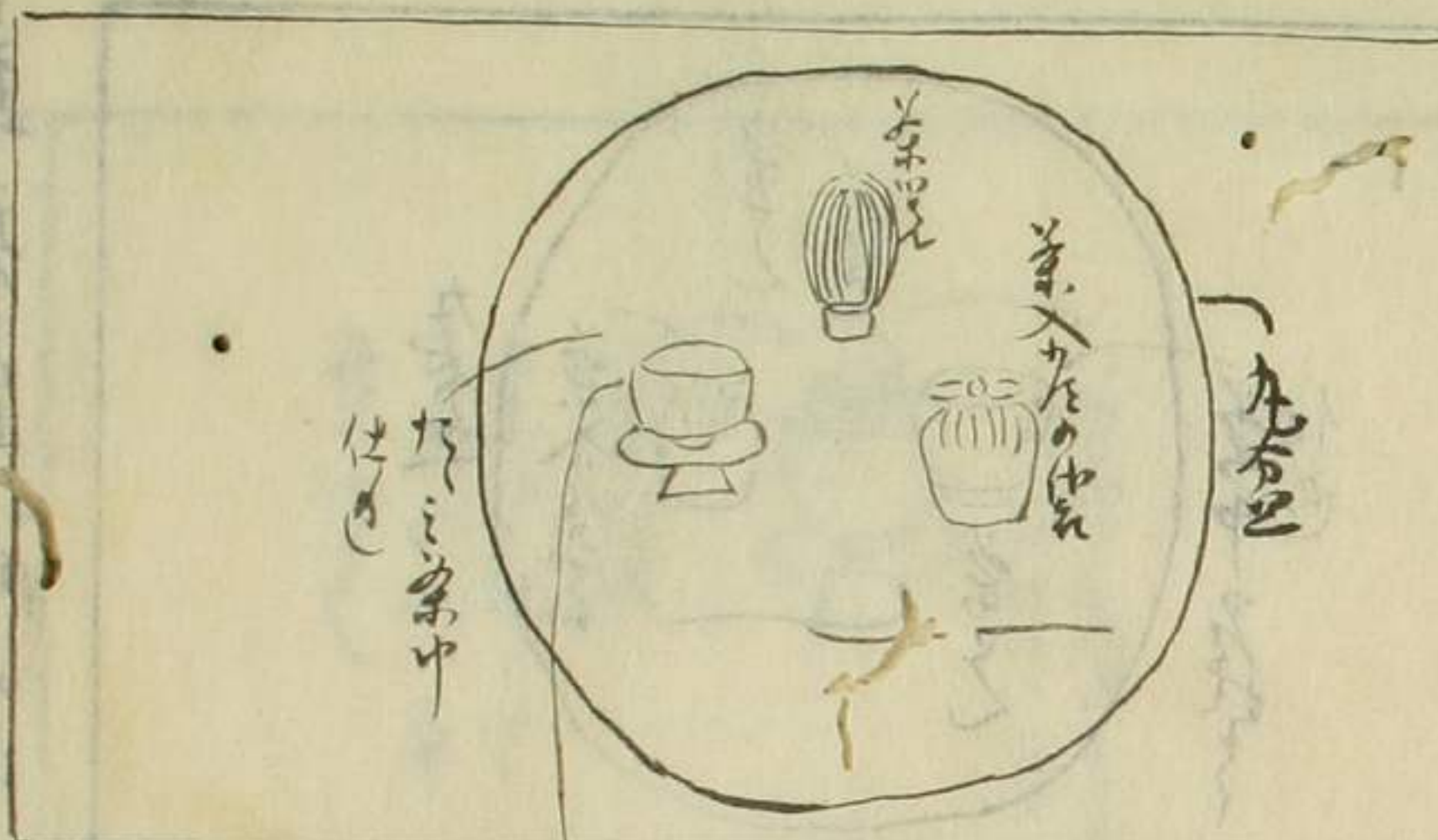


円形茶表
茶入



茶入茶碗茶の茶抄
茶碗茶の茶抄
茶入茶碗茶の茶抄

行之行老子之解之



円形茶表
茶入

茶入茶碗茶の茶抄

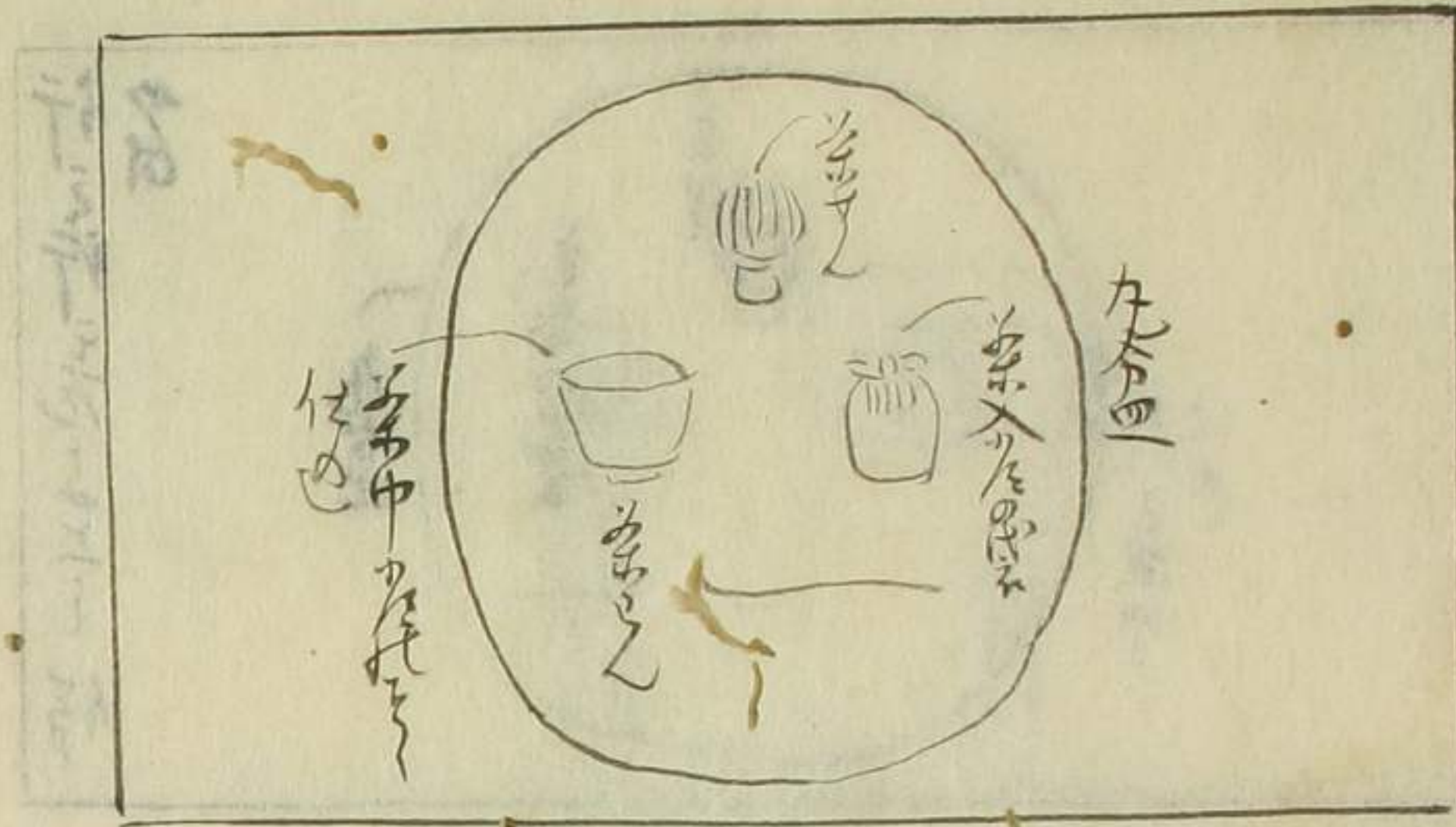
茶碗茶の茶抄

行之行老子之解之
茶入茶碗茶の茶抄



茶入茶碗茶の茶抄

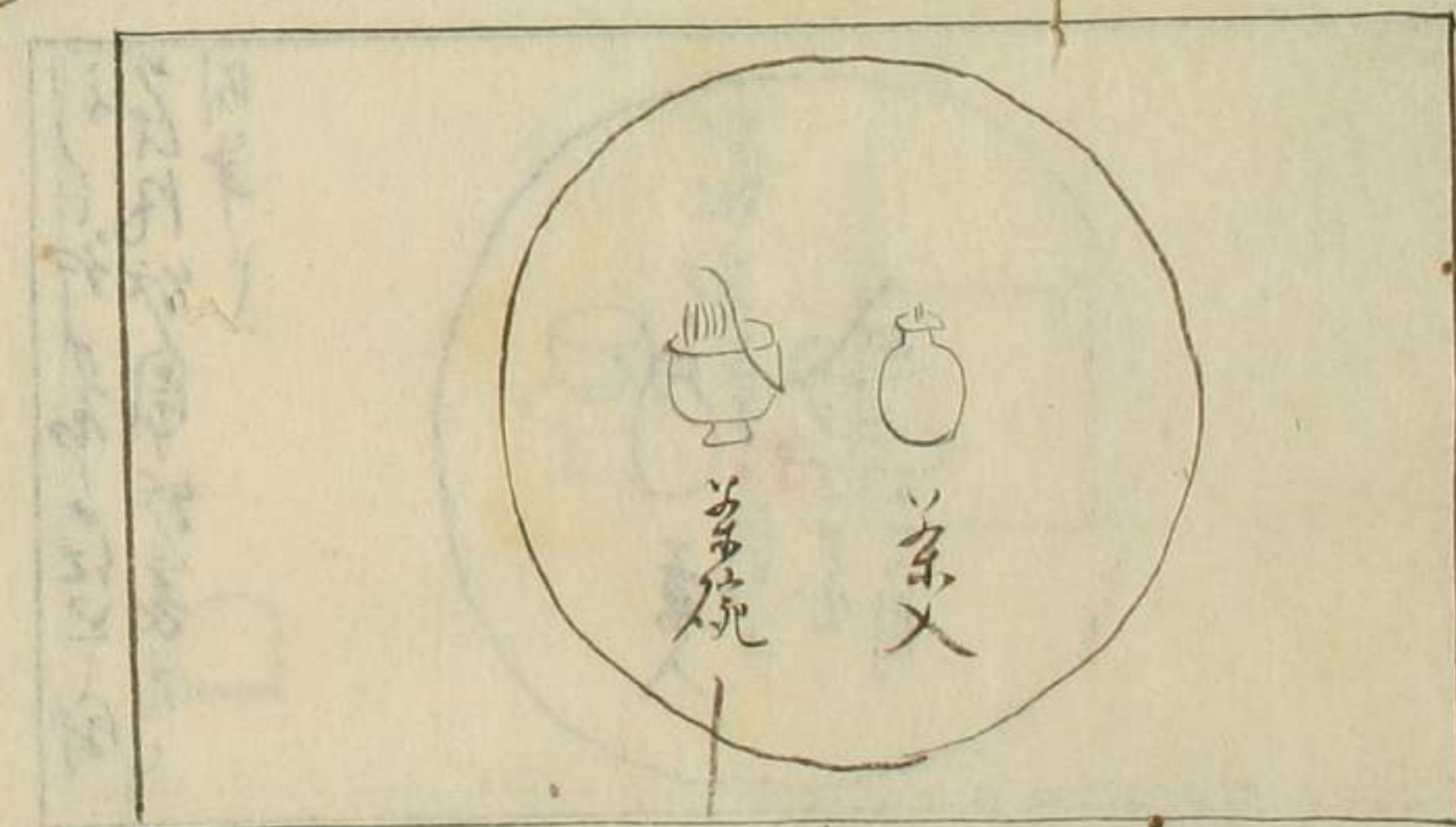
行の草子とて時を云



凡が圖が善
くは同く

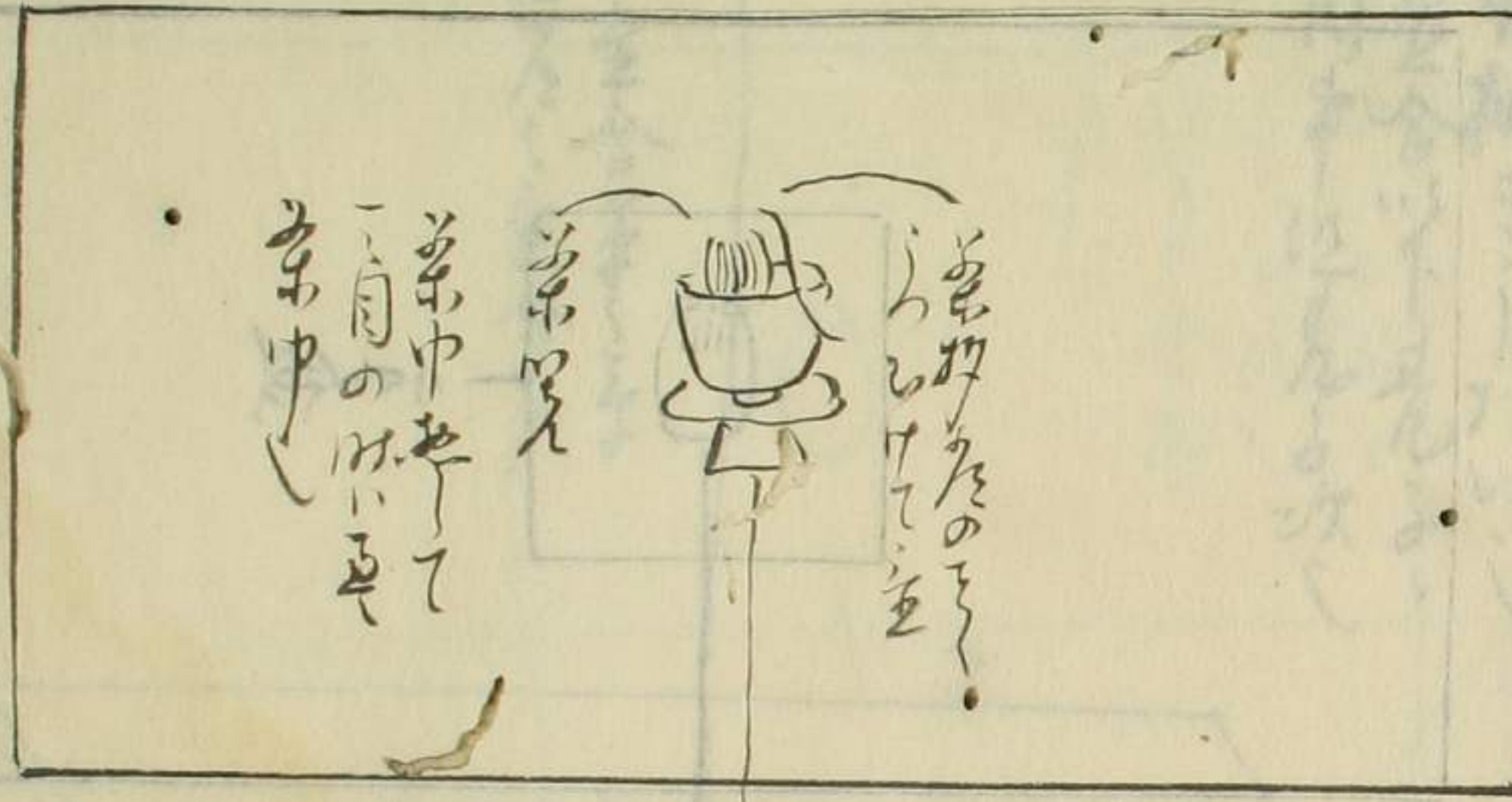
茶台茶碗
茶巾のけし

田は是の時云



ははははは
ははははは

草子の上とて時を云は是の時とて同く云ふ

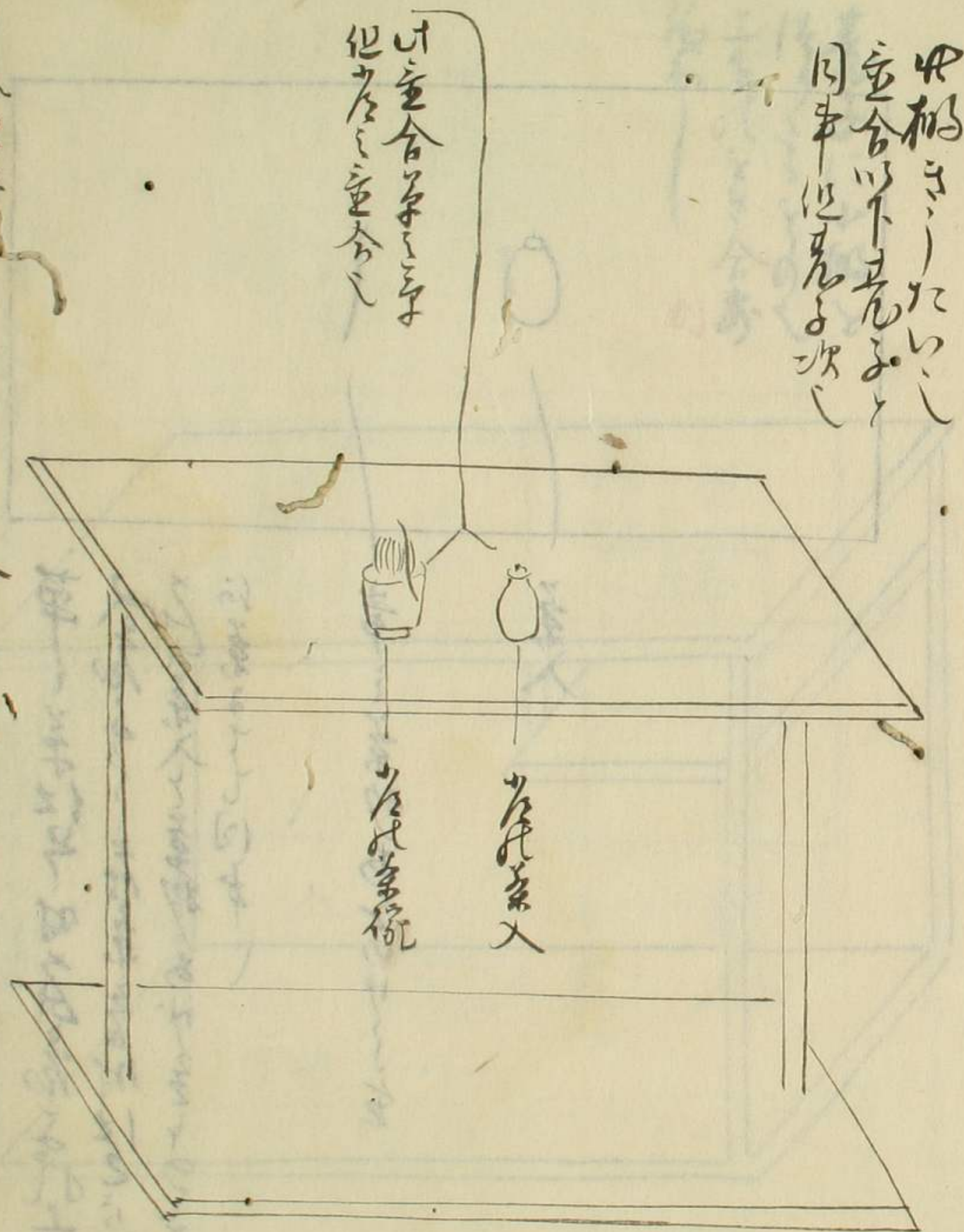


茶入の茶を茶碗に入るとおかしなりと云ふは
真のこの二つ也と云ふ草子同く又
盆に茶入のせりやうし時を云ふとす

茶巾

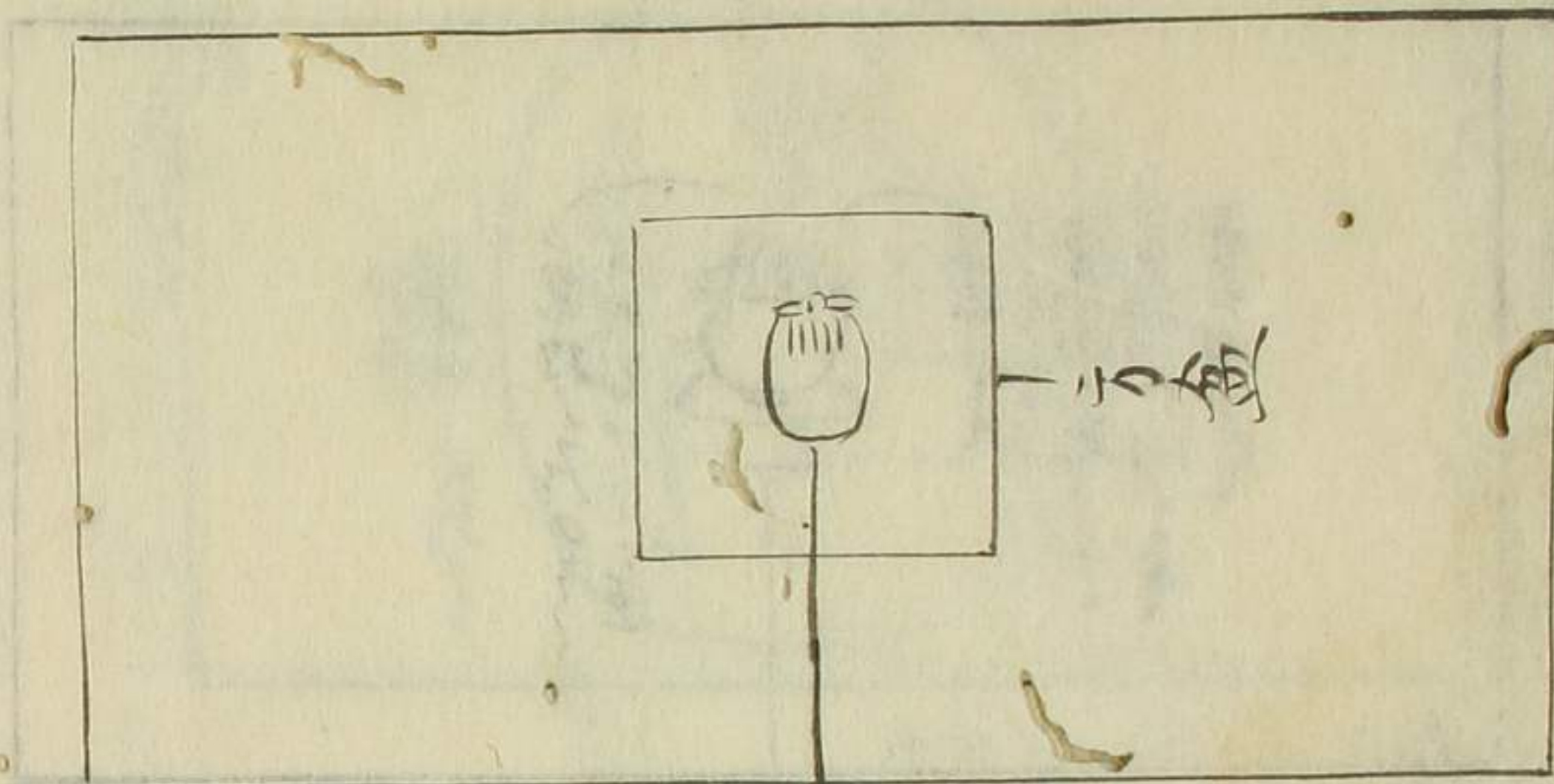
下ノ飾別紙極秘

巾ニ重合ニ是ノ是ノ子ノ中



巾ニ重合ニ是ノ是ノ子ノ中

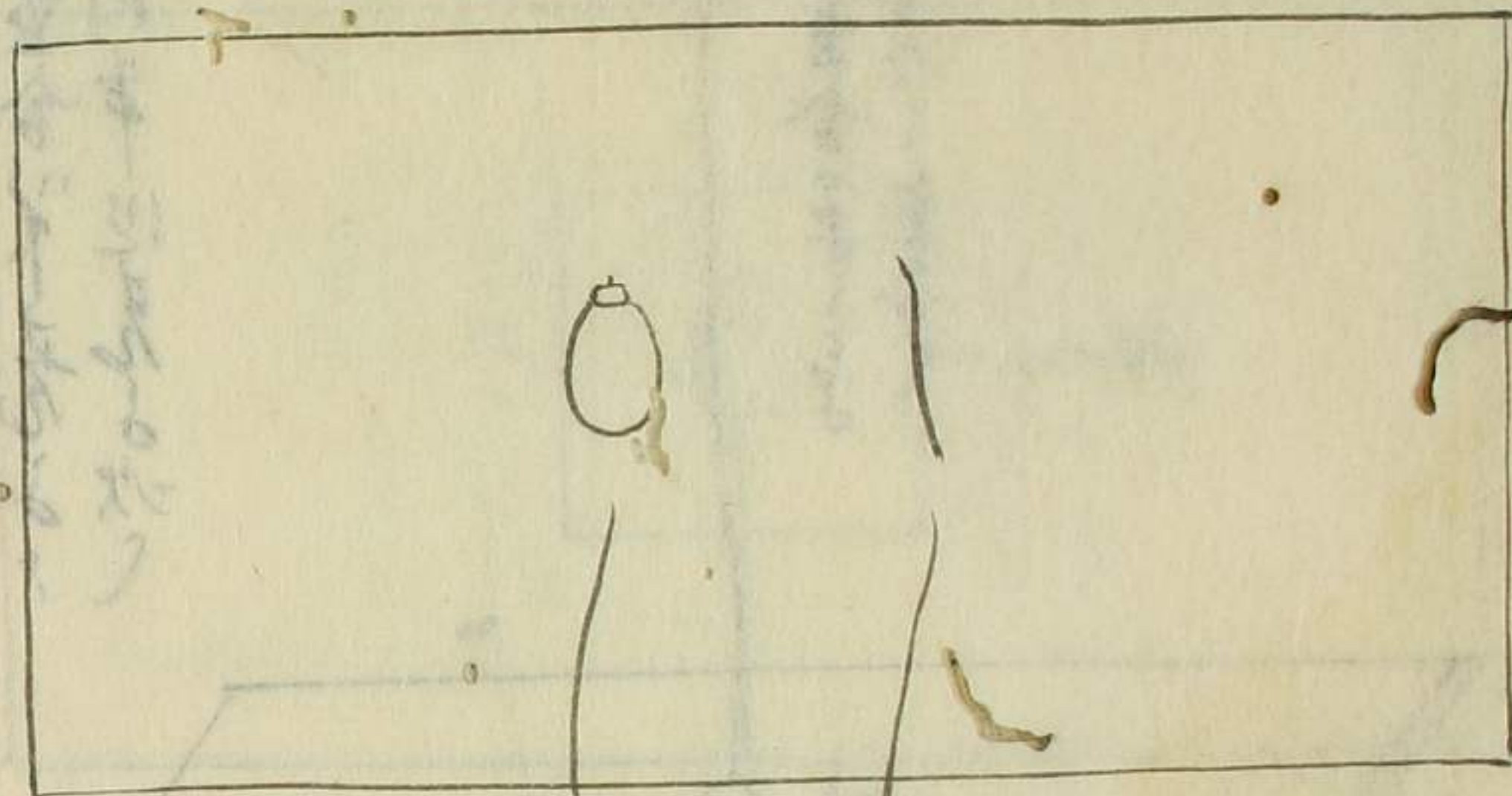
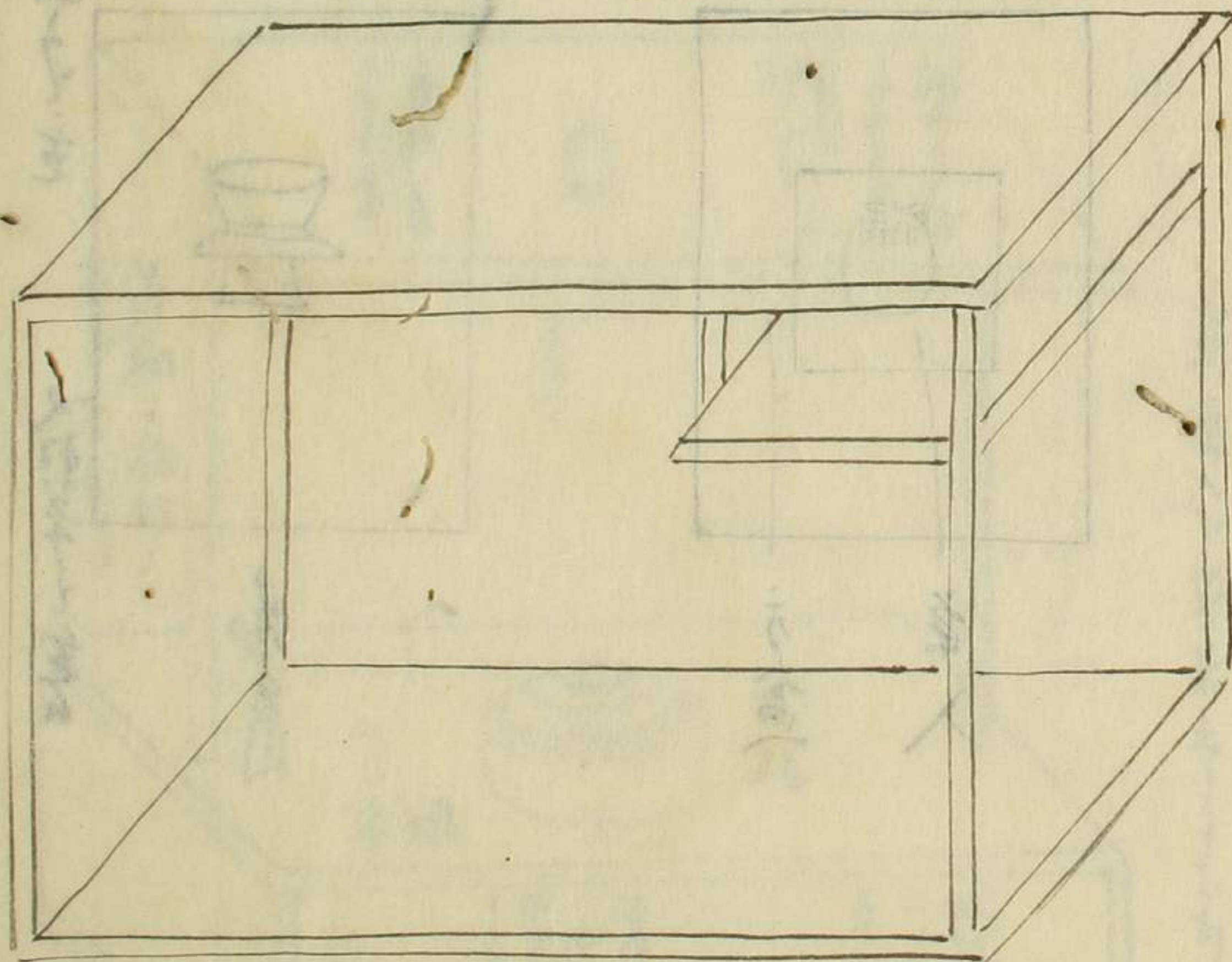
巾ニ重合ニ是ノ是ノ子ノ中



巾ニ重合ニ是ノ是ノ子ノ中

巾ニ重合ニ是ノ是ノ子ノ中

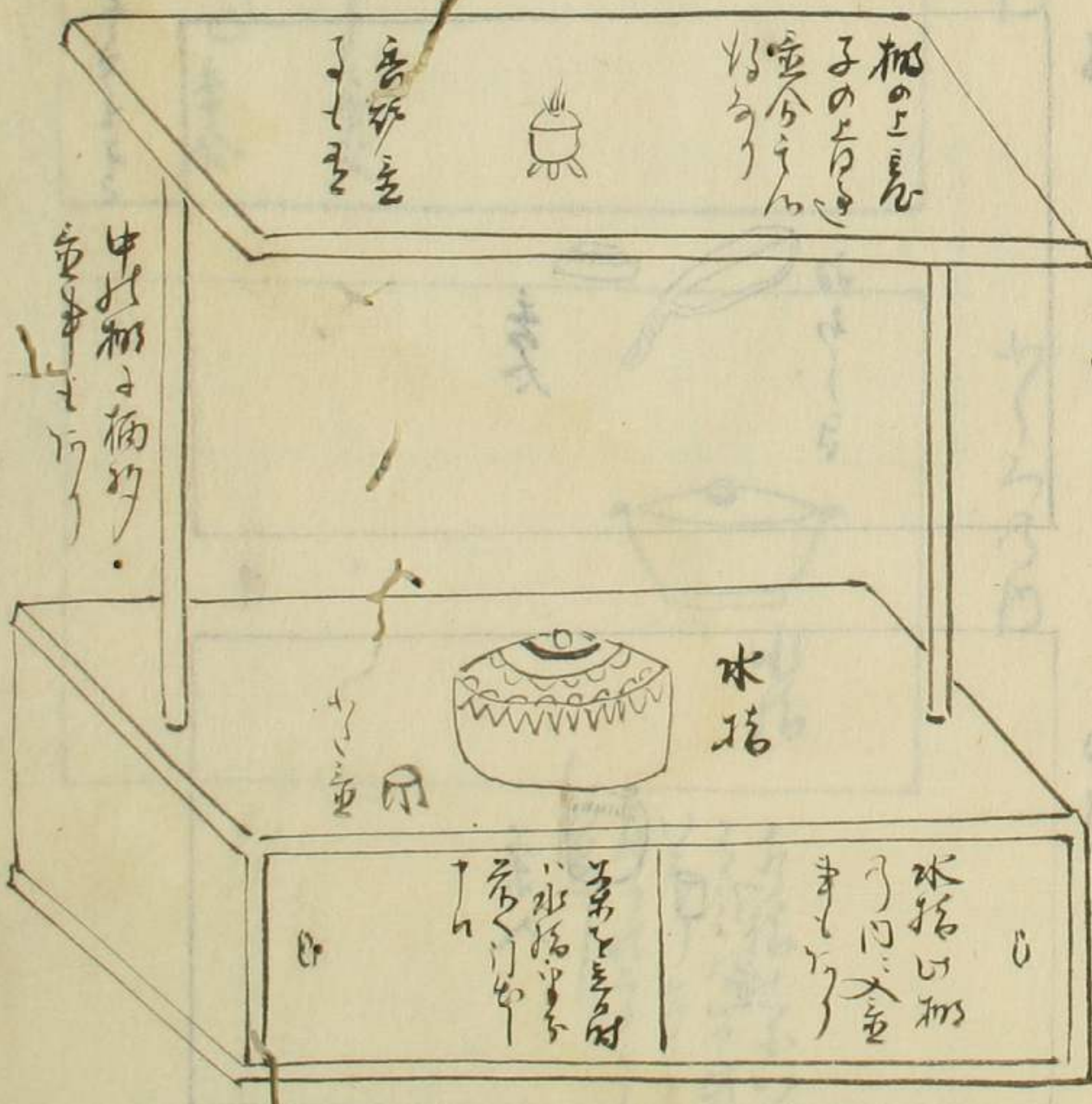
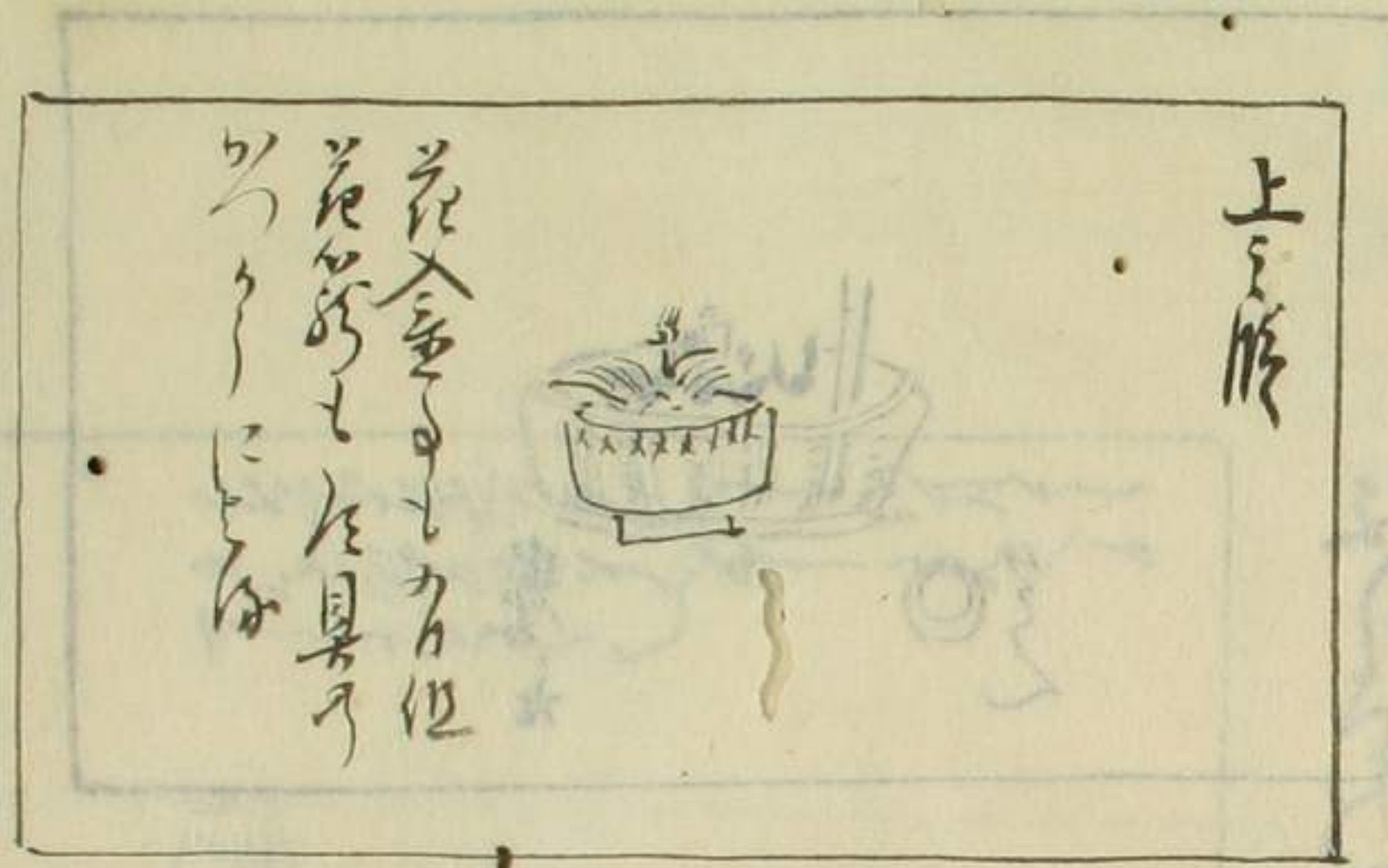
花子に小箱と
 作りしもの
 上白しと合
 紙あり
 別



茶入

茶入茶扱あとのけしき

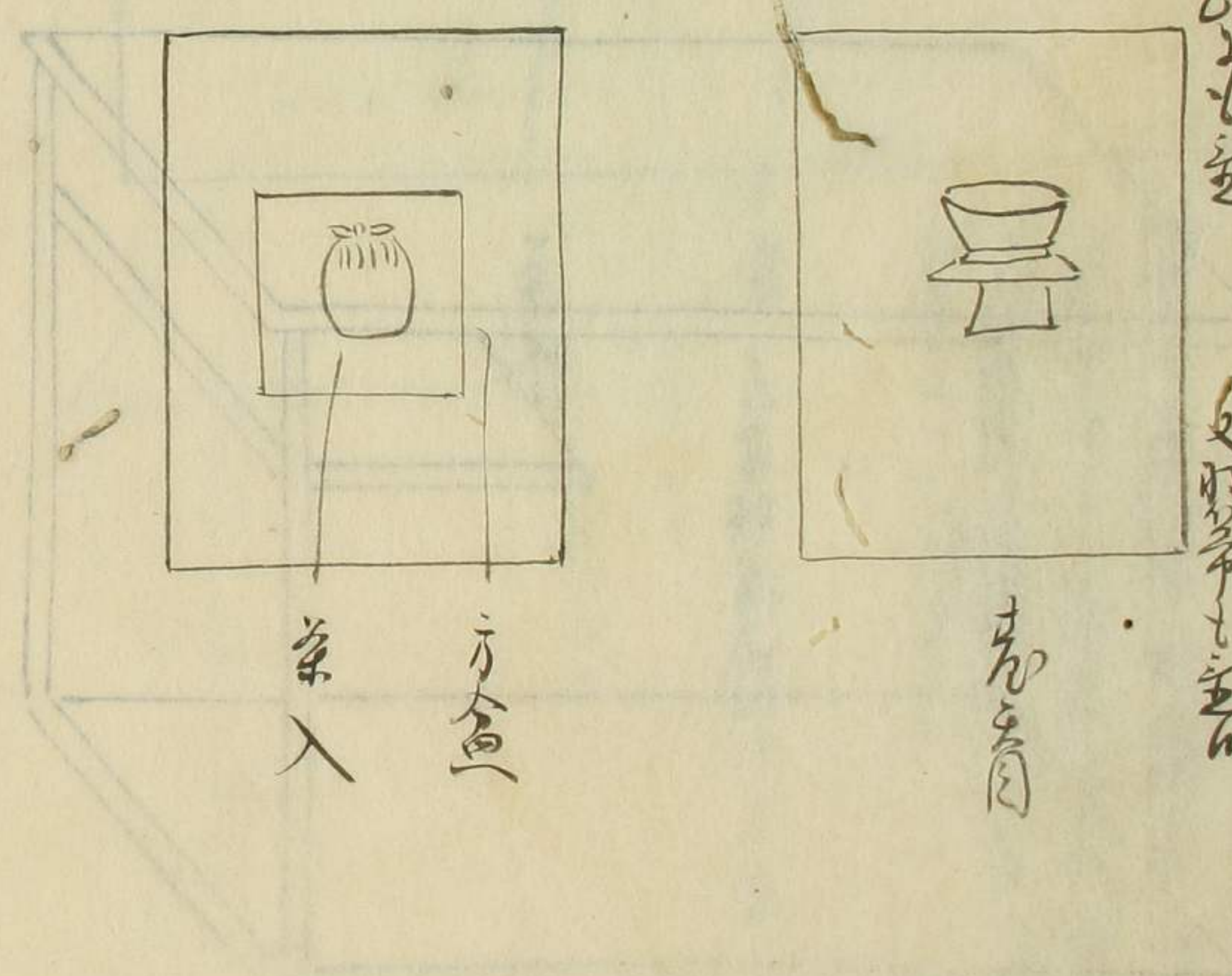
草の茶は只の時と花子の茶は
 又花子の茶は只の時と花子の茶は
 又花子の茶は只の時と花子の茶は
 又花子の茶は只の時と花子の茶は



花入室に在る他
花の飾りたる具は
其の内に在る

中二階の桐の
花入室に在る

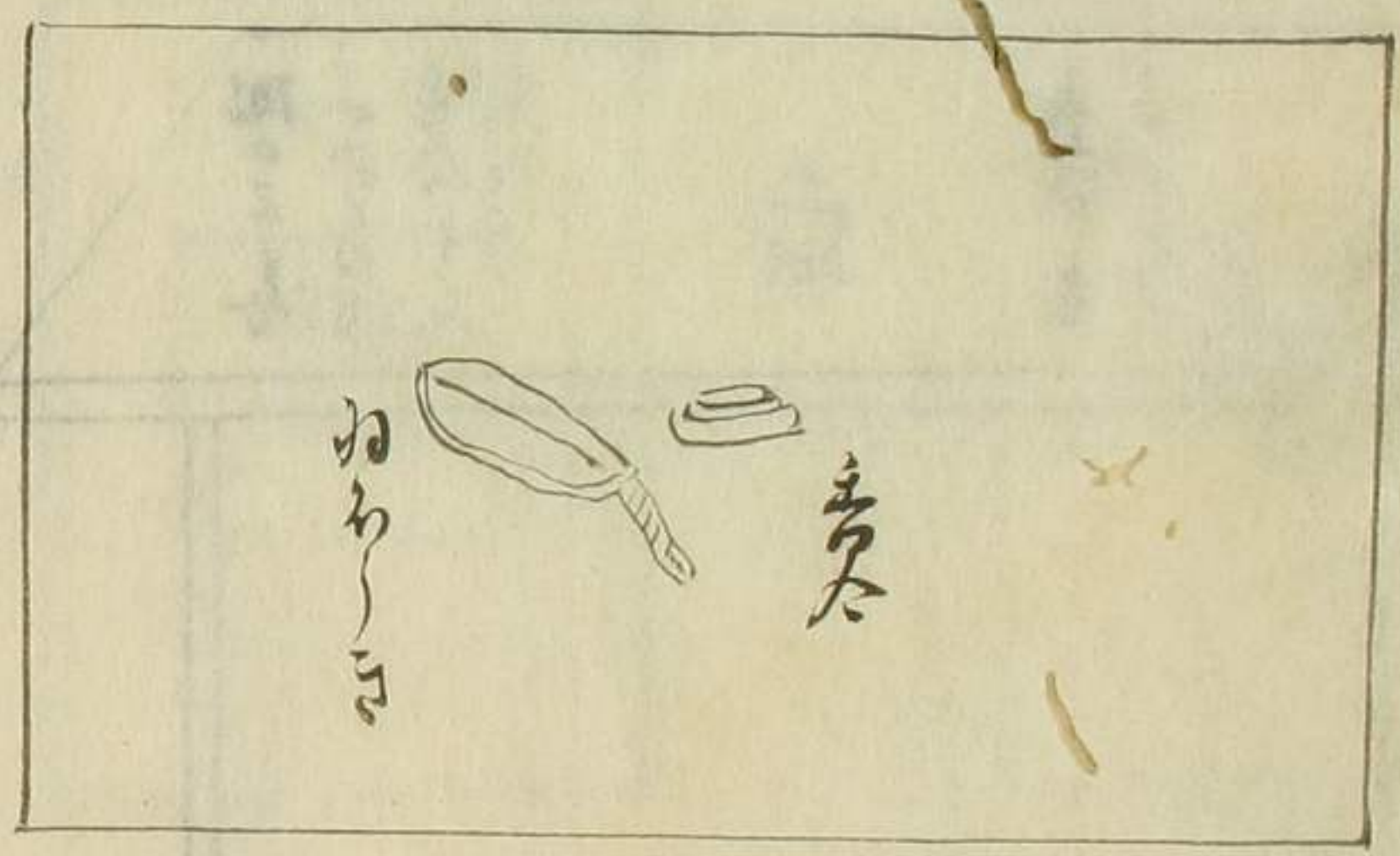
花入室に在る他
花の飾りたる具は
其の内に在る



花入室に在る他
花の飾りたる具は
其の内に在る

茶入

上三柳中此極其妙なるものなり

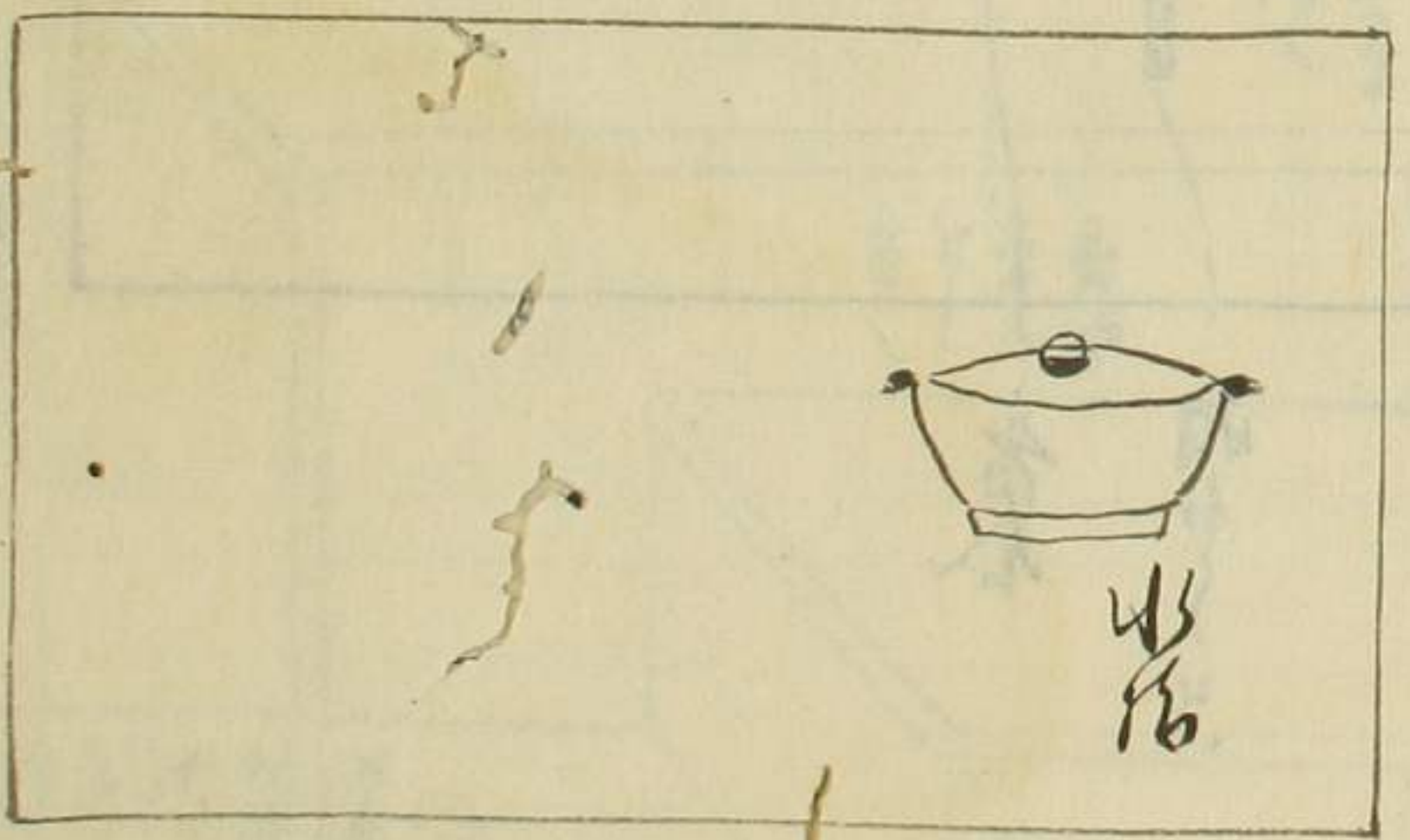
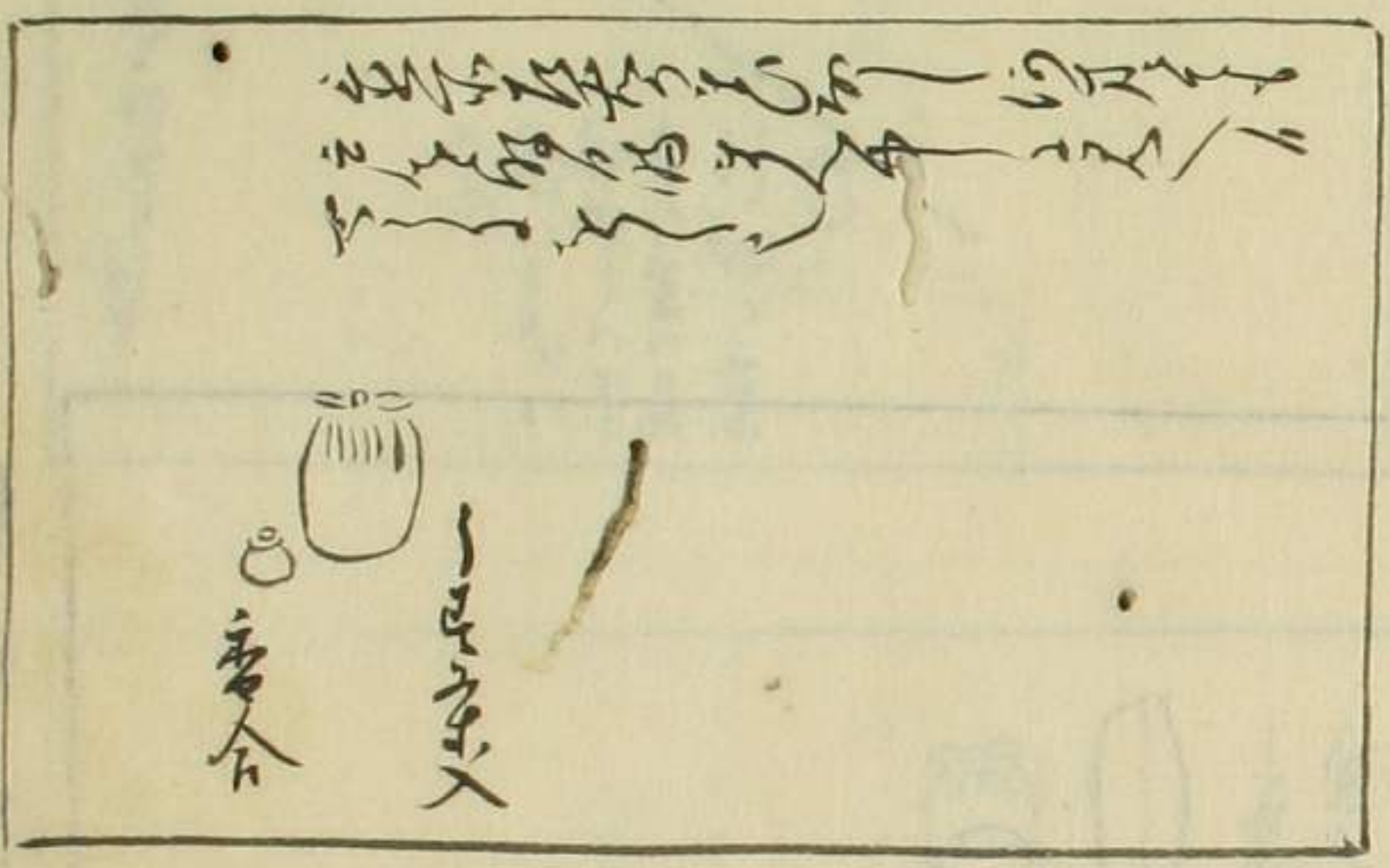


上三柳の白きものなり

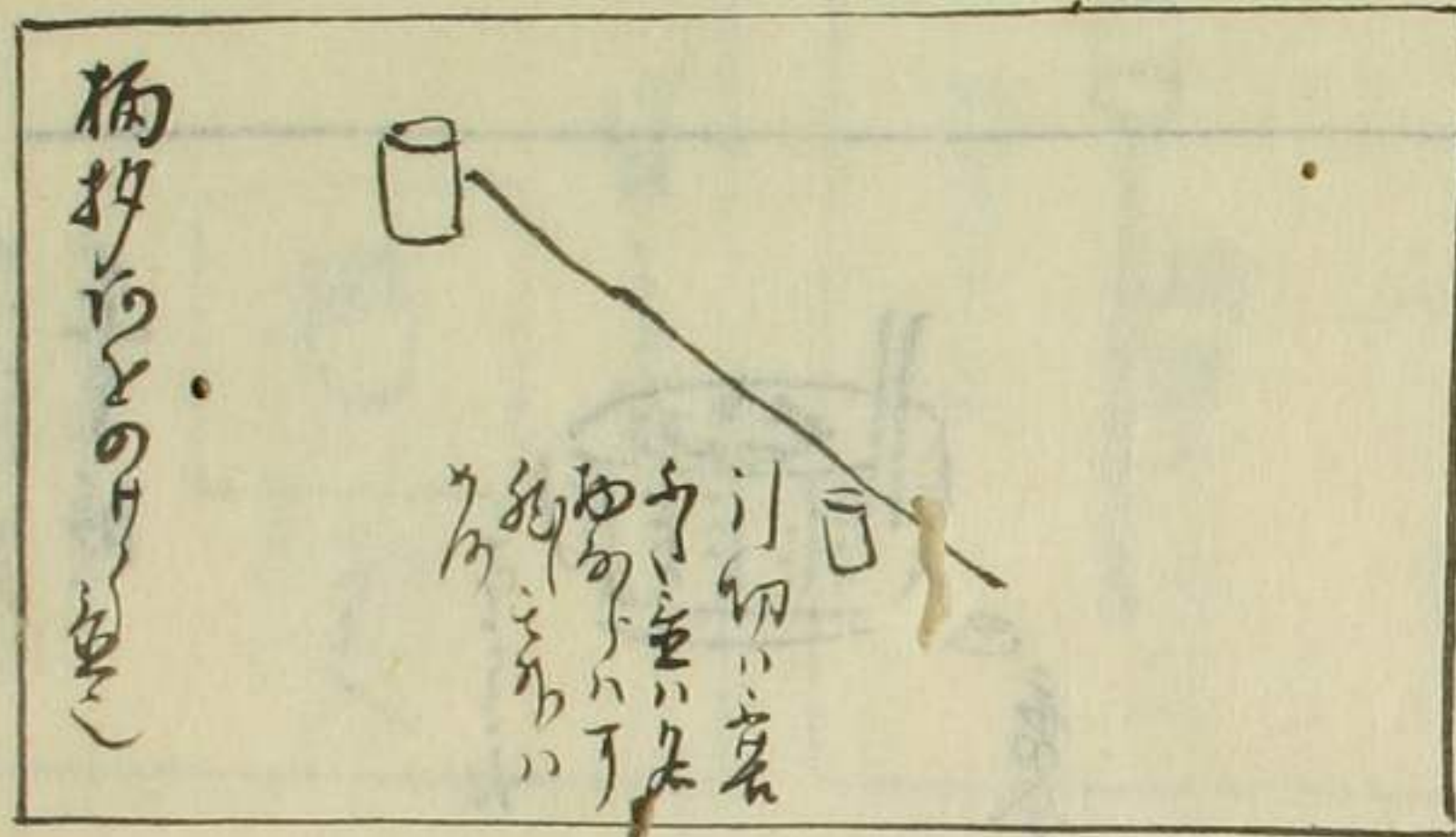
口

やうは口

やうは口



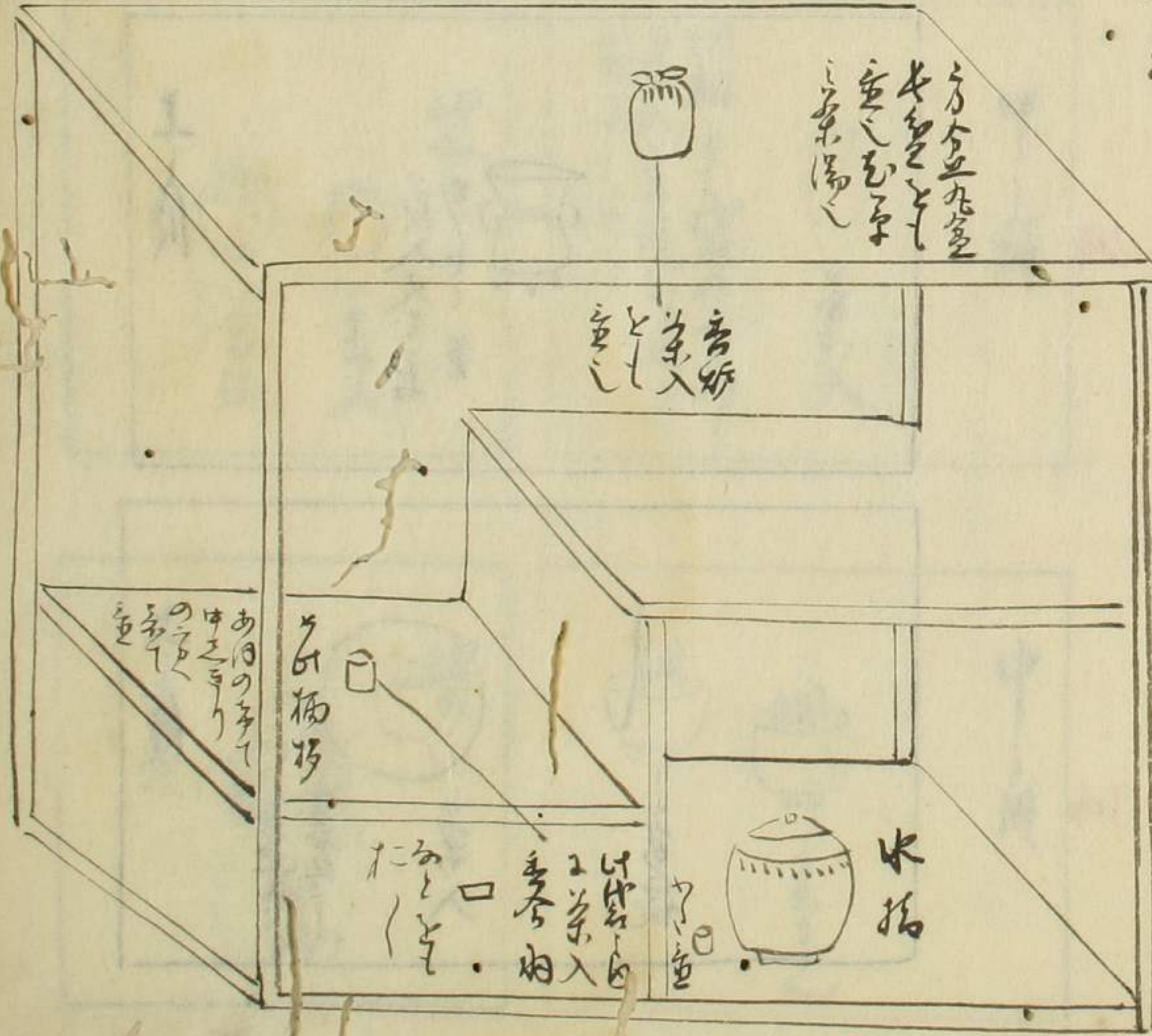
茶入の湯はよく
おろしはよく
おろしはよく
おろしはよく
おろしはよく



上は...
下は...

川切...
...

遠...
...

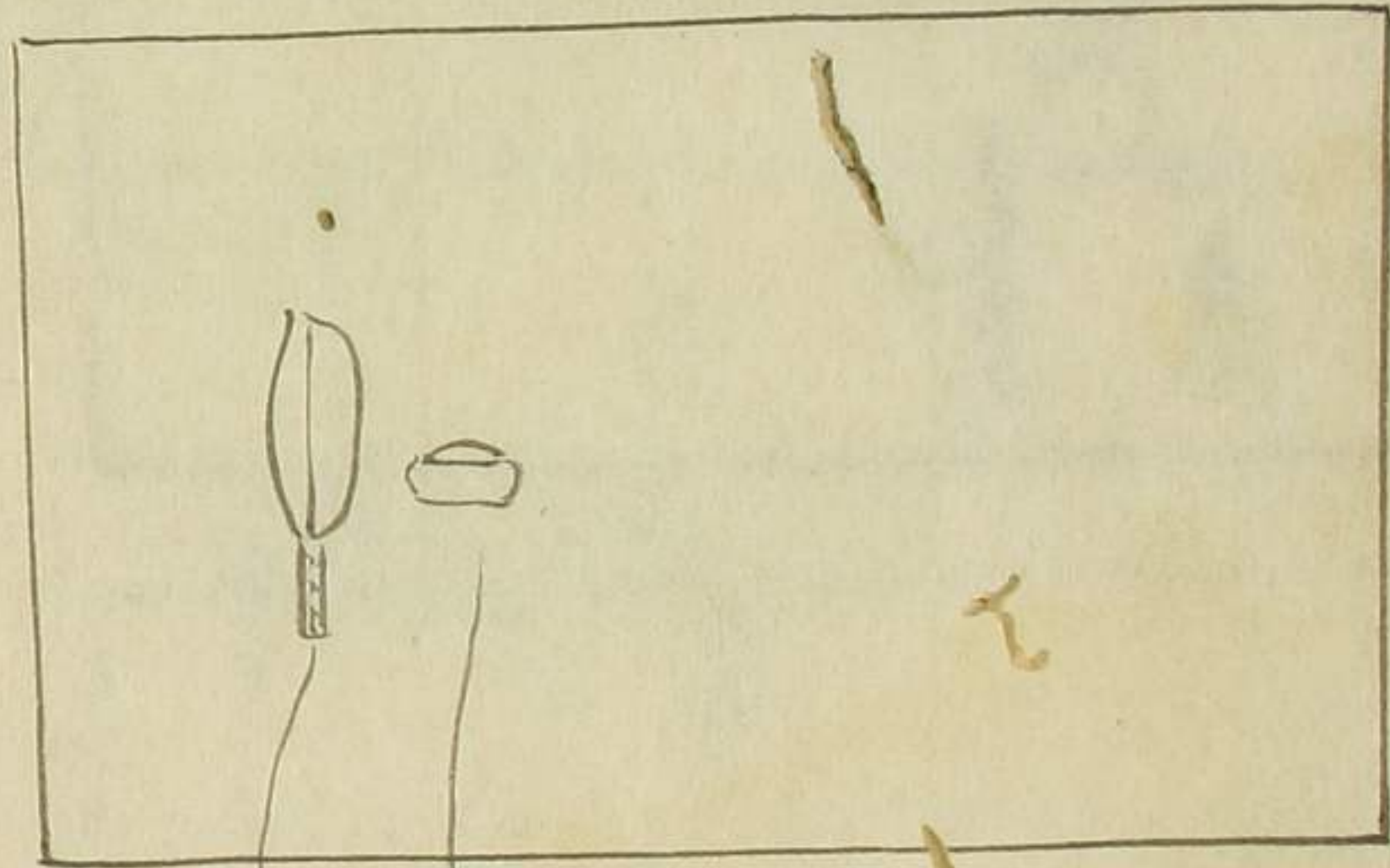


...

...

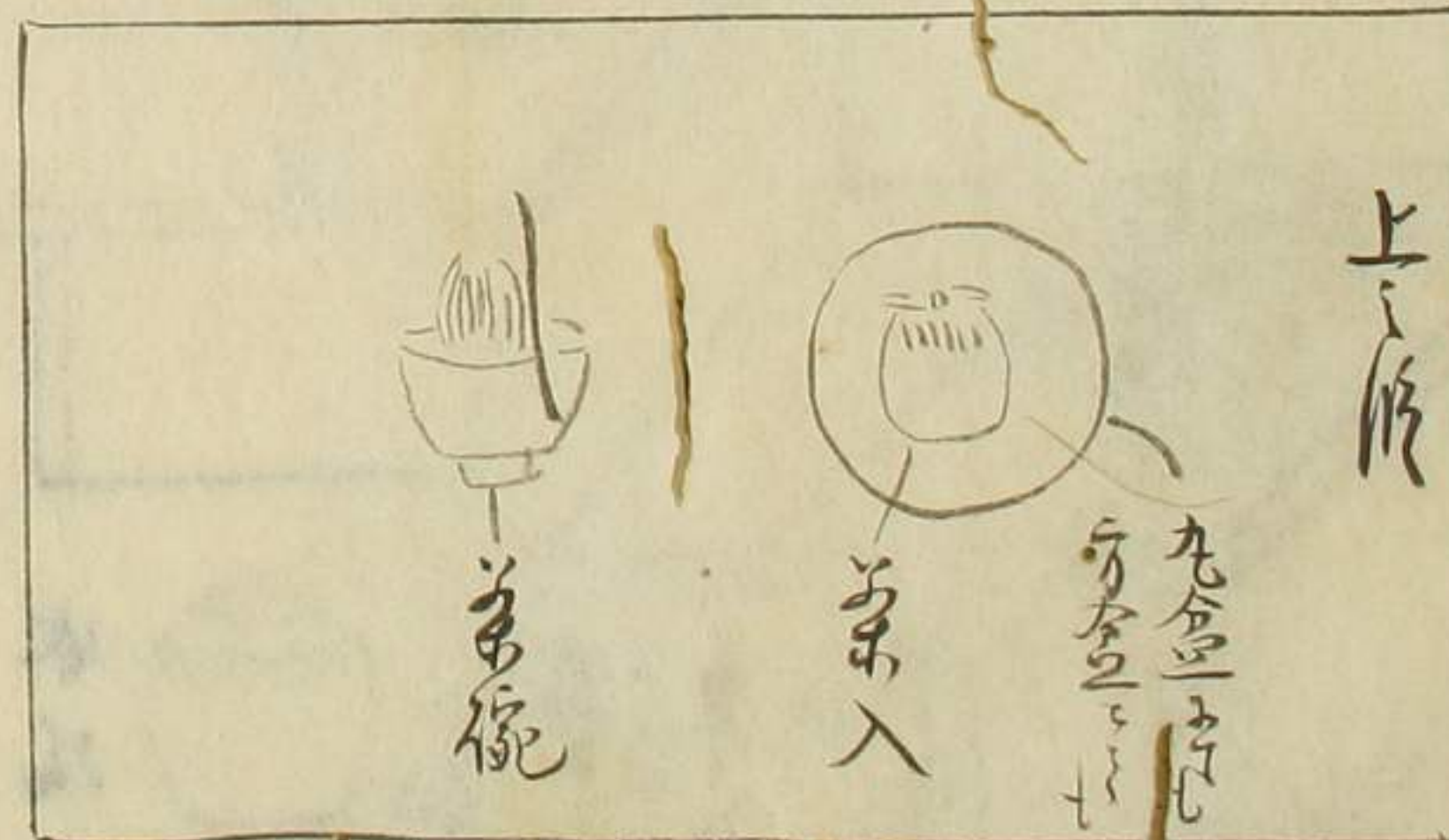
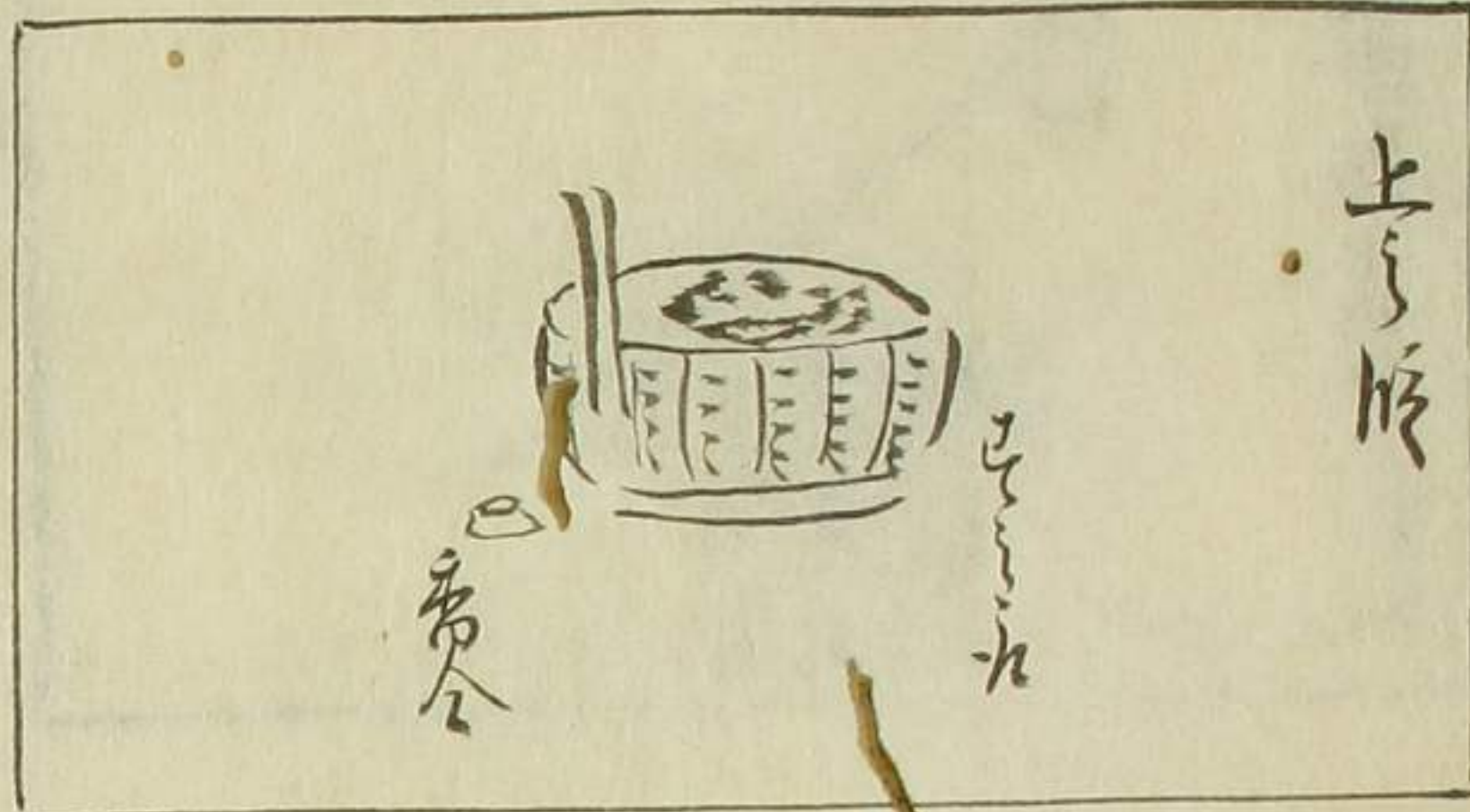
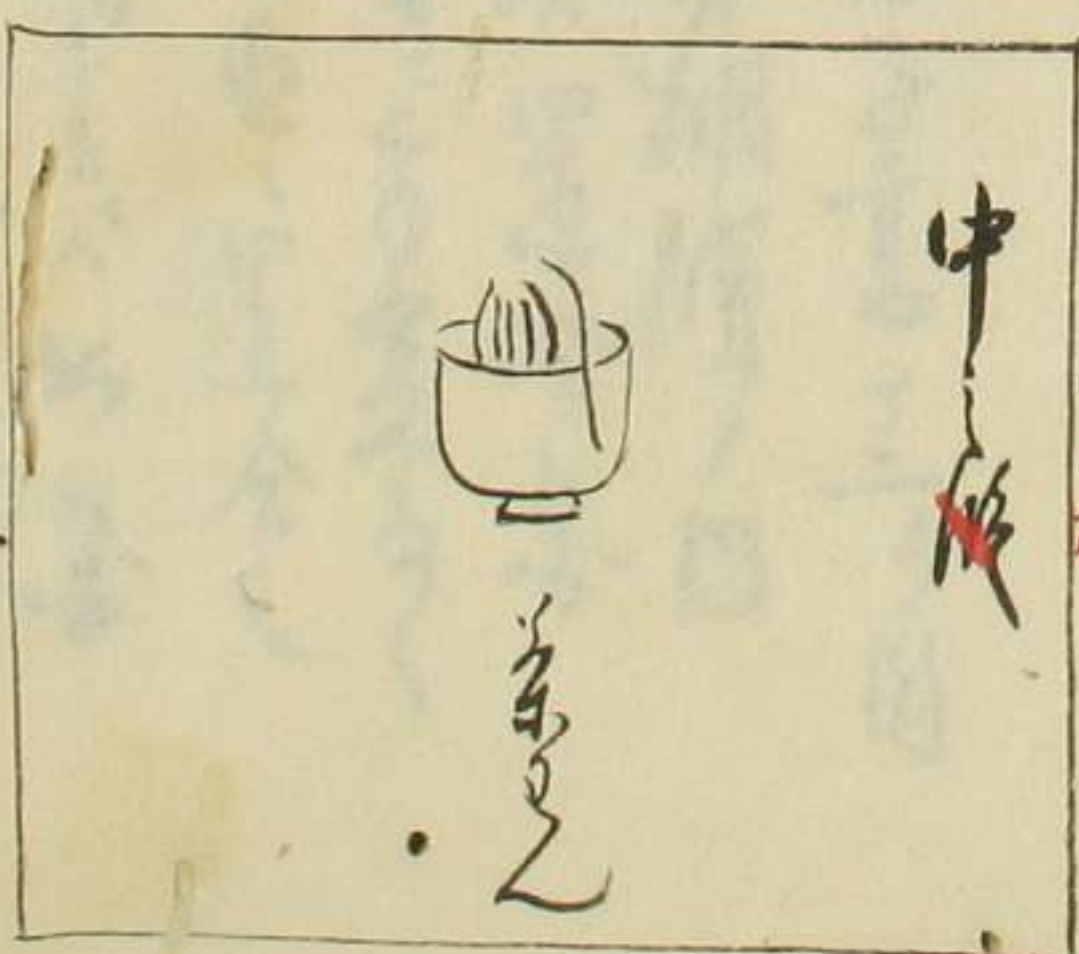
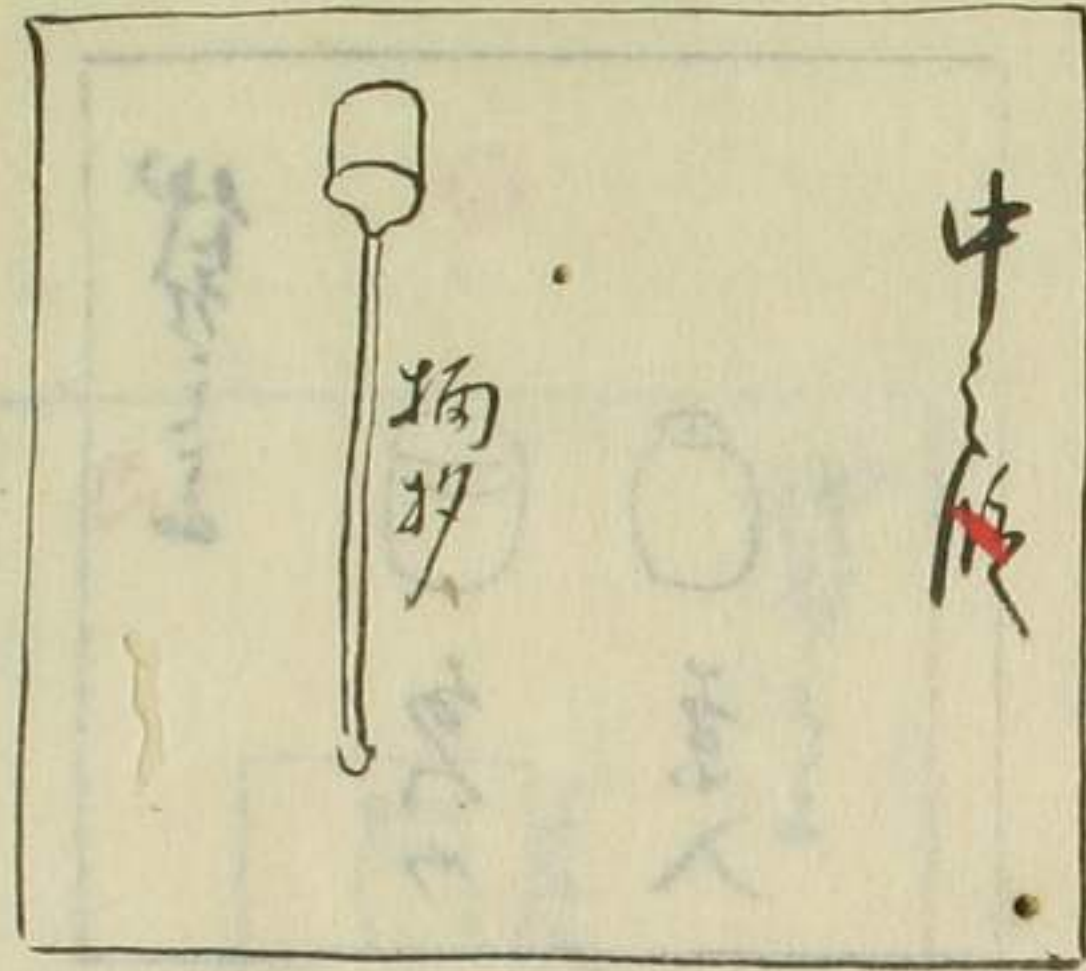
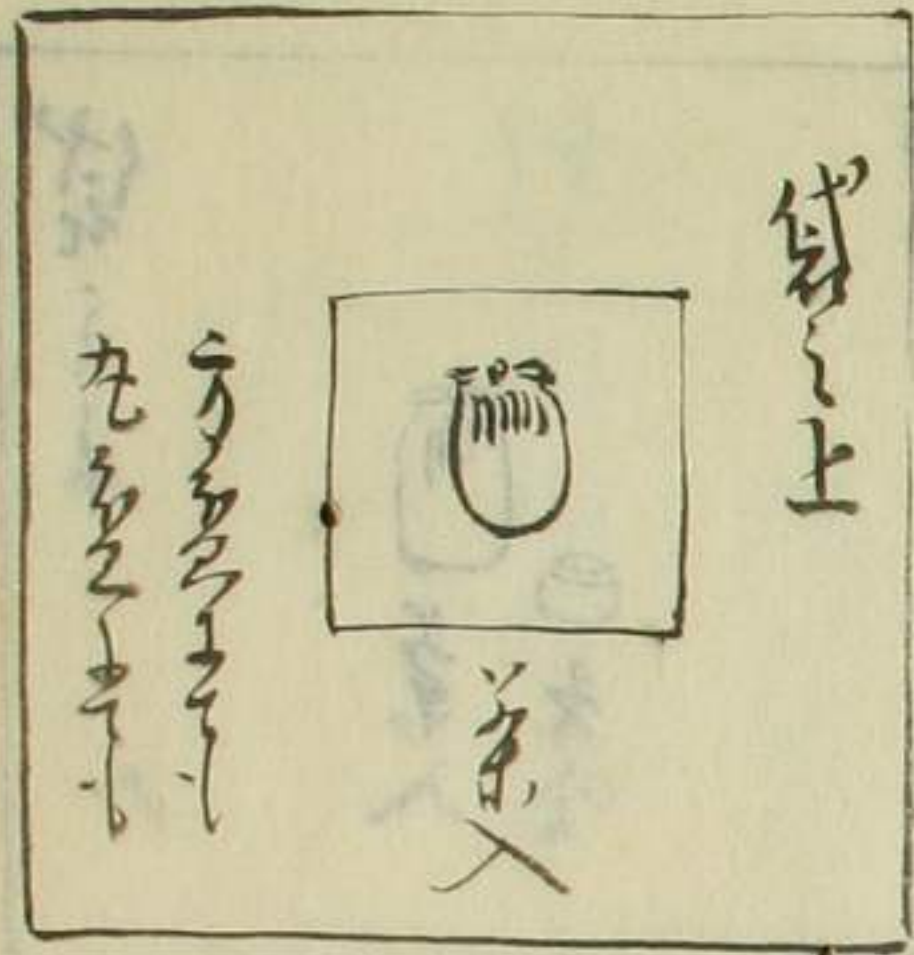
...

...

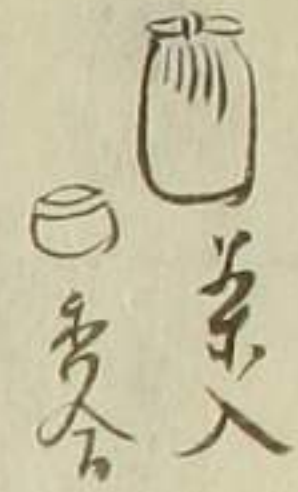


...

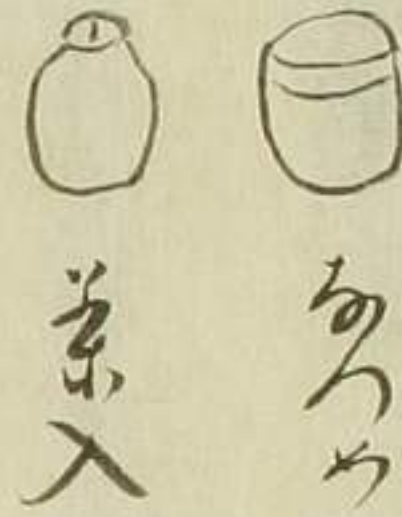
...



袋一



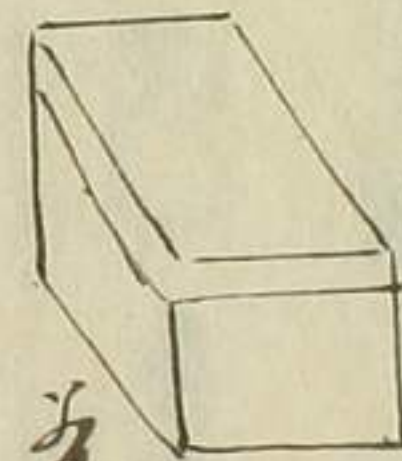
袋一



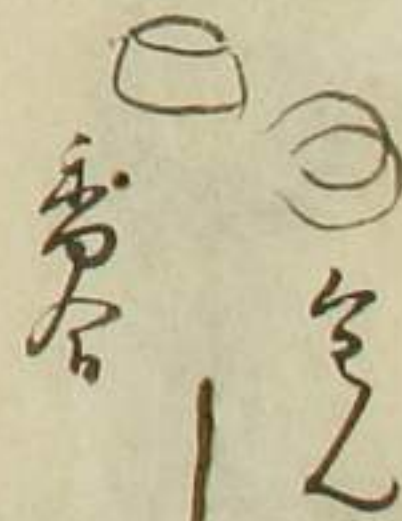
袋一



袋一



袋一



袋一

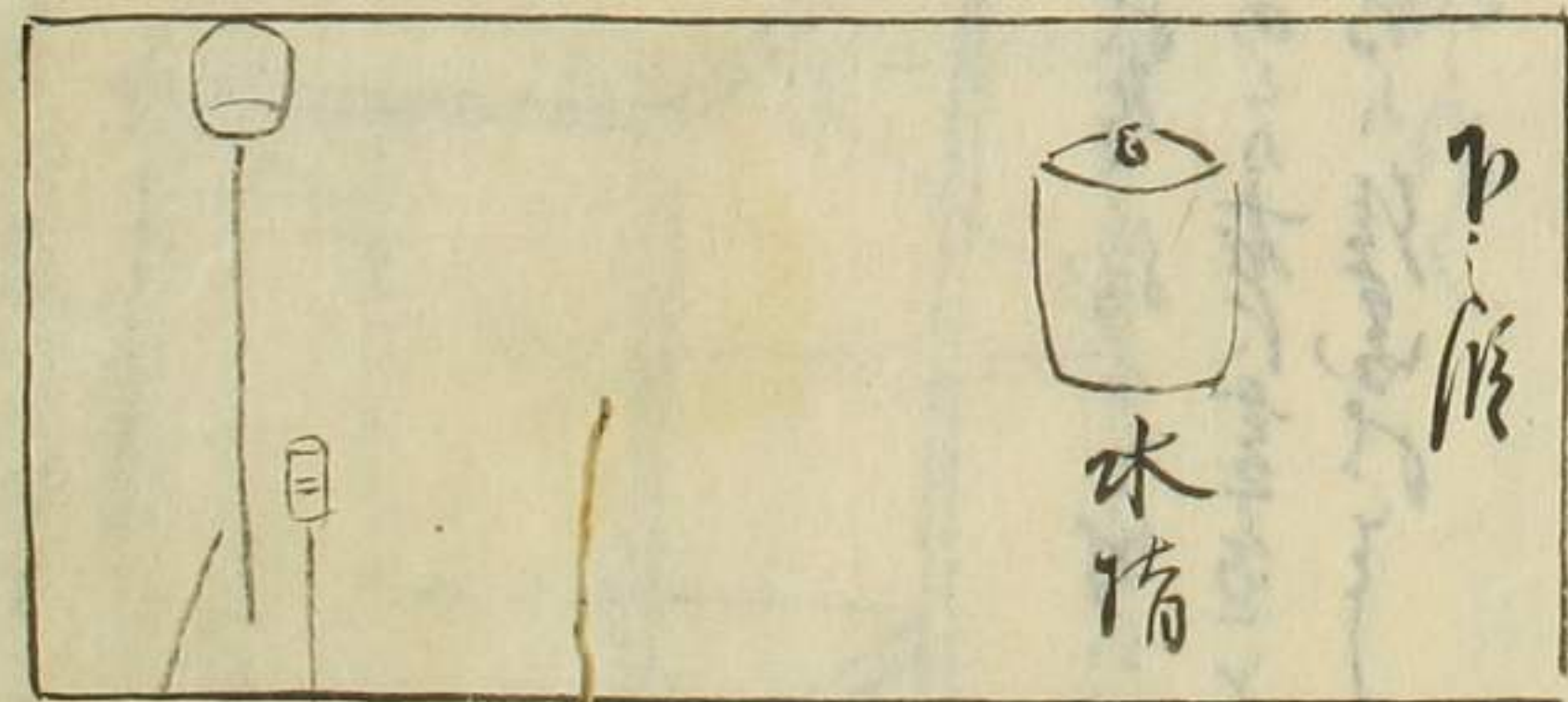
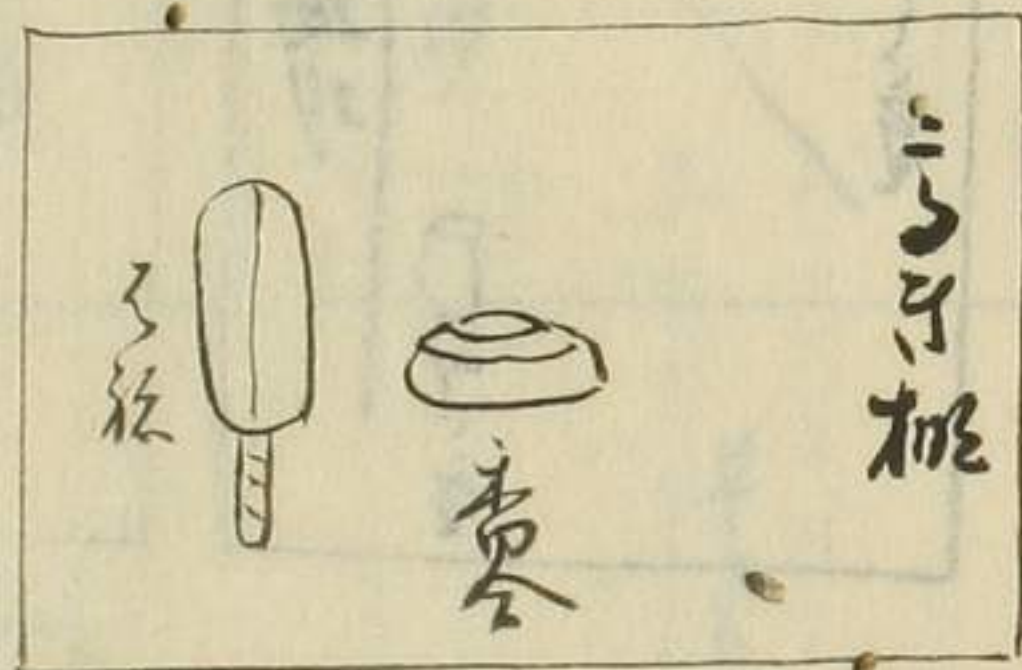
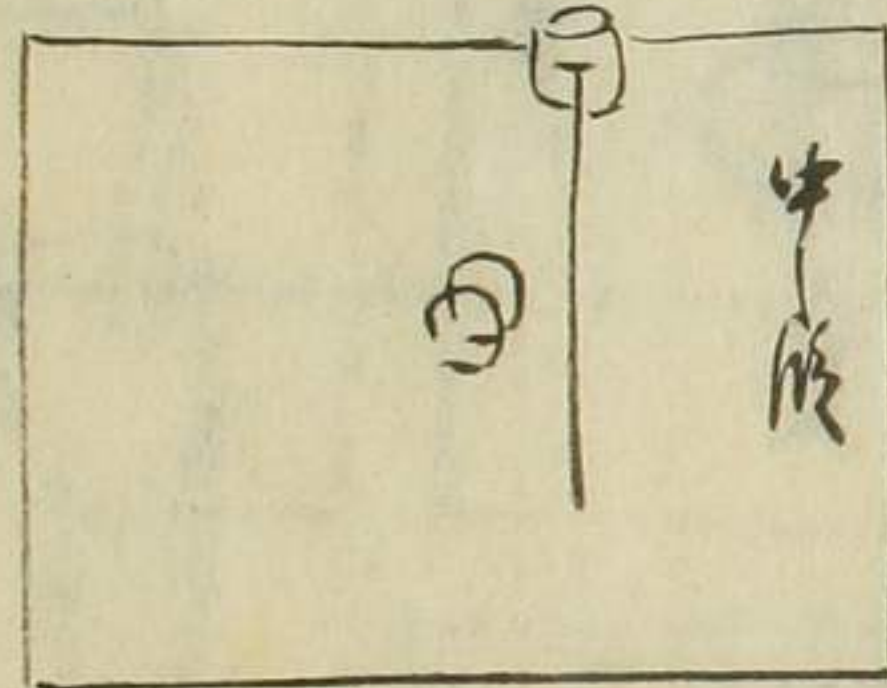


七

請齋云是子書十二日
遠極伊柳崎ノ口
茶入香合置合
侍ノ中書ニテ
茶入香合置合
小段齋ノ侍書ハ
方盤ノ茶入香合置合
高ノ何れハ

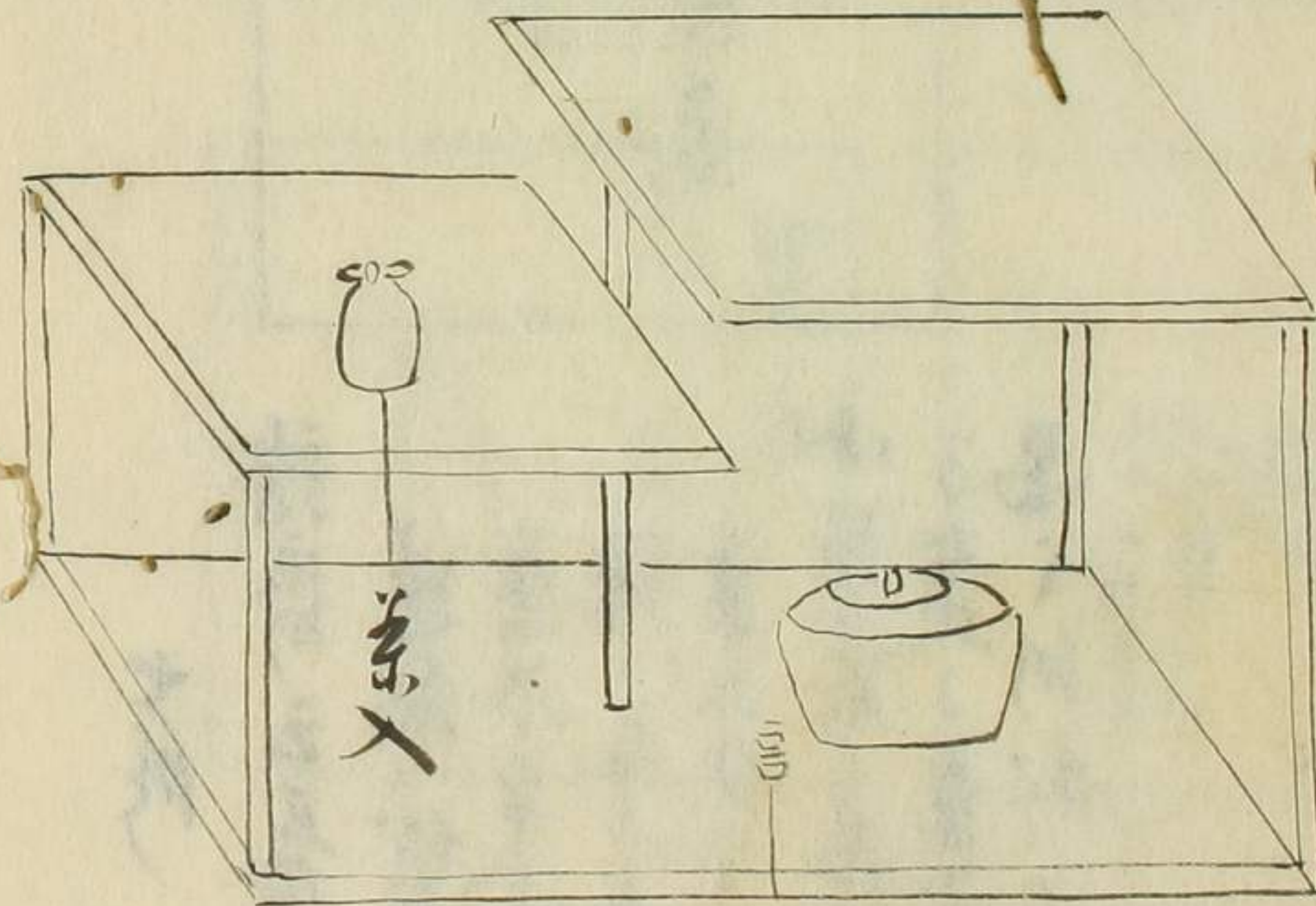


中入
茶碗
茶碗
茶碗
茶碗



茶碗
茶碗

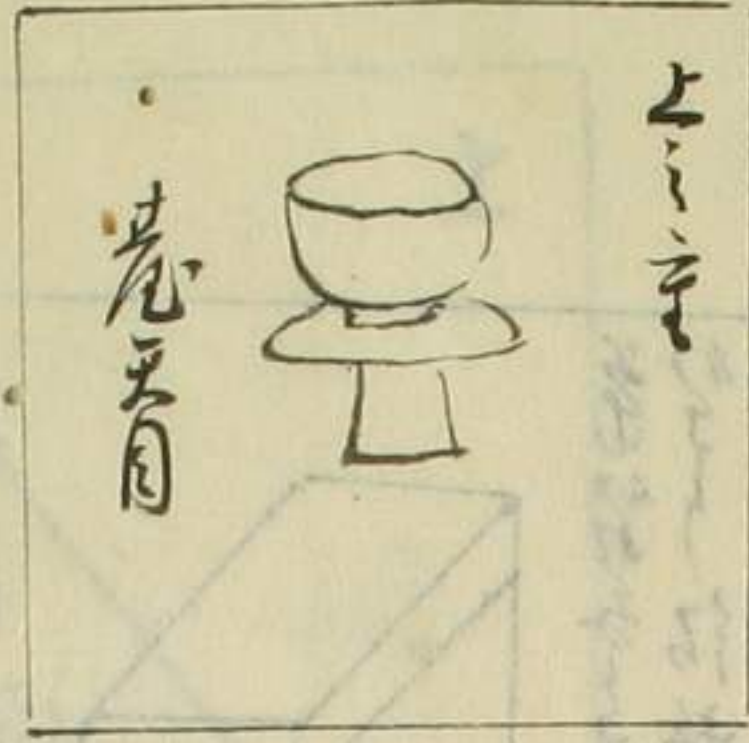
竹
水筒



水筒
水筒



中一守



上二守

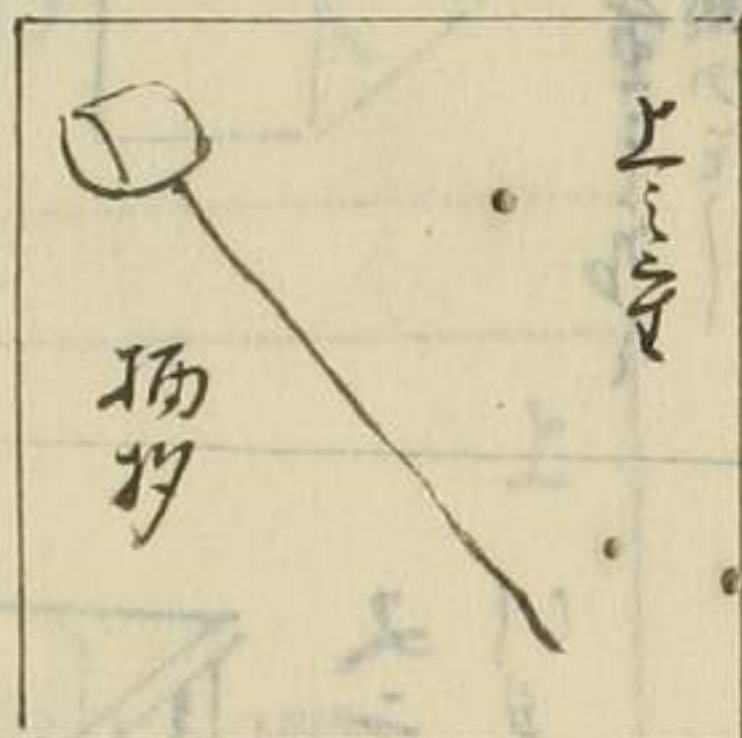
茶玉



中一守



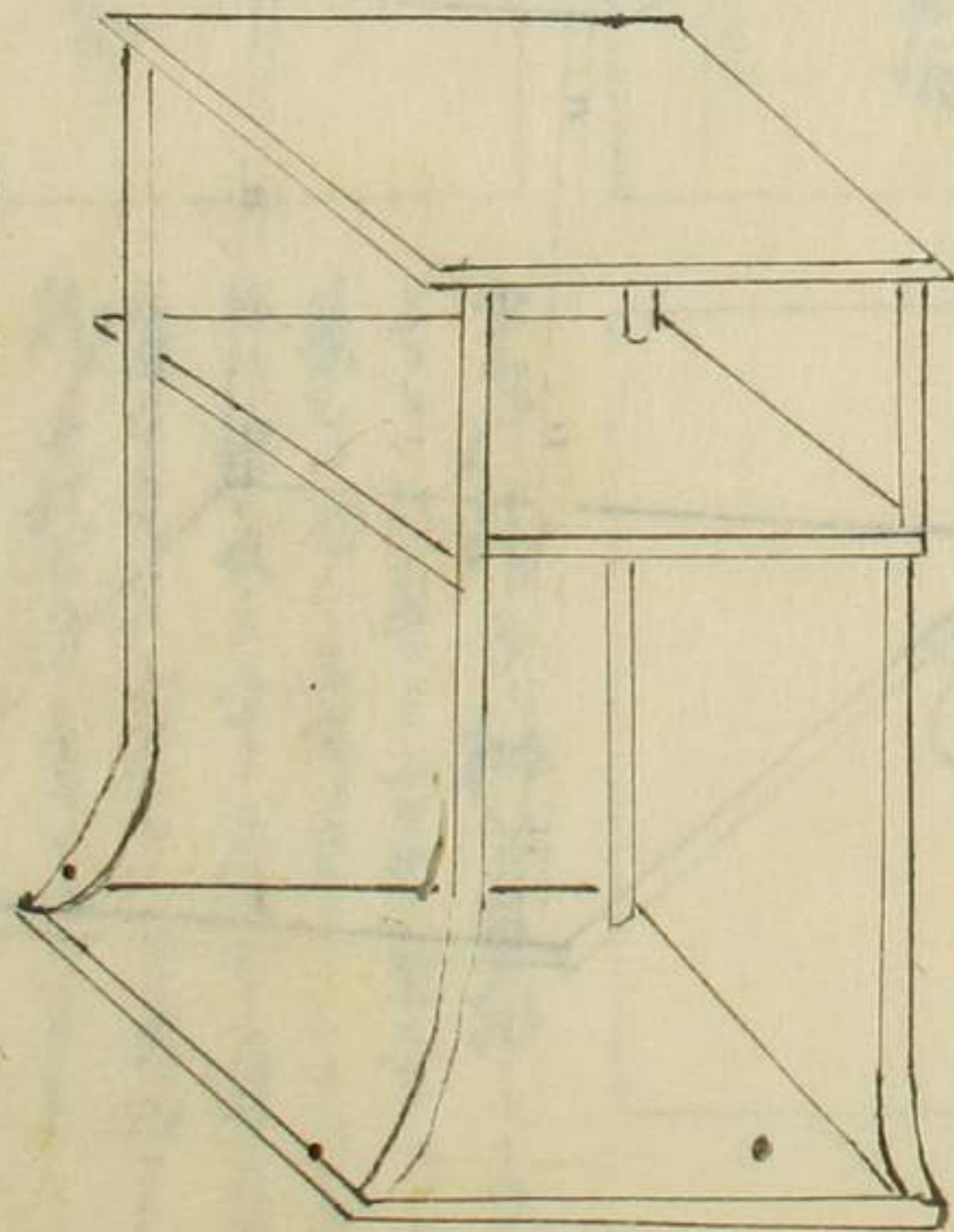
茶玉



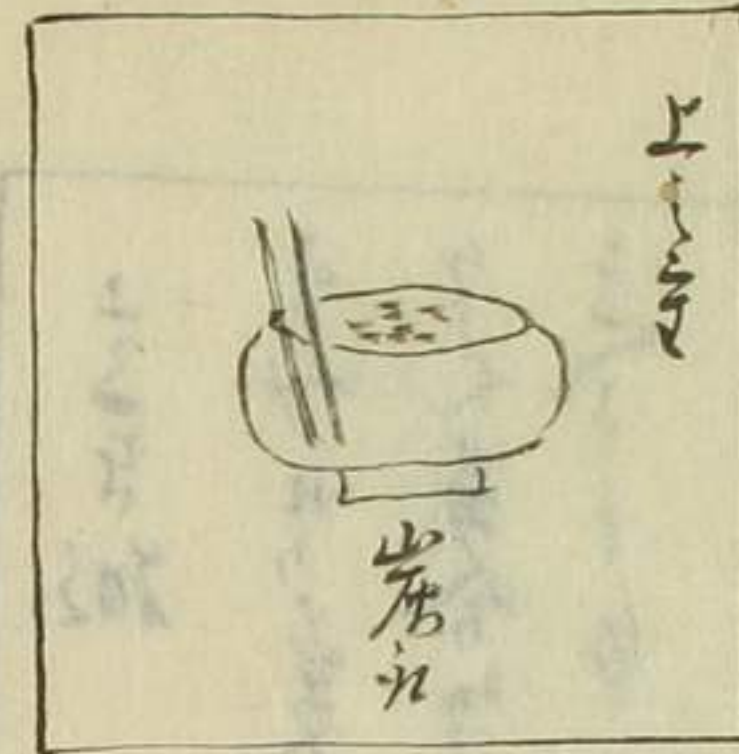
上二守

茶匙

茶箱は、茶玉を置く箱で、茶匙は、茶玉を茶碗に入れるための道具である。

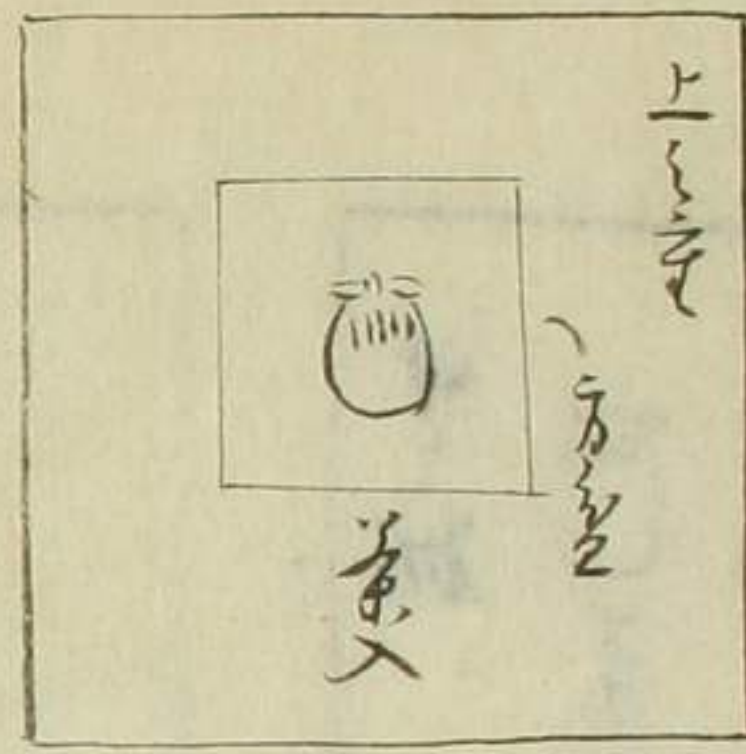


茶箱の作り



上二守

茶碗



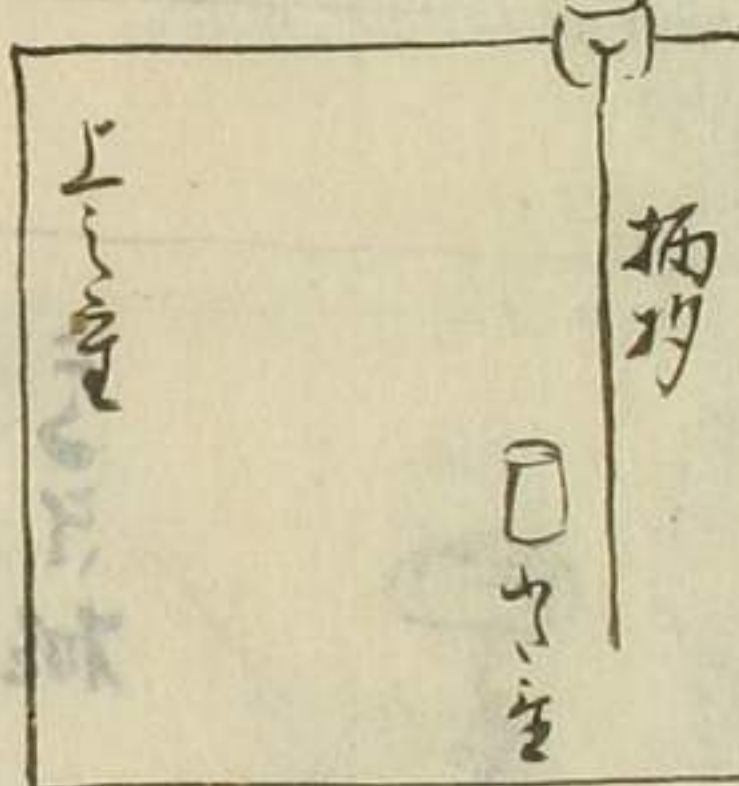
上二守

茶入



上二守

茶入



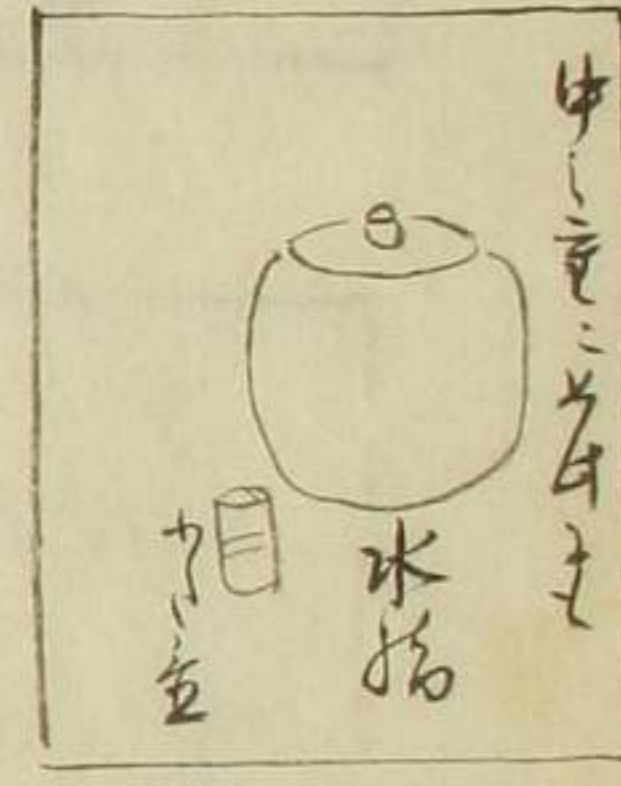
茶匙

上二守



上二守

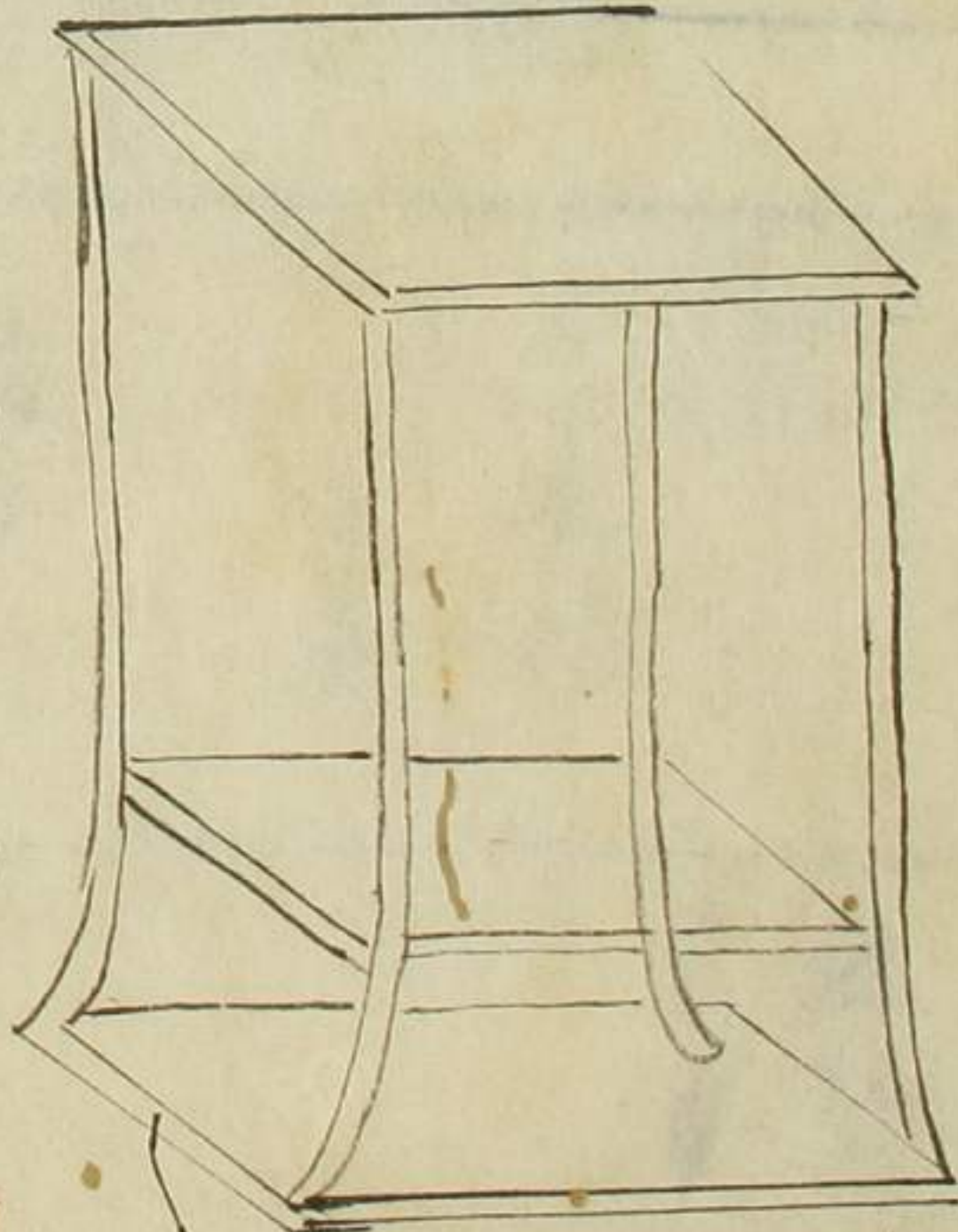
茶入



中一守

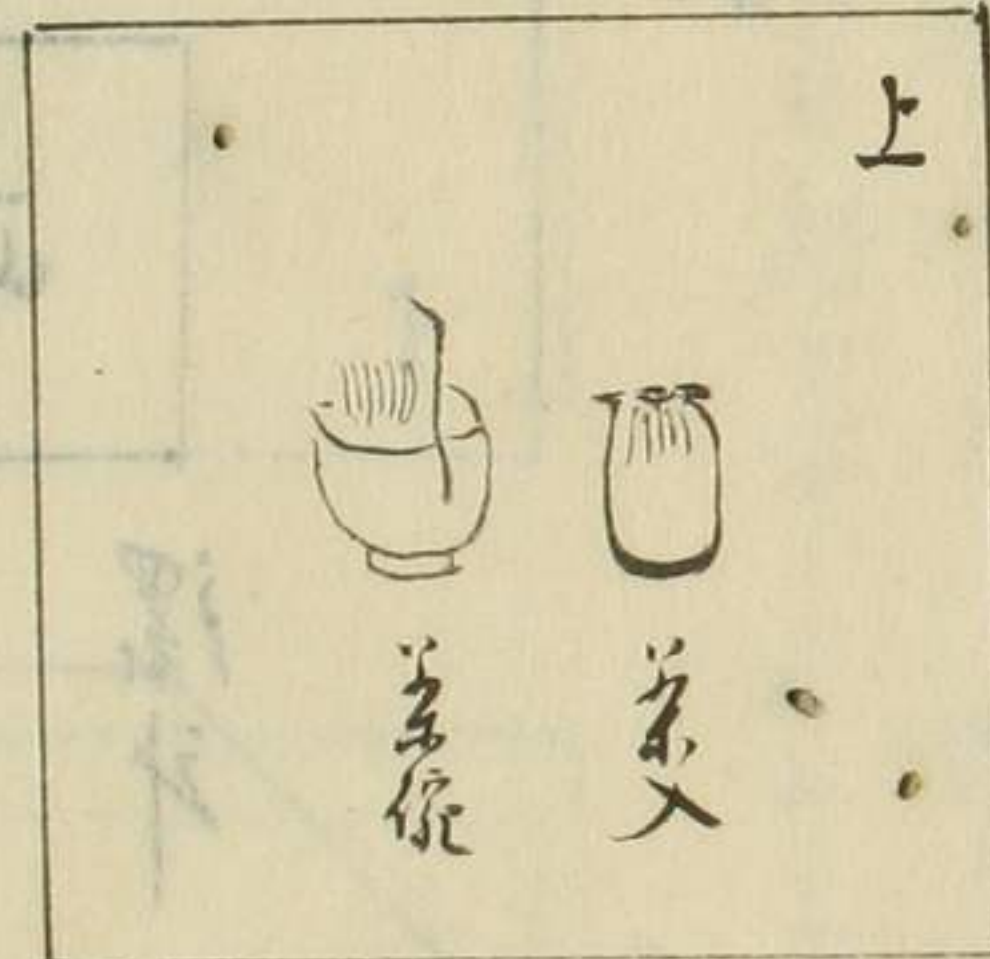
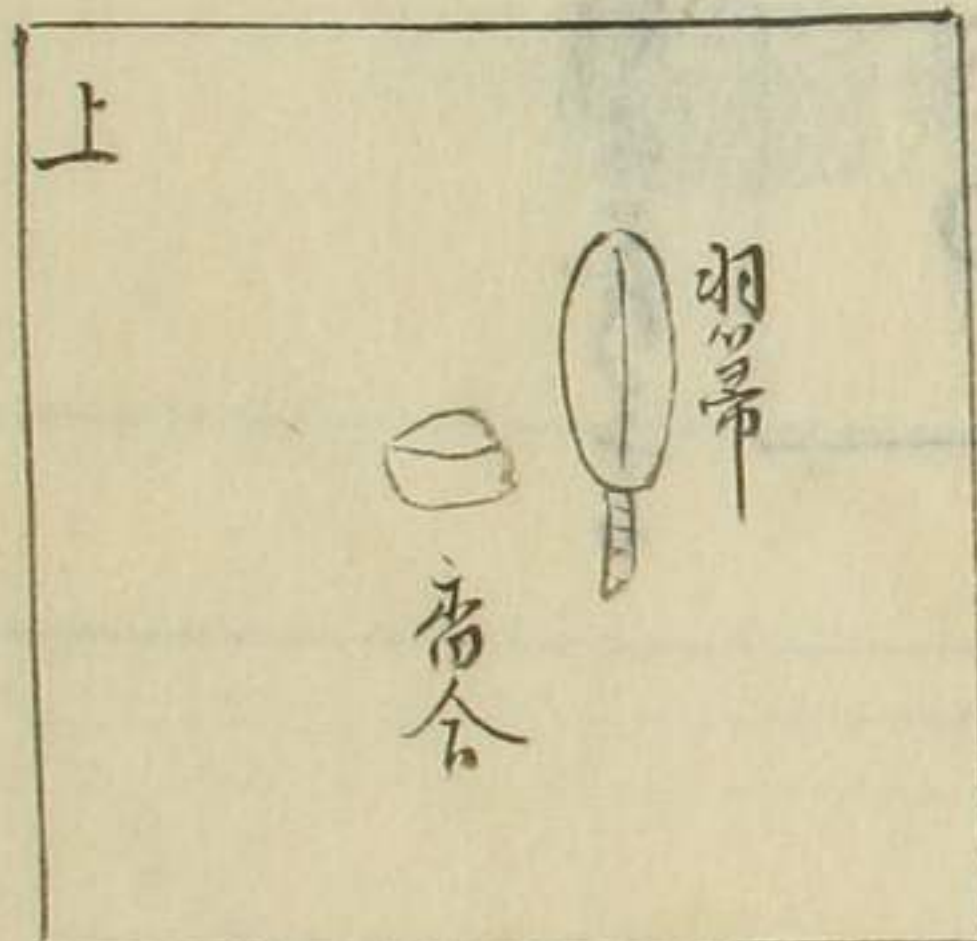
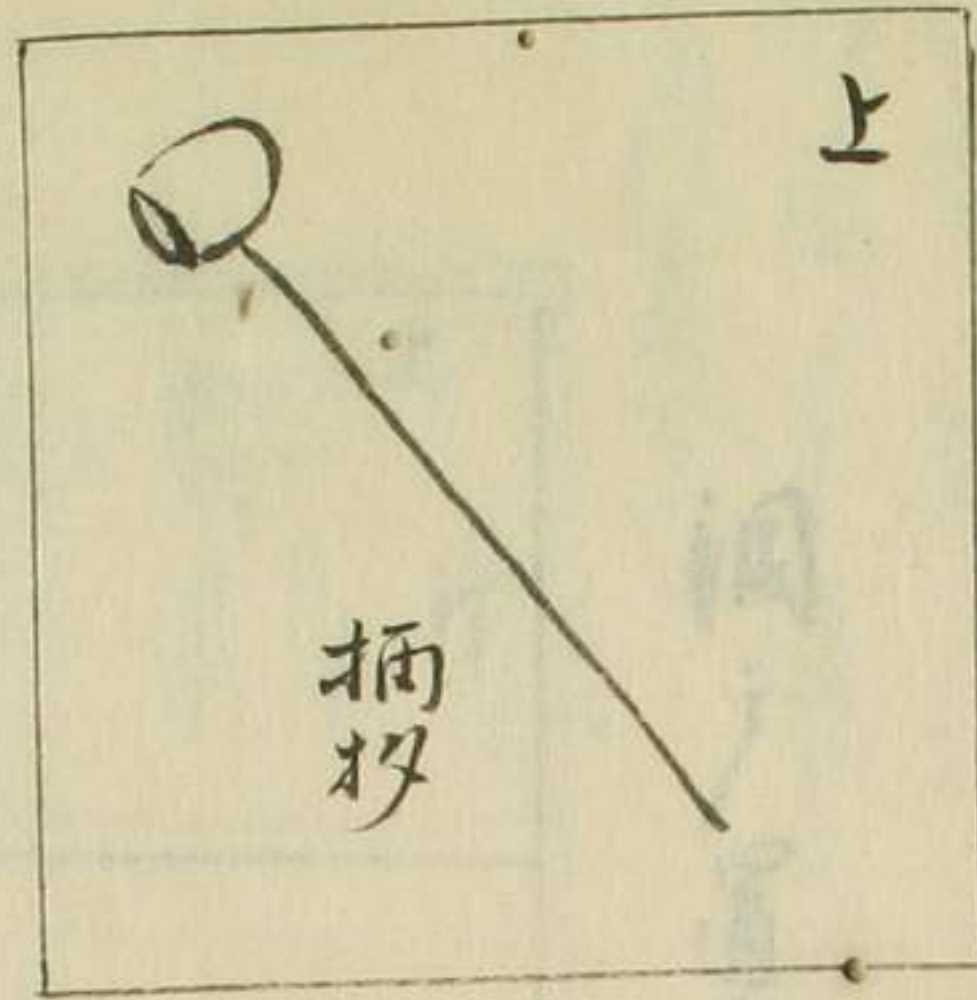
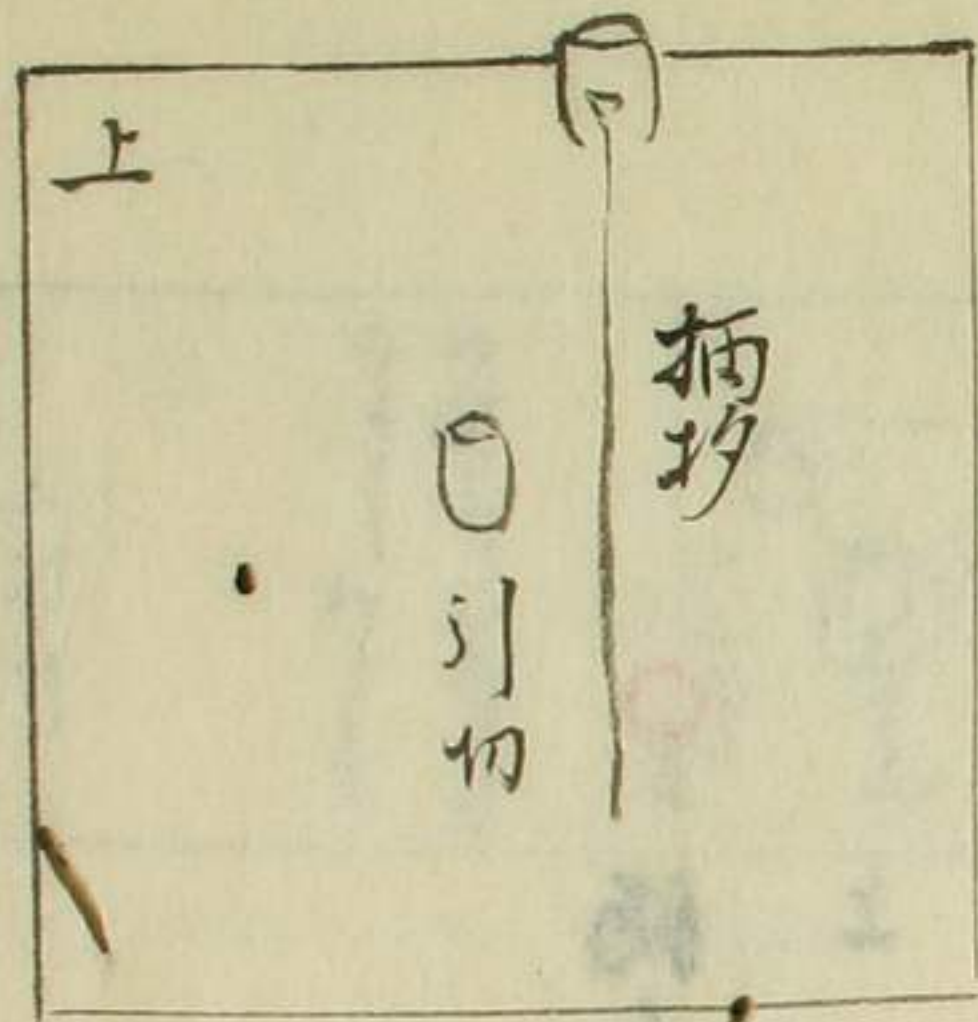
茶入

茶箱は、茶玉を置く箱で、茶匙は、茶玉を茶碗に入れるための道具である。

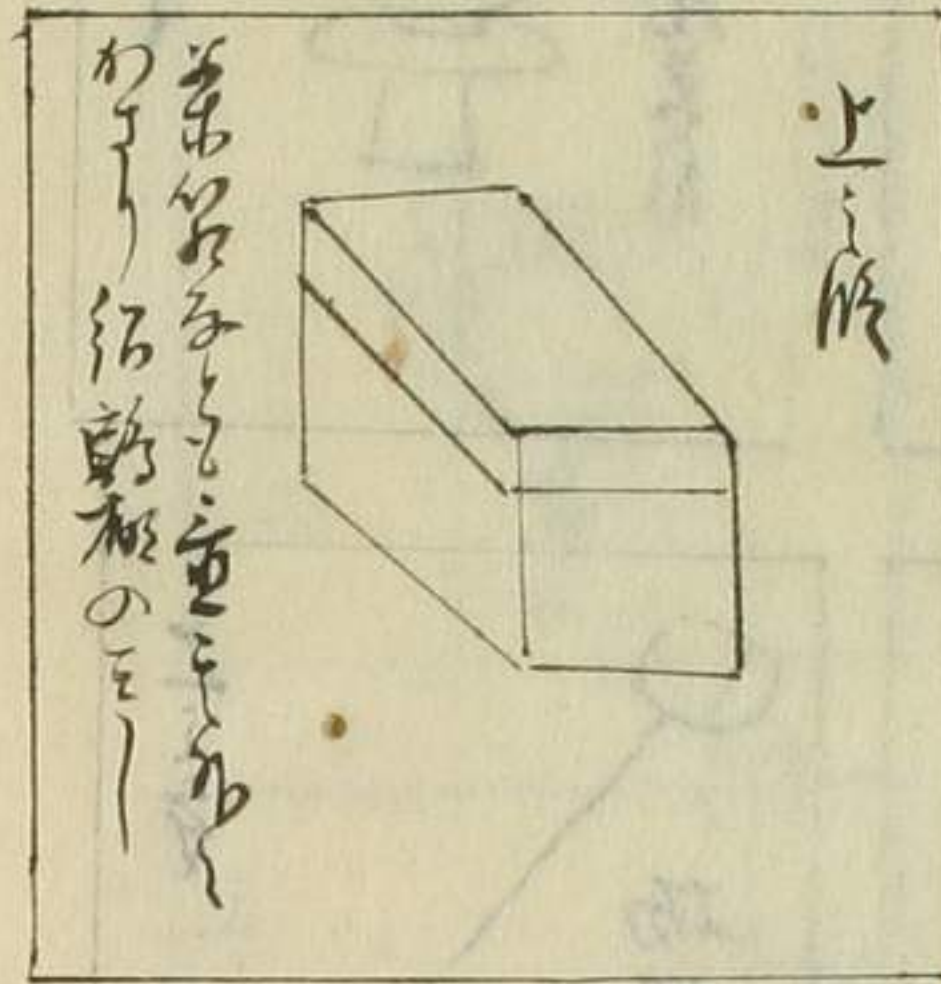
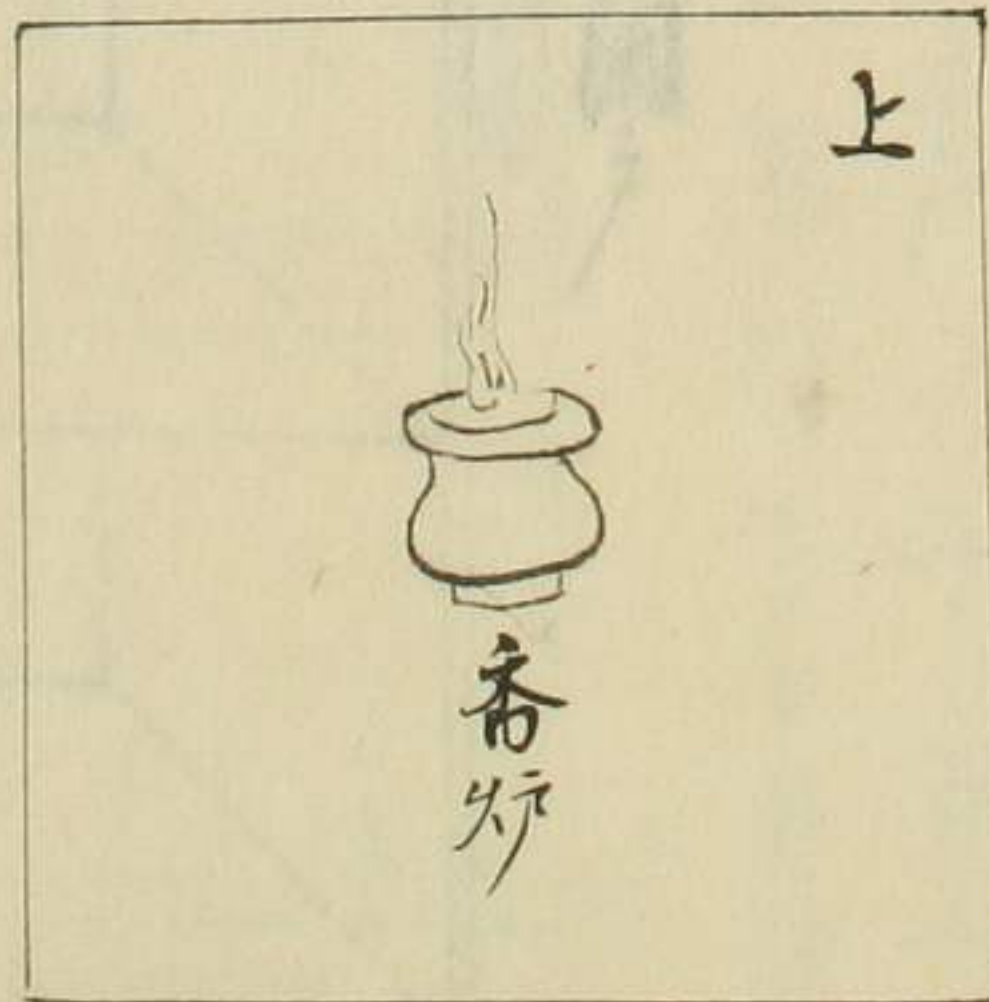


茶箱の作り

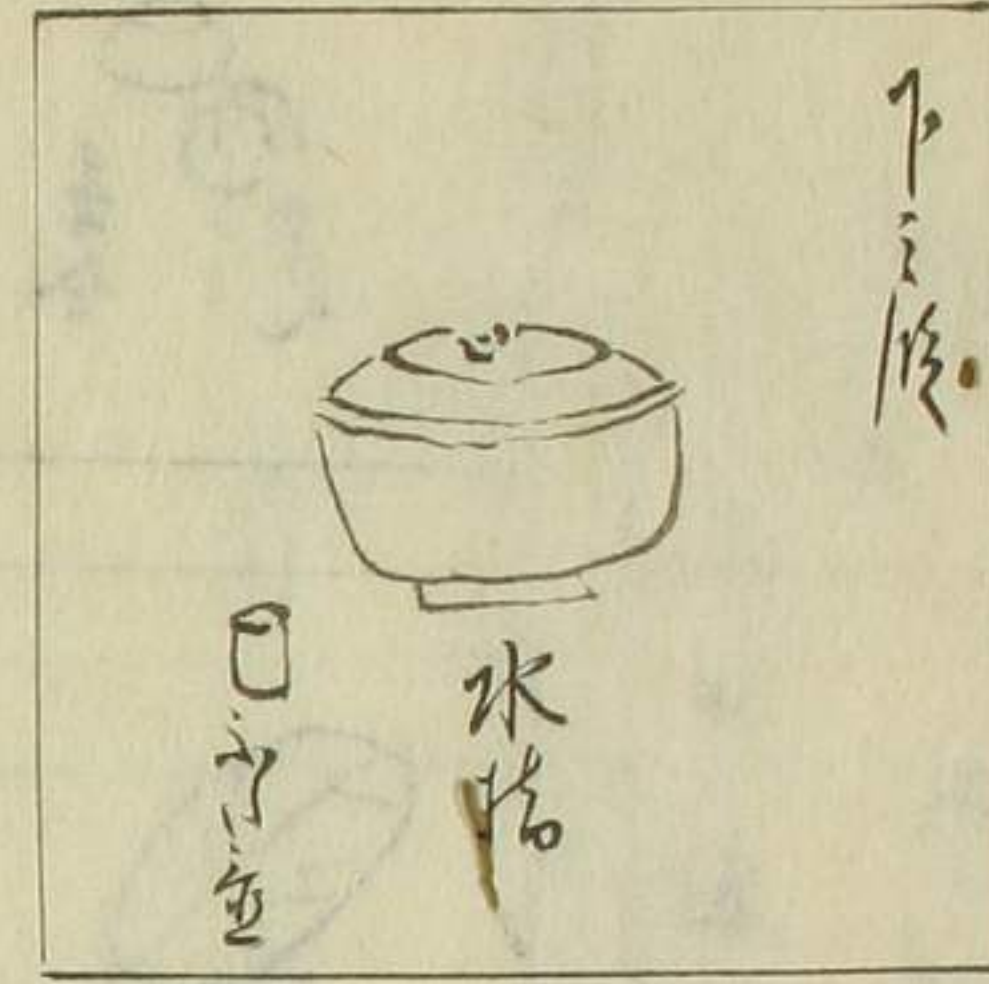
茶箱の作り



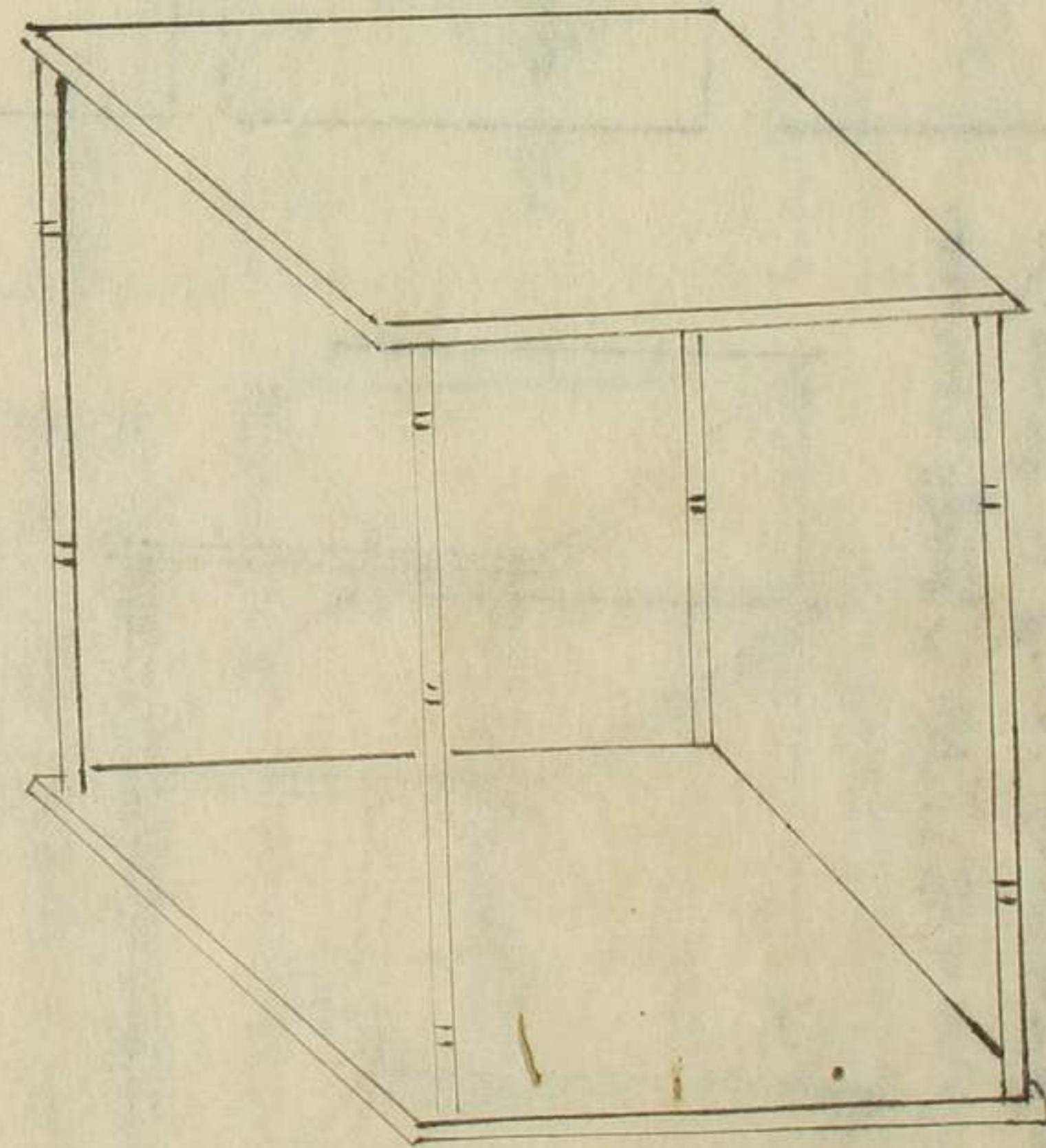
此舟形は柄杓と魚柄の二つ
 長きゆと字ノ尺一ノ方ニ並
 べしと申す中ニ此舟形ノ大
 小は舟ノ大者ニ並べしと申す
 舟ノ大者ニ並べしと申す



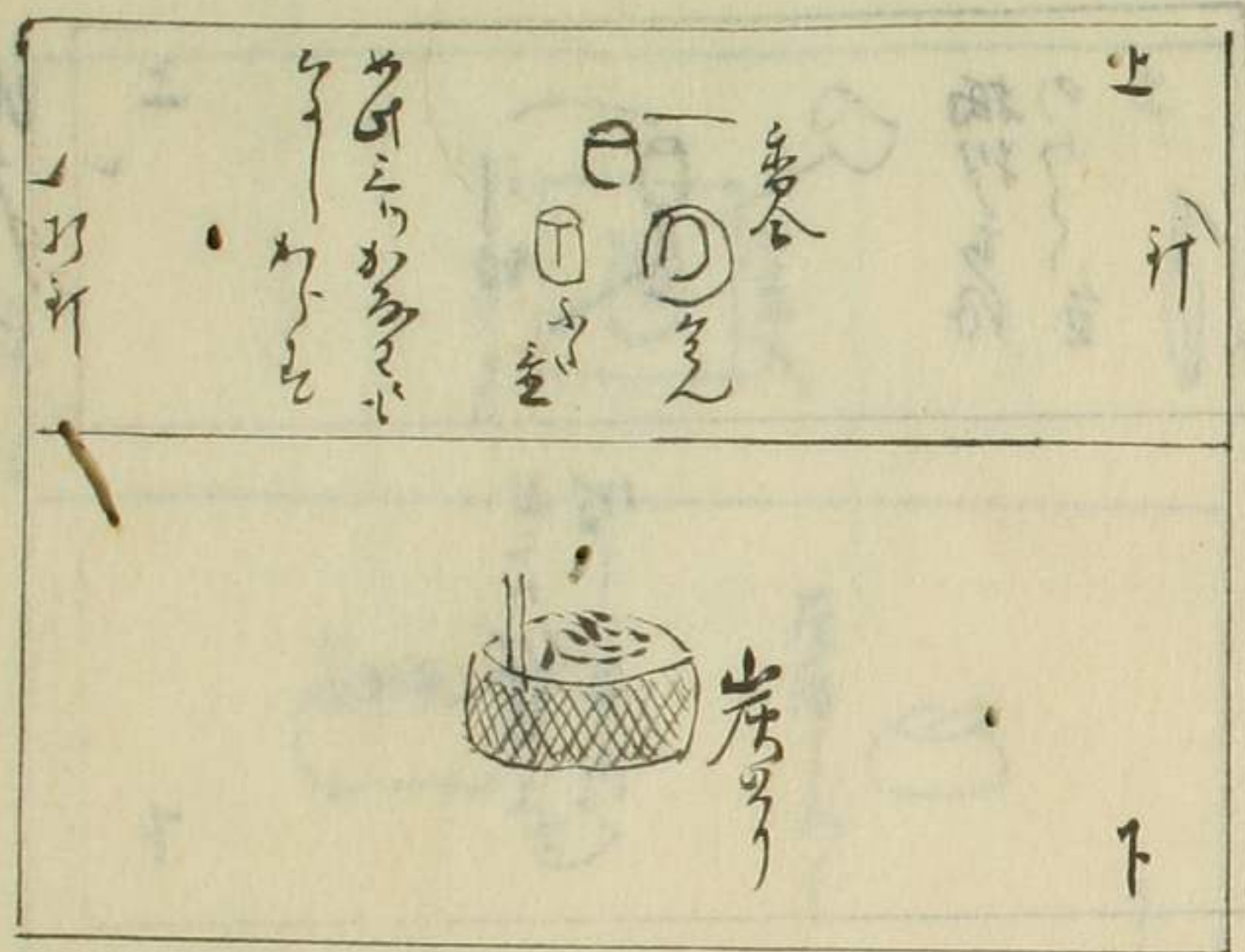
箱は舟ノ大者ニ並べしと申す
 舟ノ大者ニ並べしと申す



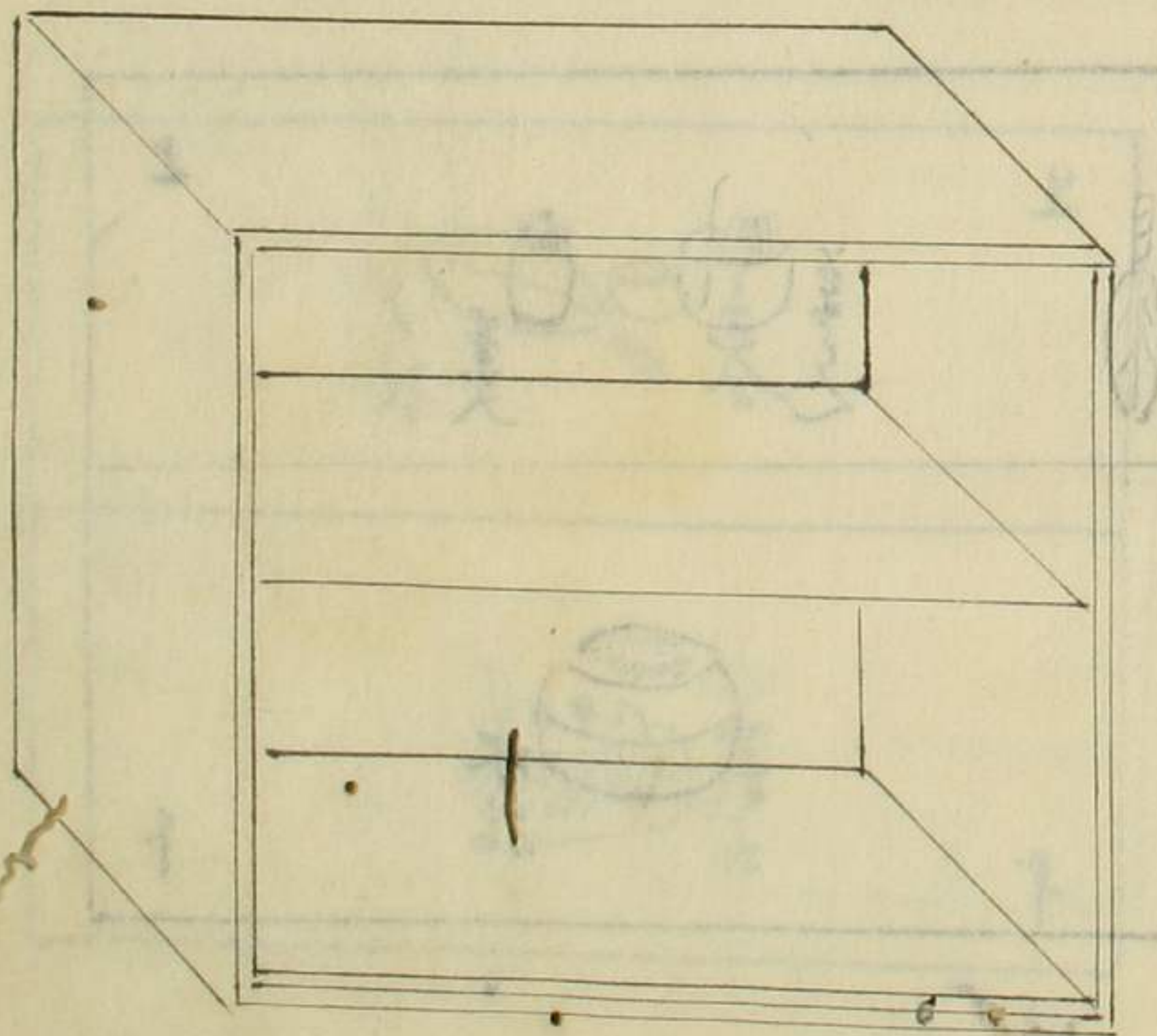
又此舟形は舟ノ大者ニ並べしと申す
 舟ノ大者ニ並べしと申す



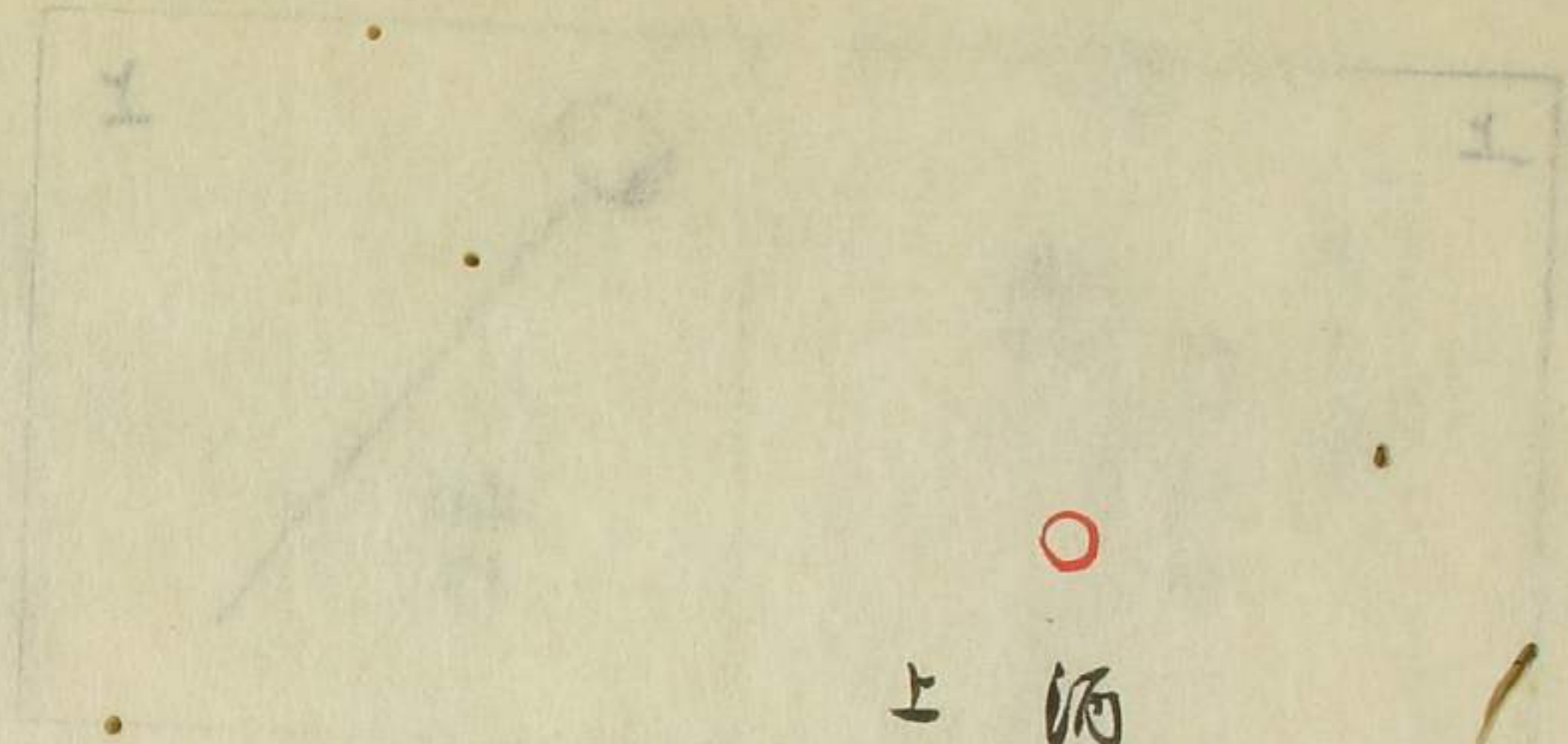
此舟形は舟ノ大者ニ並べしと申す



洞戸置合



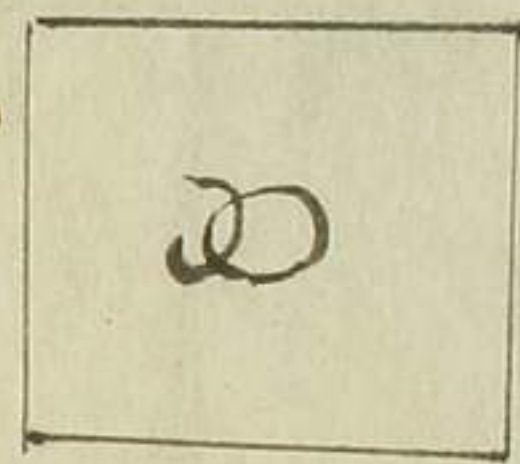
洞



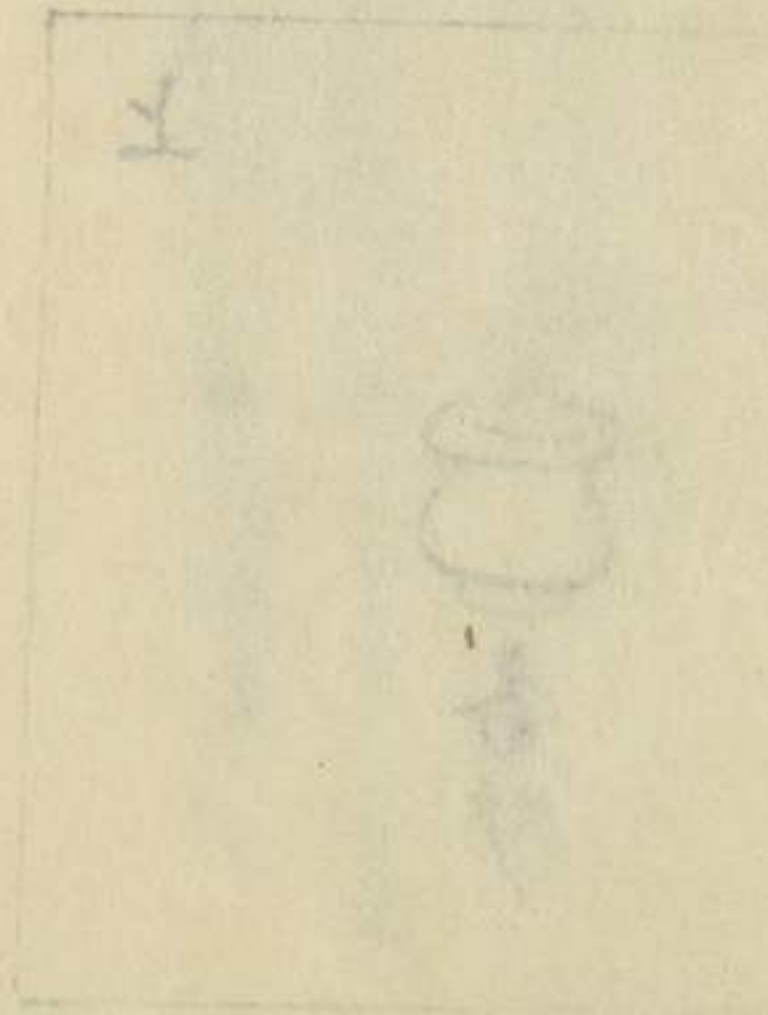
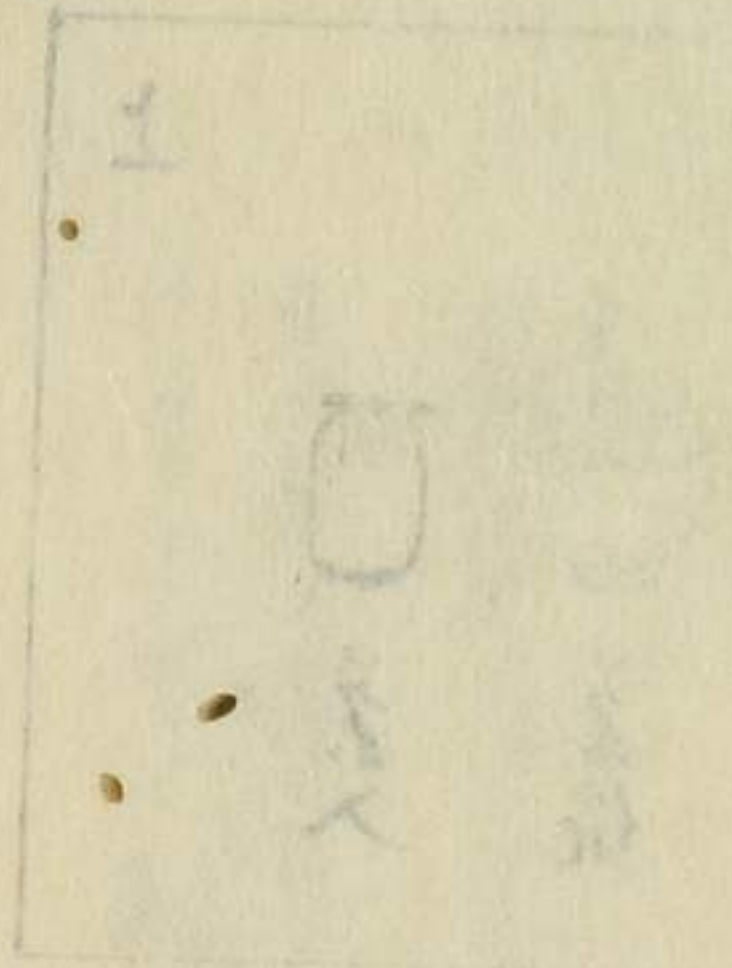
○

酒白列之形

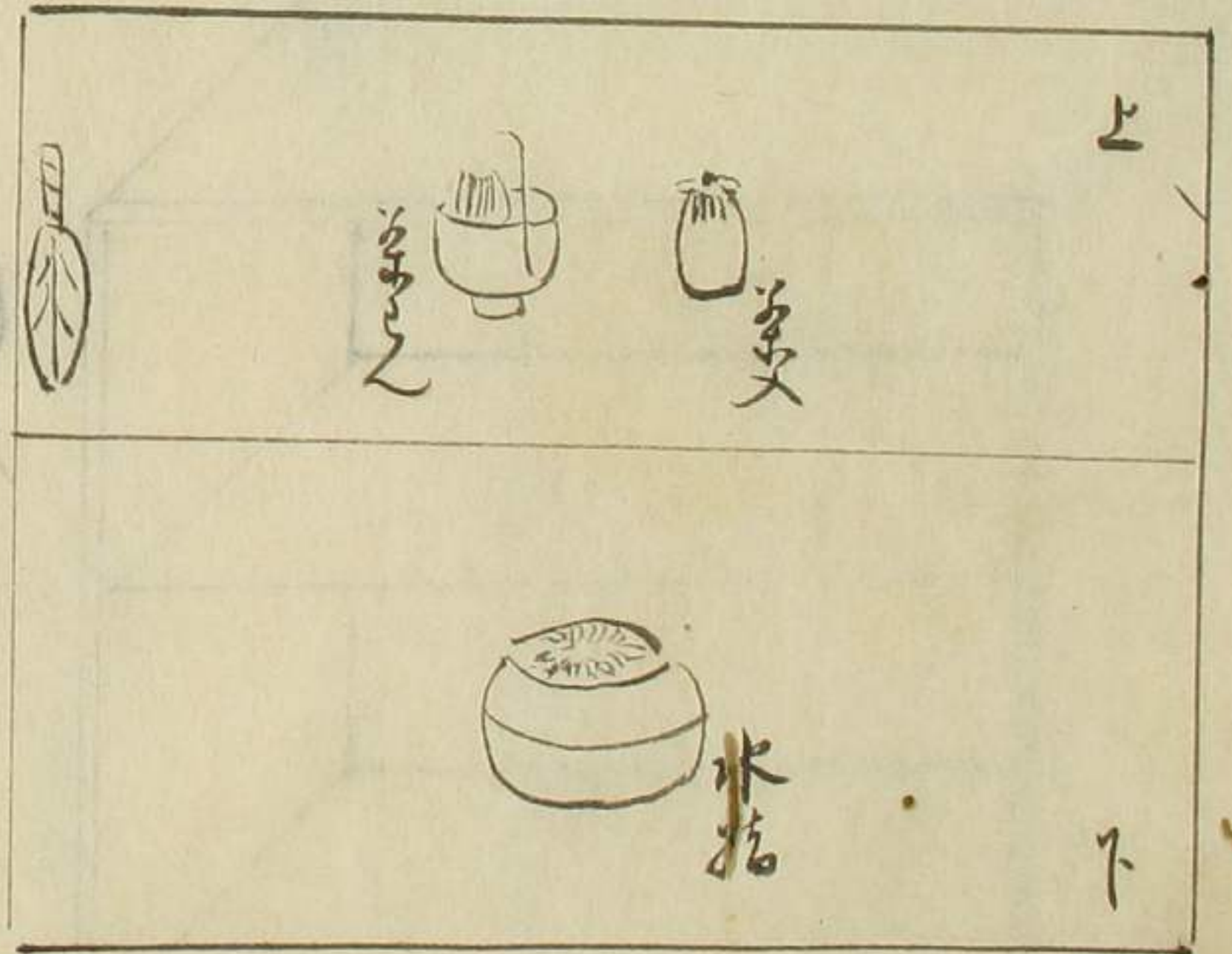
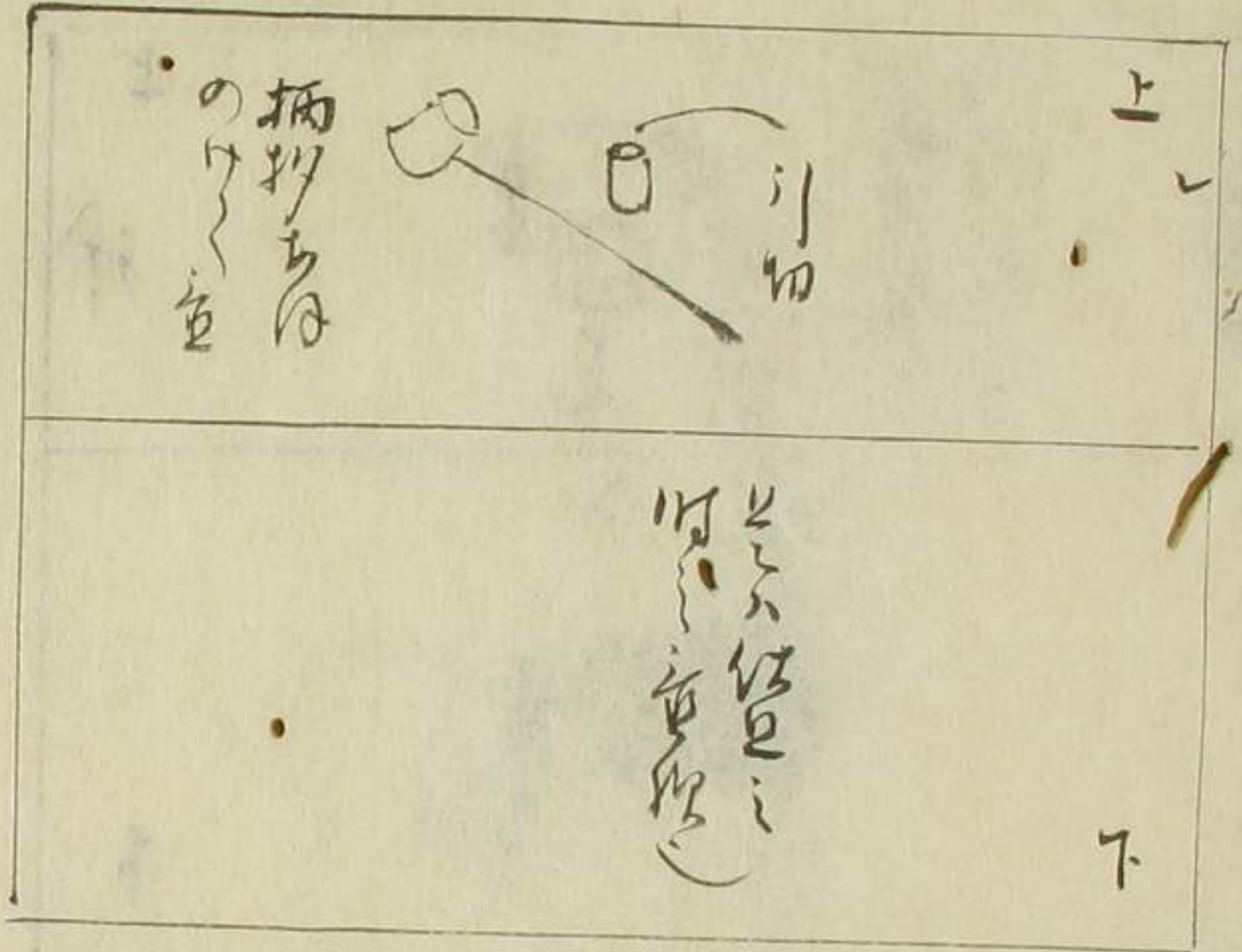
上



深斗

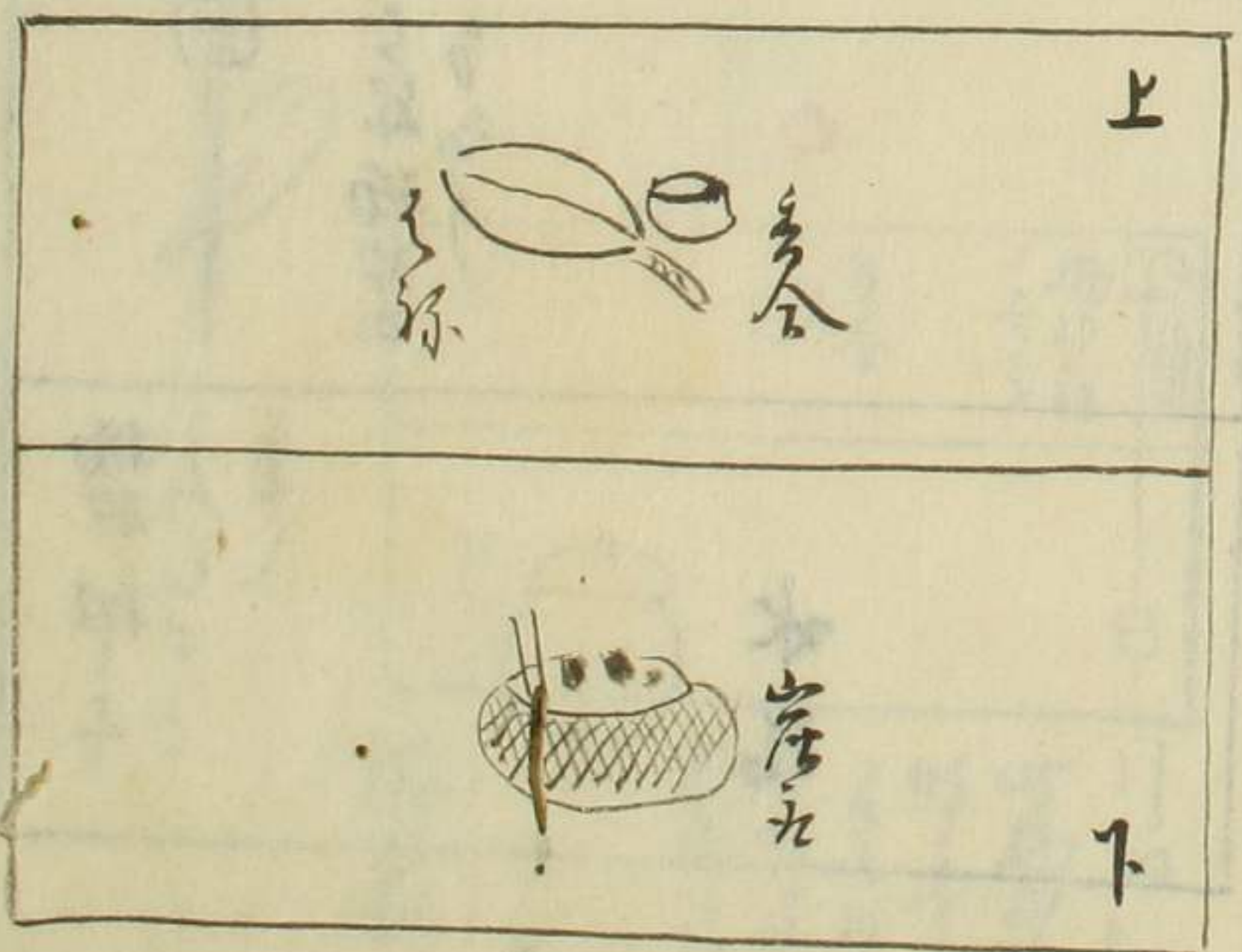
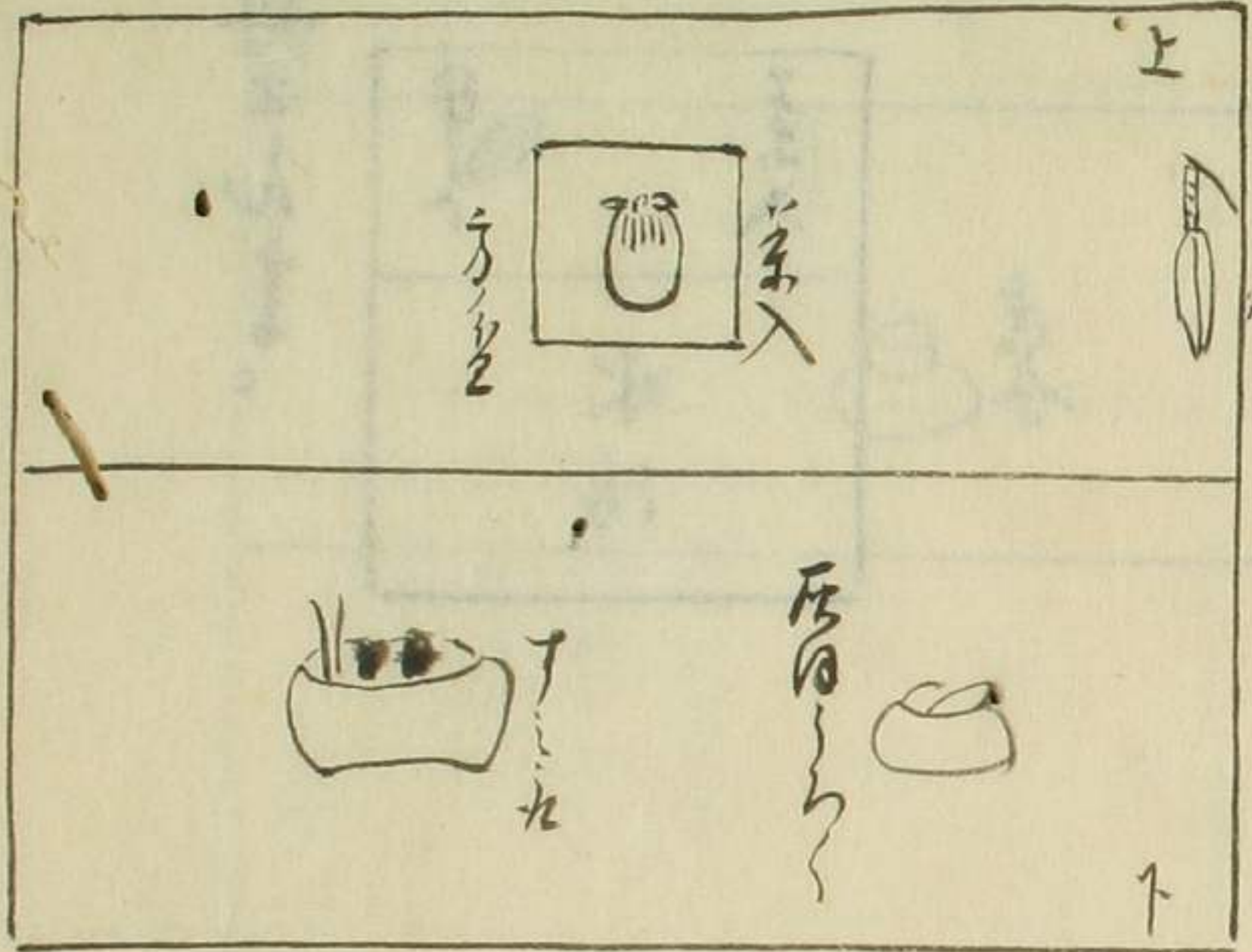


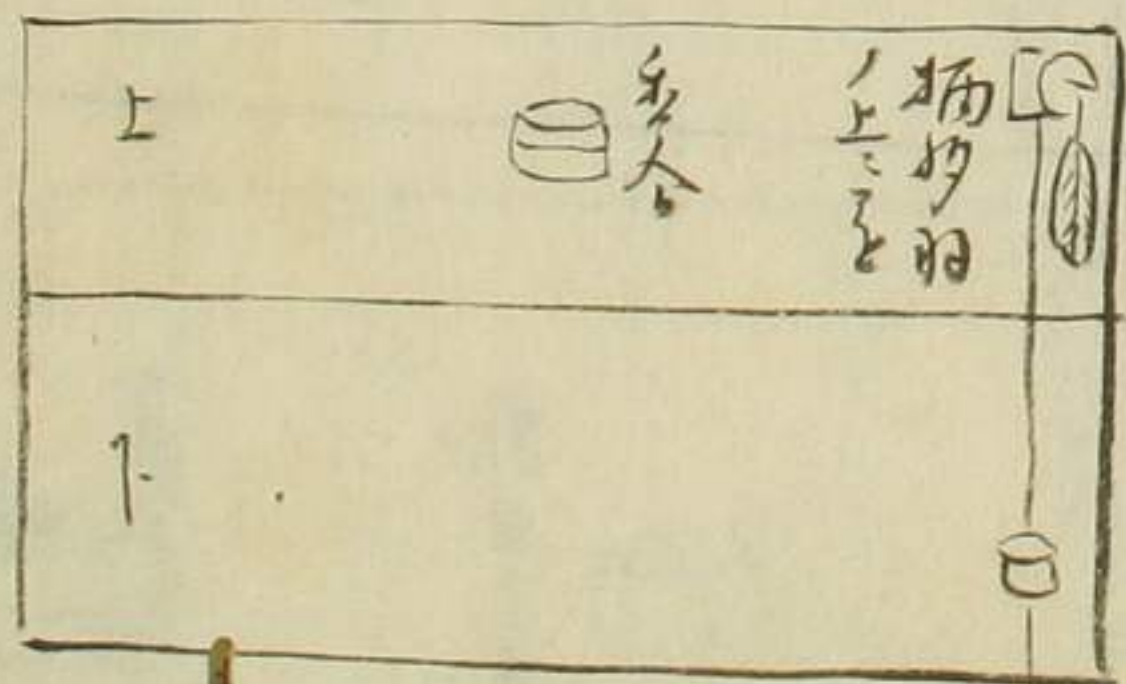
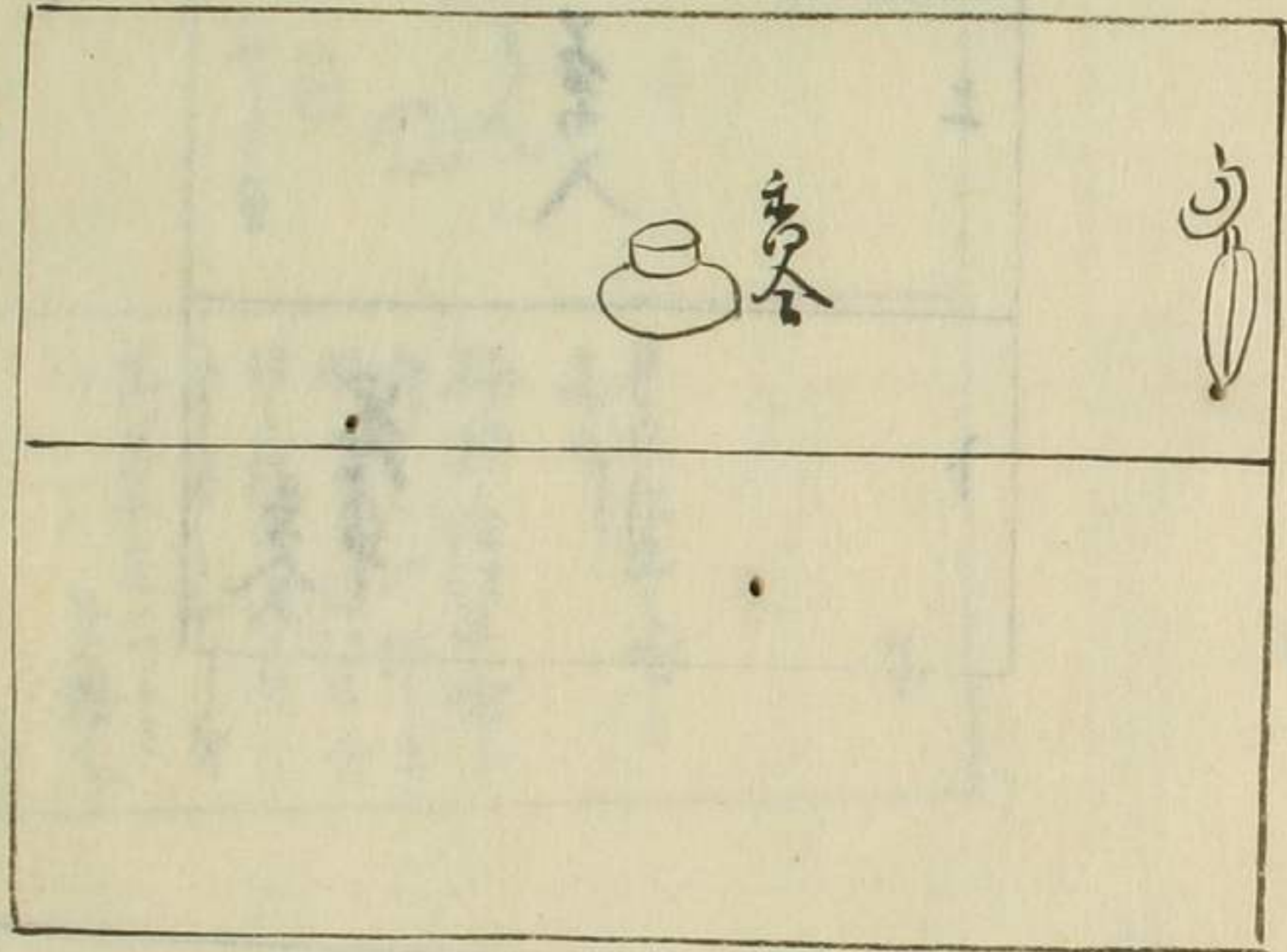
洞ノ置合



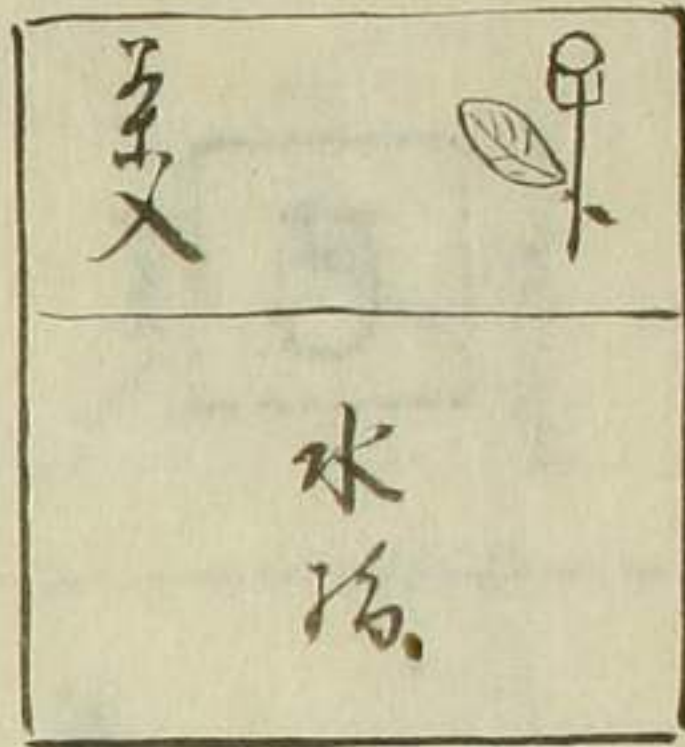
○ 沼子母ろろん牛

道中^の日居た方居月^の流^るて^る色^上
 柳^の河^の下^の道^の日^の下^の金^の母^の牛^の
 牛^の母^の牛^の牛^の

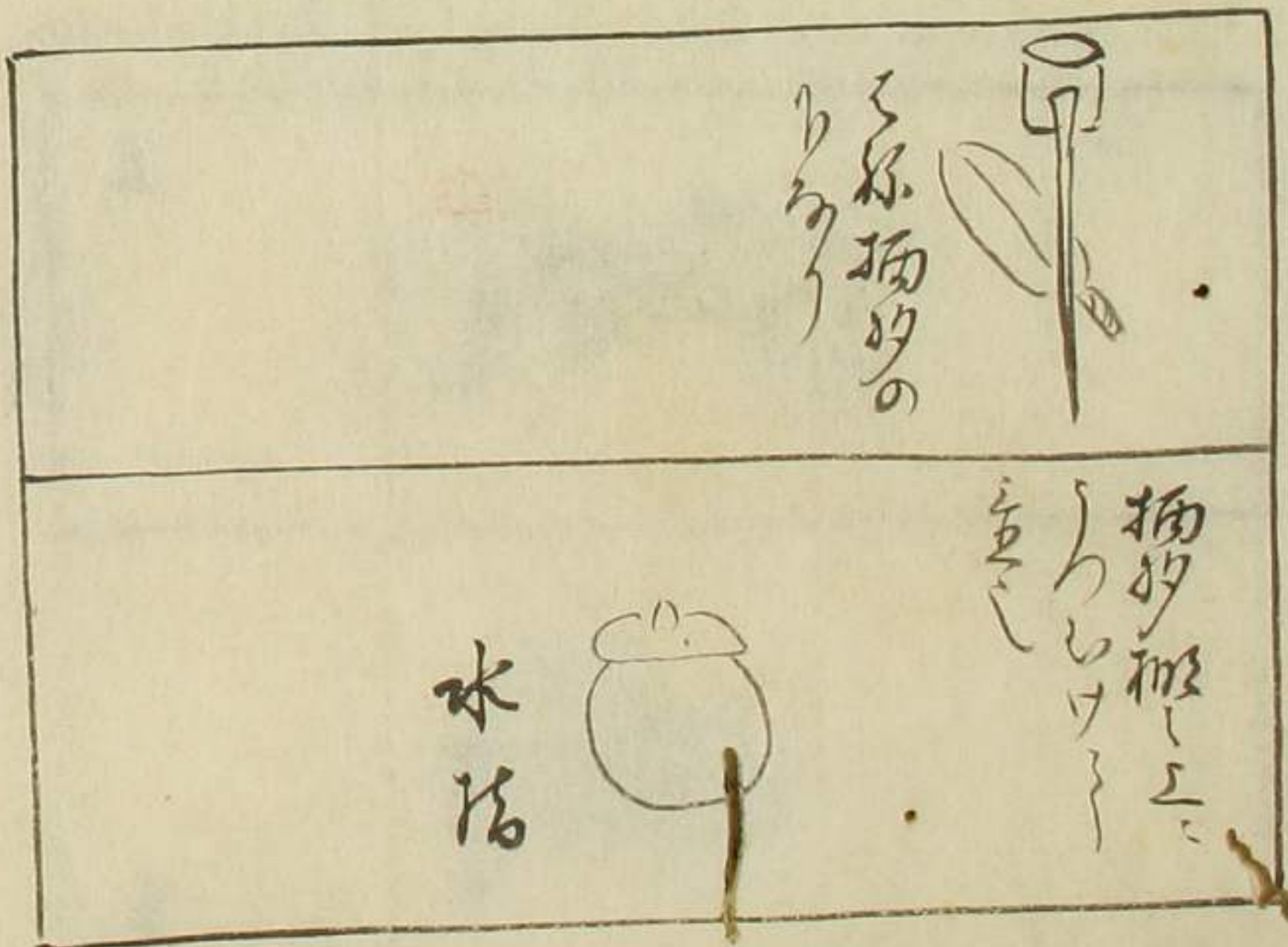




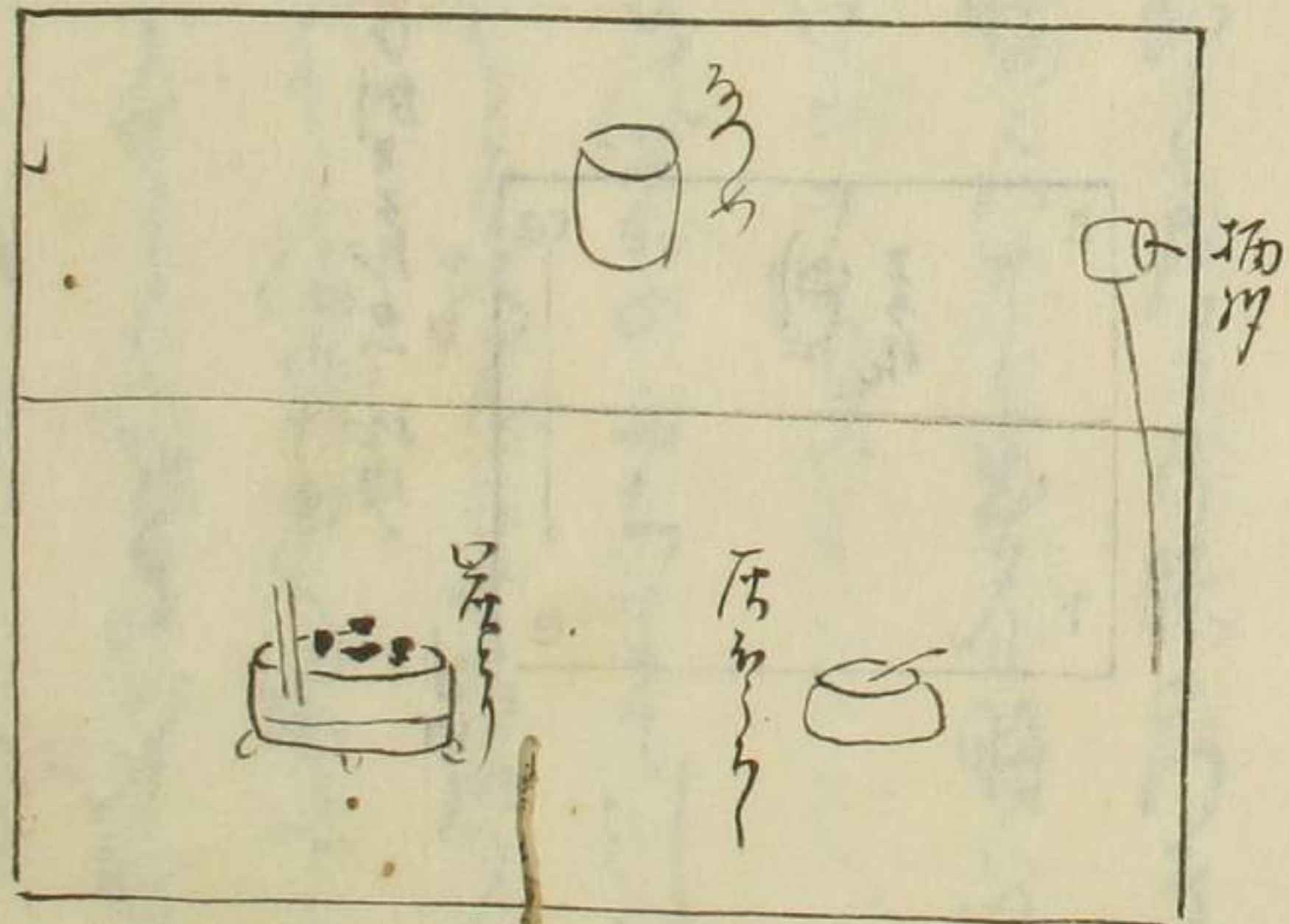
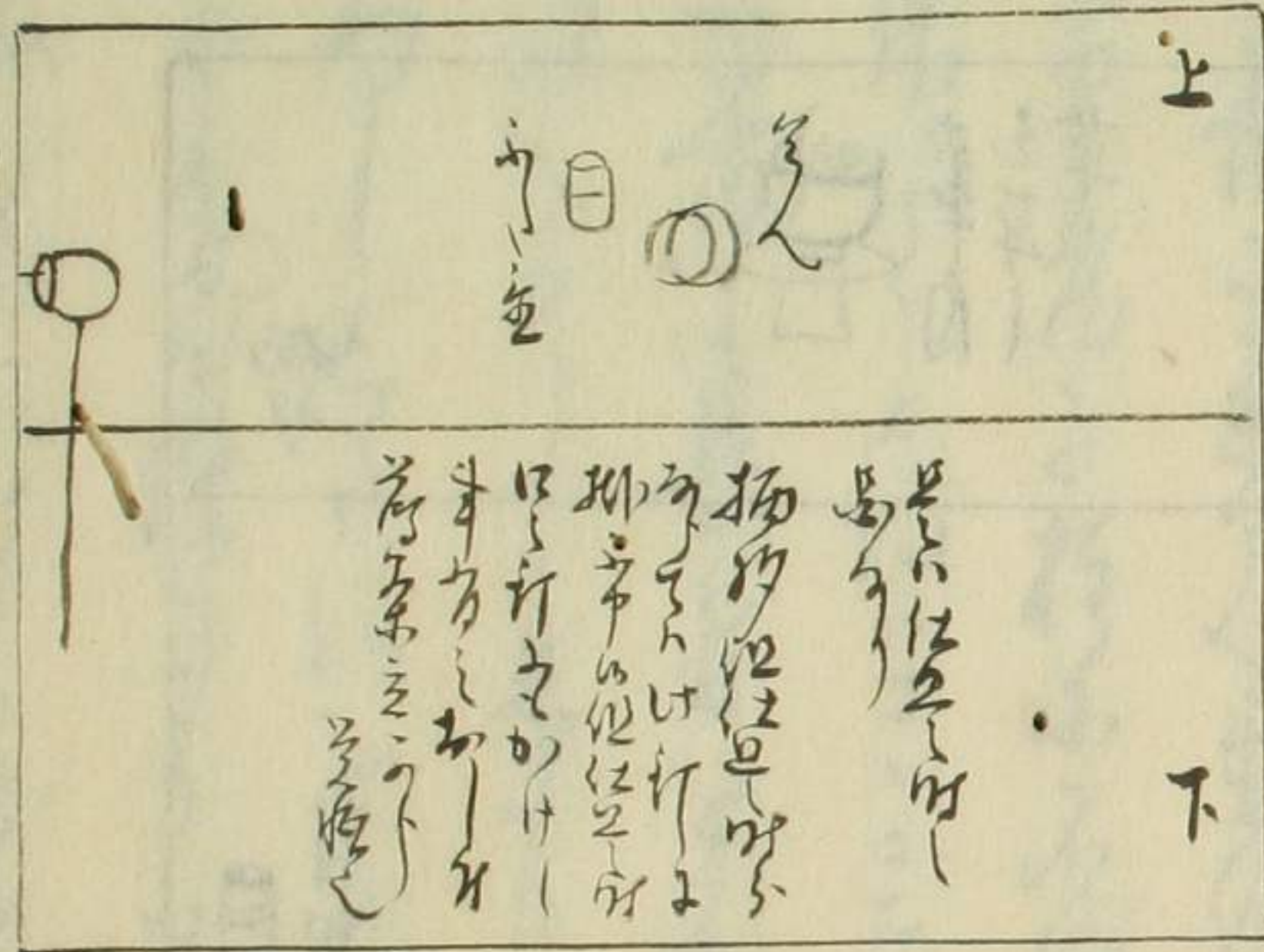
川切
 此物多分
 下多分
 上多分
 多分
 多分



○ 沼田

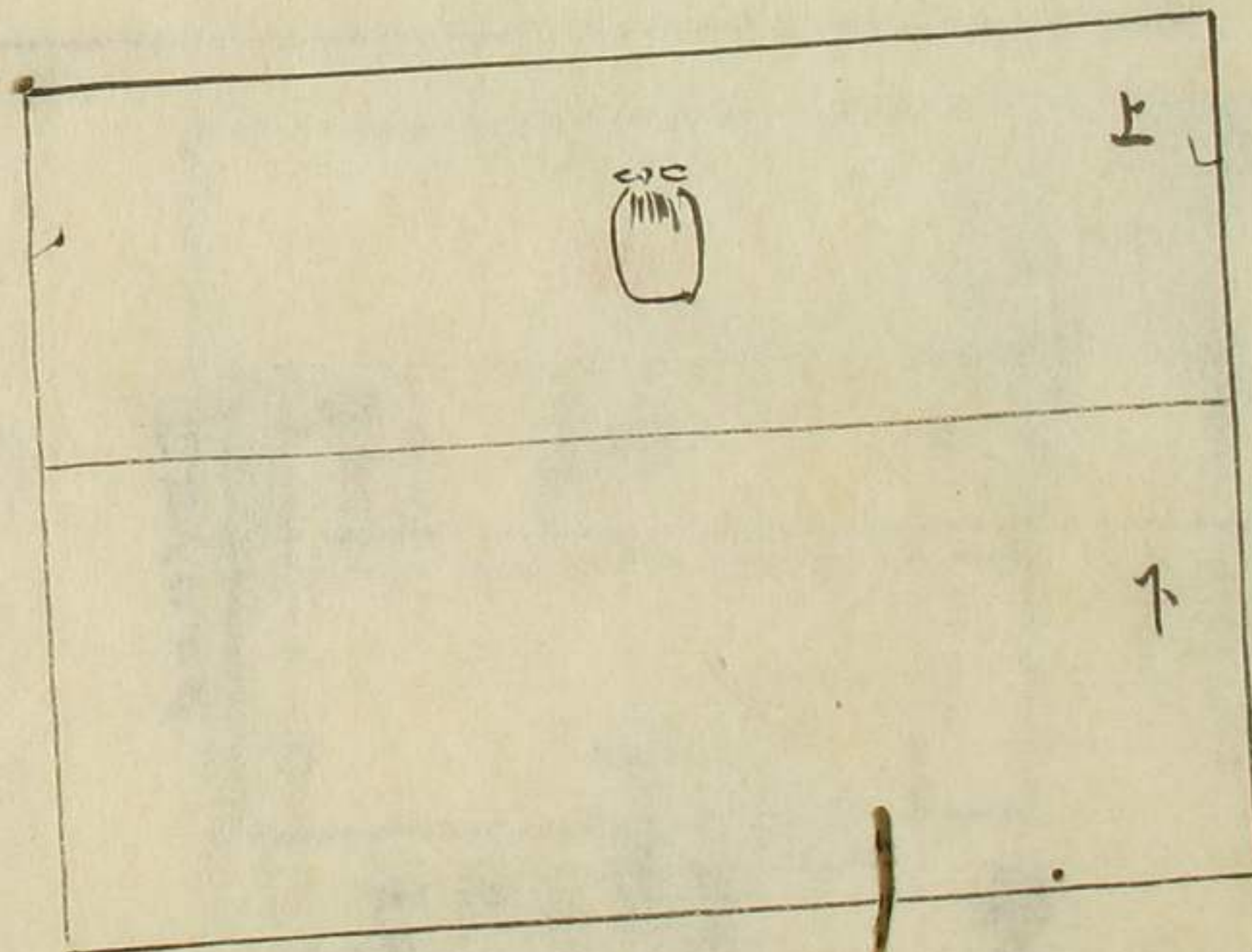
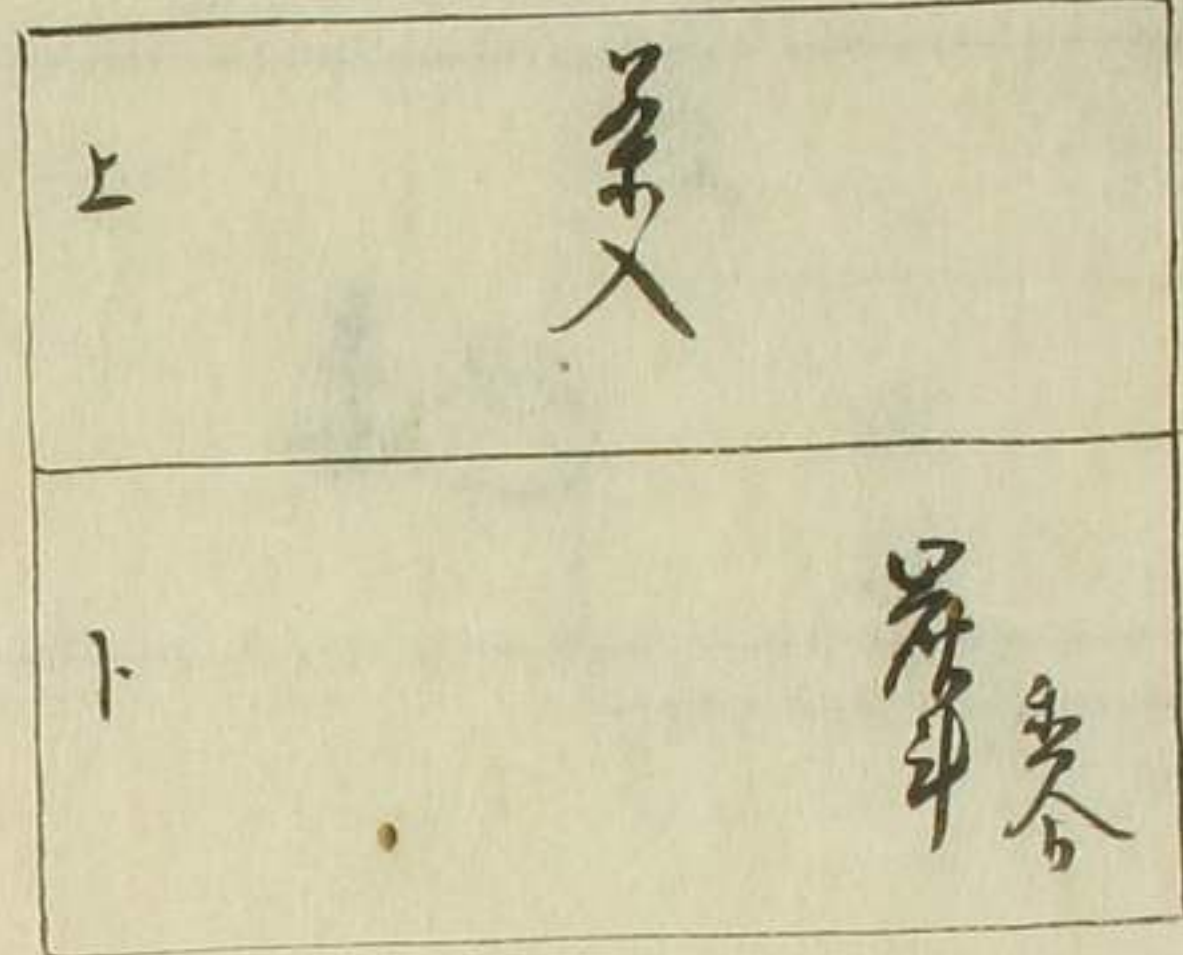


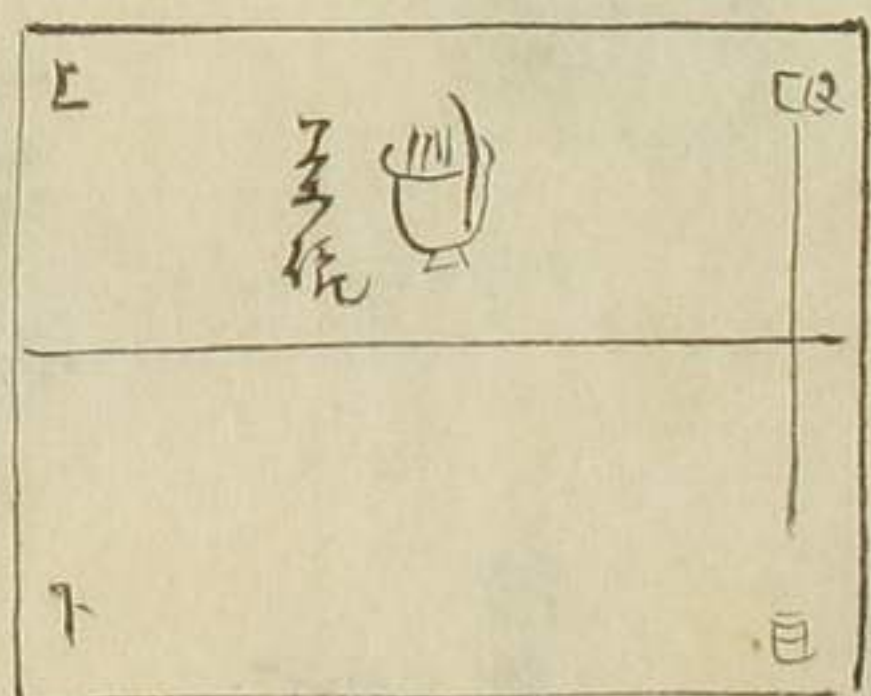
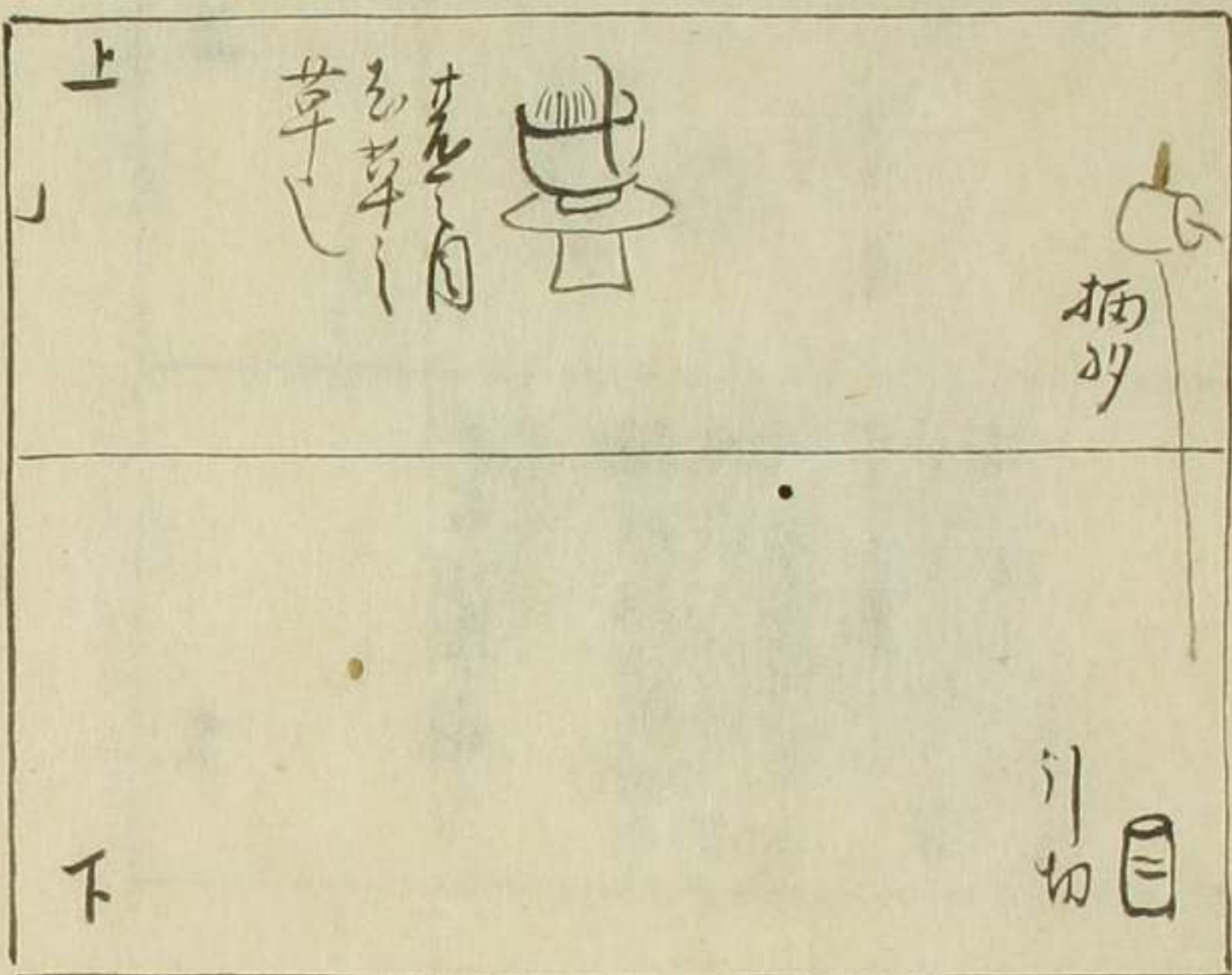
物の
 多分



此中の中の中
 運中の中の中
 中の中の中
 下の中の中
 中の中の中
 中の中の中
 中の中の中
 中の中の中

白列





〇列とんちの場所

二〇

風炉真の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

〇張紙
一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

一書小茶の巻子手紙

〇

云昔...
之昔...
昭...
系...
甲...
後...
錦...
た...

卷之五 張紙 天月...
子...
口...
あ...
風...
や...
六...
中...

眼はろくくく色茶入○張紙の代言直了解し

七青に巻ふふ巻き物つふ法たかくいふ長

御しん

八青に茶入たりの平折り上たわく代言○張紙

九青に袋紙たろくやし尾風かゝる尾風○張紙

袋のはたかめ茶月代紙

十茶入茶入とろくろけ物くくく物製別れ

十一茶入とちのくろく長巻た巻中く巻

十二茶入茶入と茶入茶入と茶入と茶入と

十三茶入茶入と茶入茶入と茶入茶入と

十四茶入茶入と茶入茶入と茶入茶入と

十五茶入茶入と茶入茶入と茶入茶入と

十六茶入茶入と茶入茶入と茶入茶入と

十七茶入茶入と茶入茶入と茶入茶入と

茶葉をのむくろく

十二番に物に釜板をとりて煮る

十三番に釜に物を入れ煮る

十四番に物に火を掛け煮る

十五番に物に湯を掛け煮る

十六番に物に湯を掛け煮る

十七番に物に湯を掛け煮る

十八番に物に湯を掛け煮る

十九番に物に湯を掛け煮る

二十番に物に湯を掛け煮る

二十一番に物に湯を掛け煮る

二十二番に物に湯を掛け煮る

二十三番に物に湯を掛け煮る

二十四番に物に湯を掛け煮る

二十五番に物に湯を掛け煮る

二十六番に物に湯を掛け煮る

二十七番に物に湯を掛け煮る

二十八番に物に湯を掛け煮る

二十九番に物に湯を掛け煮る

三十番に物に湯を掛け煮る

心や〜〜〜は〜〜〜田んぼの〜
流を〜〜〜中流系のの〜
前〜

二十番の〜
カニ〜茶入の〜
〜茶入の〜

サニ〜茶入の〜

茶と〜茶入の〜
茶入れ口と〜
〜茶入の〜
中〜茶入の〜
先少茶二〜
入を対時茶入〜
小茶故也

サニ茶の〜茶入の〜

巻の序
○豊をけり初に並拭あり九上拭初九上

拭あり九上其より並拭

亦九番目糸物とありくはる好くはるはる
二目上より一はるはるはるはるはるはる
並に二目とありはるはるはるはるはる
一はるはるはるはるはるはるはる

二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
並

二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
二十番目糸入とありはるはるはるはるはる

二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
並糸入とありはるはるはるはるはる

二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
並に並

二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
糸入とありはるはるはるはるはるはる
二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
糸入とありはるはるはるはるはるはる
二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
糸入とありはるはるはるはるはるはる
二十番目糸入とありはるはるはるはるはる
糸入とありはるはるはるはるはるはる

二十六番小栞夕と九水とらゝゝ糸の糸をへ入ま
栞夕と九水とらゝゝ糸

二十七番糸をへととらゝゝ糸乃初水也

二十八番糸をへととらゝゝ糸中ととらゝゝ

二十九番糸をへととらゝゝ糸の糸をへ
とは糸の糸をへとらゝゝ糸

三十番糸をへととらゝゝ糸の糸をへ
は糸の糸をへとらゝゝ糸

三十一番糸をへととらゝゝ糸の糸をへと栞夕と栞夕

三十二番糸をへととらゝゝ糸の糸をへと糸をへ
糸と栞夕と栞夕

三十三番糸をへととらゝゝ糸の糸をへと糸をへと糸をへ
糸と糸をへと糸をへと糸をへと糸をへと糸をへと糸をへ

三十四番糸をへととらゝゝ糸の糸をへと糸をへと糸をへ
糸と糸をへと糸をへと糸をへと糸をへと糸をへと糸をへ

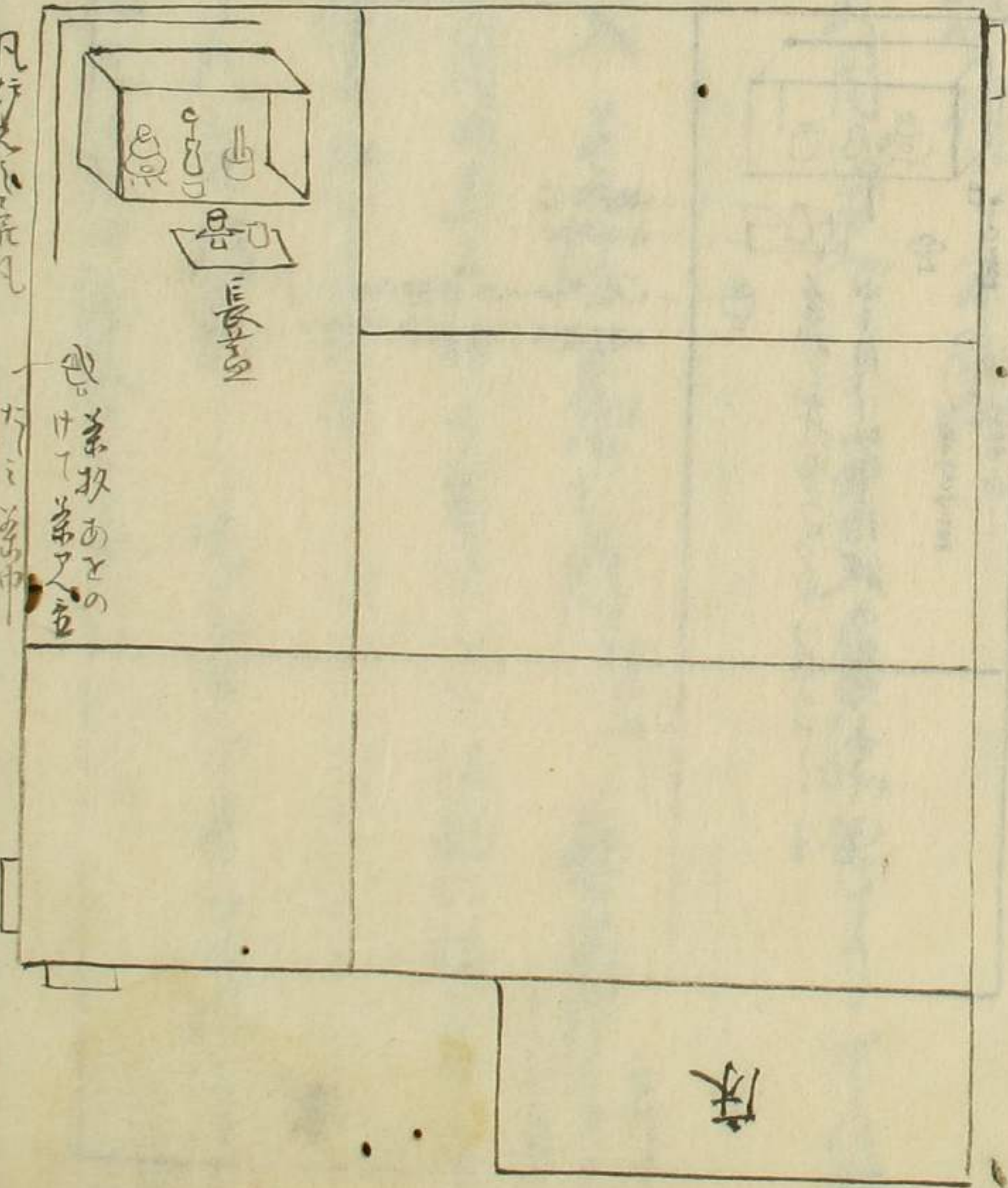
少し遠くをたふす處をへ物取をたふすへ
かぶり人波はたふすへ物取をたふすへ
之は世をたふすへ物取をたふすへ
かぶり人波はたふすへ物取をたふすへ
○水にたふすをたふすへ物取をたふすへ
置多の上と直ある柄抄立の柄直す
軍中書人波はたふすへ物取をたふすへ
たふすへ

四十五番ふたばはたふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ

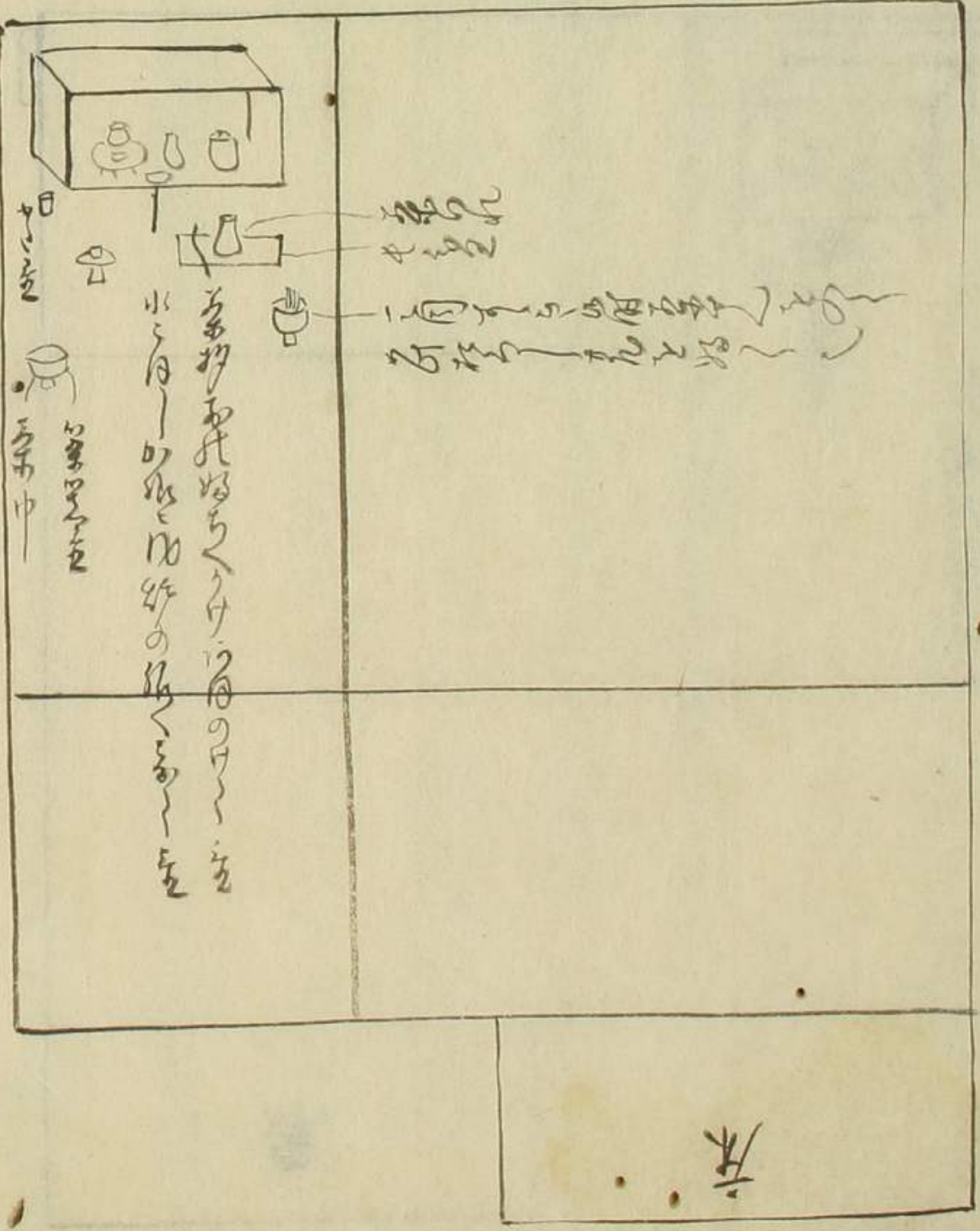
甚る重中へ入ぬえ階うたふすへ物取をたふすへ
物取をたふすへ物取をたふすへ
かぶり人波はたふすへ物取をたふすへ
軍中書人波はたふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ

○軍中書人波はたふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ
たふすへ物取をたふすへ

風好真者子
 のおの時を
 置おのとき
 からいの時乃
 松子の快



好
 授



風炉行の年表

一 丸倉小庵天月院家へ茶入長松かきりて後

乃如

○ 大庵茶入長松 茶室 長松の茶室

長松の茶室の上下の茶室の茶室の茶室の茶室

茶室の茶室の茶室の茶室

一 書小茶室の茶室の茶室の茶室の茶室

茶室の茶室の茶室の茶室

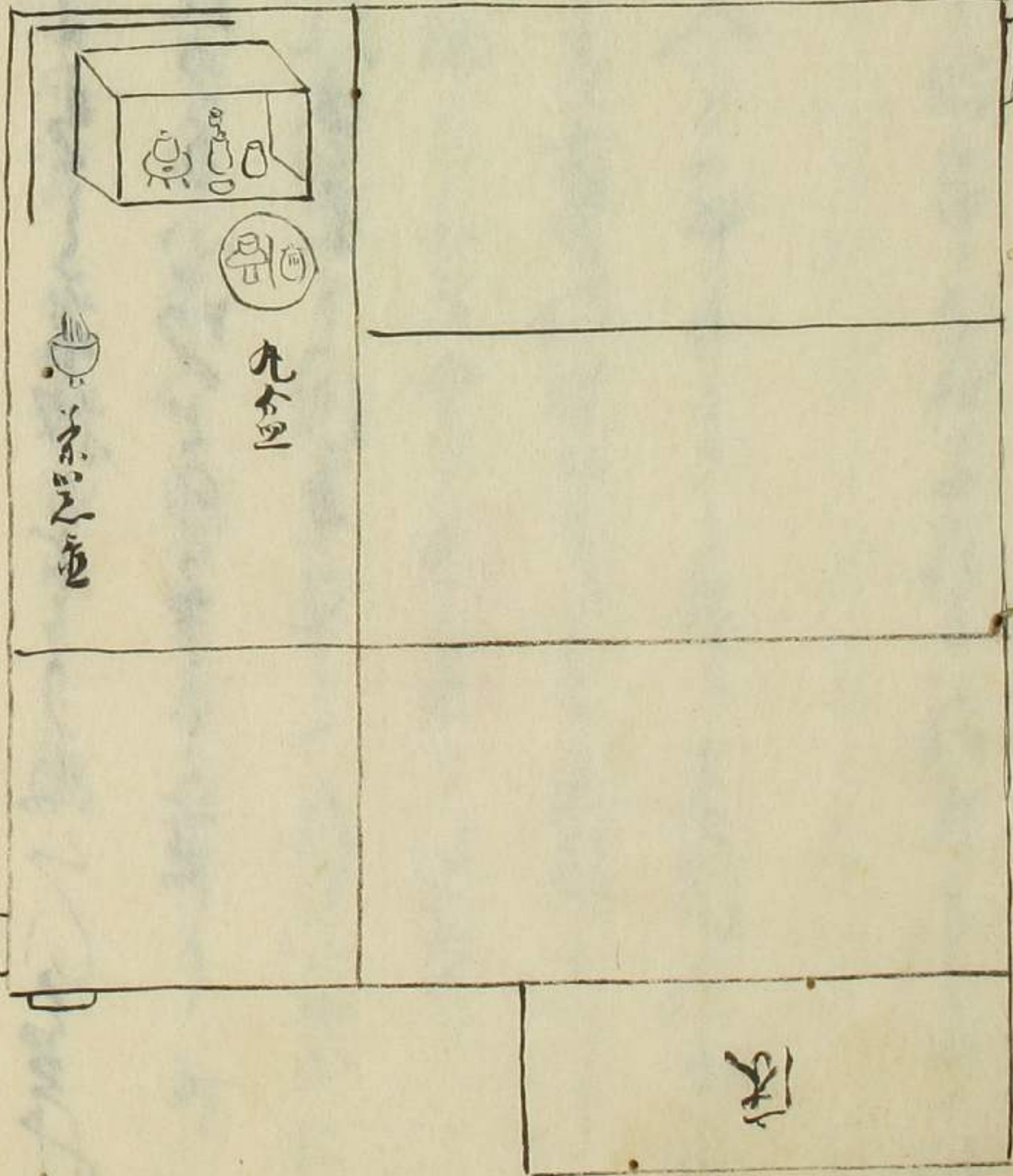
二 書小茶室の茶室の茶室の茶室の茶室

茶入と茶巾の並相巻と同様のもの
用紙張り一時帛巻子様法有る時の以
茶

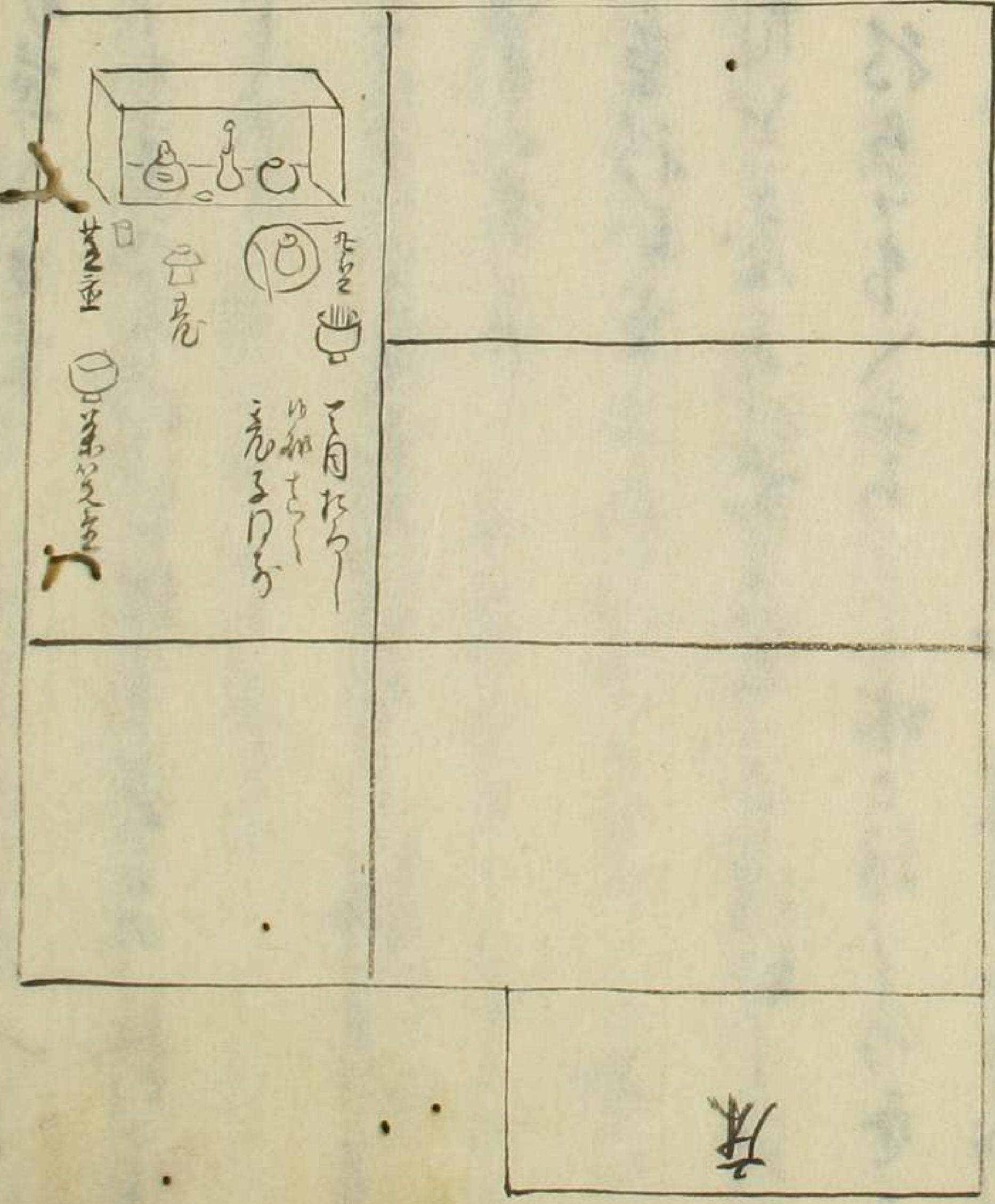
二番に茶入をもちたるうき月を
付れ流ると多真お時のうき月と
茶をもちたるうき月と
茶入と茶巾の並相巻と同様のもの
用紙張り一時帛巻子様法有る時の以
茶

茶入と茶巾の並相巻と同様のもの
用紙張り一時帛巻子様法有る時の以
茶

風炉行の巻子
 手前へ付着の巻子
 折角く丸空の丸
 一何の形子あり



因平前之内



風炉草の次第

一巻と目録あり一巻入常の代名地の方より前の紙あり
二巻と目録あり

一巻入常の代名地の方より前の紙あり

二巻入常の代名地の方より前の紙あり

三巻入常の代名地の方より前の紙あり

四巻入常の代名地の方より前の紙あり

五巻入常の代名地の方より前の紙あり

六巻入常の代名地の方より前の紙あり

七巻入常の代名地の方より前の紙あり

八巻入常の代名地の方より前の紙あり

九巻入常の代名地の方より前の紙あり

十巻入常の代名地の方より前の紙あり

十一巻入常の代名地の方より前の紙あり

十二巻入常の代名地の方より前の紙あり

十三巻入常の代名地の方より前の紙あり

十四巻入常の代名地の方より前の紙あり

十五巻入常の代名地の方より前の紙あり

右茶湯の時も概して熱い時にかけ熱い也

茶會の時も概して熱い時にかけ熱い也

茶會の時も概して熱い時にかけ熱い也

茶會の時も概して熱い時にかけ熱い也

是の三張紙

老子女は前と一かゝる様は前真中の重なり也
四番にうゝは〜と風紙のこの老子女前のもり
りかゝる〜一かゝる〜ゆゑ方〜まゝとわわ〜
たうのち老子女に〜つゝよめか〜重梅好と重り
出さず〜四行〜

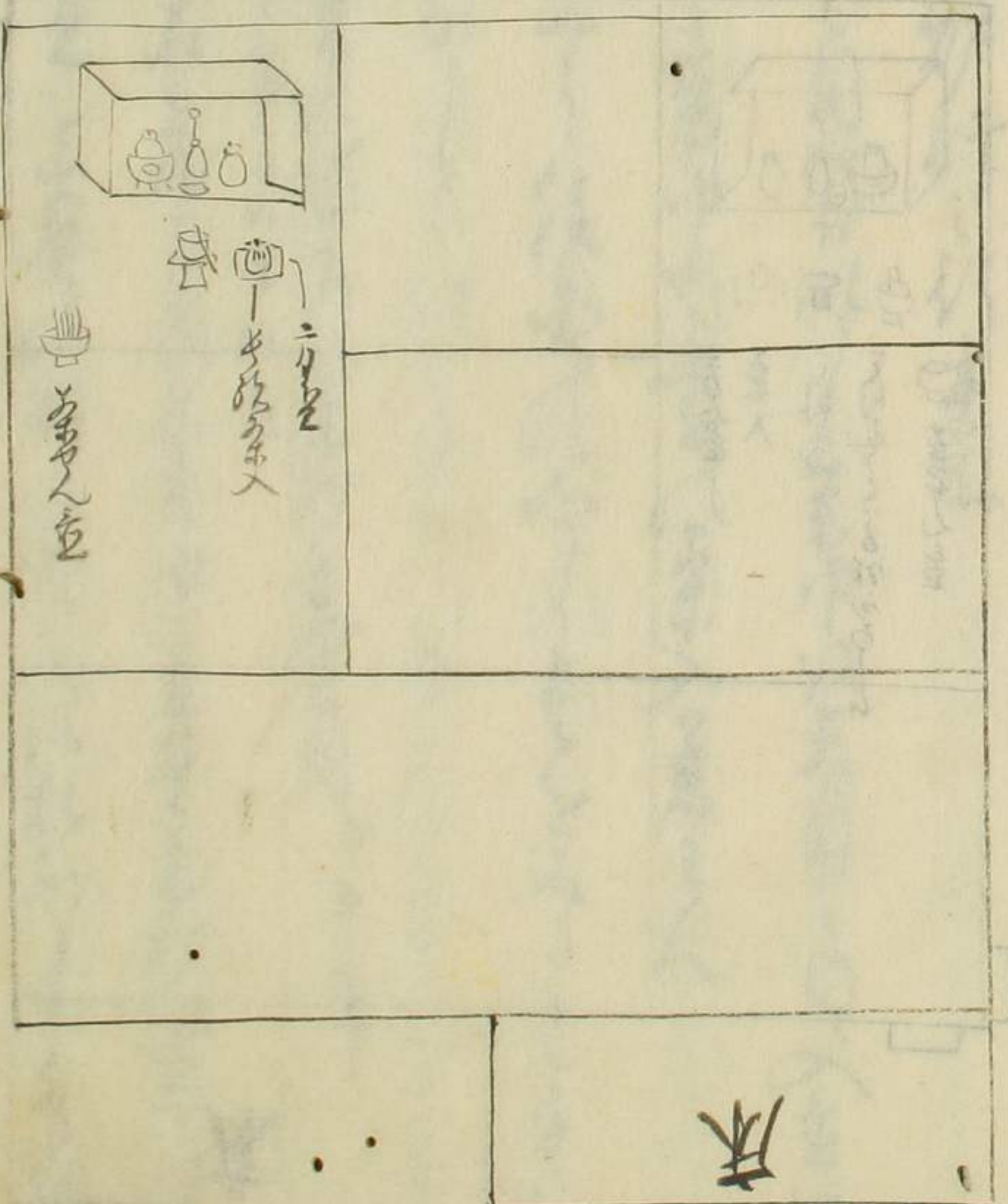
わ青と老女五目と風紙の前よせ茶入を置〜
り〜一かゝる〜前よせ茶入を置〜と〜一かゝる〜
れ〜と〜あり〜紙と〜重り〜同〜と〜と〜と〜と〜
重り〜と〜あり〜紙と〜重り〜同〜と〜と〜と〜と〜

重り〜と〜あり〜紙と〜重り〜同〜と〜と〜と〜と〜
好〜也

六や重り茶入れ紙と〜と〜紙の紙と〜と〜重り
あり茶入と好〜と〜と〜と〜と〜
七番に重り茶入れ紙と〜と〜紙の紙と〜と〜重り
よ〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
茶と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜

○ 常々

用炉草之君子
手前之茶室
茶室あり
之君子あり



常々

張紙

〇 髪は扱ひし置候常にして髪子の二井扱ひ
 宜しと拭はん之帛やと谷此甚と云候
 八番上糸やんと云月一入く言此糸糸を此
 如くを此右より右に膝に張くは又糸を
 乃至く一と云月一入く言此糸糸を此
 〇 九番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十一番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此

取らあつて云月一入く言此糸糸を此
 〇 十二番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十三番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十四番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十五番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十六番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十七番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十八番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 十九番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此
 〇 二十番上糸と好く云月一入く言此糸糸を此

十二番にあら吉は(可)の時えれおく月妙のよ
色揚と入一毎んま一此二目と吉にのせ糸
中と谷れ書れと色取持り了ゆら。吉糸
花二目とるて花に揚と二毎入二毎さく水
と入糸をさくさくはくふのちくの中糸の
一三毎さくくから侍丁也得

十四番にらくはく天月入糸とく糸
り一吉糸とく月とあらけ糸とく糸
五たく糸とく糸とく糸とく糸とく糸

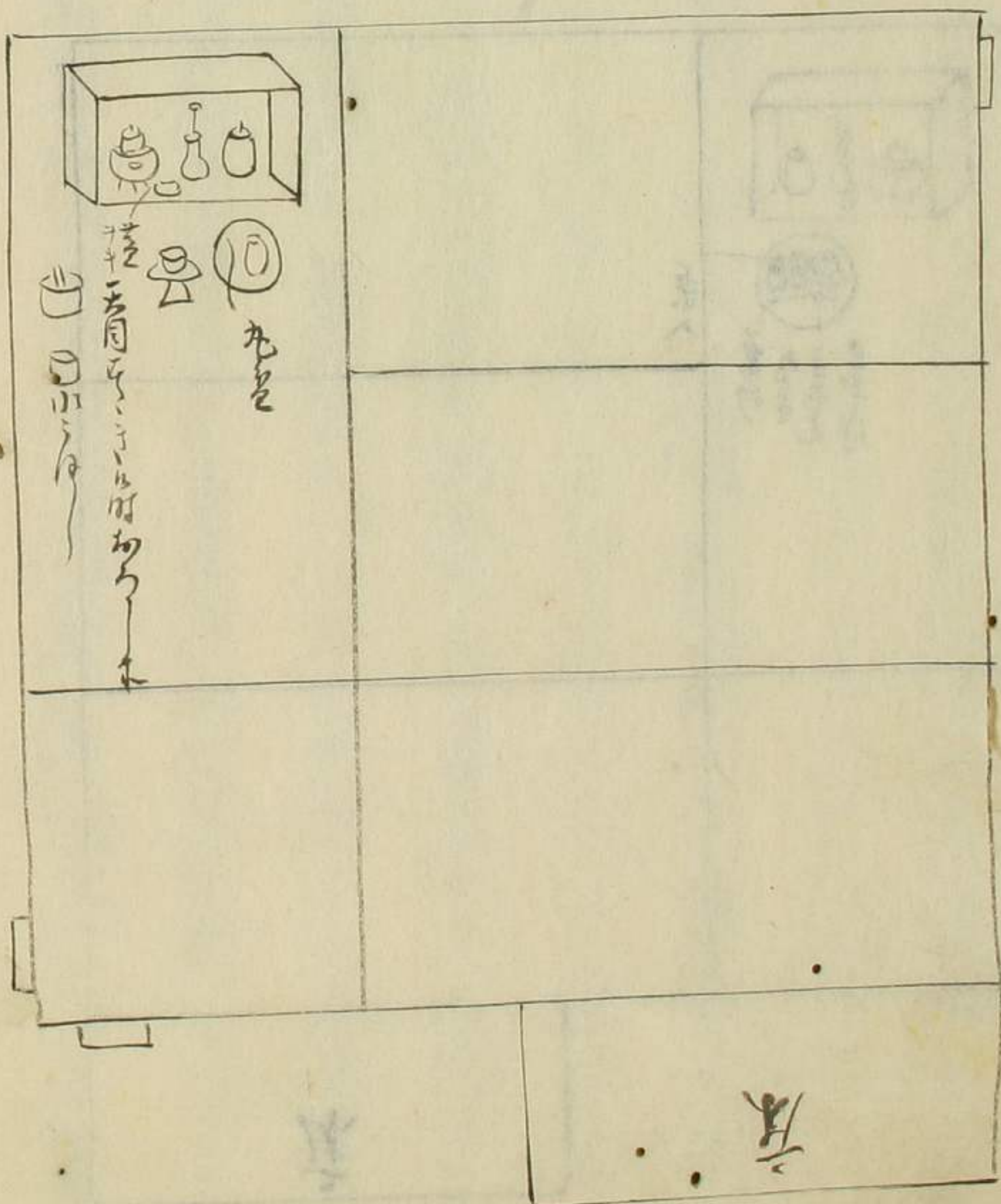
糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸
とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸

十五番に糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸
いと糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸
これく糸

け糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸

一又歌と糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸
とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸とく糸

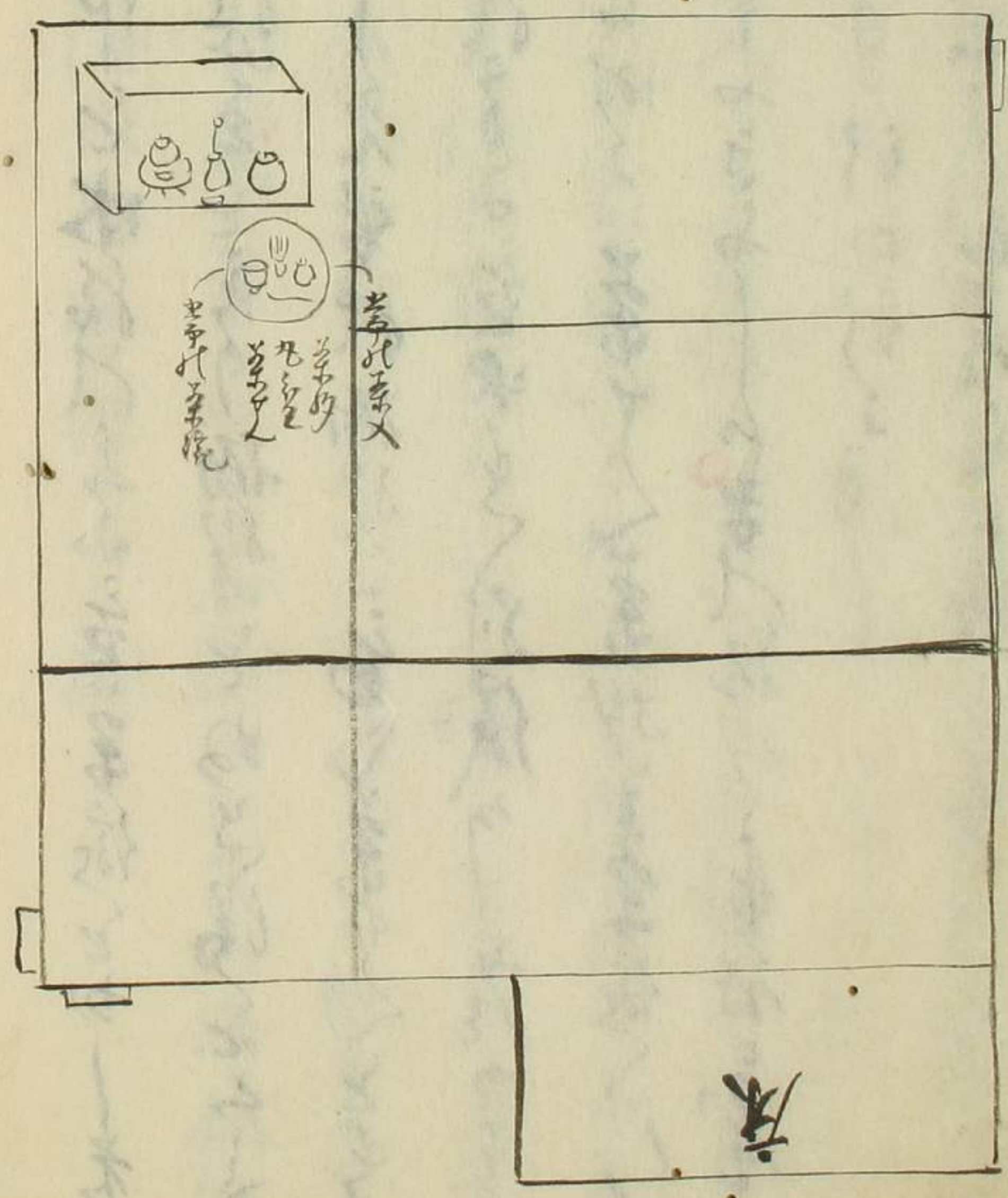
同平茶の目



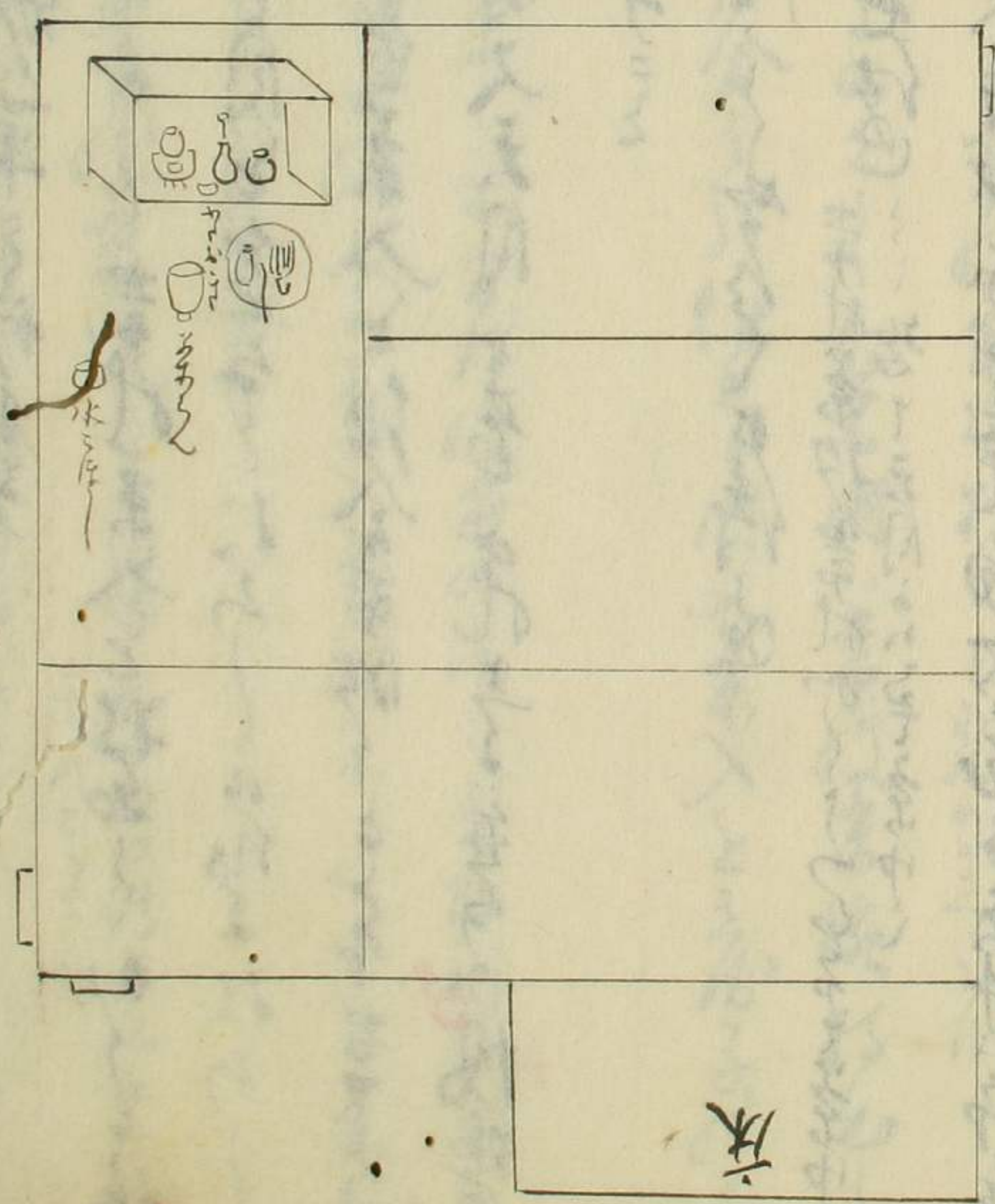
風戸行の茶室

一 茶室は帝世茶院茶入茶せん茶物茶巾の類も
 いろいろ揃ったもの同中もさうな感じも
 かく茶院とは違ふ茶入と茶せんもさうな感じ
 いろいろは時と茶院もさうな感じ茶巾の類も
 揃った感じが違ふ^後の茶院茶巾の類もさうな感じ
^前の大茶室 茶入 ^{茶巾} 茶せん 茶物 茶巾
 は茶院の茶入茶せん茶物茶巾の類もさうな感じ
 一 茶室は茶院茶入の類もさうな感じもさうな感じ

風炉河草
 市常之時
 物一以子
 子



同市常之日



風炉草之行もろ

一 春の月かきうらうらうと常れ茶入と持出くかきうら
にきき春の月と合をくわらうとゆはれり
水指の茶を茶入と銀入を以てて常れ茶
ゆくはる時又天月と茶を以てて常れ茶
ゆくはる時

○ 春の月かきうらうらうと常れ茶入と持出くかきうら

○ 春の月かきうらうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

○ 常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

常れ茶入持出ゆ 其れ物下 春の月かきうらうと常れ茶入と持出くかきうら

乃老子之口其生合老子曰老之
 引子物中其道合之

乃老子之口其生合老子曰老之
 引子物中其道合之

圖が表真と老子の年表

一 隣に経高のあり

一 書小字のしととちか〜 経高のし〜 有る

二 書小字のしととちか〜 経高のし〜 有る
 一 一らいと白氣。水濁るとはは勝れく道一。一は経高
 一 一は経高と経高のあり

口門中一相翻と云ふは乃指し並せ之を
と國が表の角は陰陽の二に並
寫あり是は自然を云ふたりの指し
なら一葉入と云ふ中は此一と同一國が
表れせしむか一葉の二と同一國の
仲の六屏風くうくも是れはよむり
並おとんは入らんは一風は海か
一葉あり葉入と云ふは前より一葉と云ふ
と同一くうく一並せ之は海かひは葉入と云ふ

くうか一葉と云ふ葉入と云ふは中
葉の仲のぬきと云ふはくうく一葉は
時の事如風風は修如風意くは
葉入は海かひは葉入と云ふは
六の葉と云ふは一葉は海かひは
柄物と云ふは湯を入一ゆくと云ふは又合は柄物
ゆき一葉はくうく葉と云ふは同一くうく
ゆき一葉は海かひは葉入のゆきと云ふ
一葉と云ふは

七番に三自たしく水あり茶入ん候に...
とゆは茶を入ん置り茶中と云ふ月日の湯...
一丁一斗と云ふ一斗と云ふの外と云ふと云ふ

九番に茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り

九番に茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り

十一番に茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り
茶入ん置り茶中へ茶入ん置り

上りたつ智友庵の下の母の茶室を造ると水水湯作
 るく造ると

十四番小谷の茶室とて一柄の茶室とて一谷の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

乃其室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

十水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

十六番小茶室を造ると一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室と一水指の茶室

本外不審

○

茶筌並を取入こわし。改又持おこわし内へあつとき
 を入柄杓立の前へも一兜の如くをき、釜の蓋をとる

熱帛を狂おむをひ附

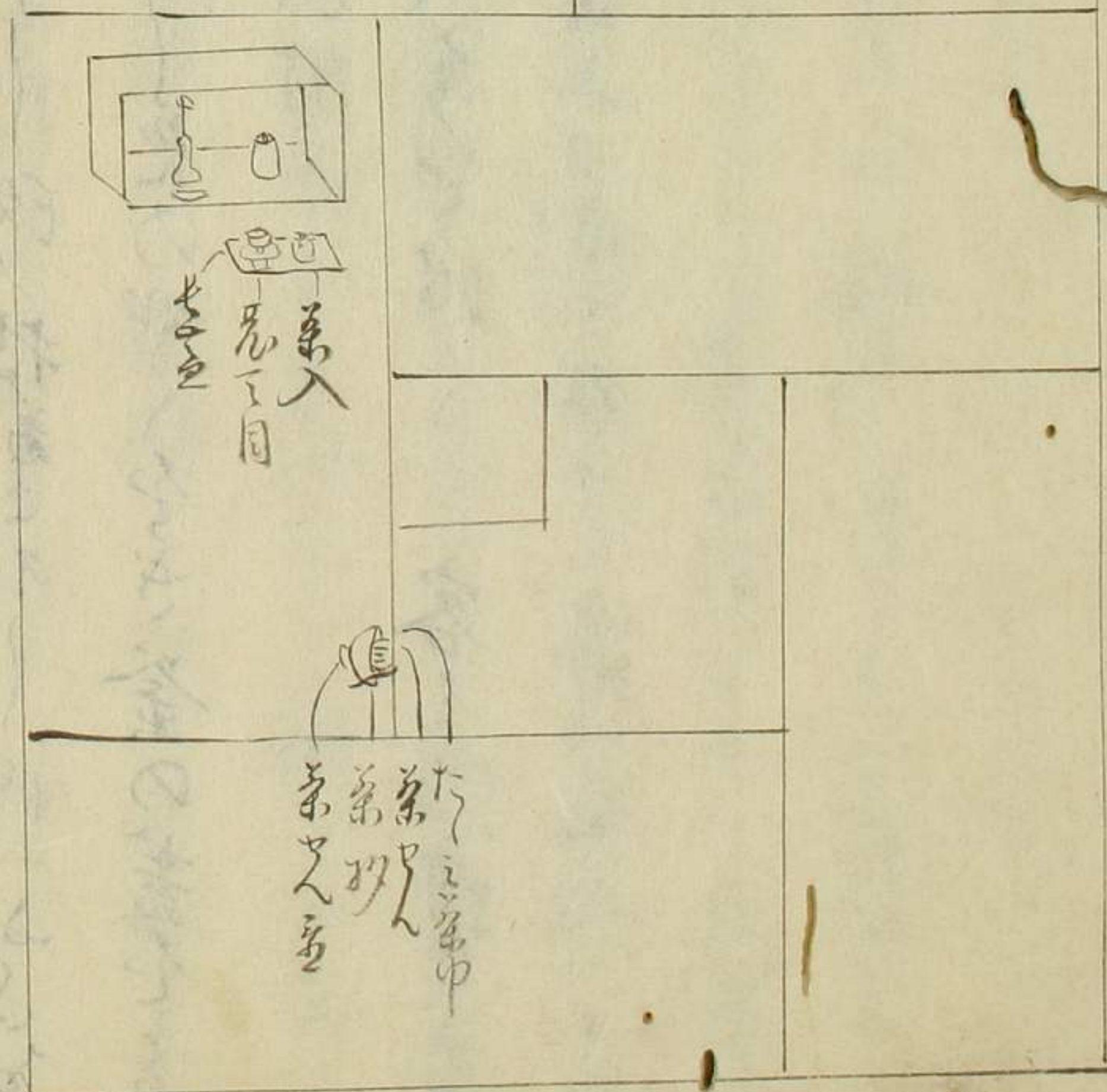
○

片口持出水さし一水指の茶室と一水指の茶室
 長盆臺子天井へ上り式本外人勝手へ乗る丸入本外

返く如風炉真

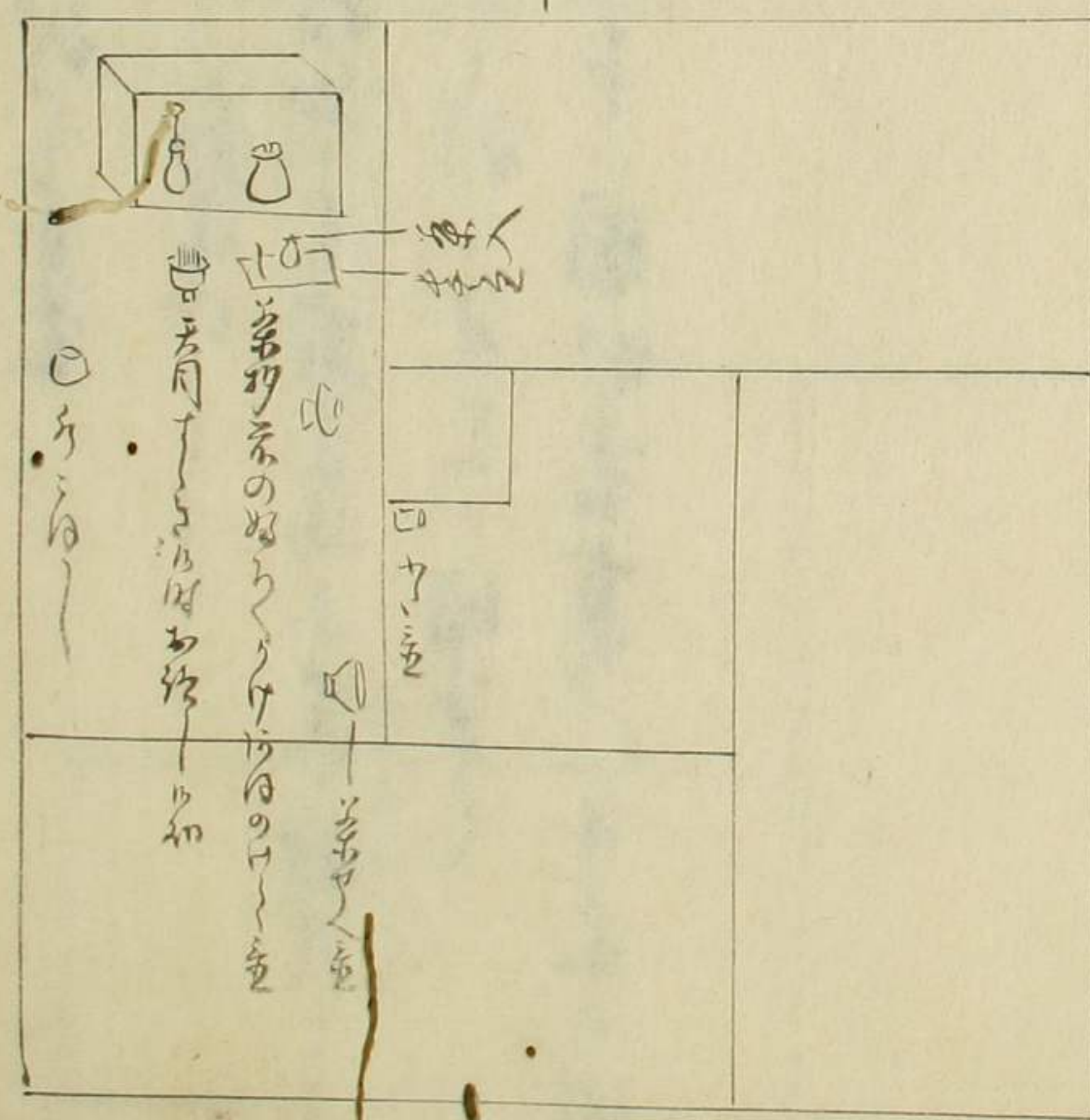
國好裏真の菓子
 手前之圖案之全
 抄前之書をあらし
 小町之菓子也

床



同手前也

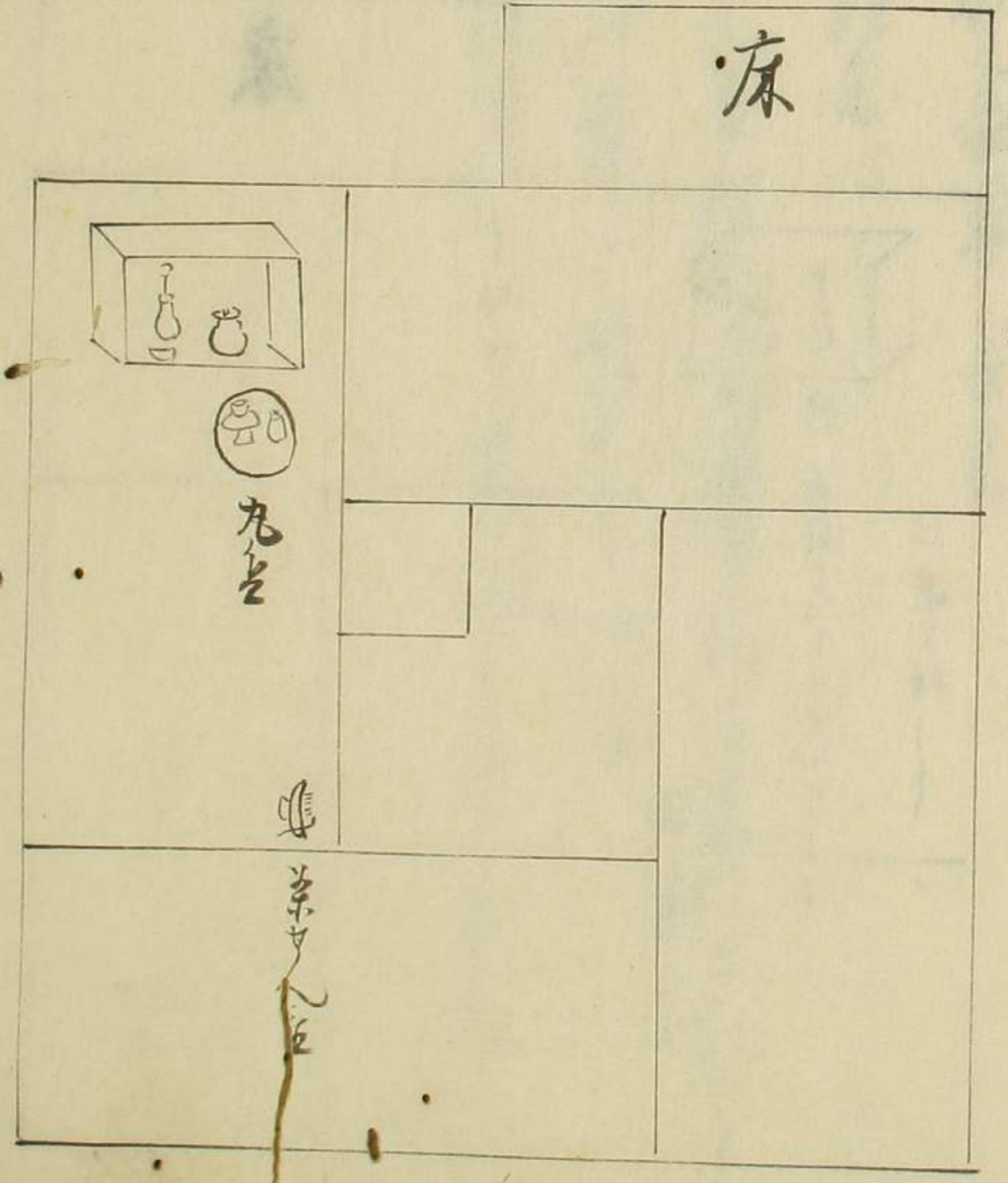
床



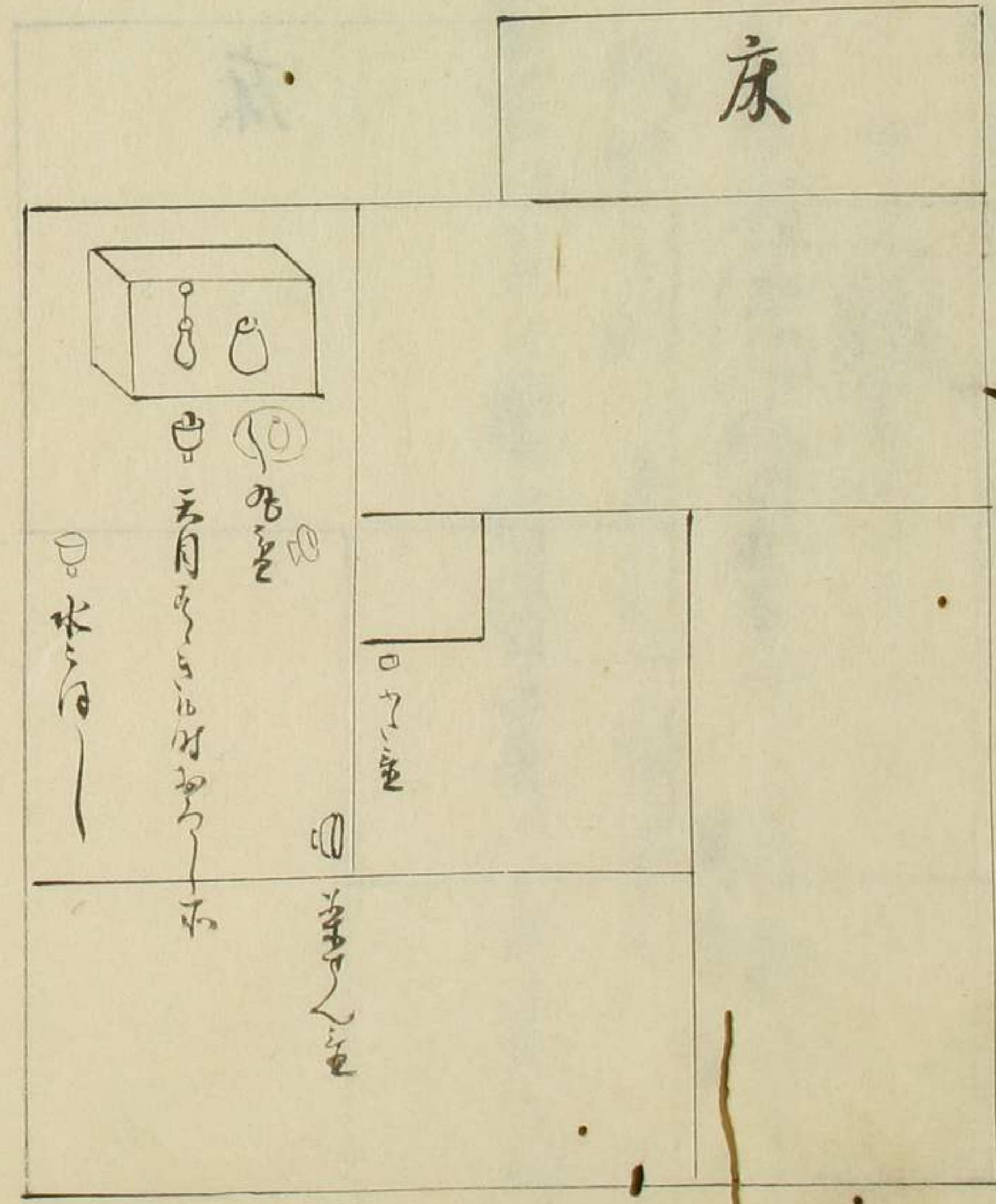
園が表行の字

一九合
一
に
他
回

園が表行の字
平
金
切



同年正月

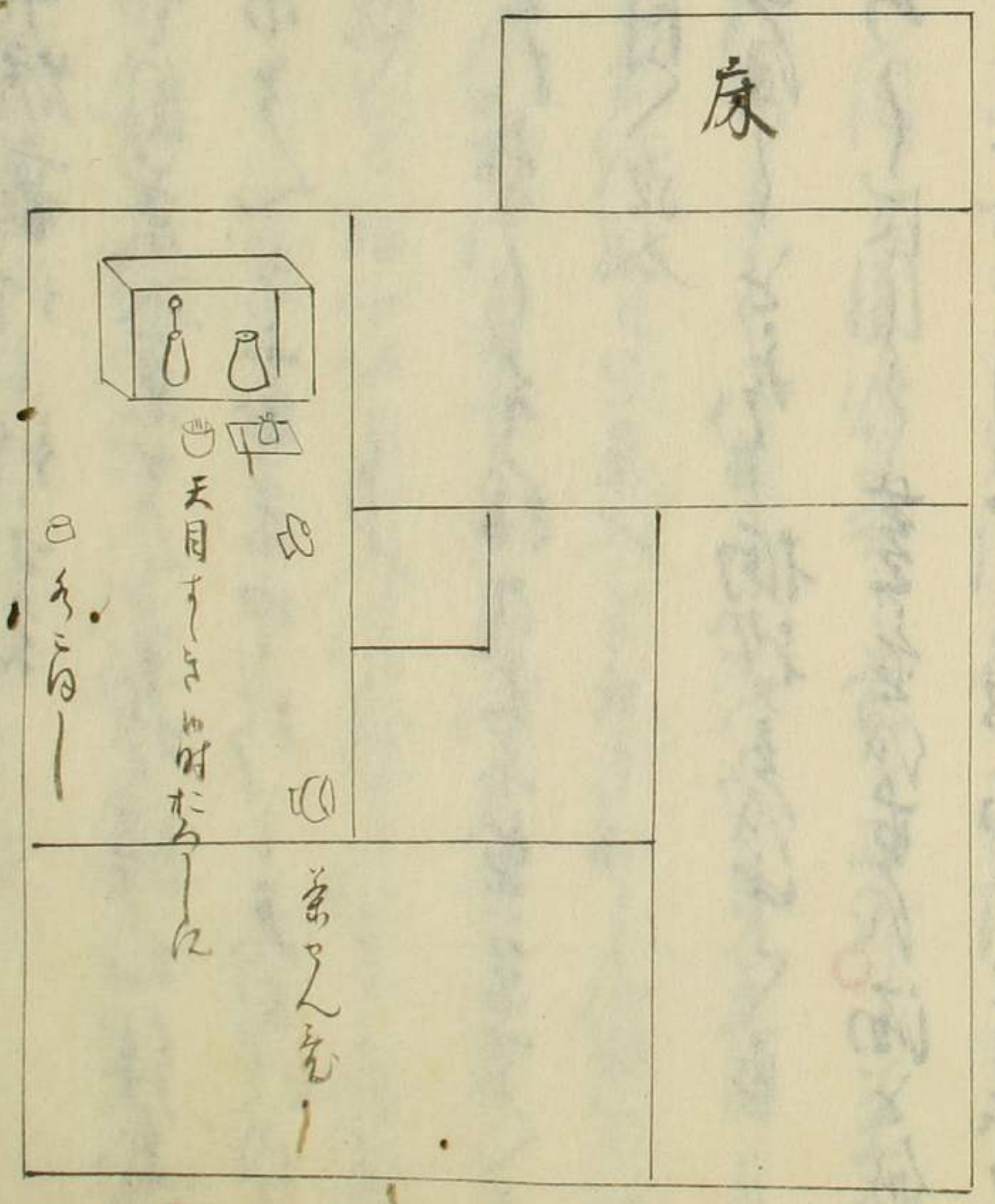


園作表草

一 かくり申 雑草
 一 書に草をい 雑草 右に 雑草 雑草
 並に 似 似 草 同 事
 但 道具の 置 処 以 下 ハ イロリ 真ノ 時 ト 同 事

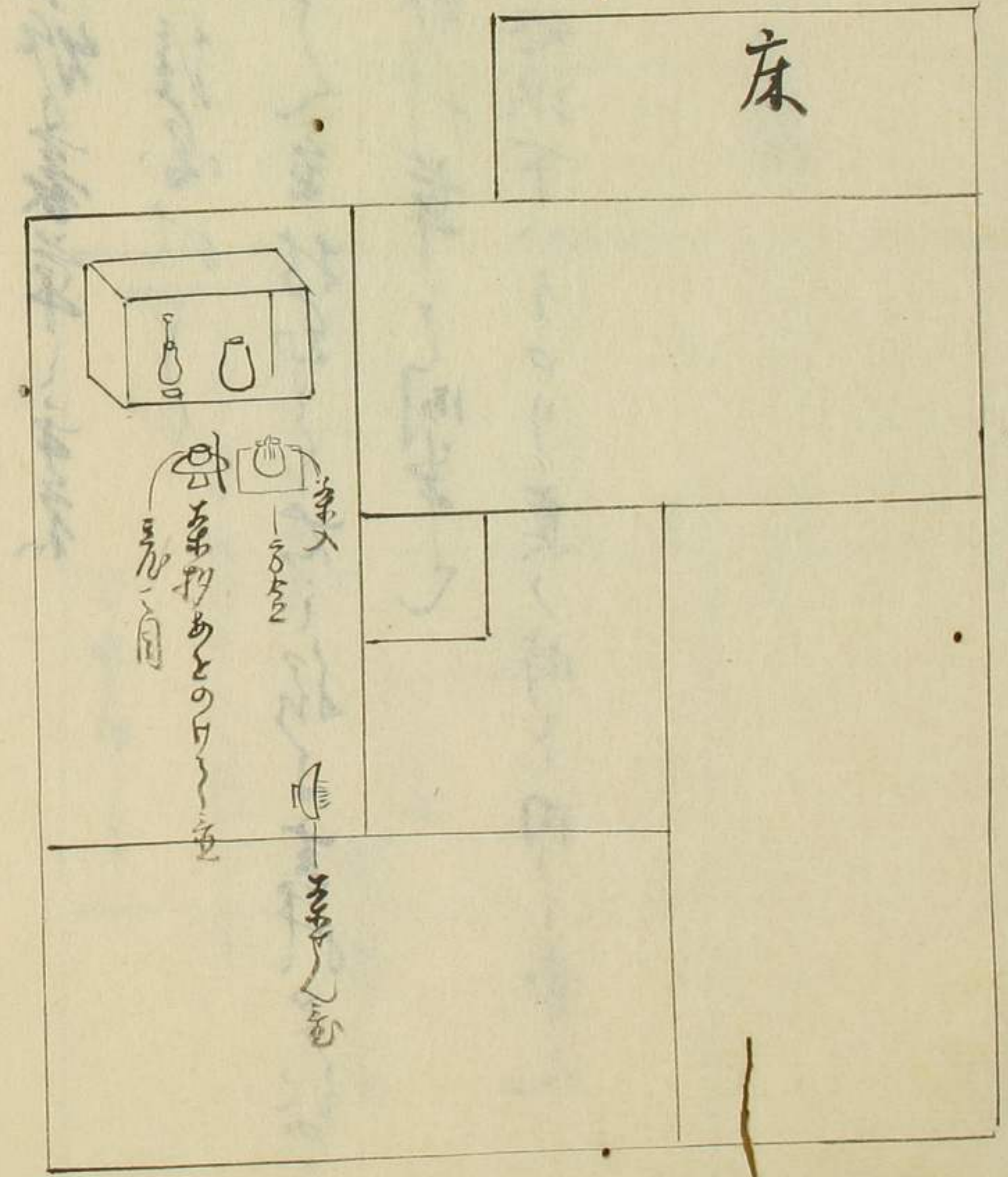
同平前角

床



園抄表草
虎子平前
茶人主持
三自茶入切
町し海子女

床



園野表行の行方

一 丸を大に煮て同葉入葉せし葉抄紙に浸す
ししを葉せし葉せし葉抄紙に浸す
並

一 丸を大に煮たらししを指の葉せし葉抄紙に浸す
葉抄紙と同く浸す

二 煮た水に酒しとれし葉抄紙に浸す
指の葉とらししを煮て酒とれし葉抄紙に浸す
ししを葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

二 煮た水と同く園野表の葉抄紙に浸す

二 同く煮たらししを葉抄紙に浸す

ししを葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

ししを葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

ししを葉抄紙に浸す

ししを葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

ししを葉抄紙に浸すししを葉抄紙に浸す

六書に於て此書と云ふ物抄と云ふ湯と入
りて又湯を入て谷に書と云ふ物抄に書
る茶と云ふと入る此茶の根は二月と云ふ
為と云ふ天目と云ふあり茶と云ふと云ふ
えり茶と云ふ天目と云ふ茶と云ふと云ふ
元茶と云ふ茶中と云ふ天目此湯は酒と云ふ
此茶中此茶と云ふ天目と云ふ茶と云ふ
七書小茶入と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ

八書一茶抄と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
二物抄茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ
茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ茶と云ふ

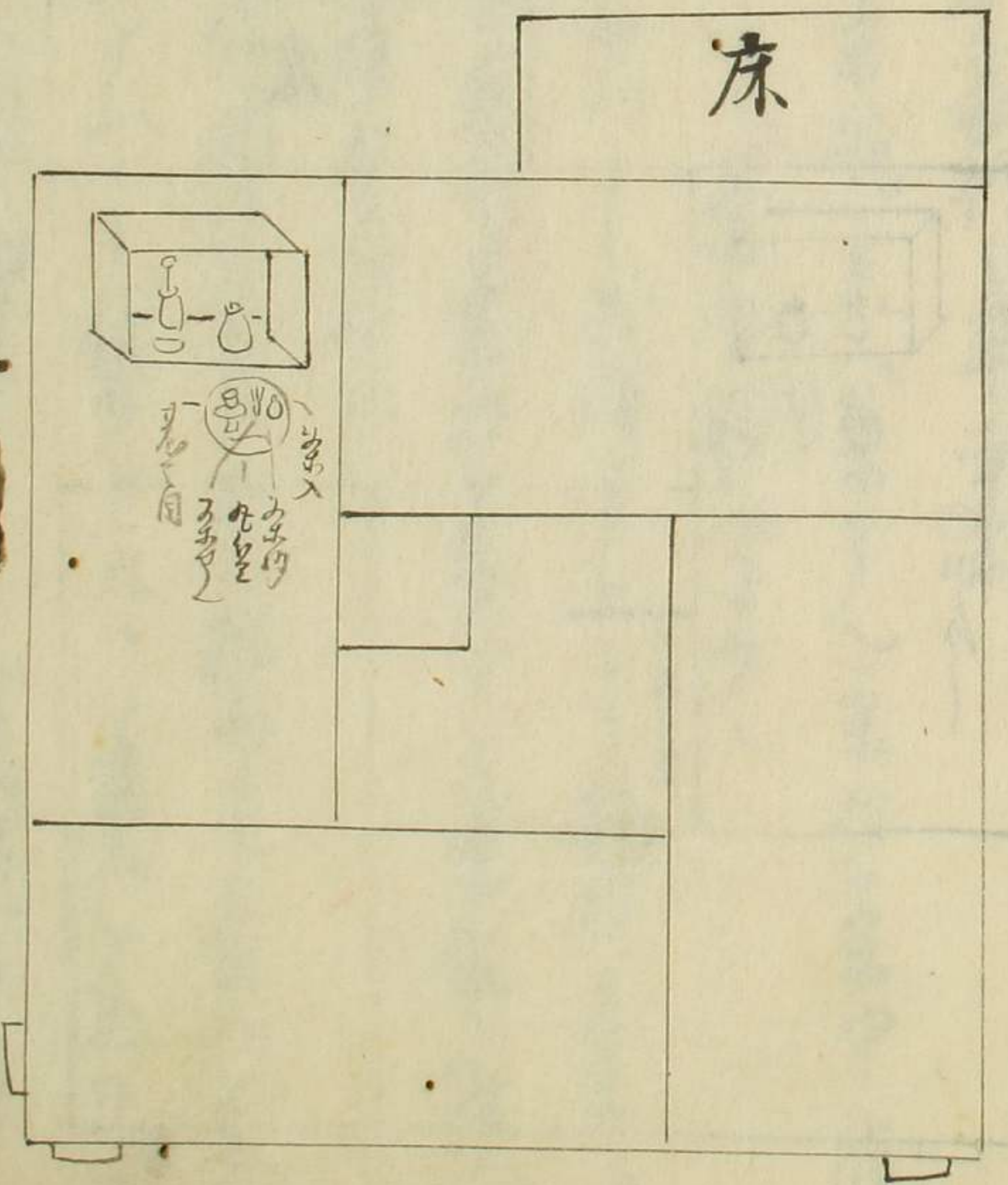
十一

土考に業入と云ふは、^金業成ぬるの業いぬを
 ぬらぬくを云ふたの帳に並て月と云ふは、
 けふははせふと云ふ

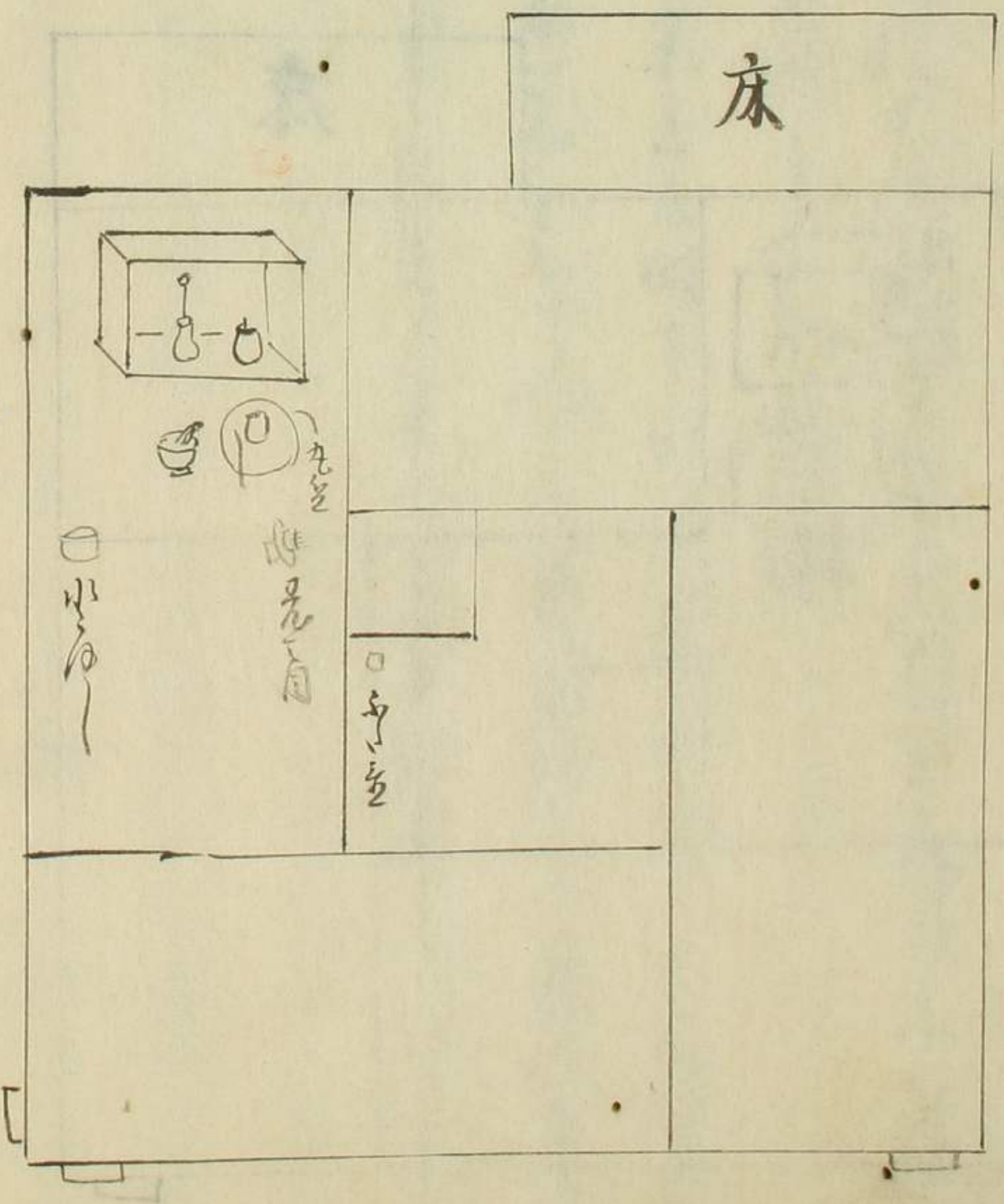
又田考に業入の時を、
 業入と業入を云ふは、
 此のりたに云ふは、

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

國考表行の行
 年考の時在る
 考の考の時在る
 考



目下前之圖



園炉裏行の草子茶

一 丸盆に茶付茶碗茶入茶巾と茶付茶巾
中へ茶碗茶巾と茶巾を置く
一 中庭に盆を置き、茶巾を置く
茶碗茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く
茶巾茶巾と茶巾を置く

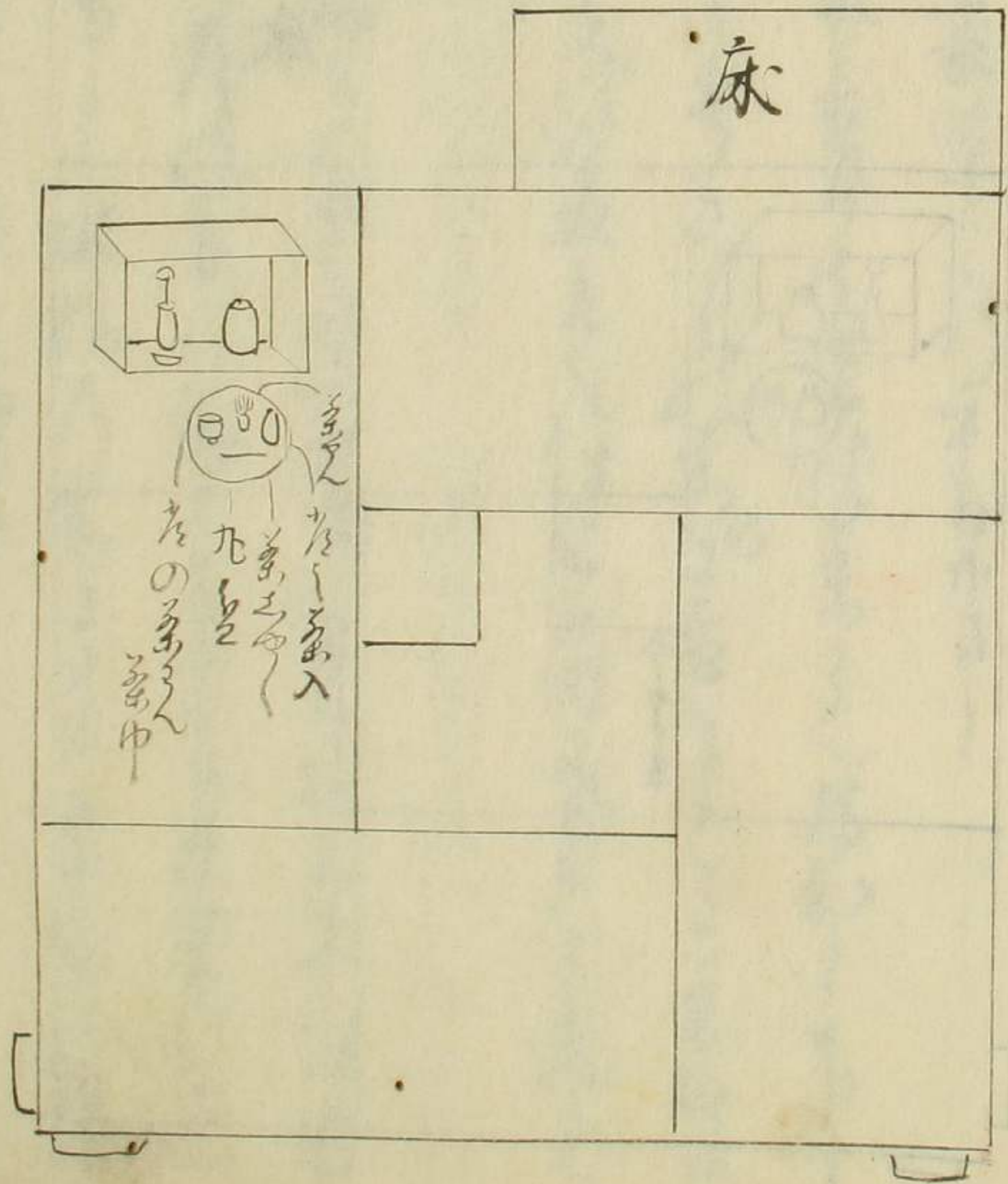
くわい合を^紅。點核の^紅。花子^紅。法^紅。
 法し

之者より茶抄を^紅。ぬくの茶入と茶入^紅。
 間に^紅。ぬくの^紅。

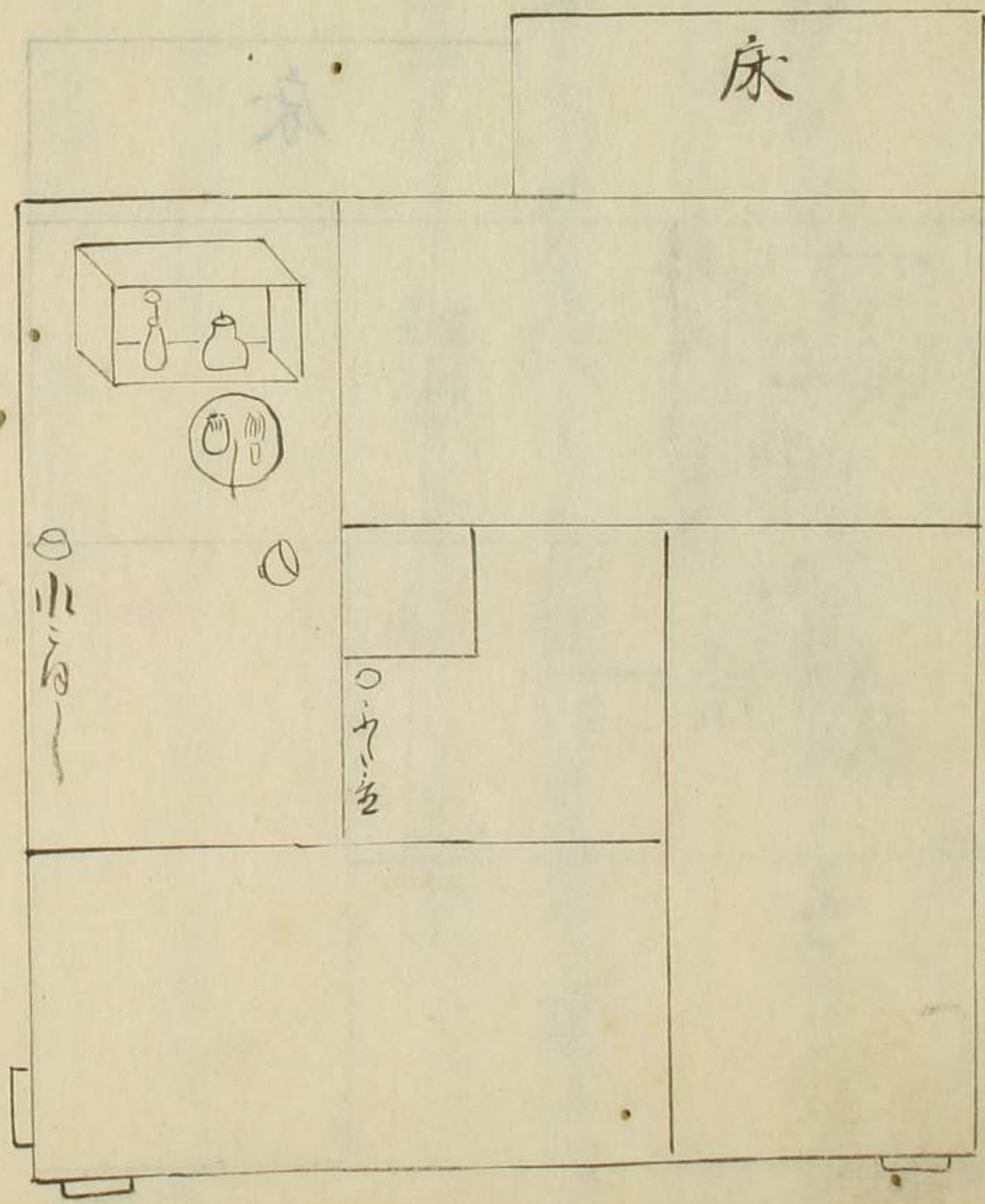
て^紅。ぬくの^紅。ぬくの^紅。ぬくの^紅。
 茶入と茶入^紅。

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

図抄表行と草
 茶子年茶の時
 盒わら—いぬ
 極よ



同年前の四



厨下
 厨下
 厨下
 厨下

厨下表草の寸法

一 盆の茶入とのせをゆき帯に茶入を拵り
 並に茶入ありしより此茶入をゆきしより茶入
 並に茶入ありしより此茶入をゆきしより茶入
 並に茶入ありしより此茶入をゆきしより茶入

一 方盆の茶入飾り多し時此茶入をゆきしより茶入
 飾り多し時此茶入をゆきしより茶入
 の目に茶入ありしより此茶入をゆきしより茶入
 飾り多し時此茶入をゆきしより茶入

子代之井、上多茶碗湯、入の風乾茶此所

常此茶碗湯と云ふ
君の井法は此

老玉目之文信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

草之信、同申也

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

及老玉子之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

列の事、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

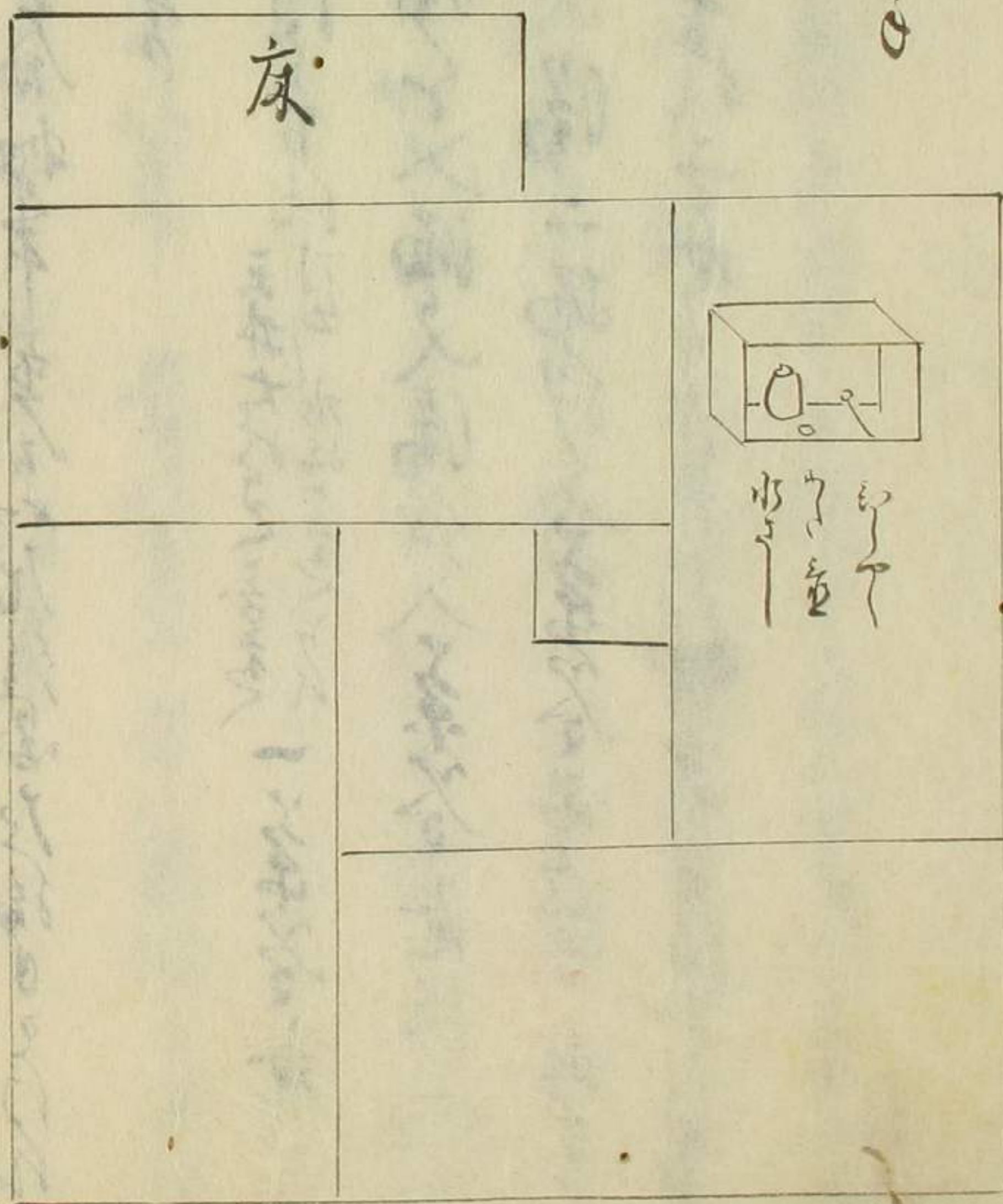
一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

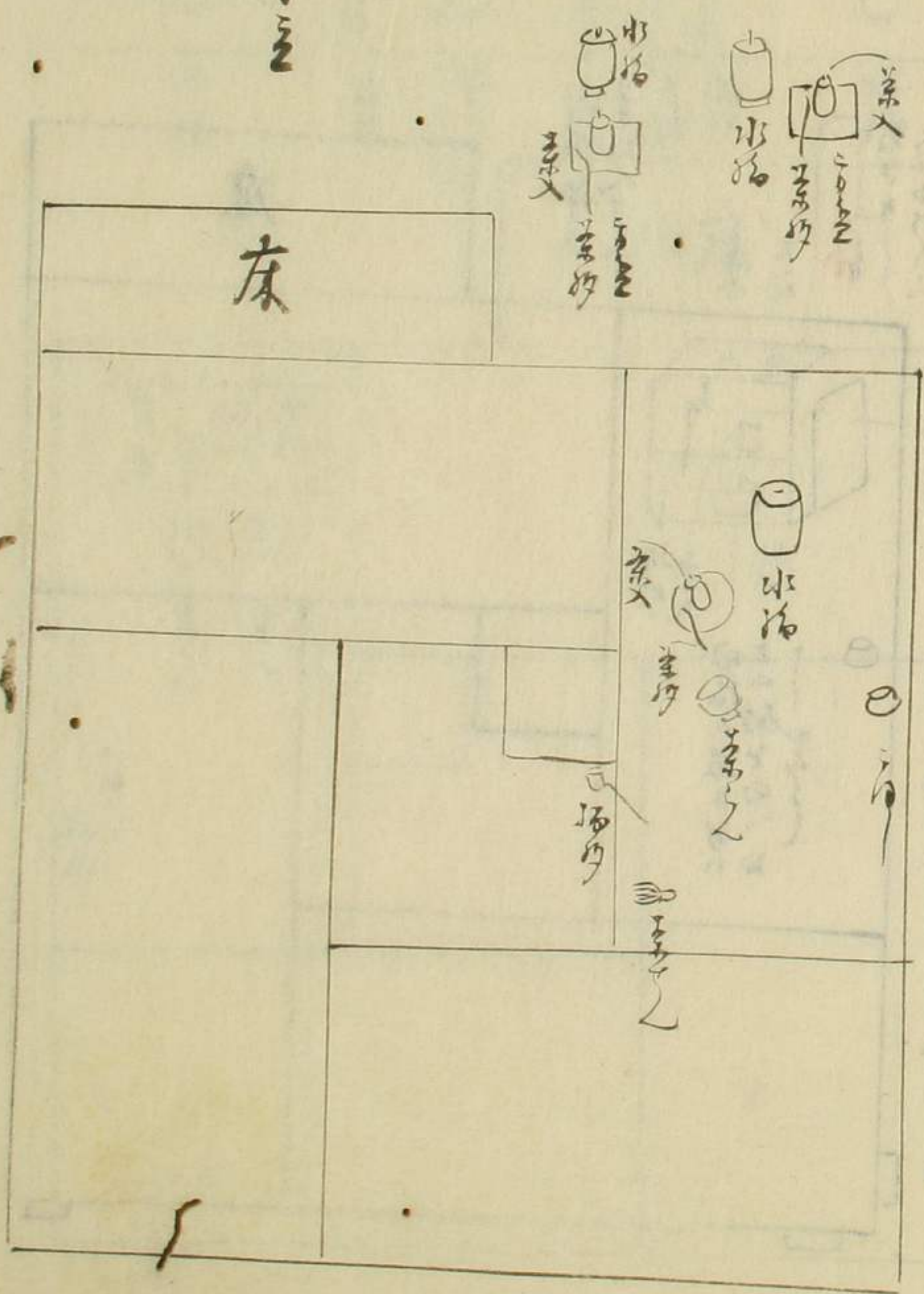
一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

一、茶碗湯、老玉目之信、老玉子大井之信、時不常此茶碗入膳

五子平右端
五子平

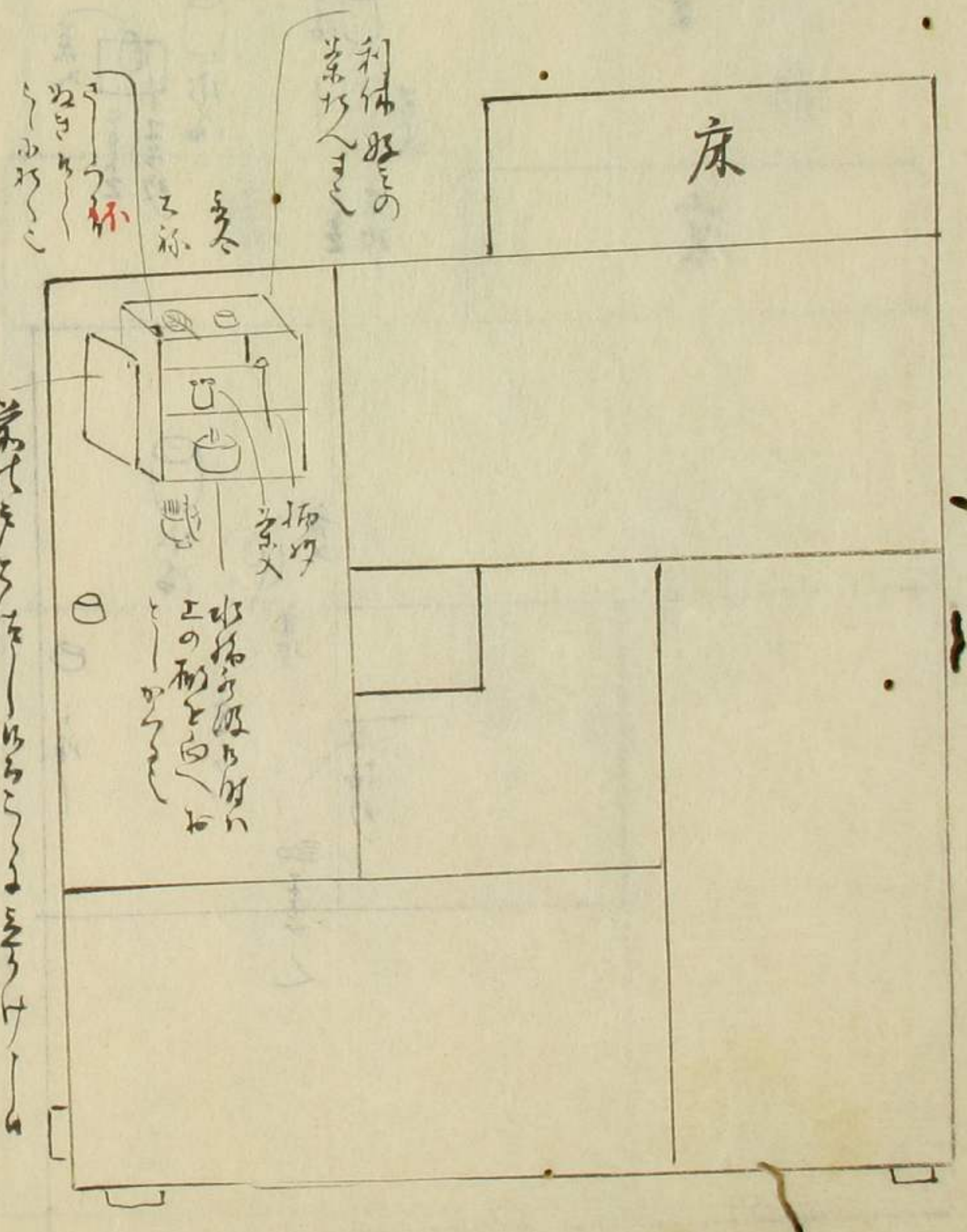


五子平右端



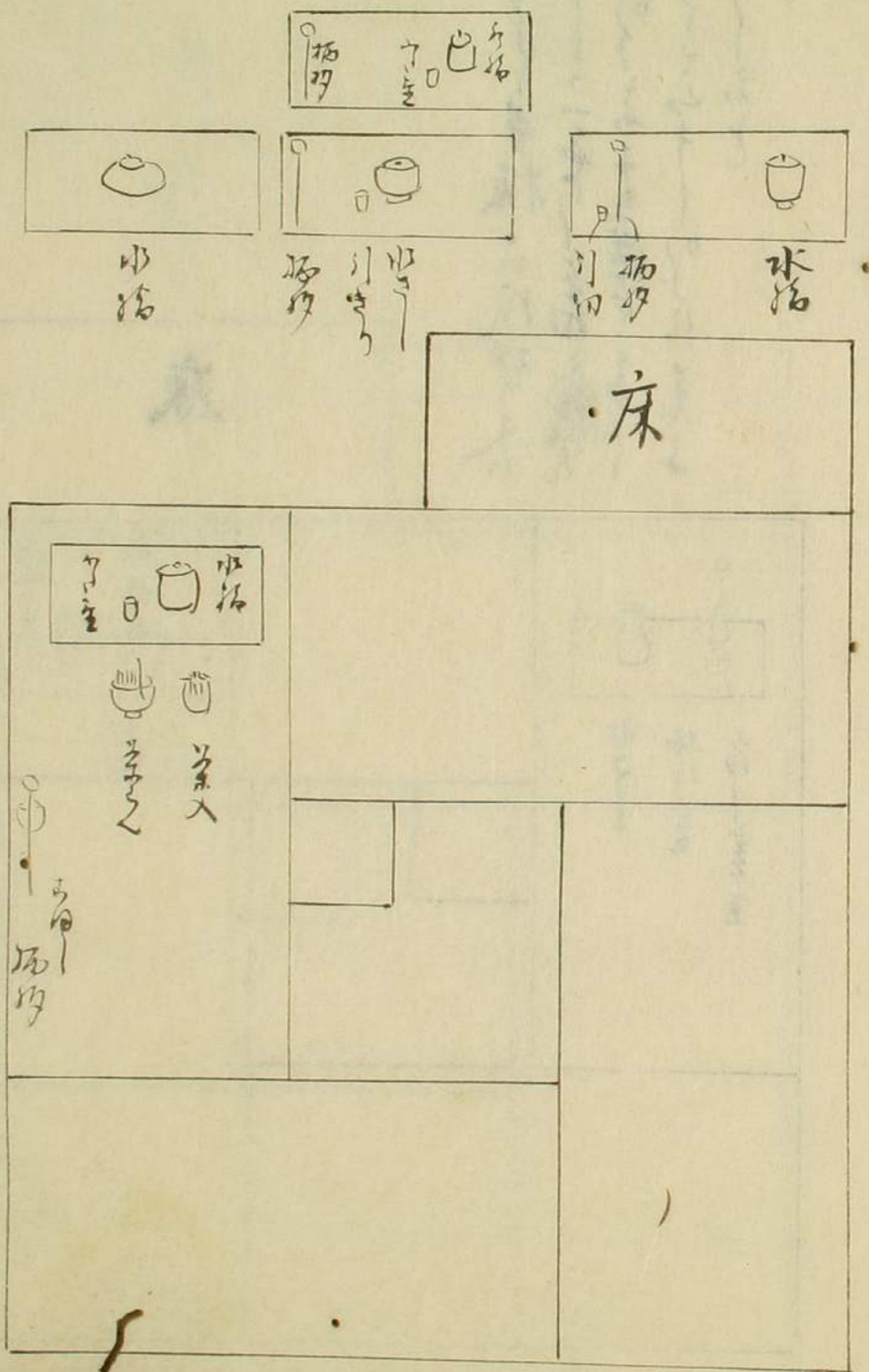
五子平

田舎表の時
 茶櫃子置る
 子置



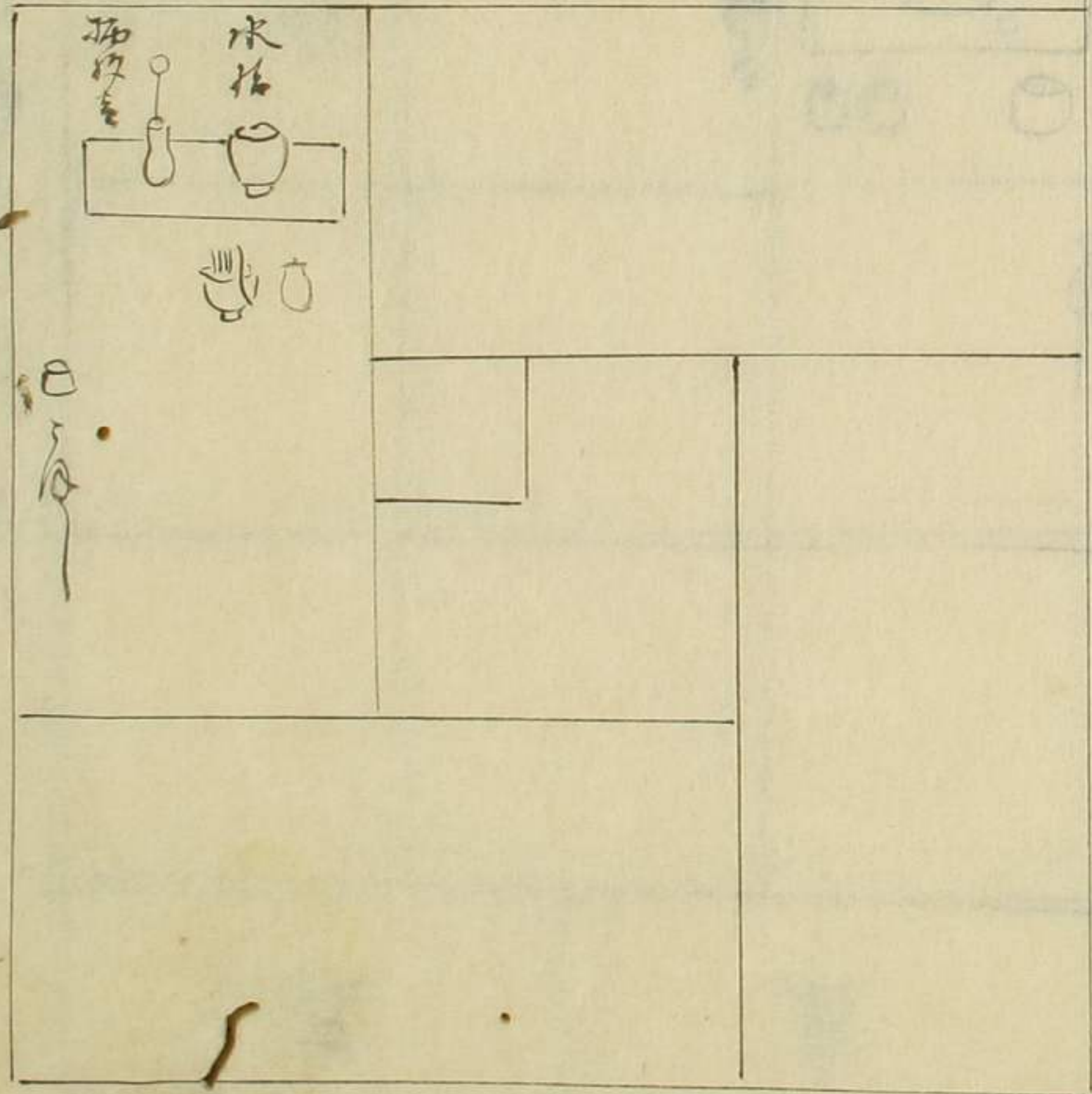
茶櫃子置る
 子置

長板
 重合他田舎表時



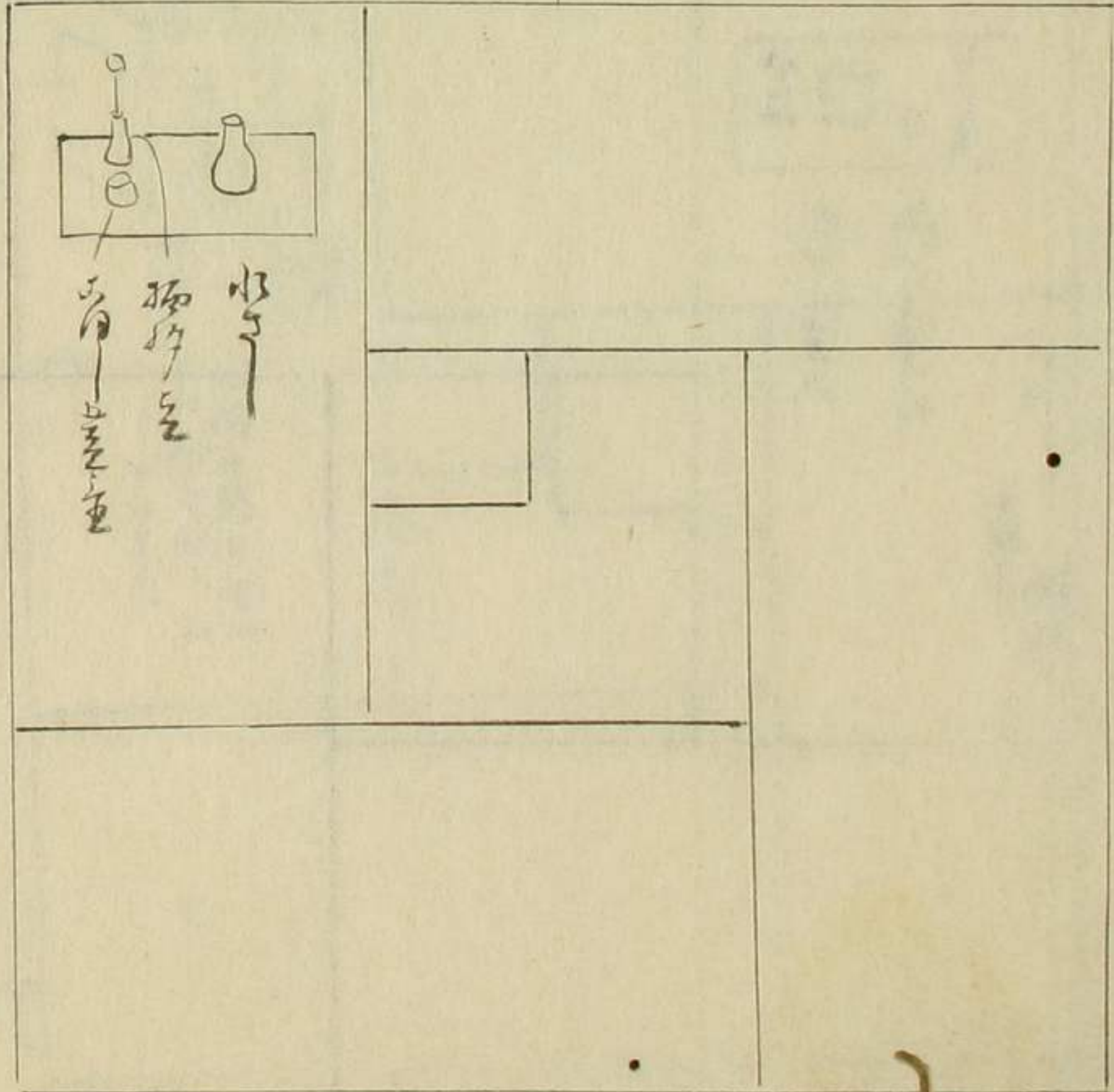
Handwritten notes in the top left corner of the left page, including the characters "床" and "水".

床

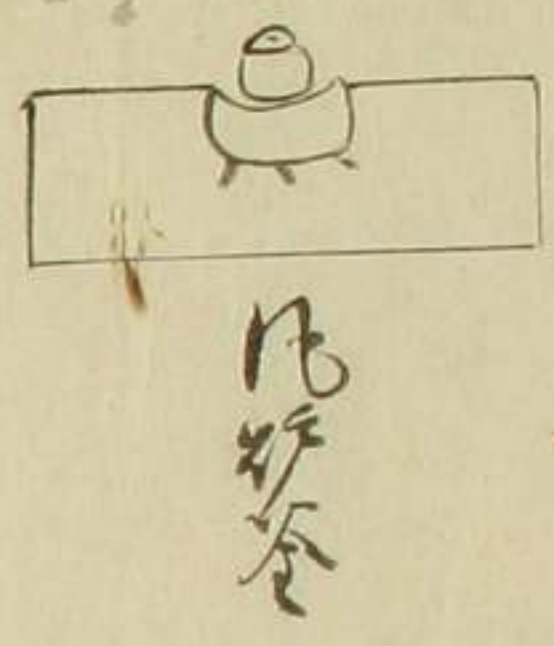


Handwritten notes in the top right corner of the right page, including the characters "床" and "水".

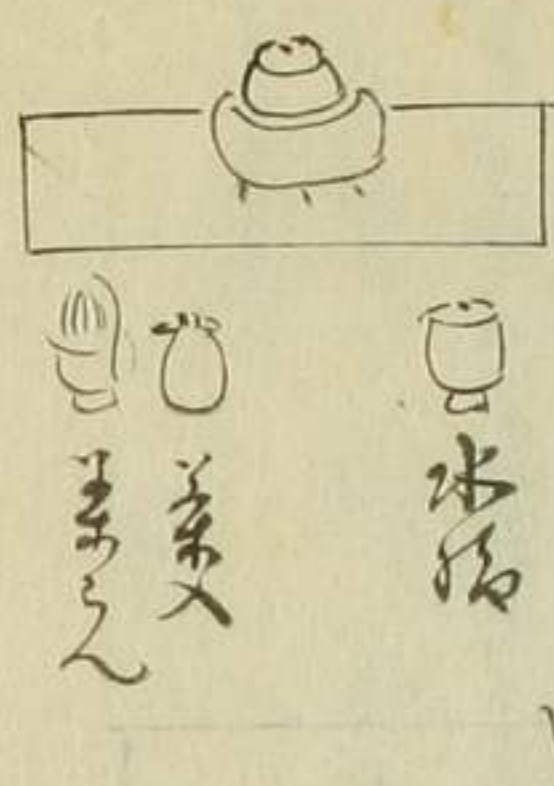
床



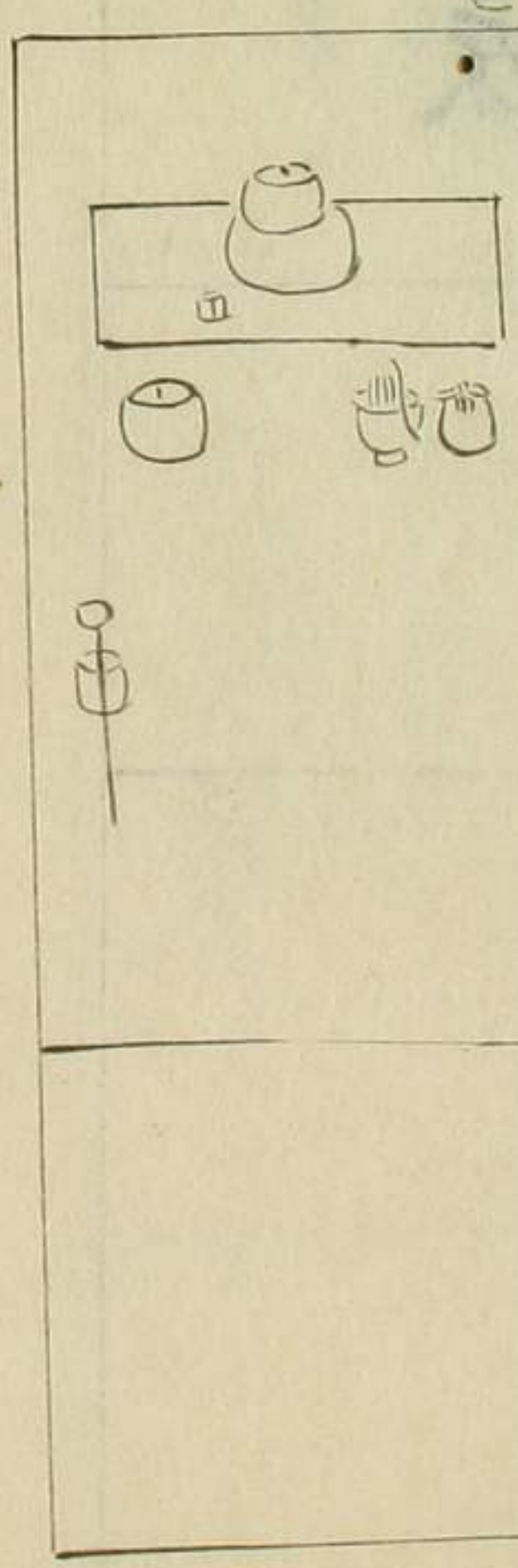
長板金合他凡新



右膳

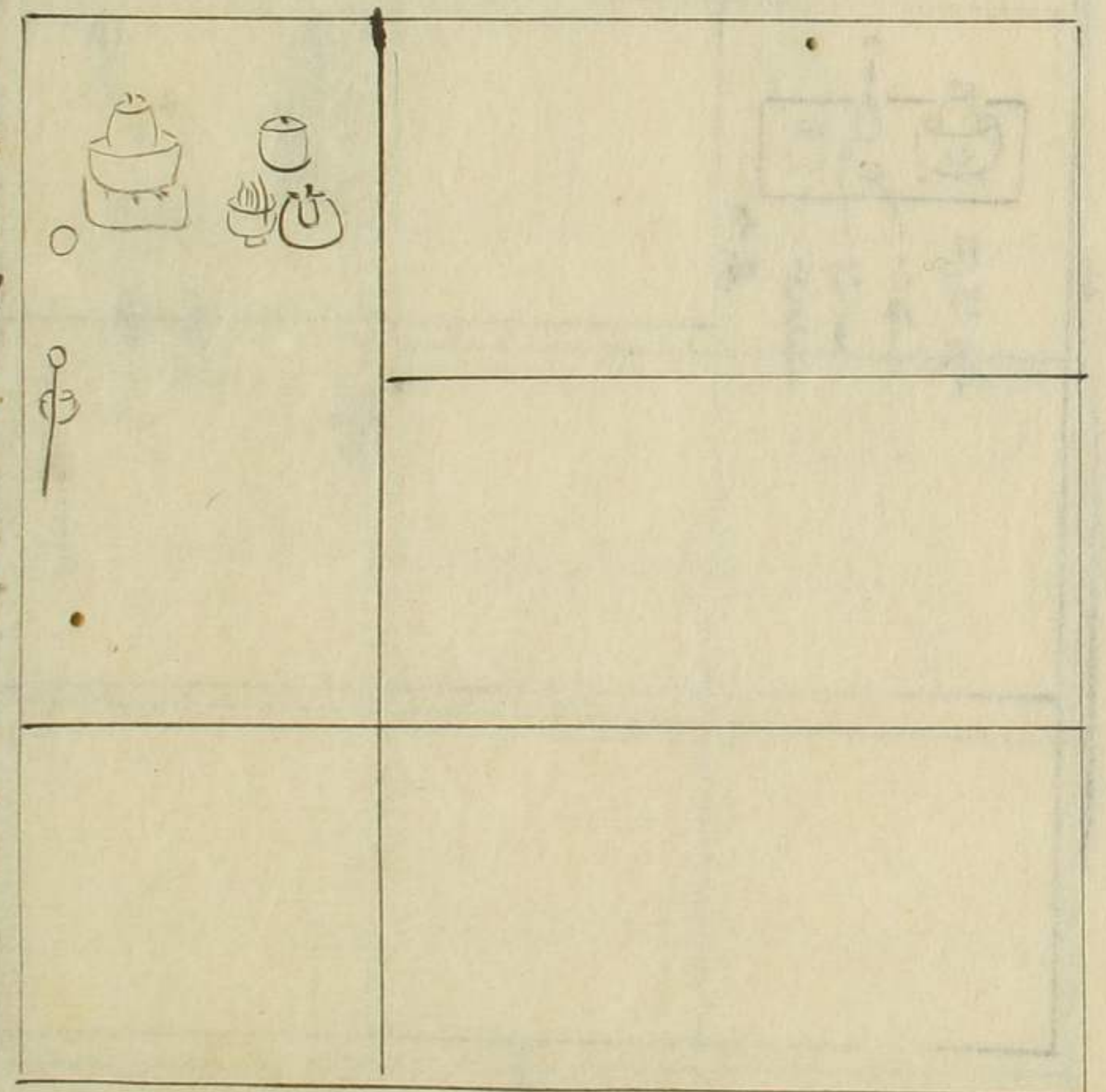
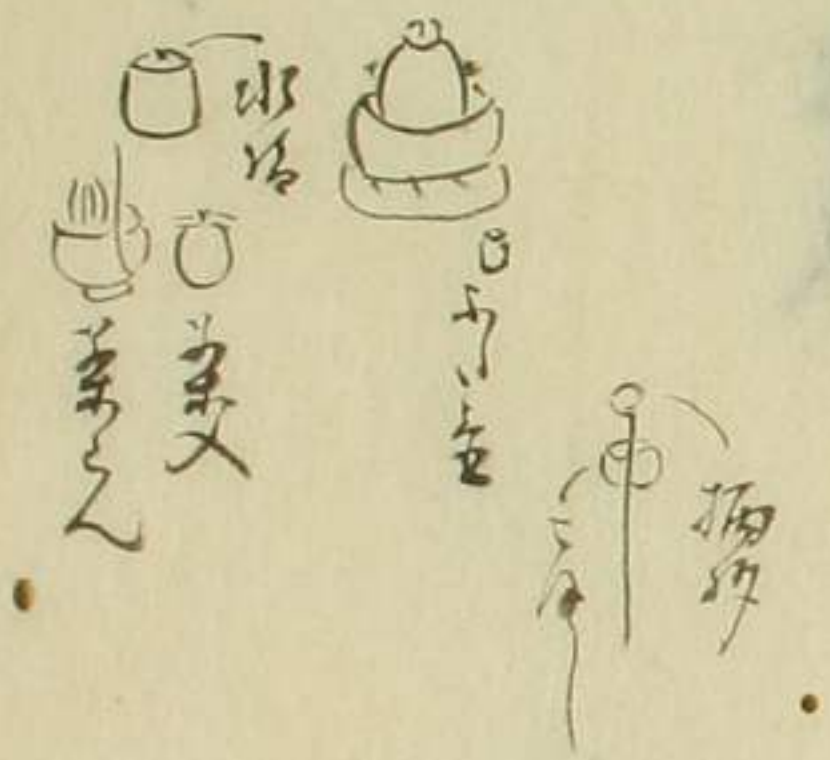


左膳



床

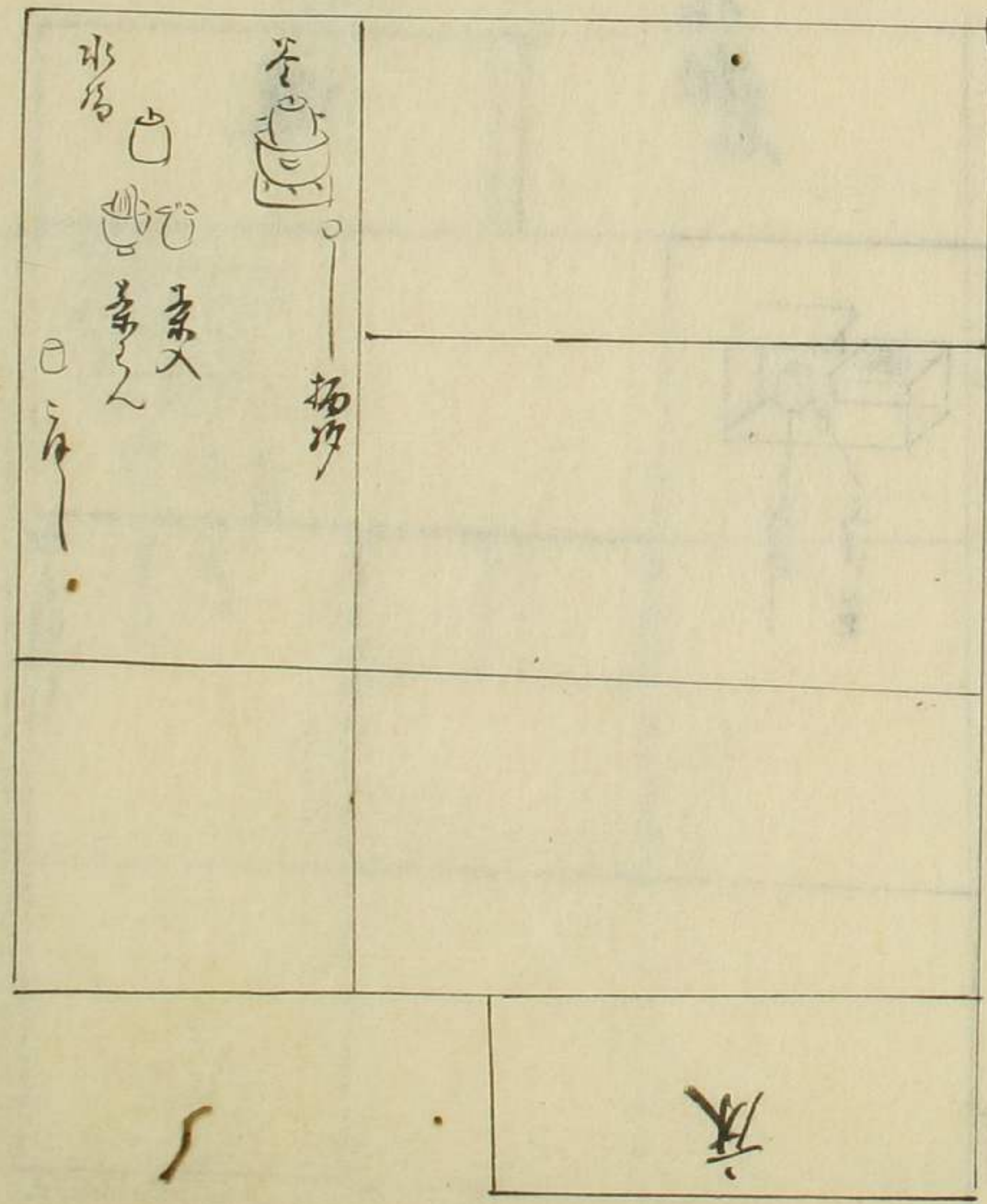
米重合し所
右膳



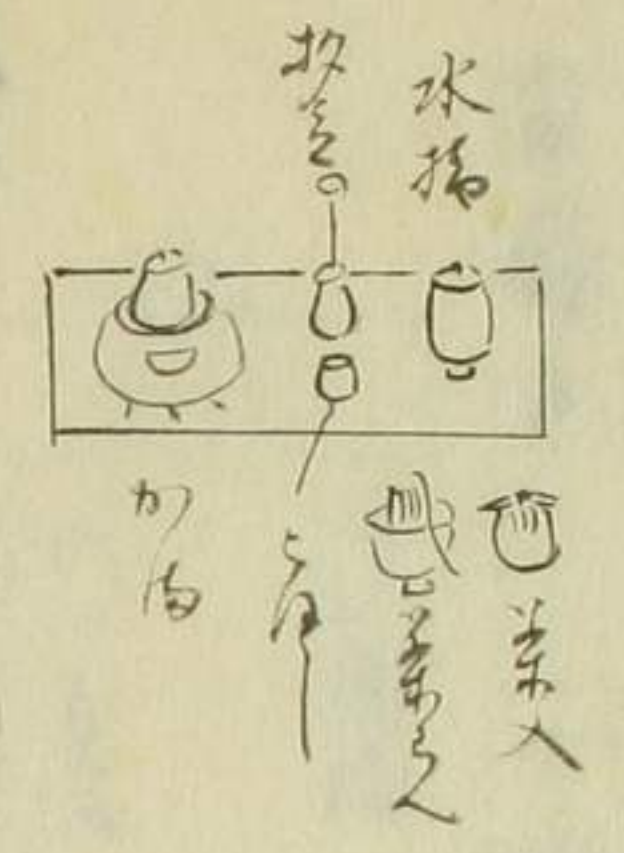
右膳

床

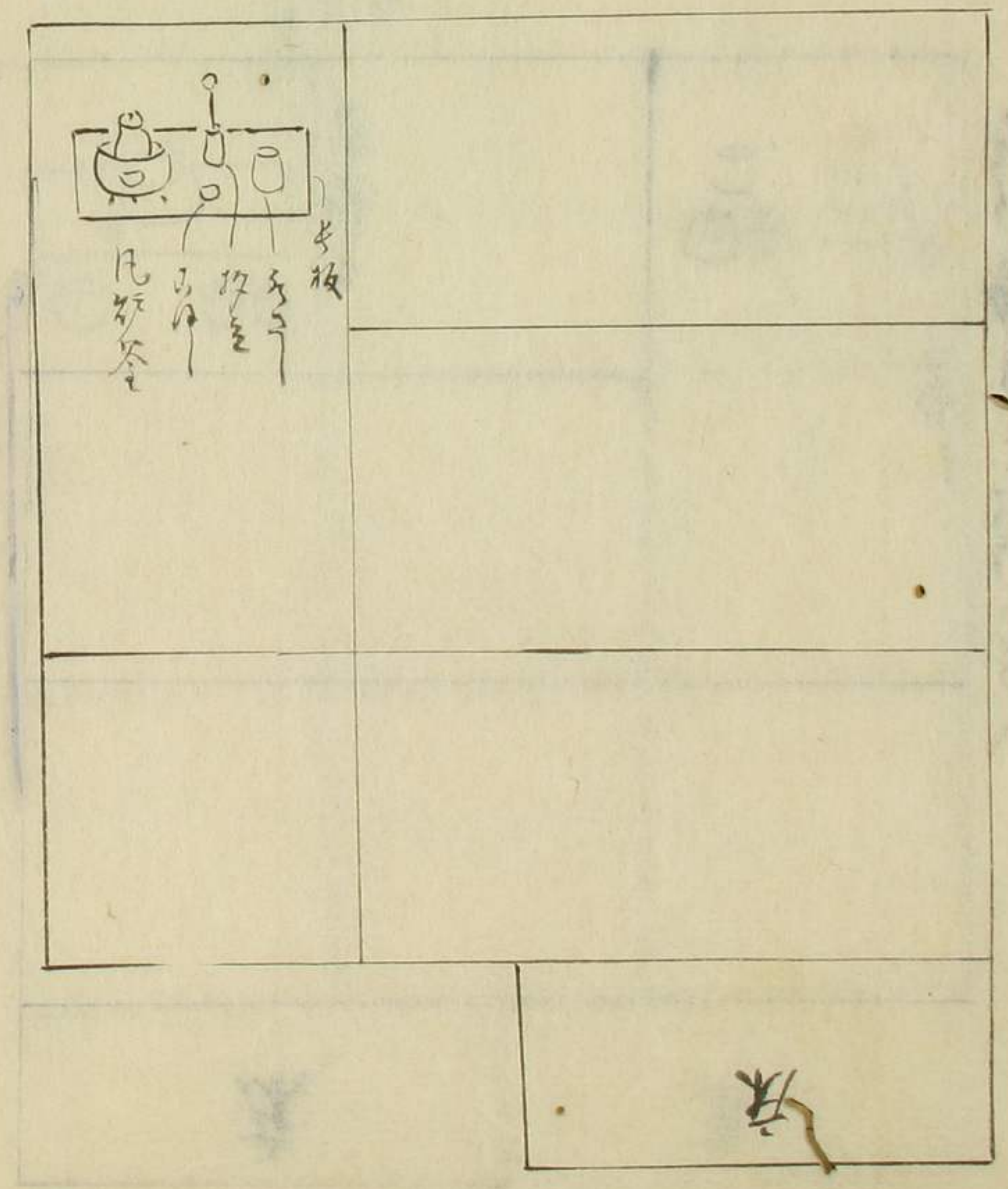
虎膳の
古加戸の
用紙



水桶
茶
茶
茶

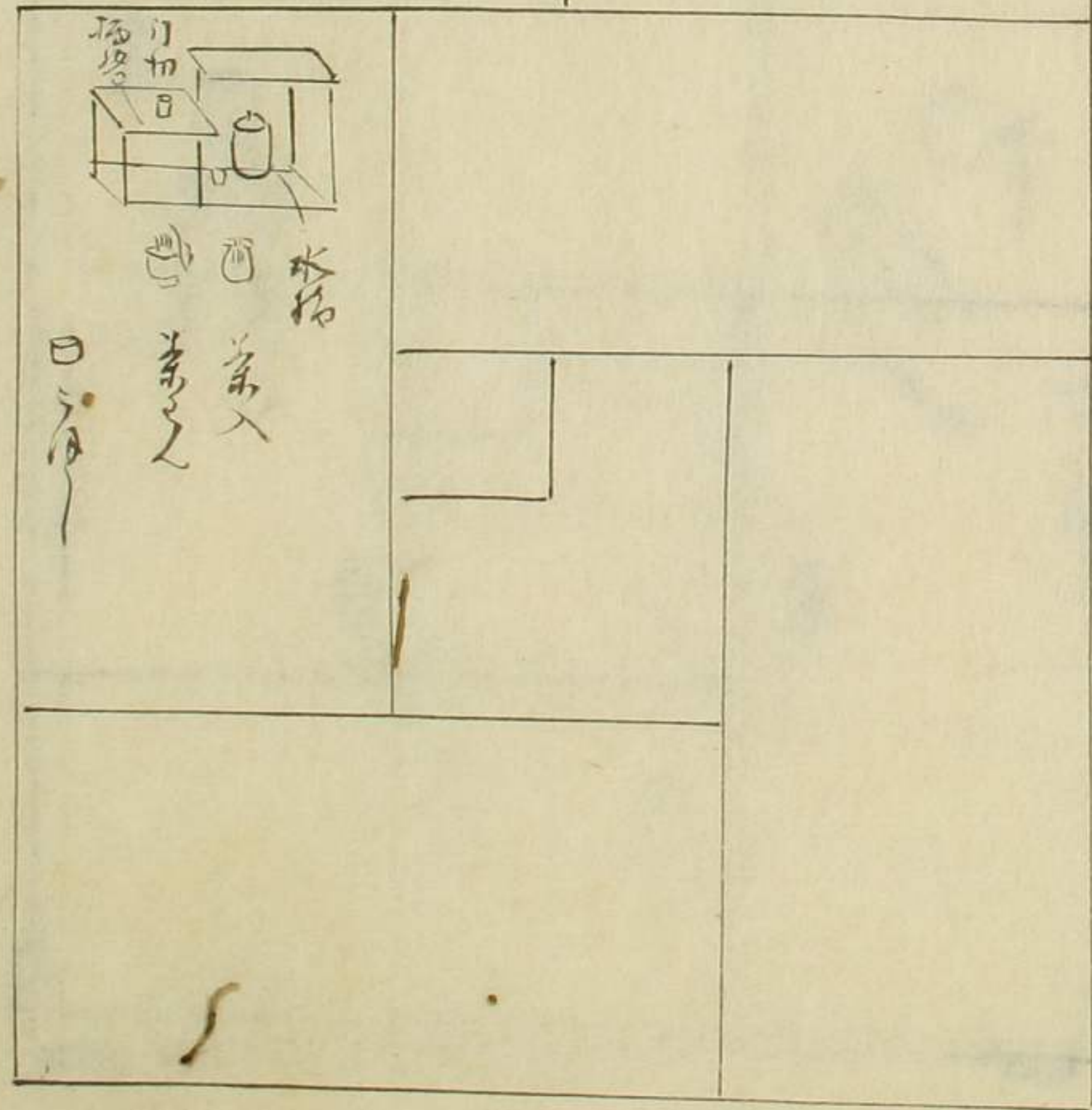


長板



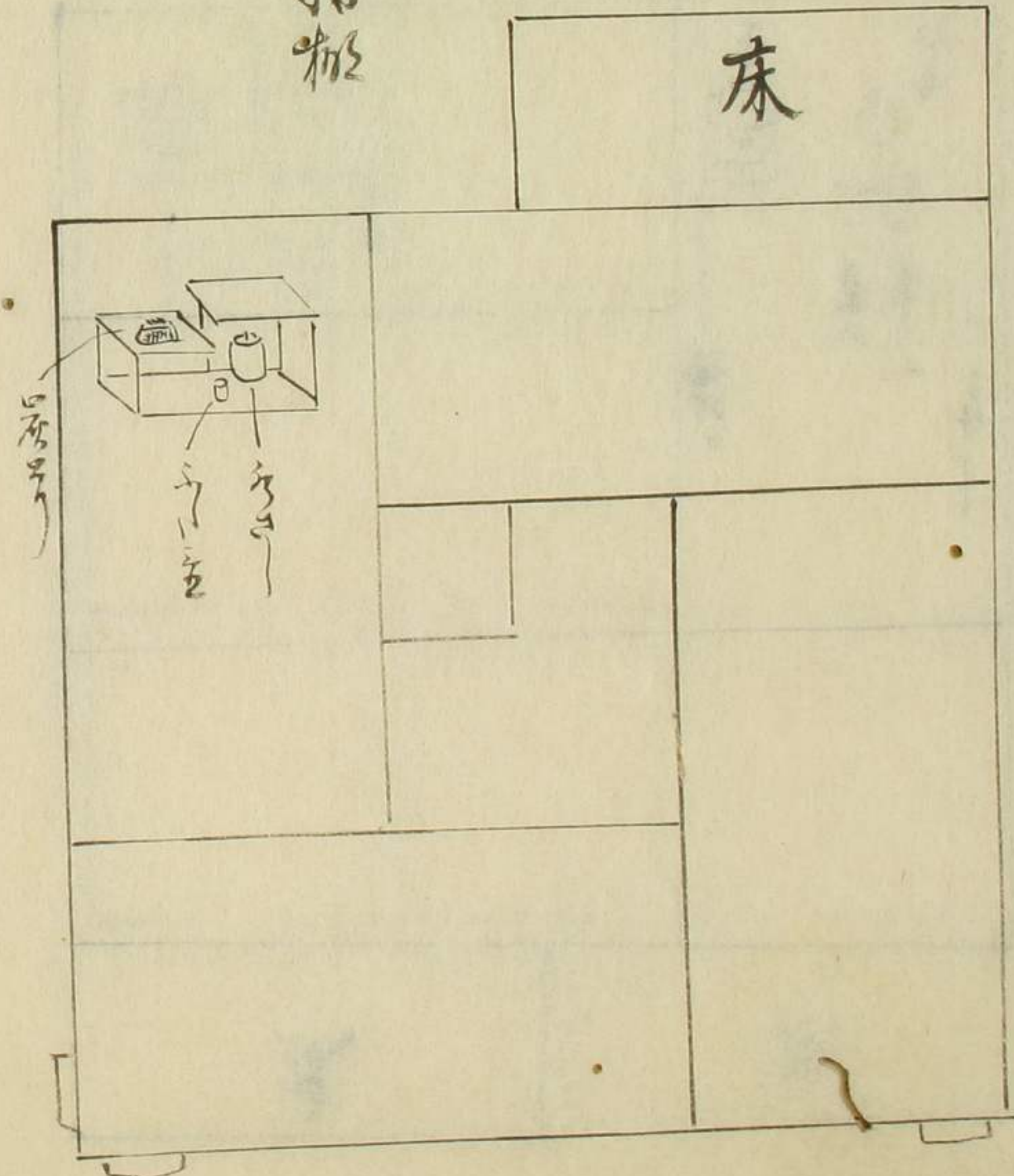
竹
水
拵
棚

床

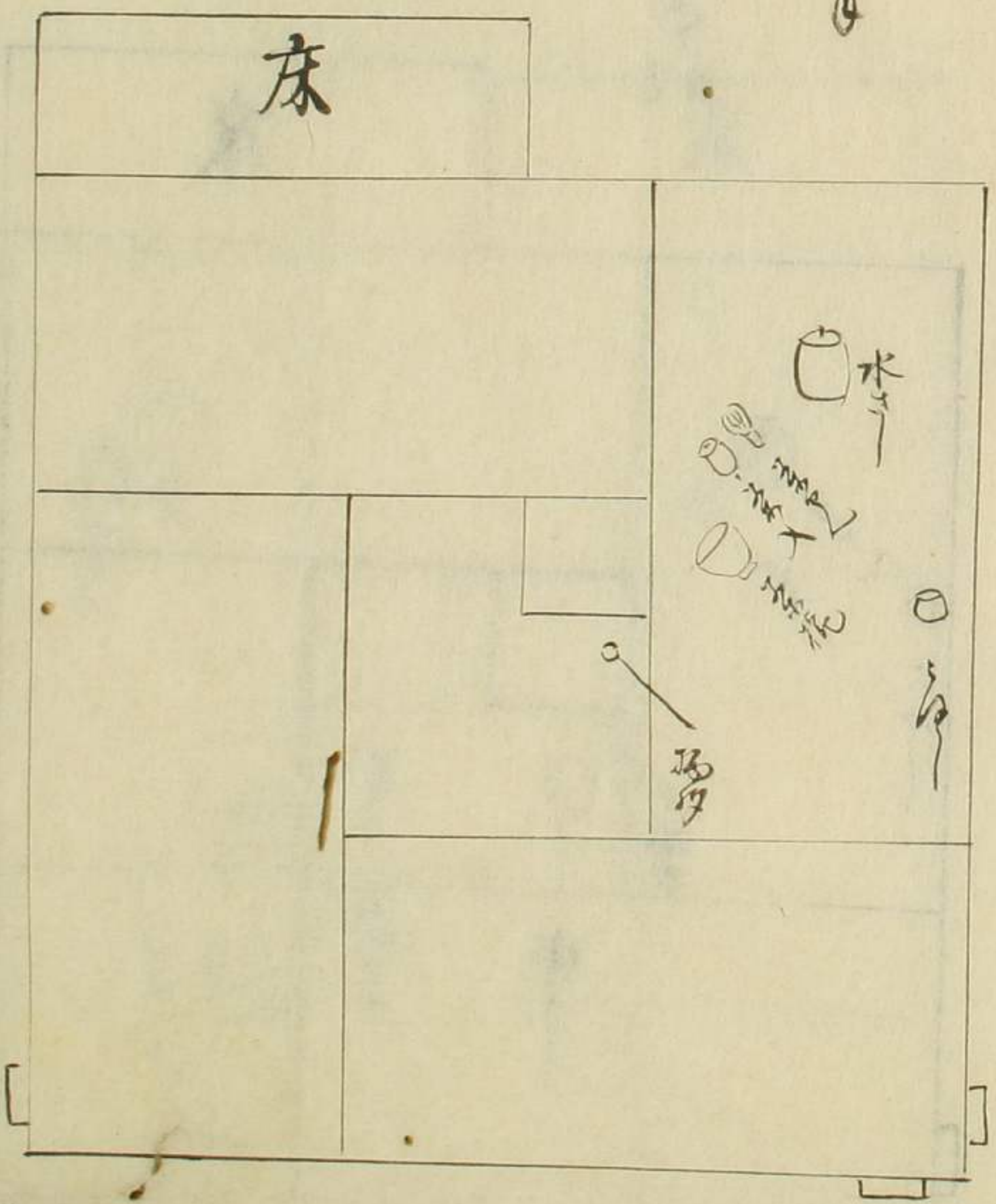


竹
水
拵
棚

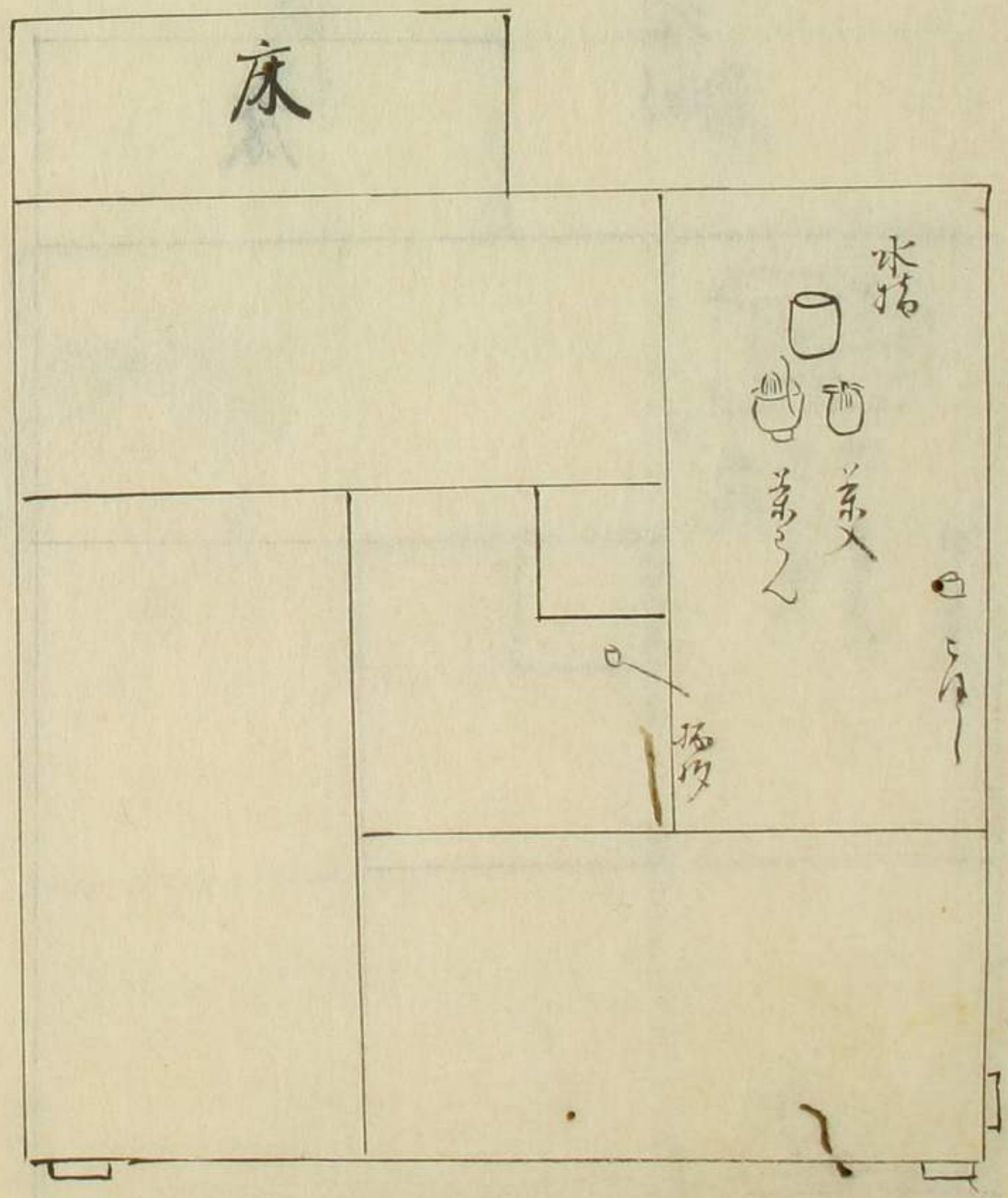
床



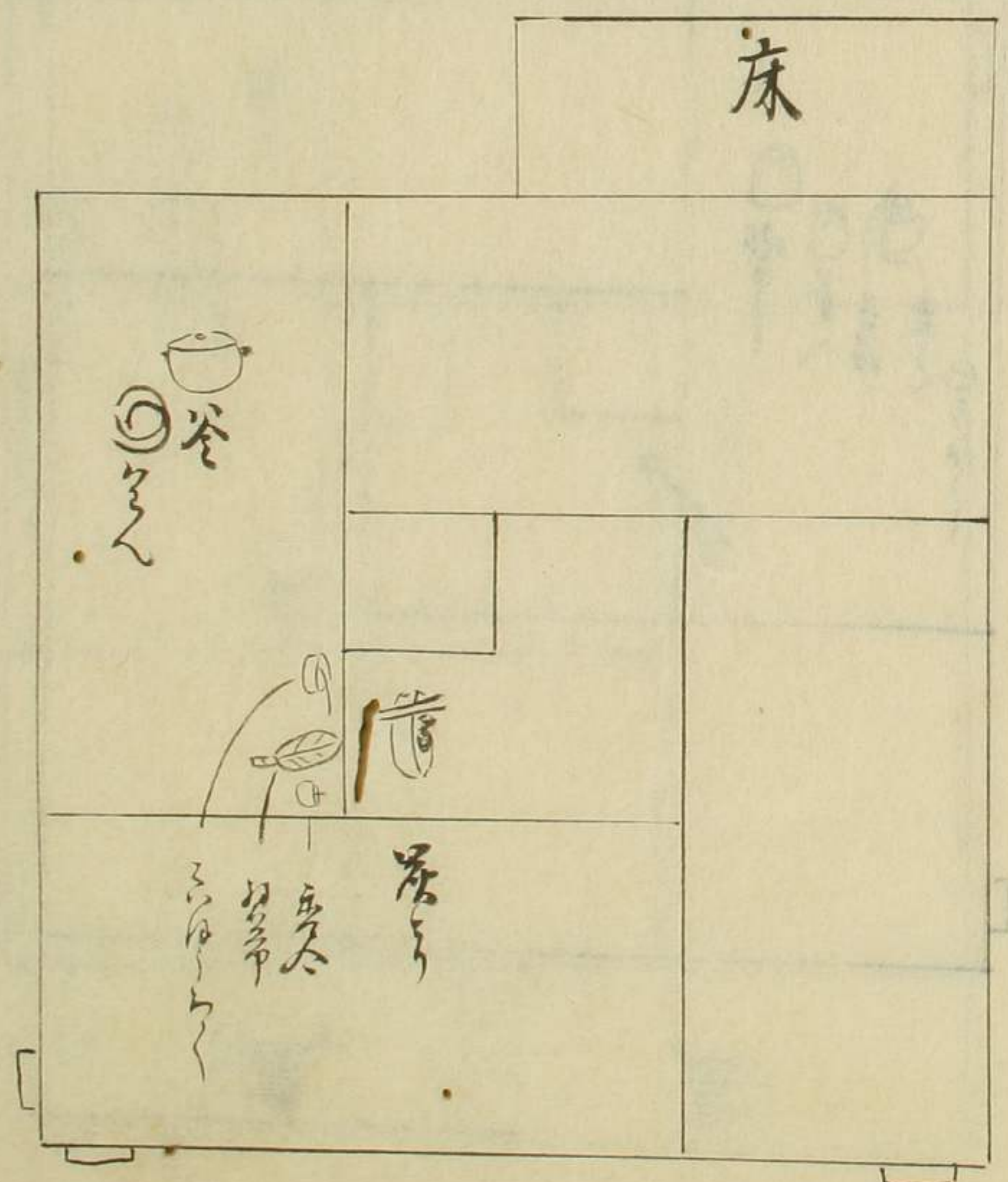
五子右端
立之



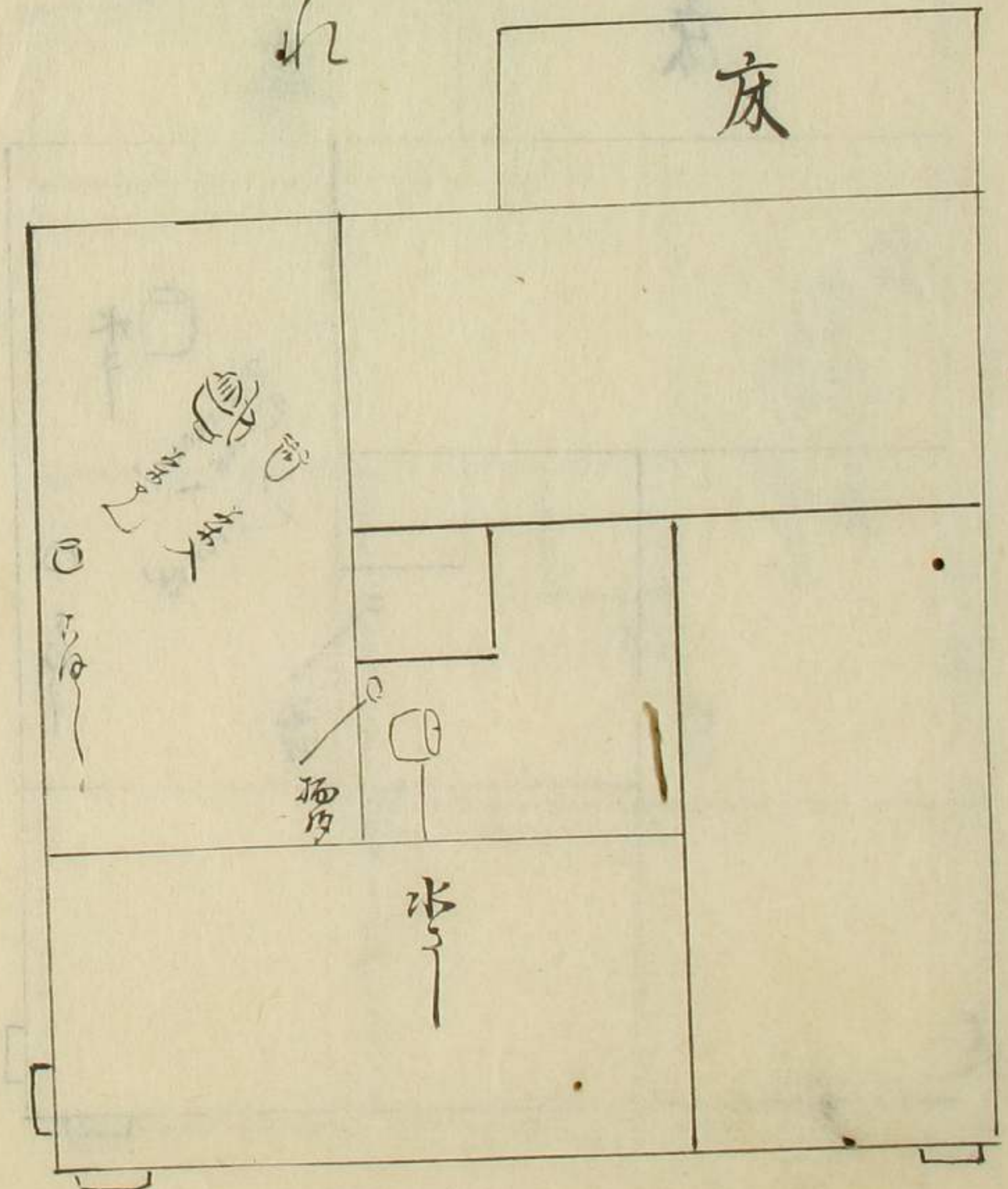
五子右端



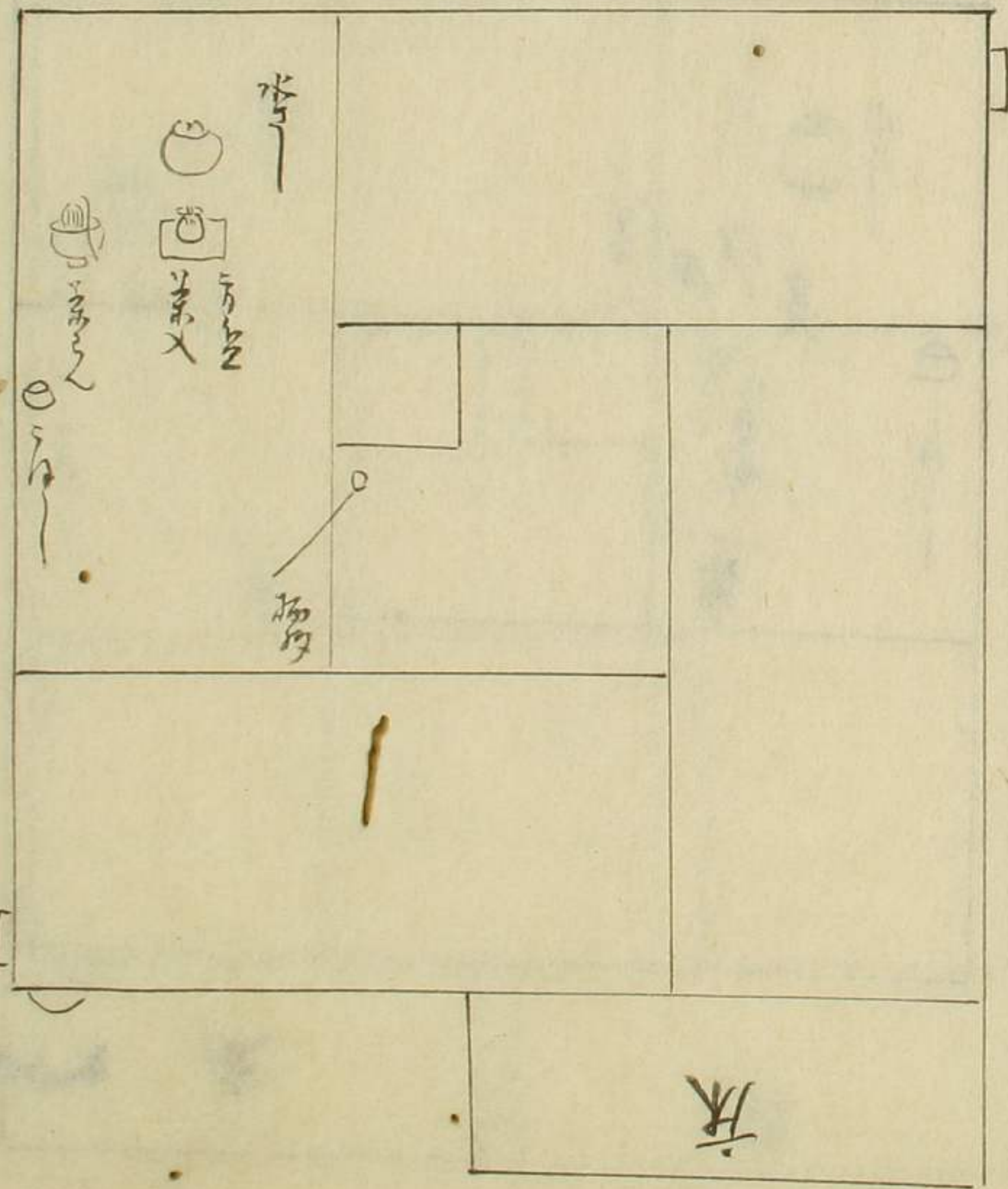
里子
 炭
 子



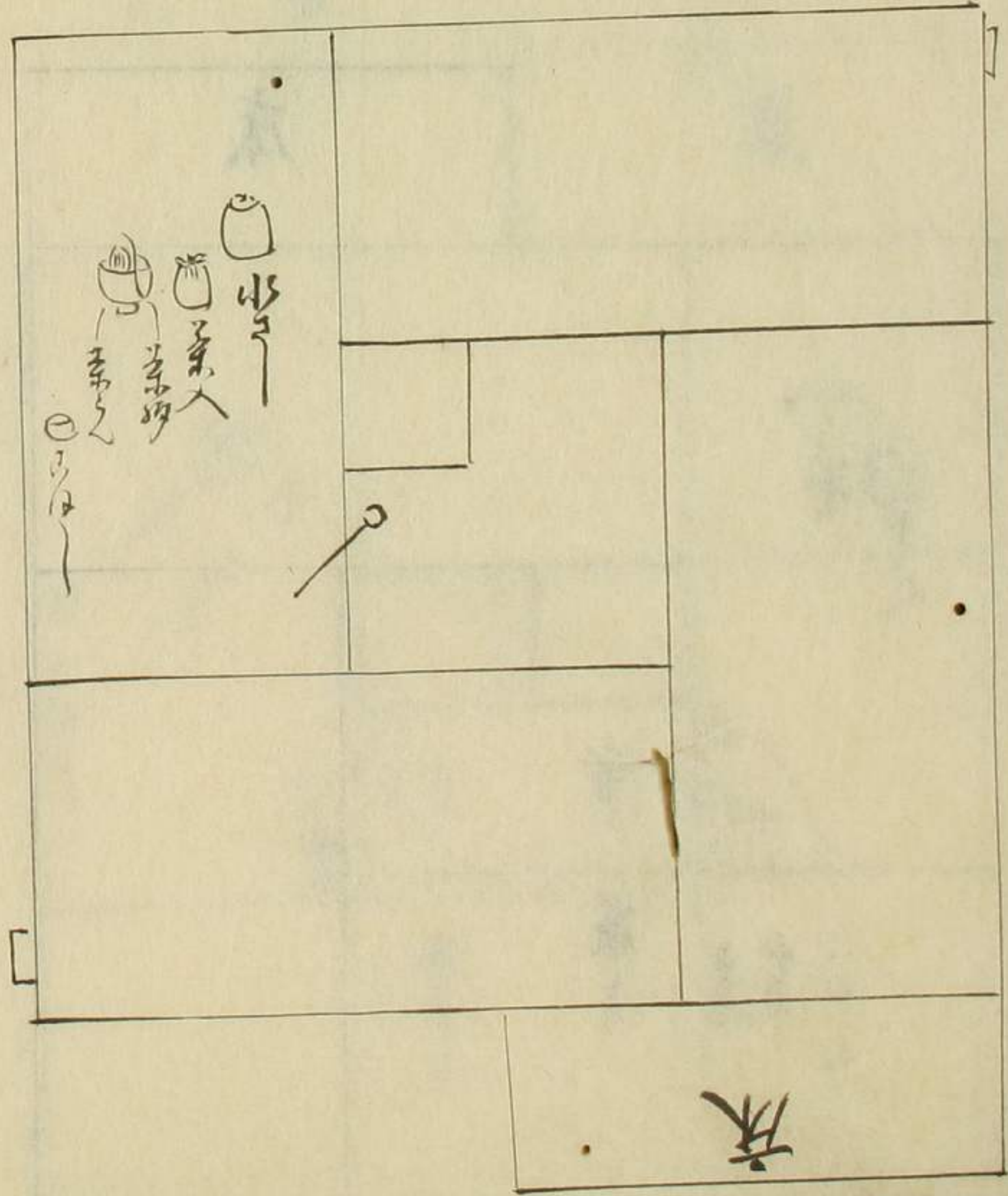
里子
 子



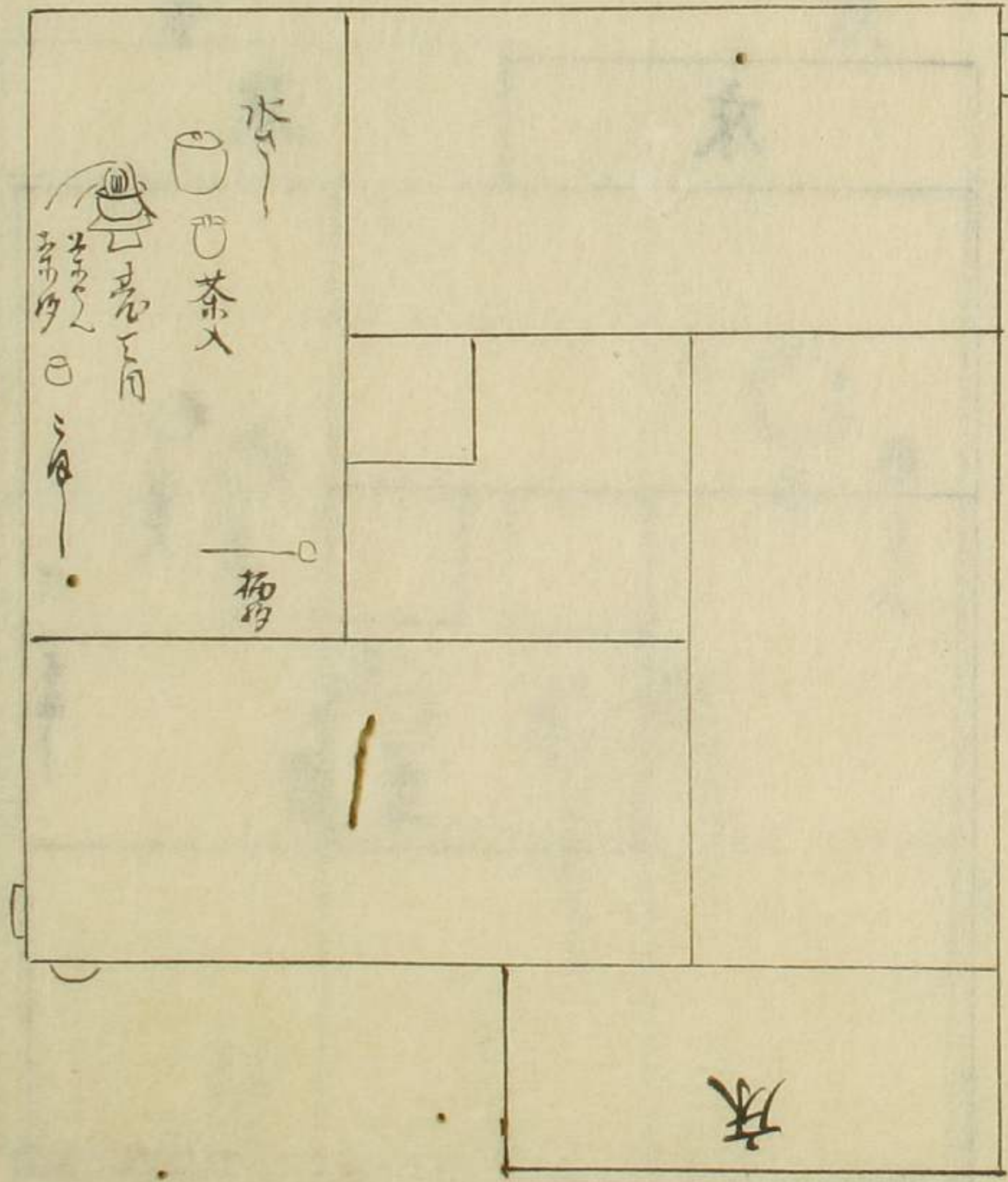
茶室



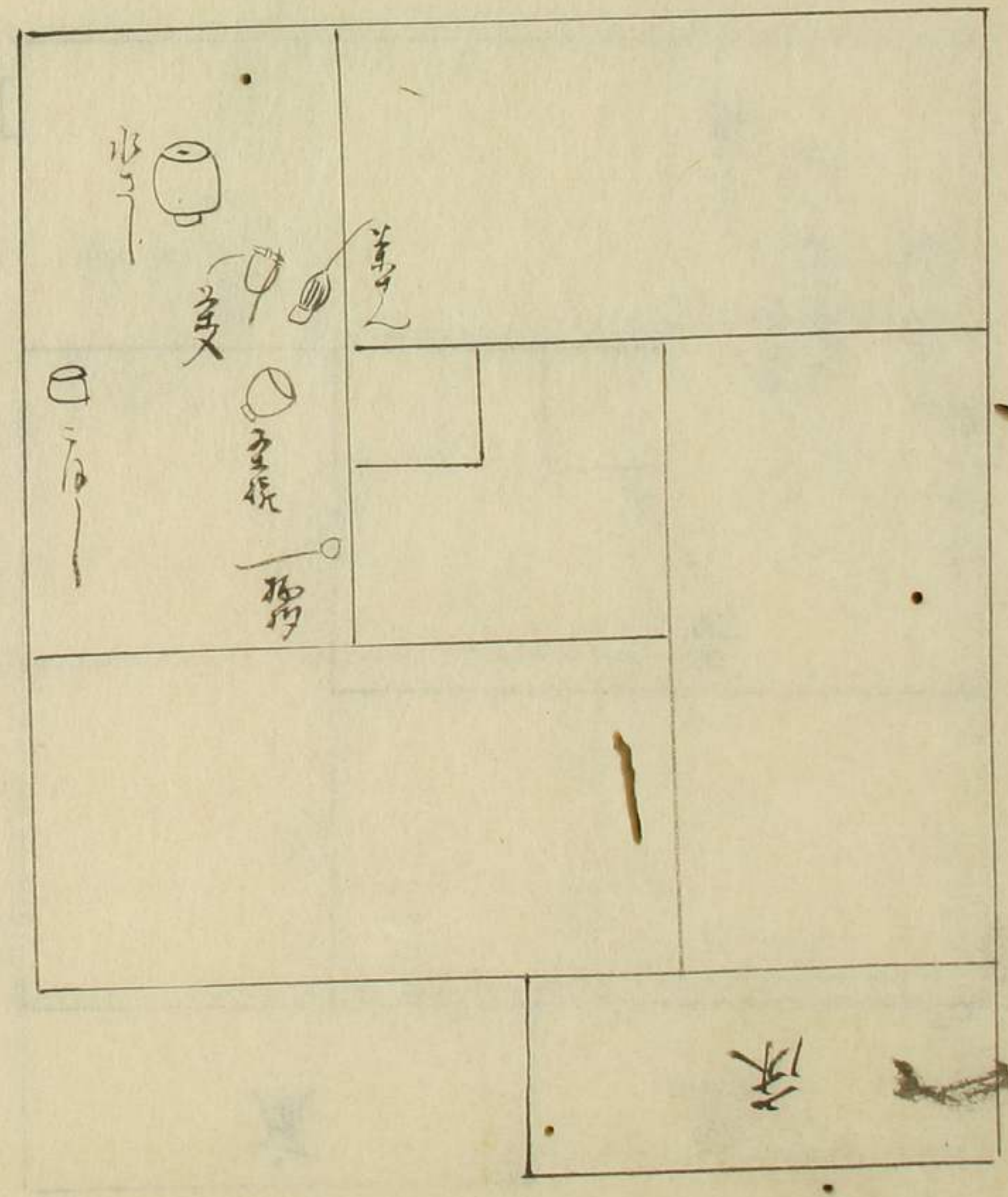
茶室



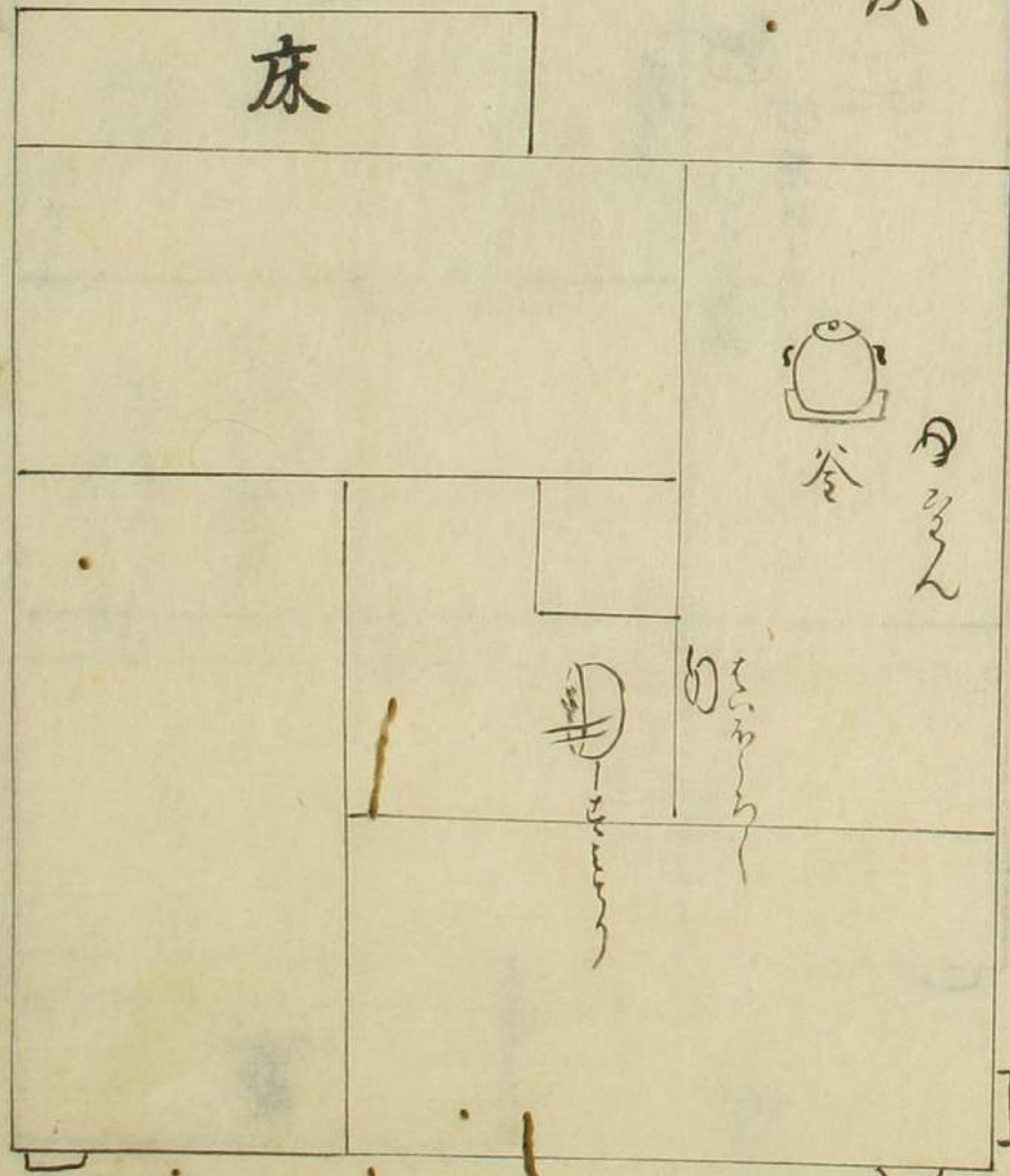
田舎半之



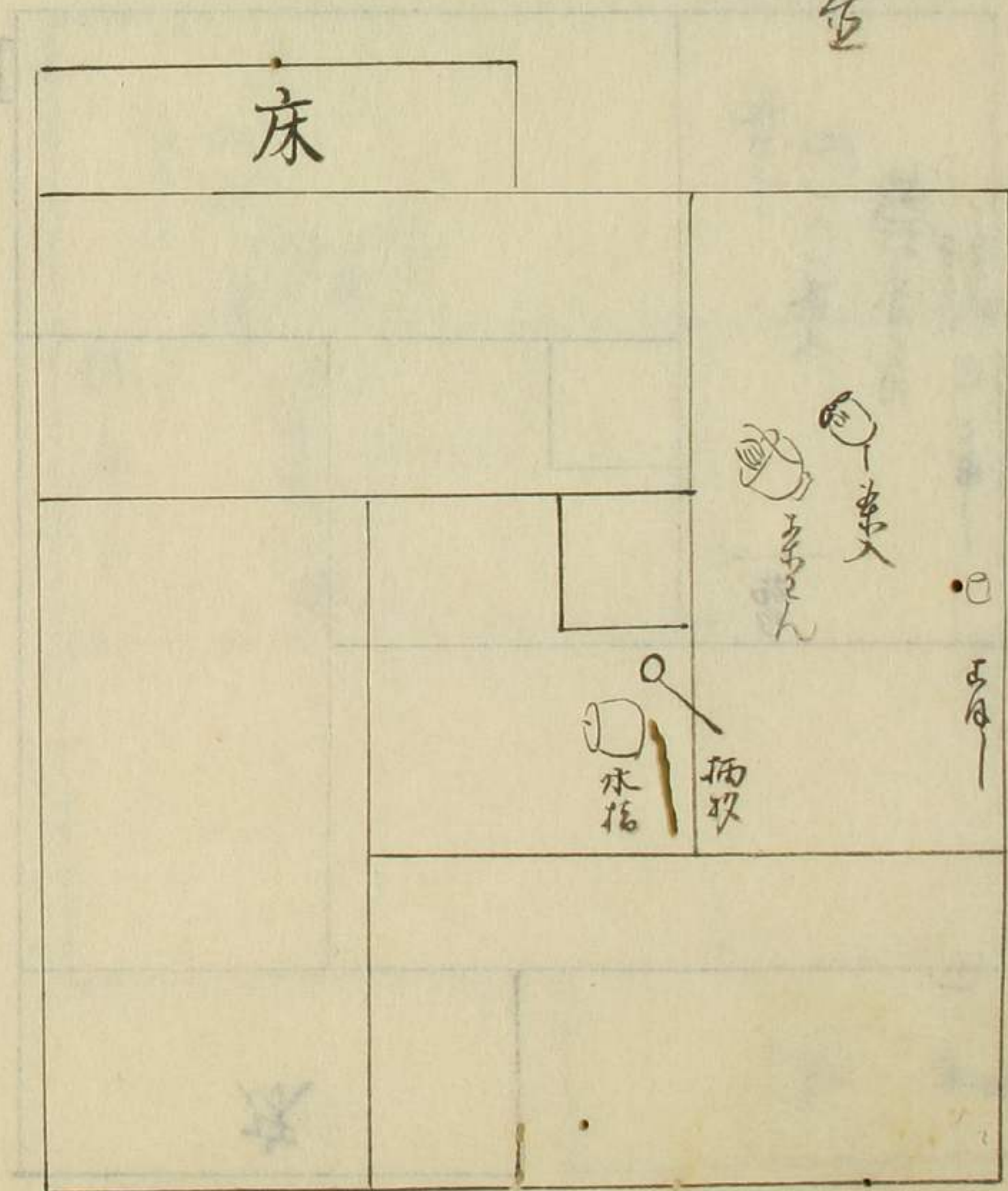
田舎半之



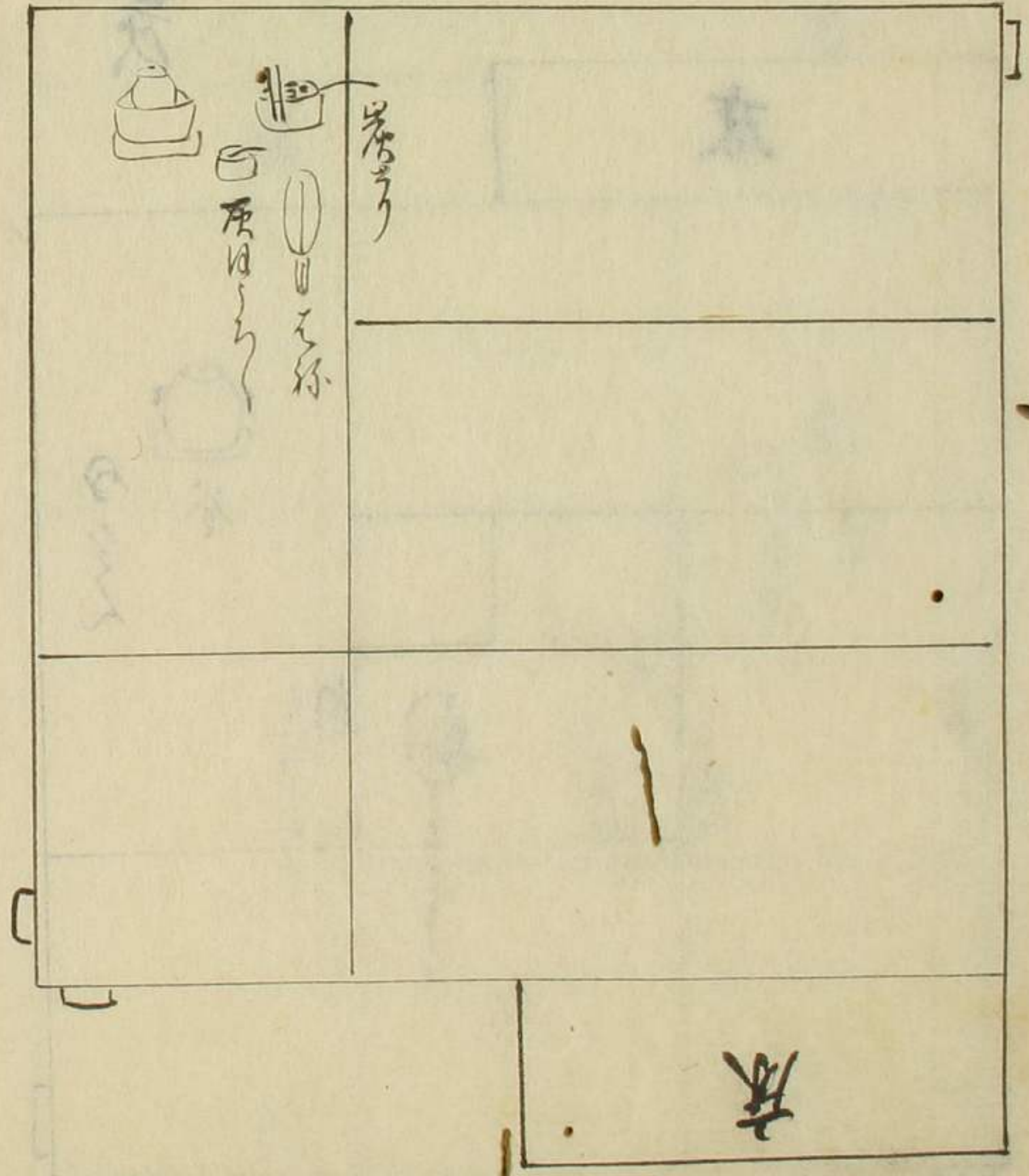
谷のけり
色付の氏



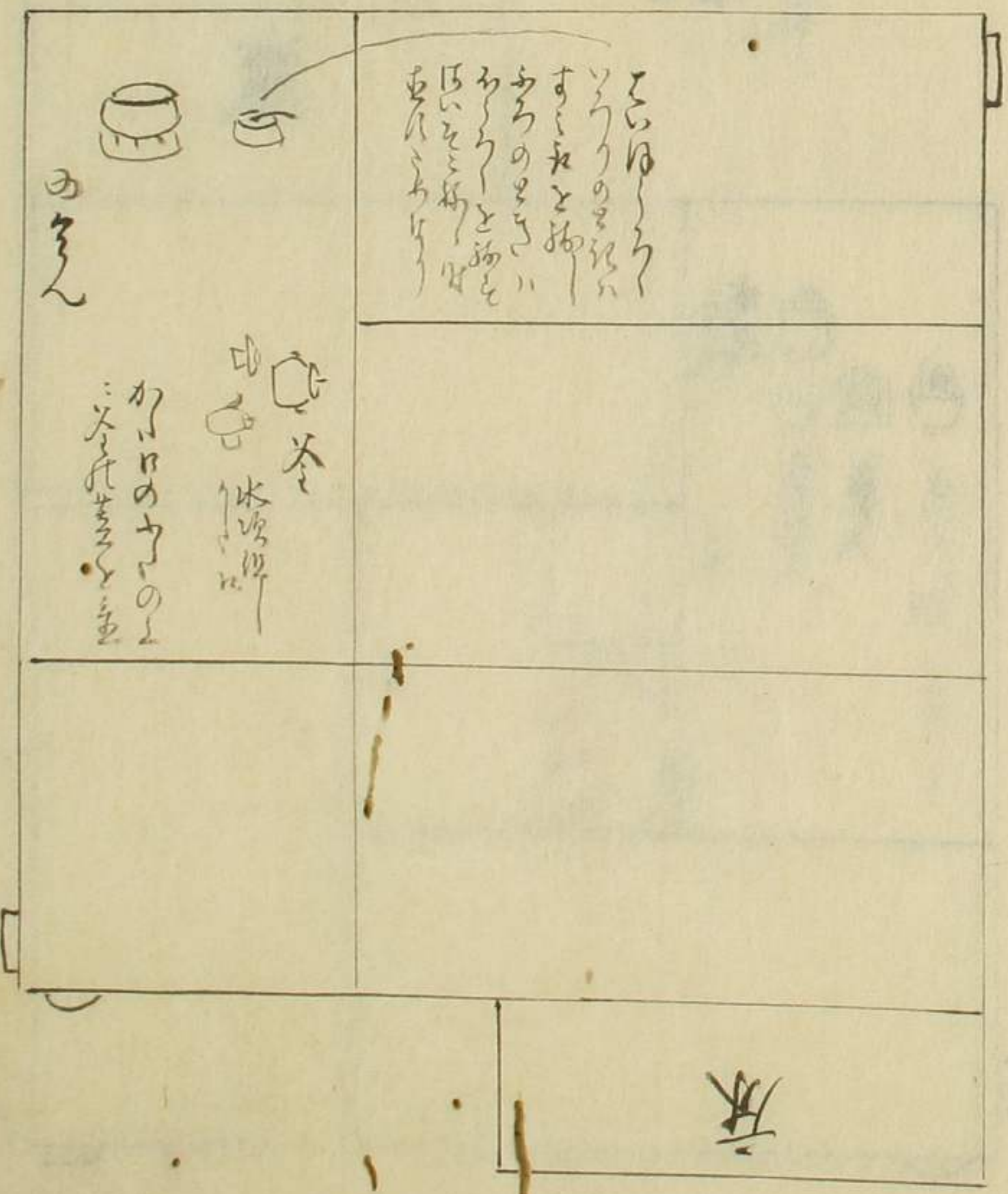
右勝手
色付の氏



風呂を炭
 持たし
 格

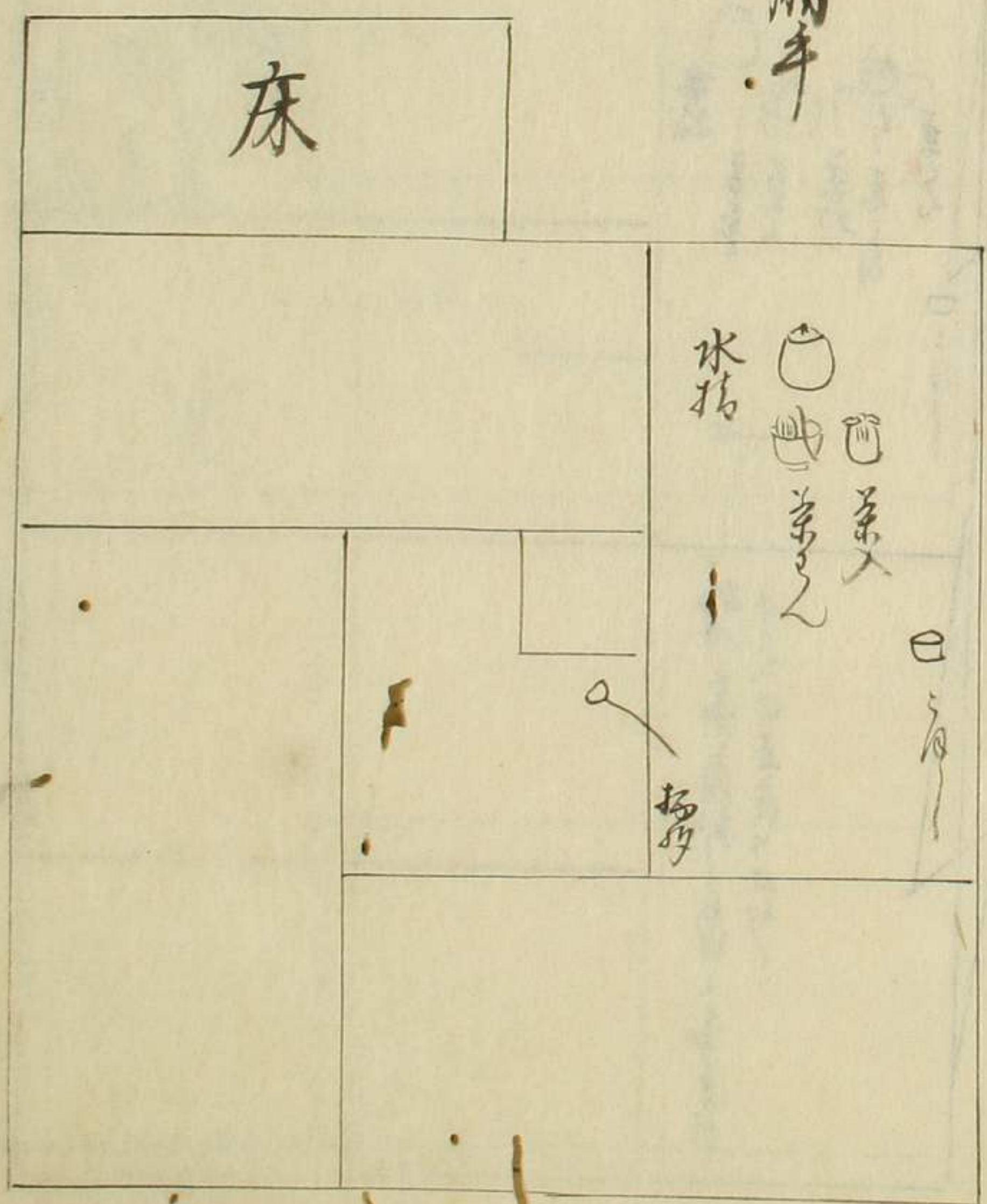


風呂を炭
 持たし
 格



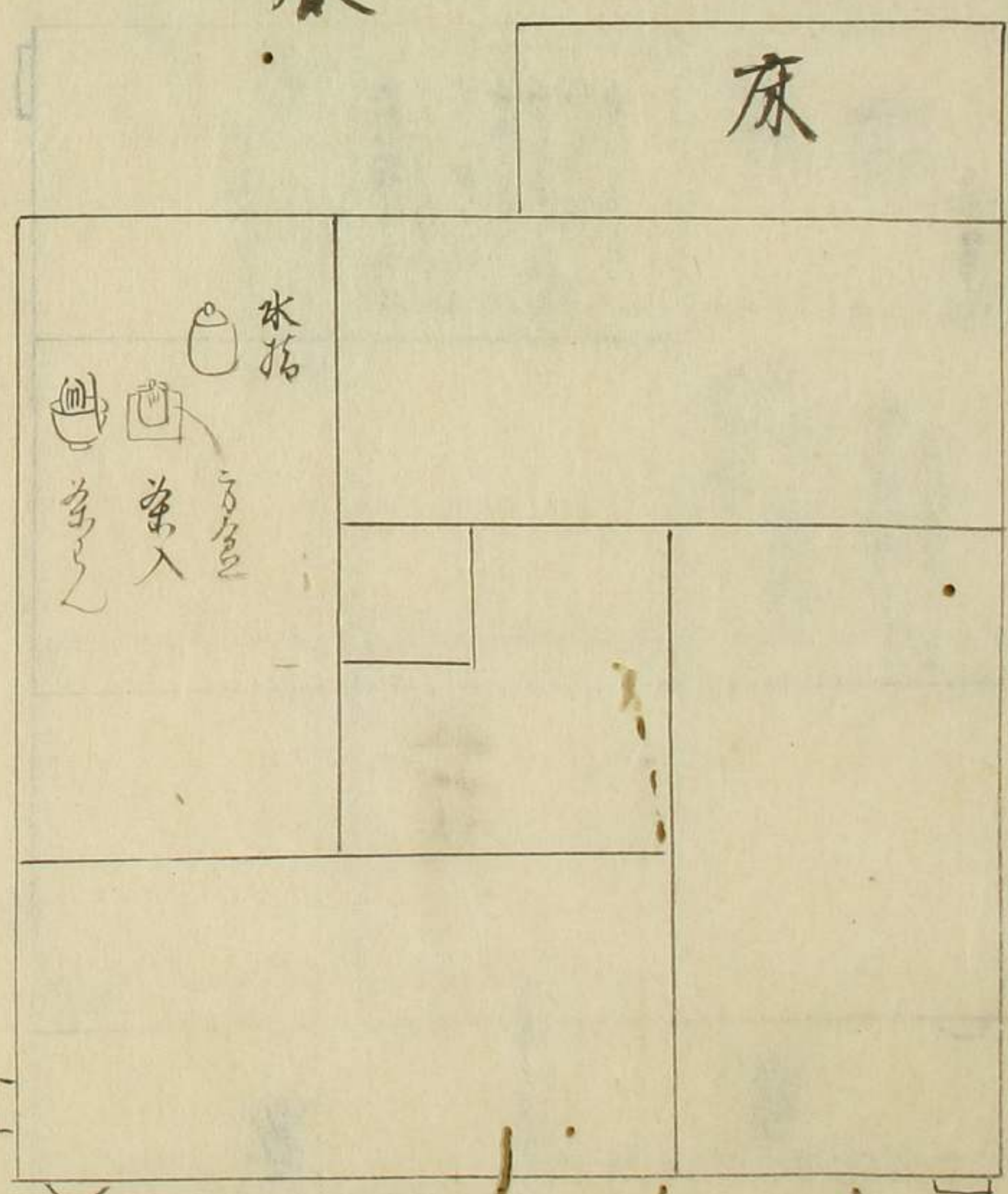
右脇平

右脇平

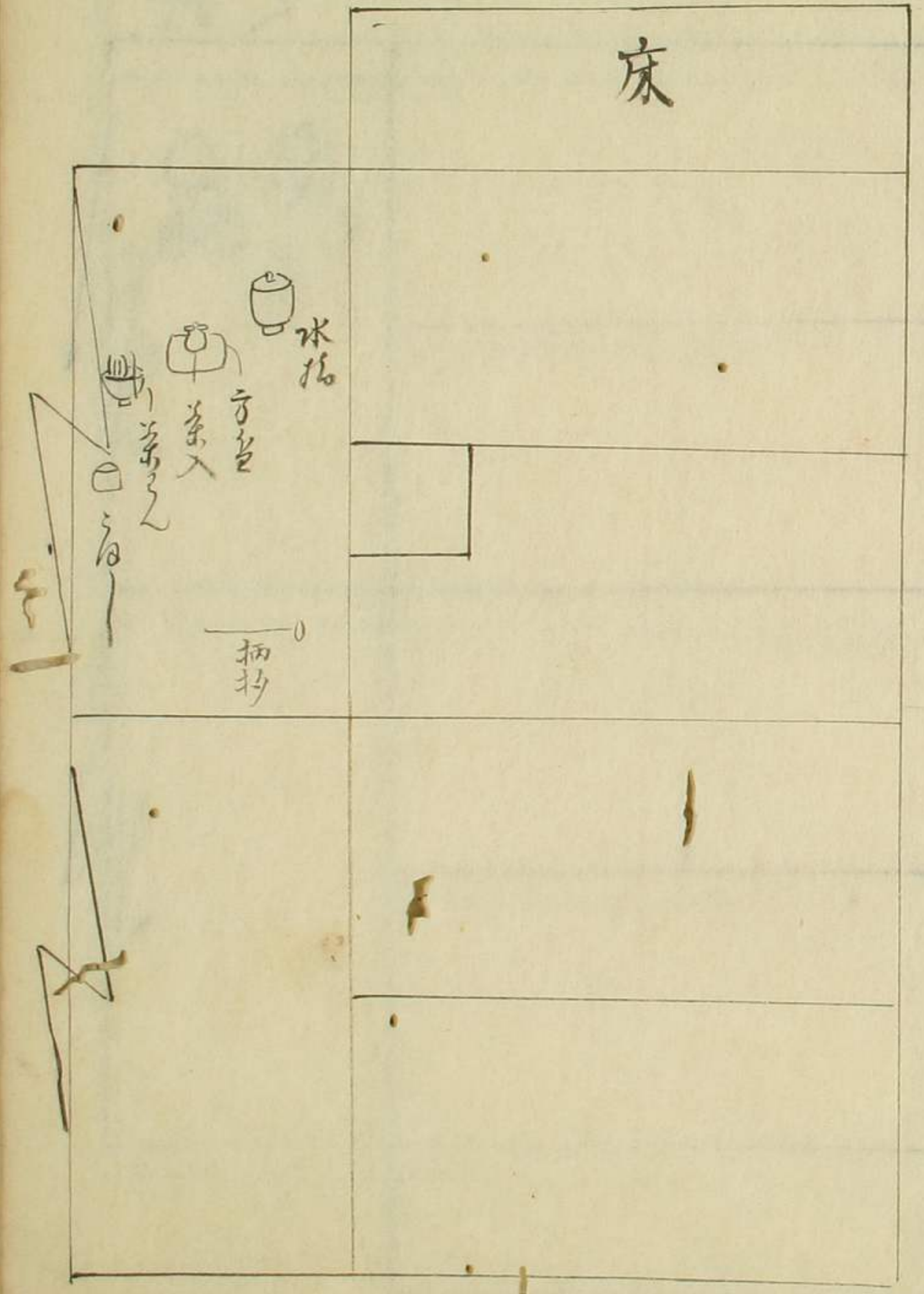


右脇平

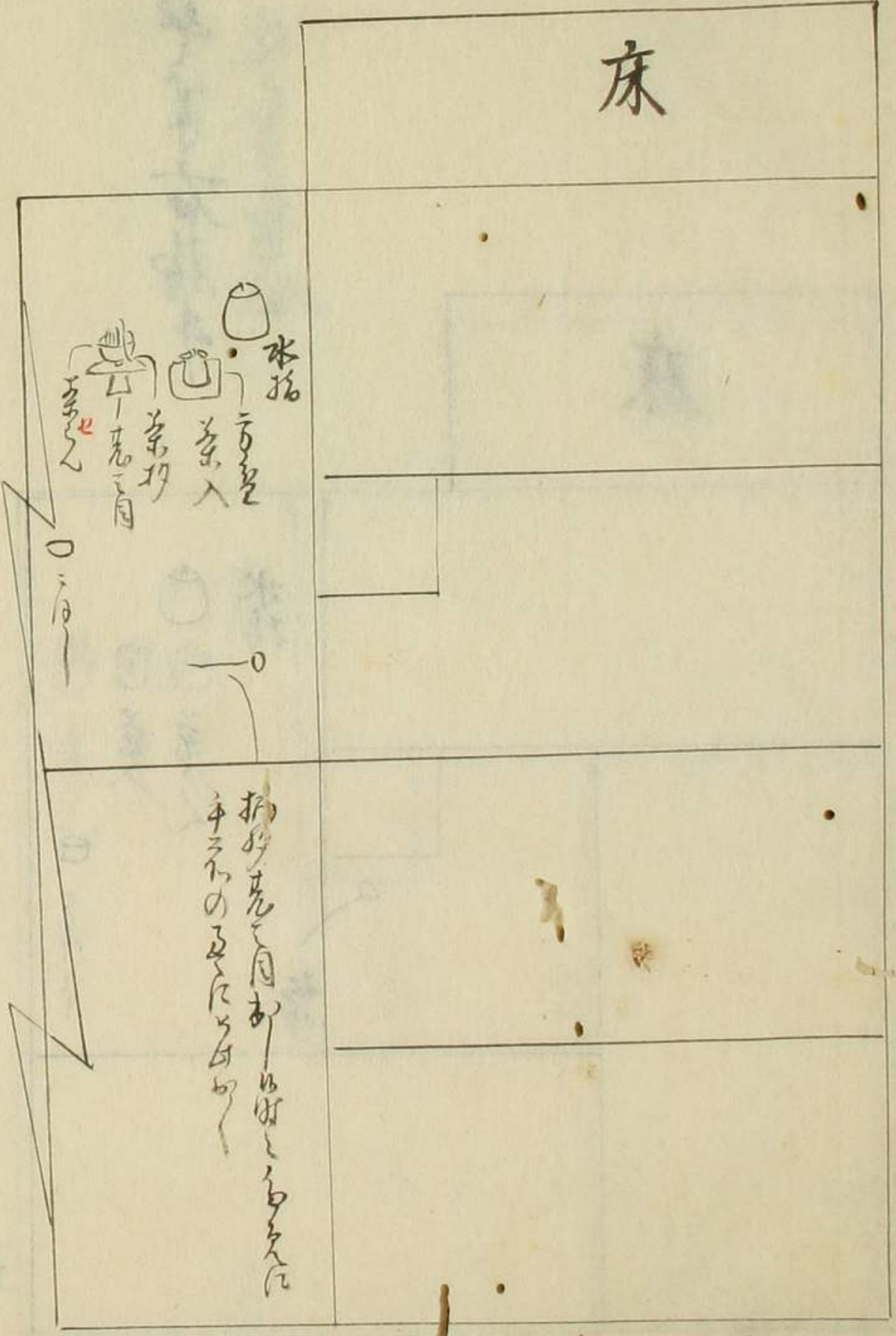
右脇平

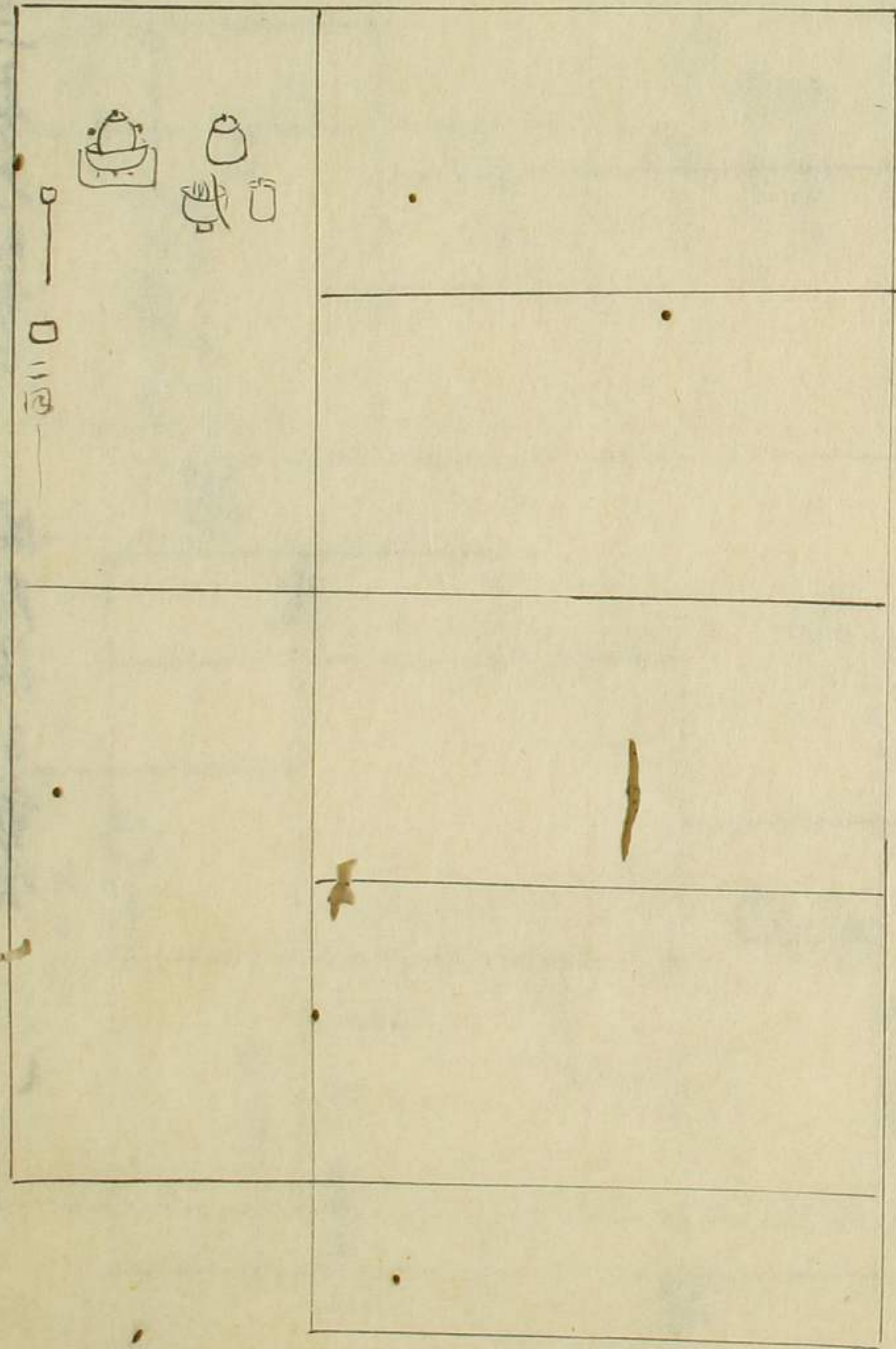


同上

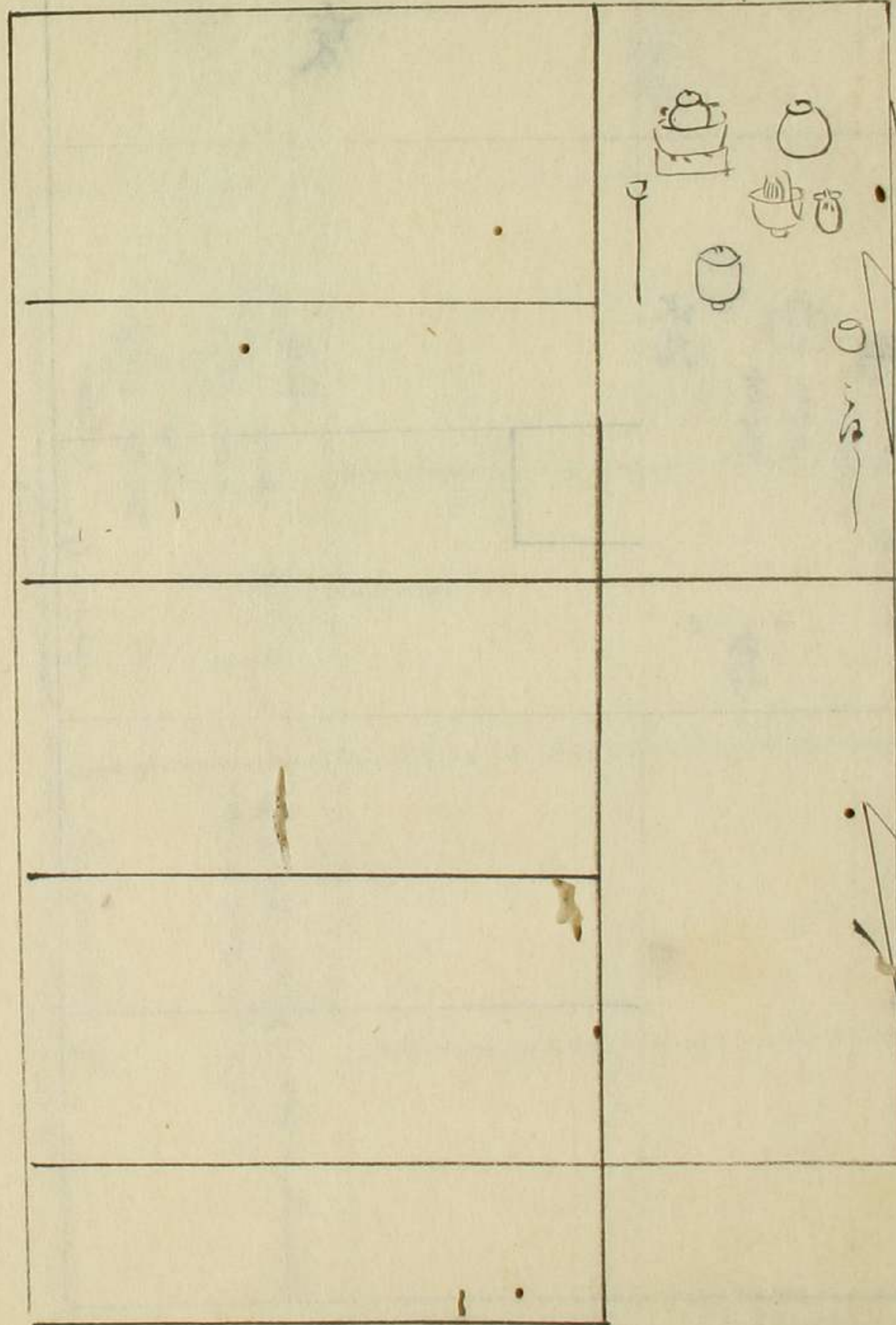


虎膳本乃右かきく

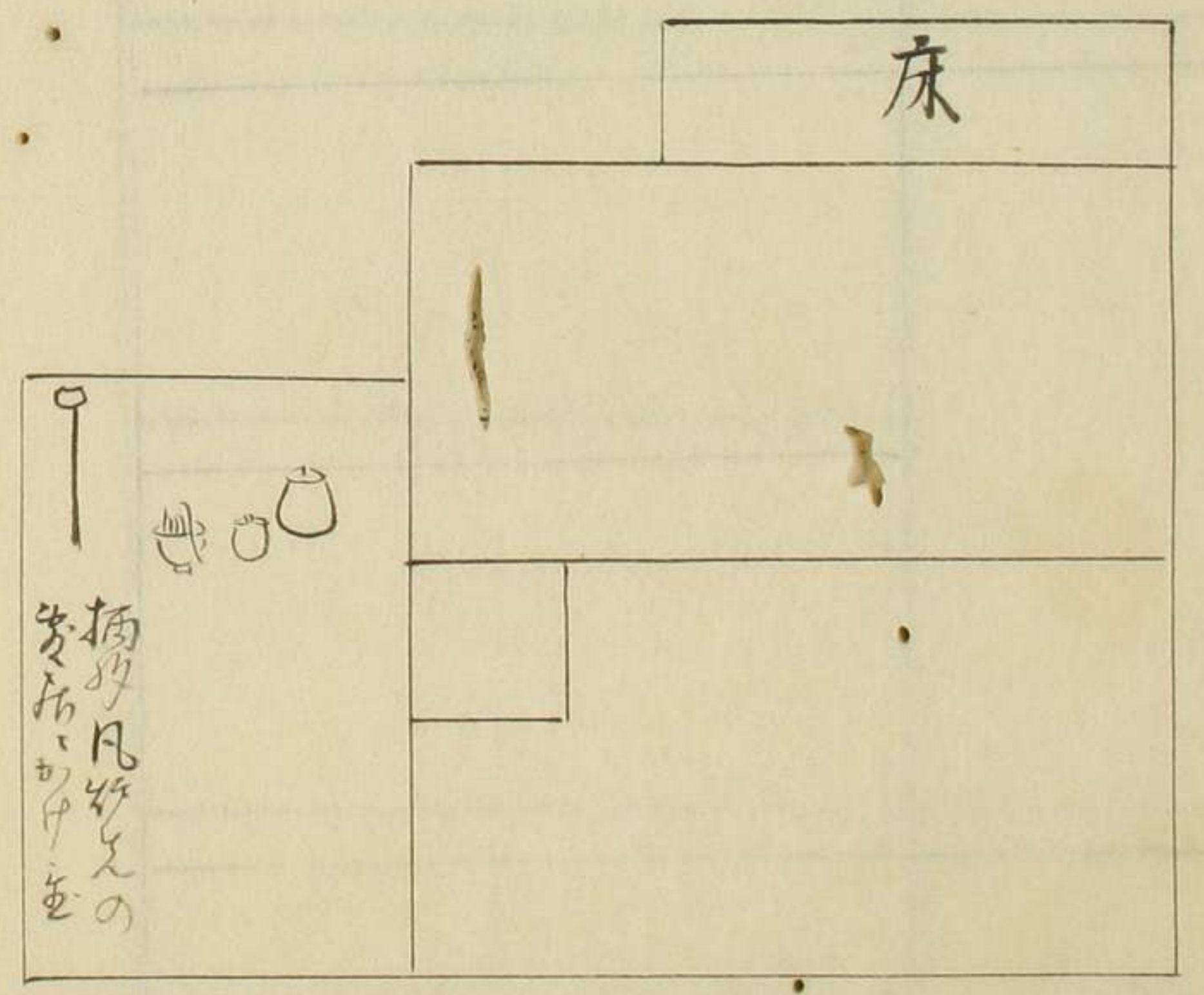
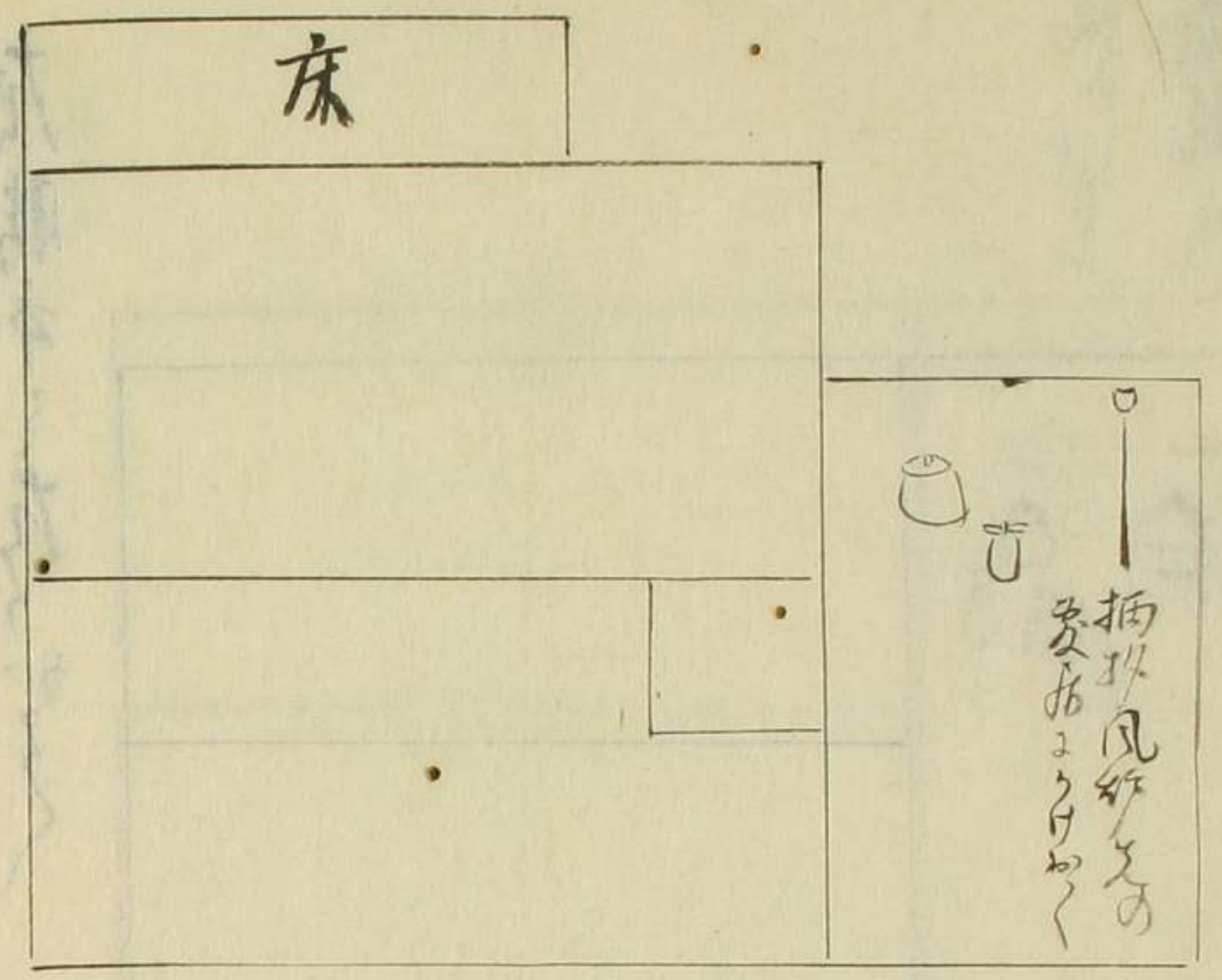
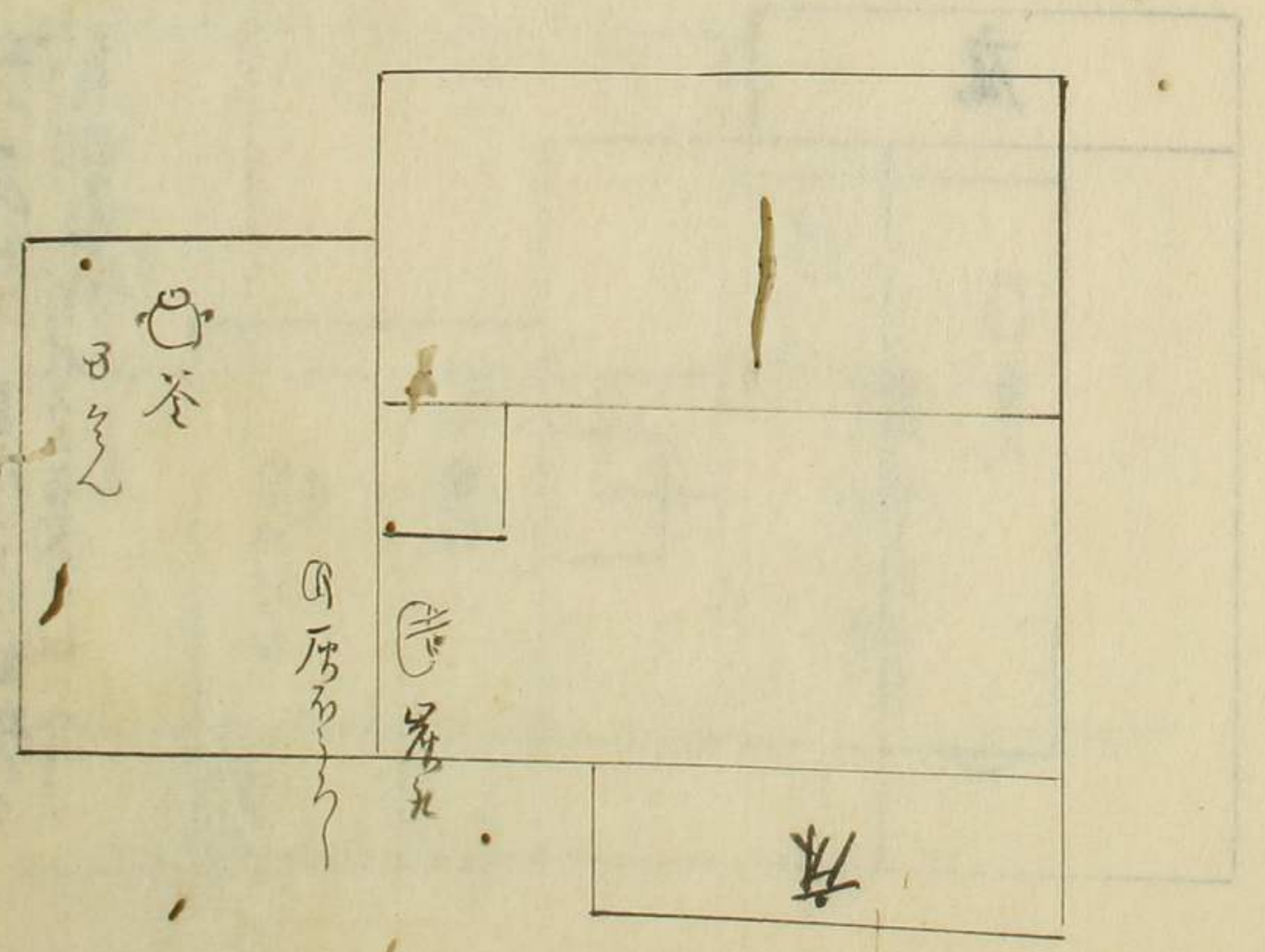
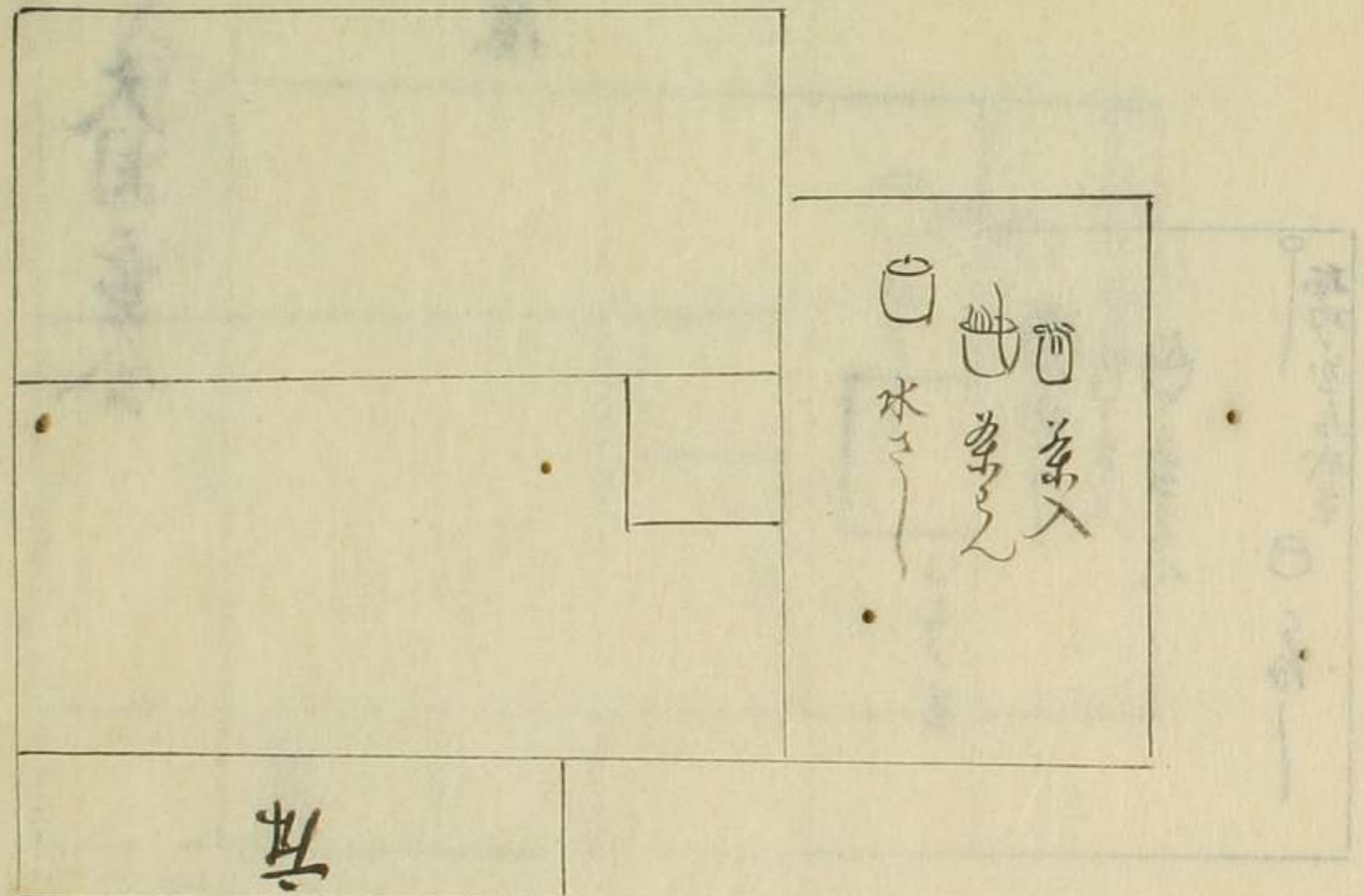




左脇平のたうかき

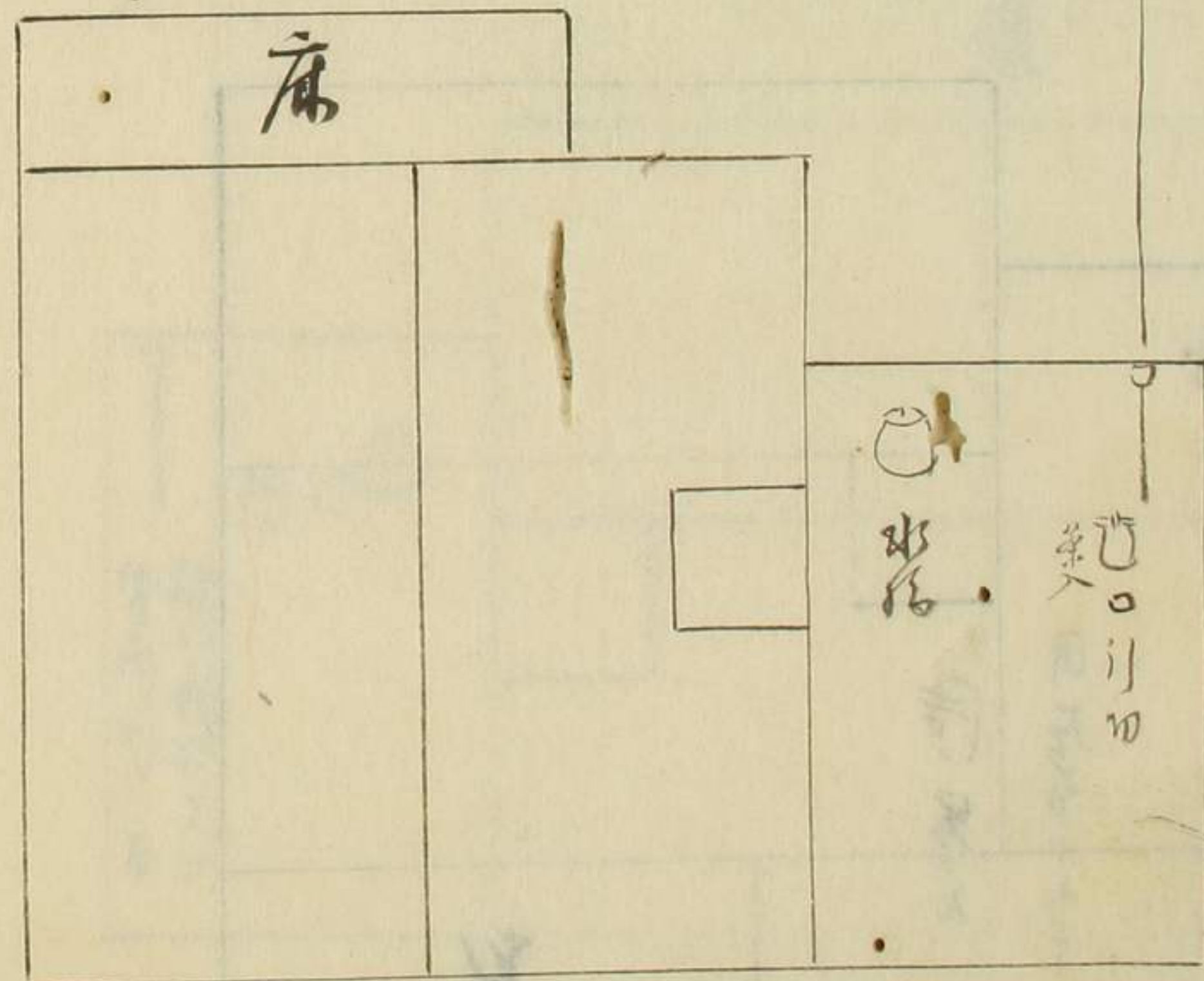
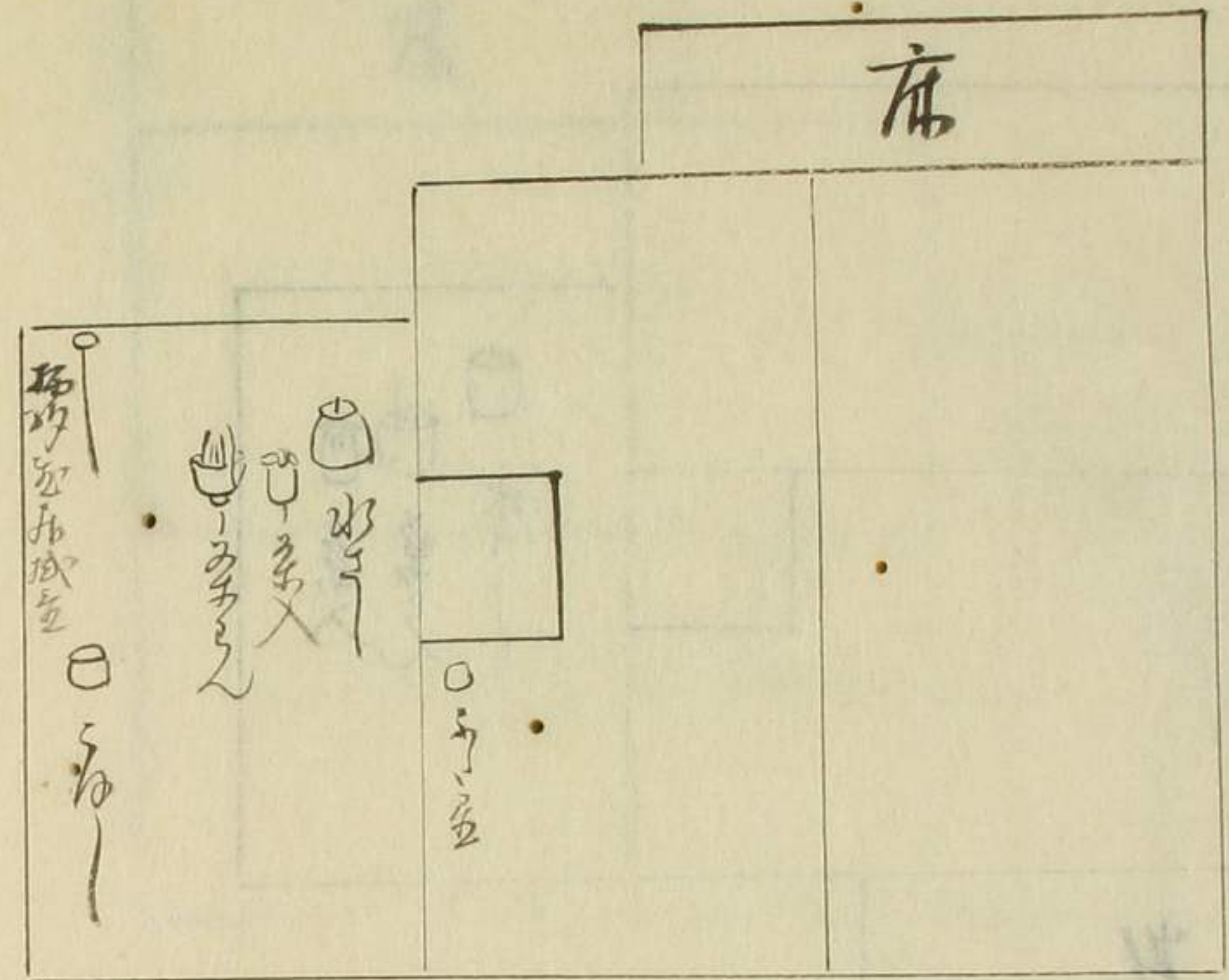
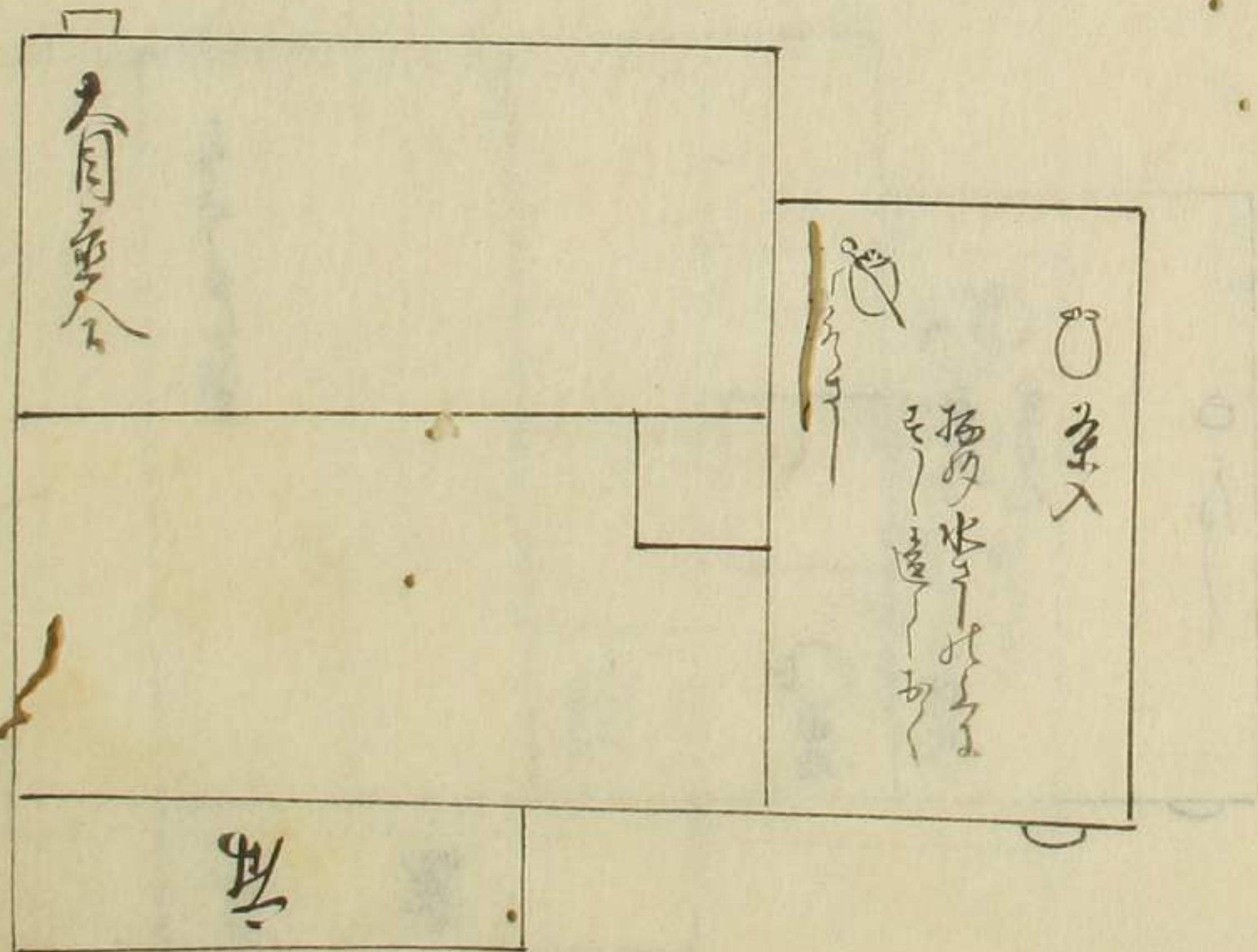
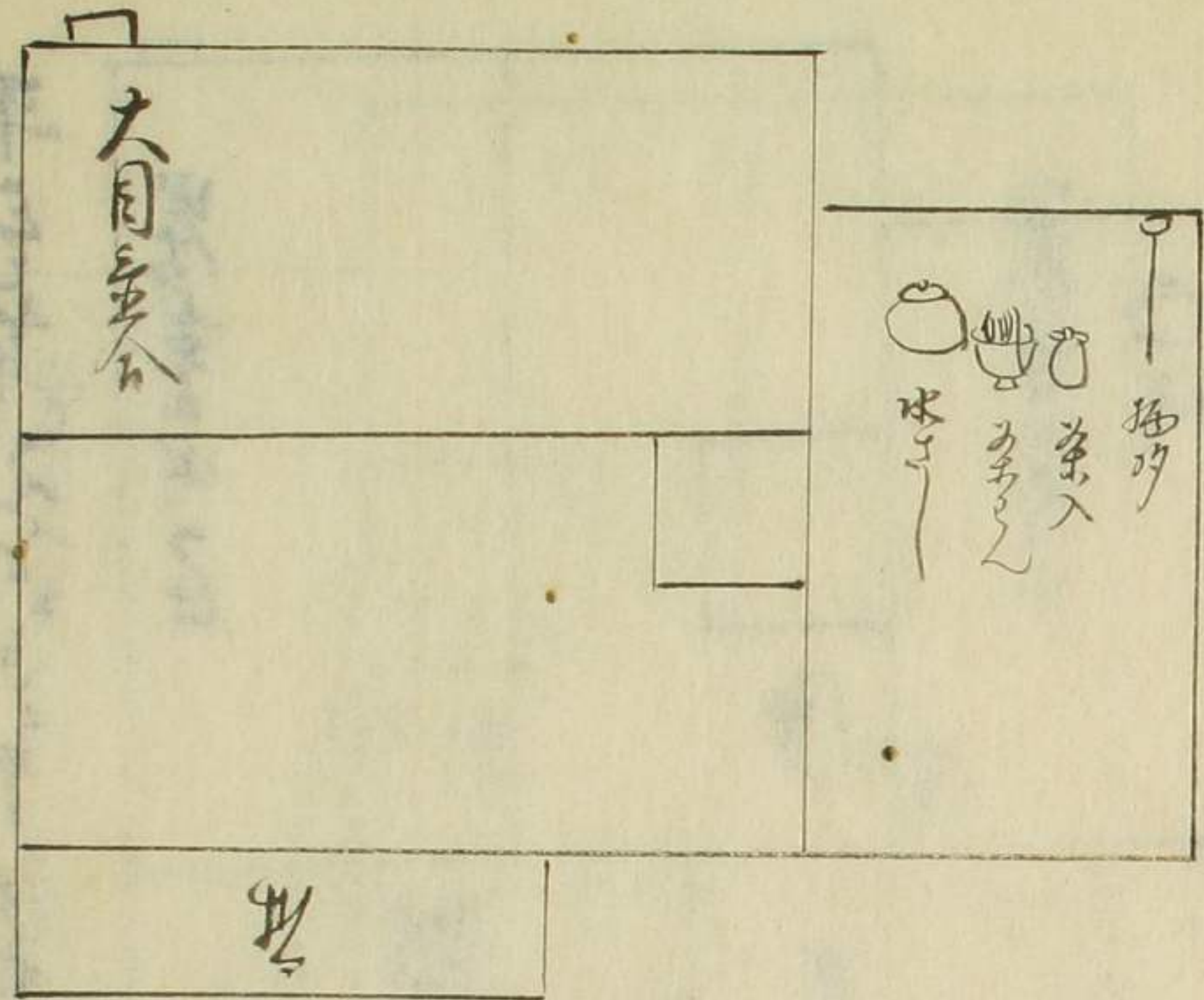


右脇平のたうかき



右脇の二室は月夜

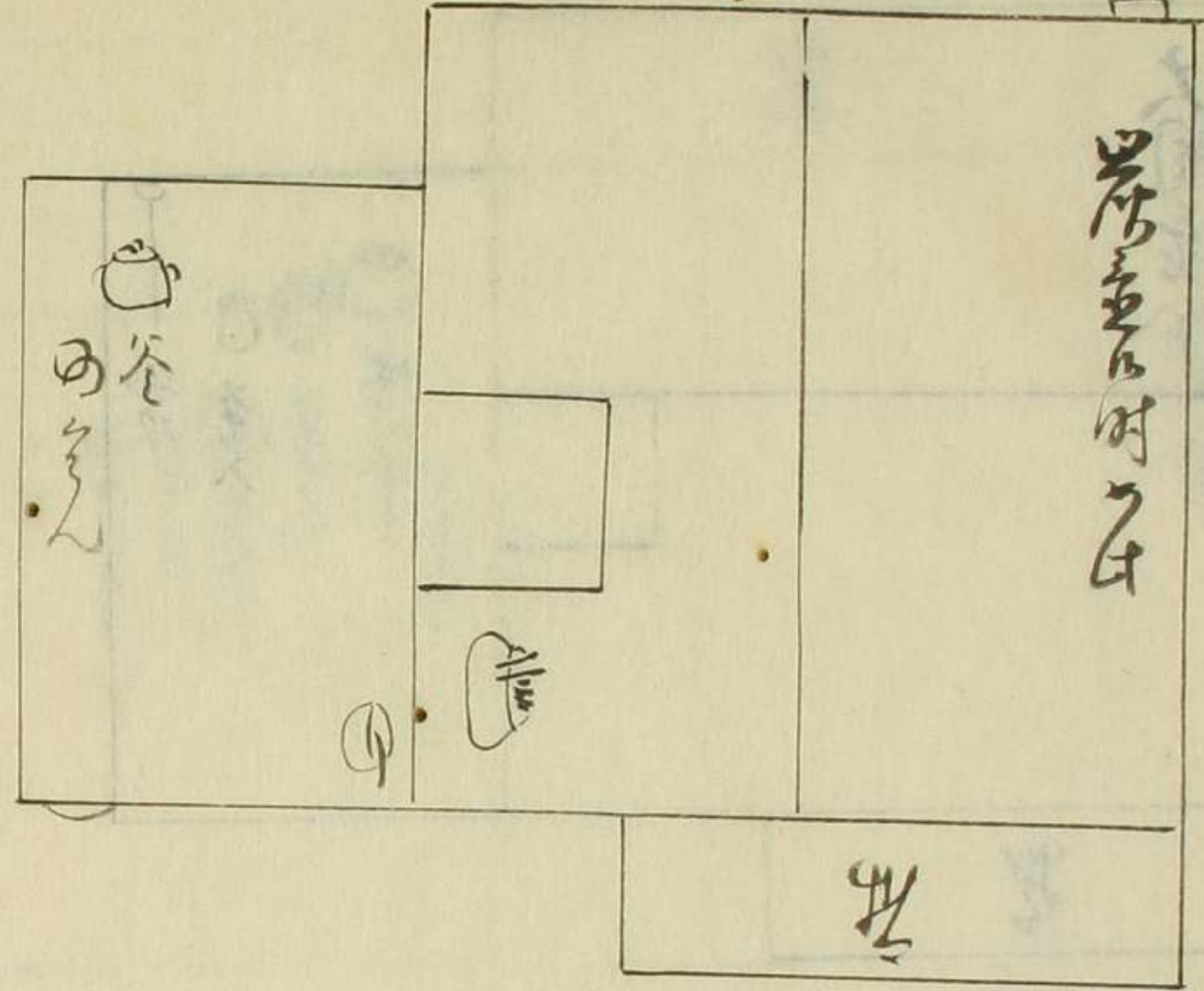
同左の二室は月夜



大目室

挿
 挿の意は茶の器をいふに挿の
 一より二より目れと茶入の器は
 大目室の一角に立

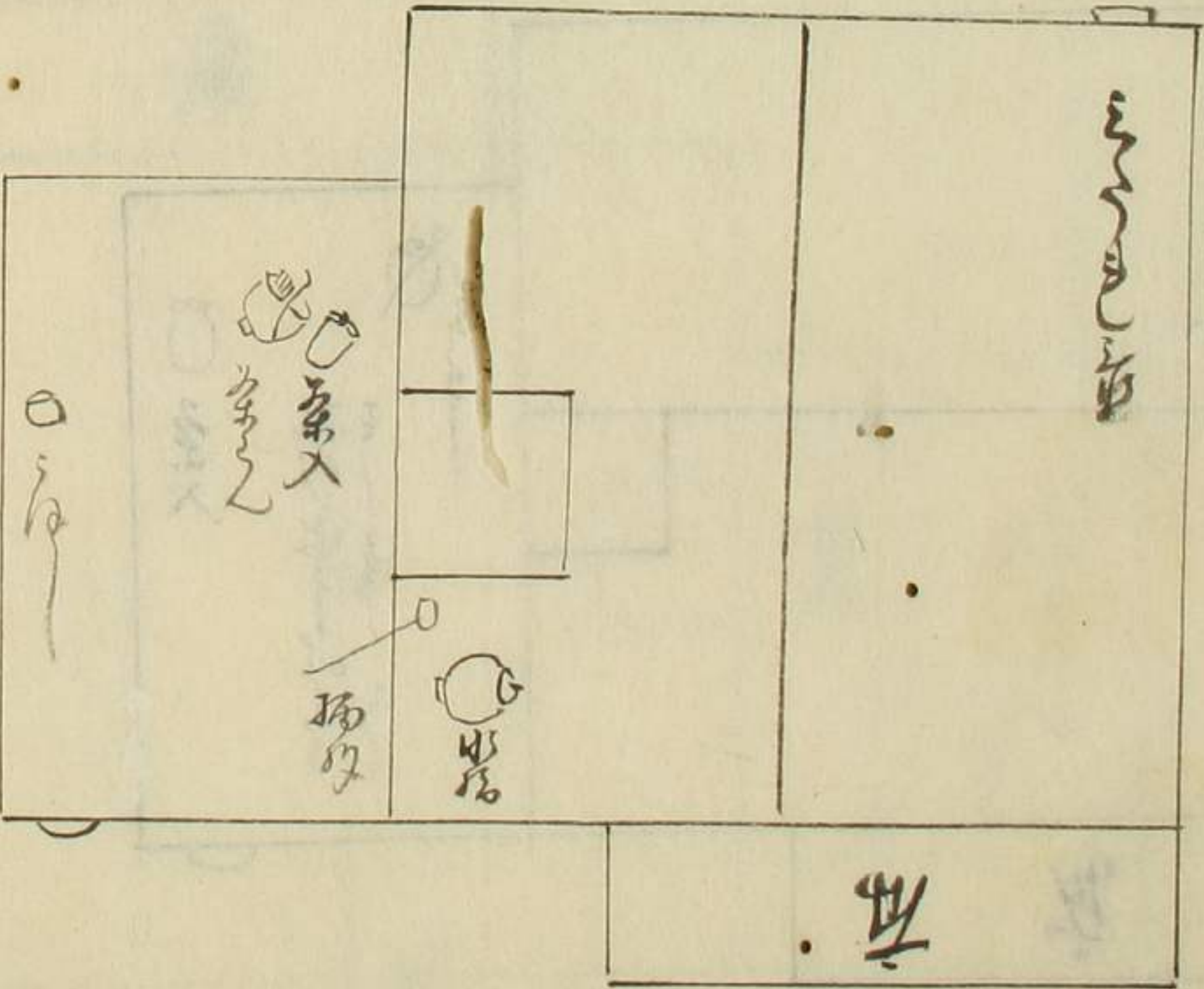
平之屋敷の図



平之屋敷の図

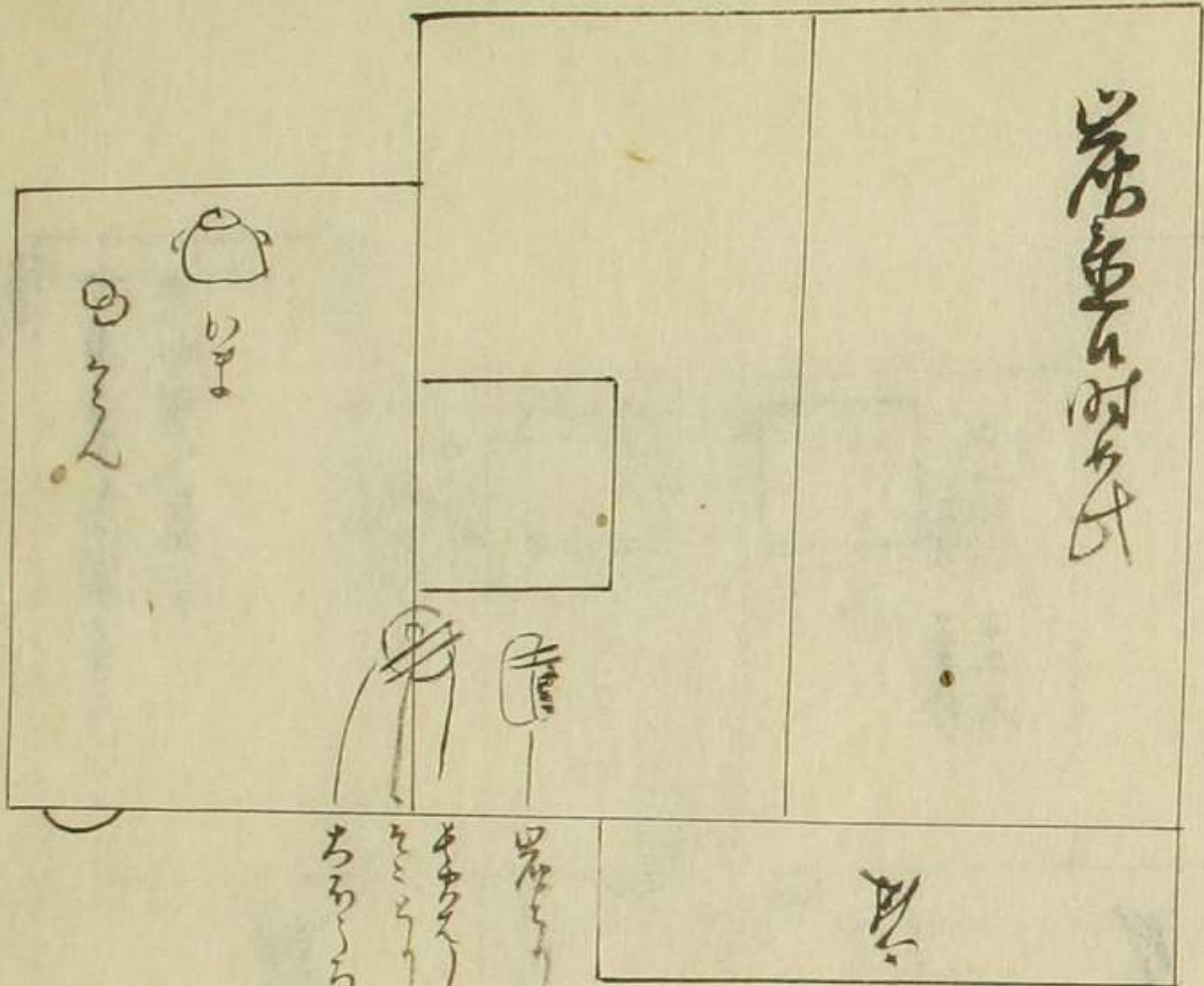
床

火盆



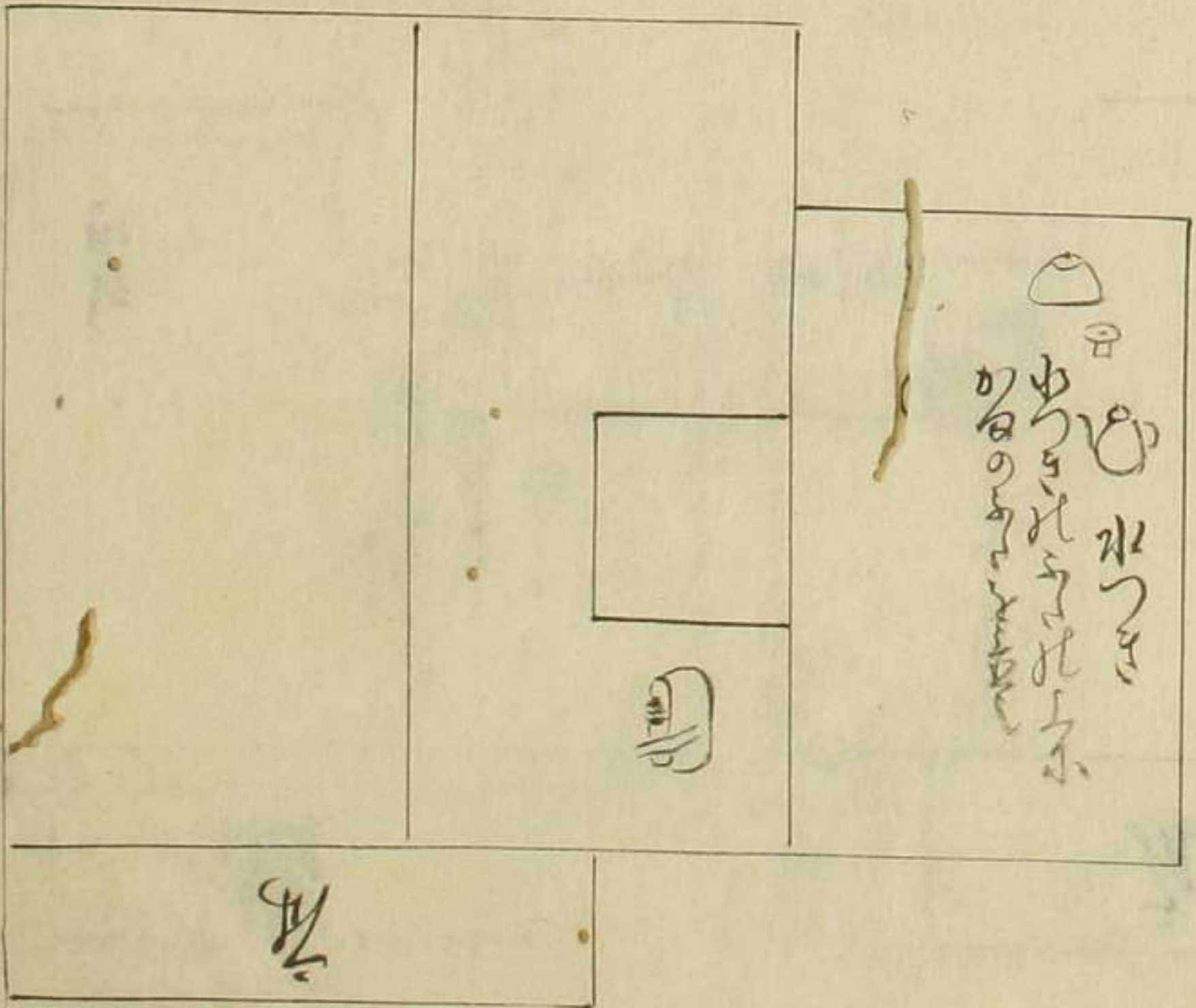
床

平之屋敷の図

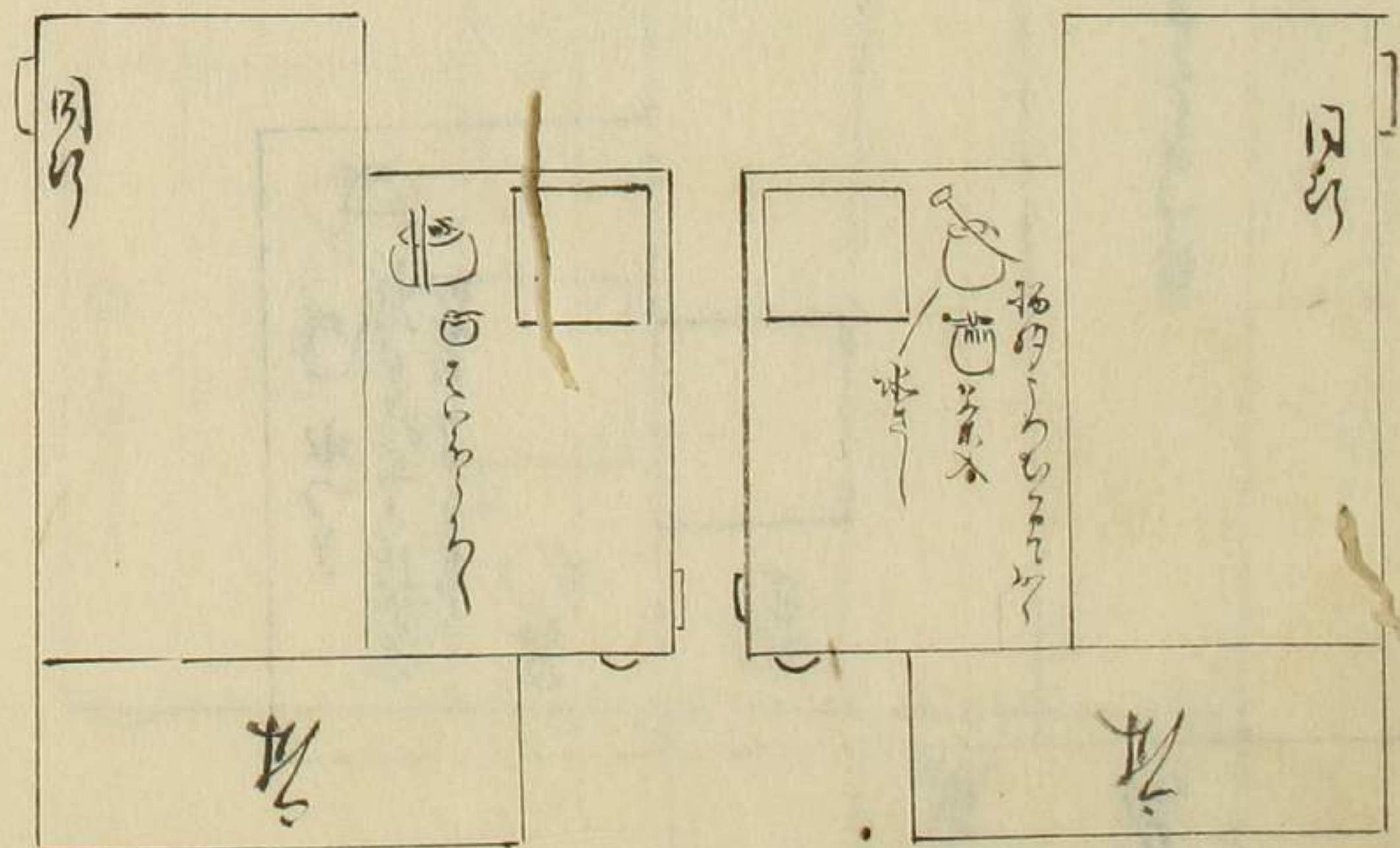
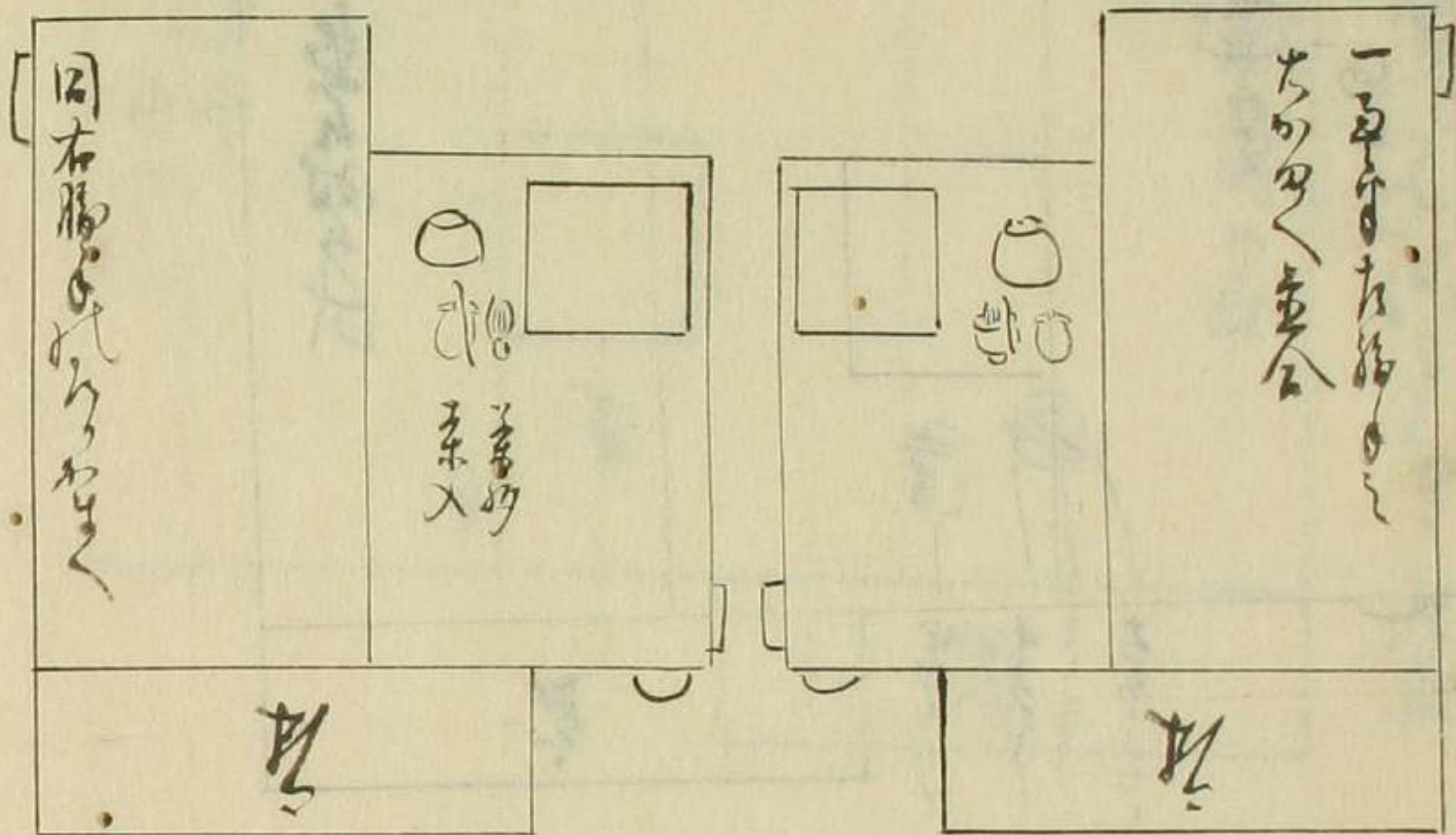
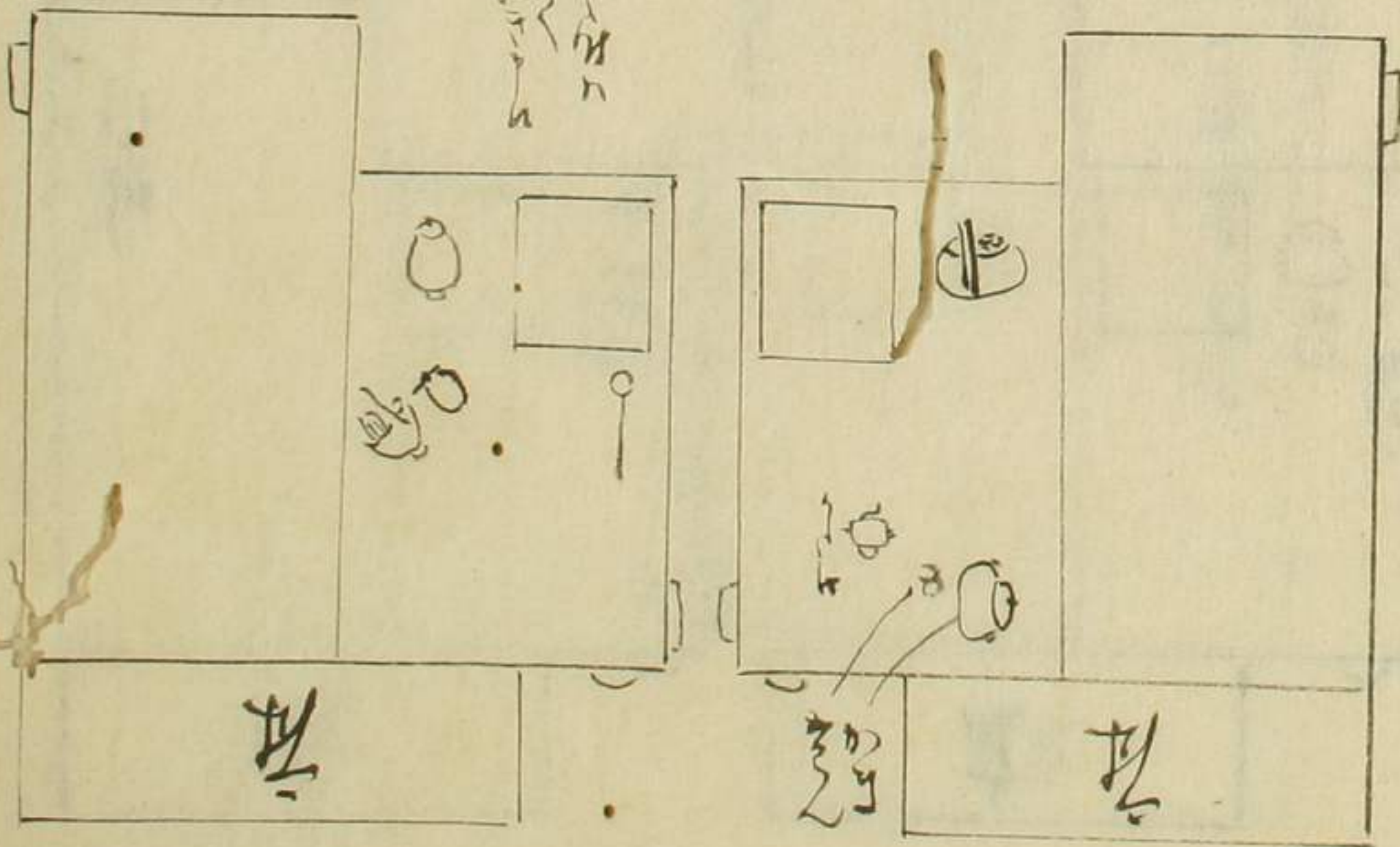
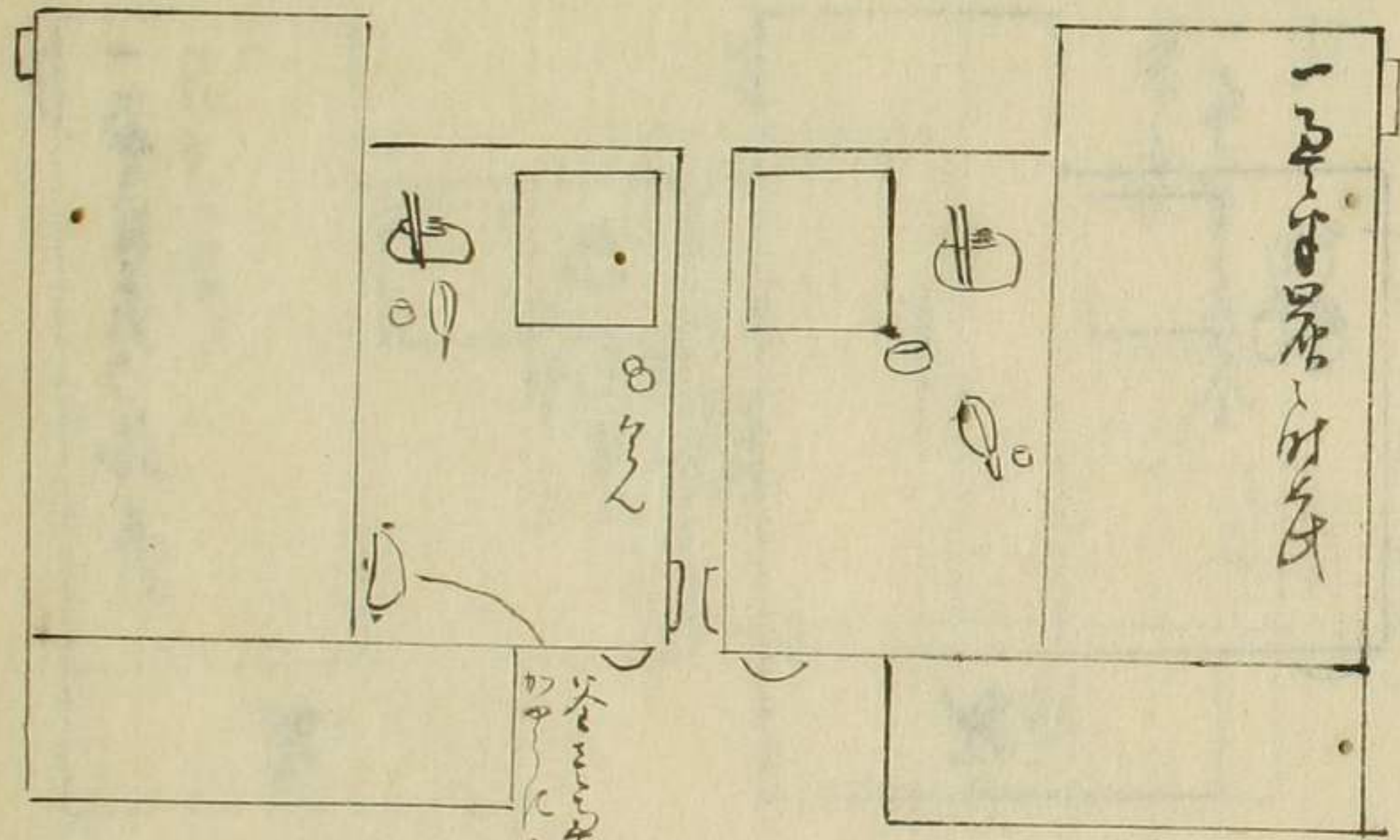


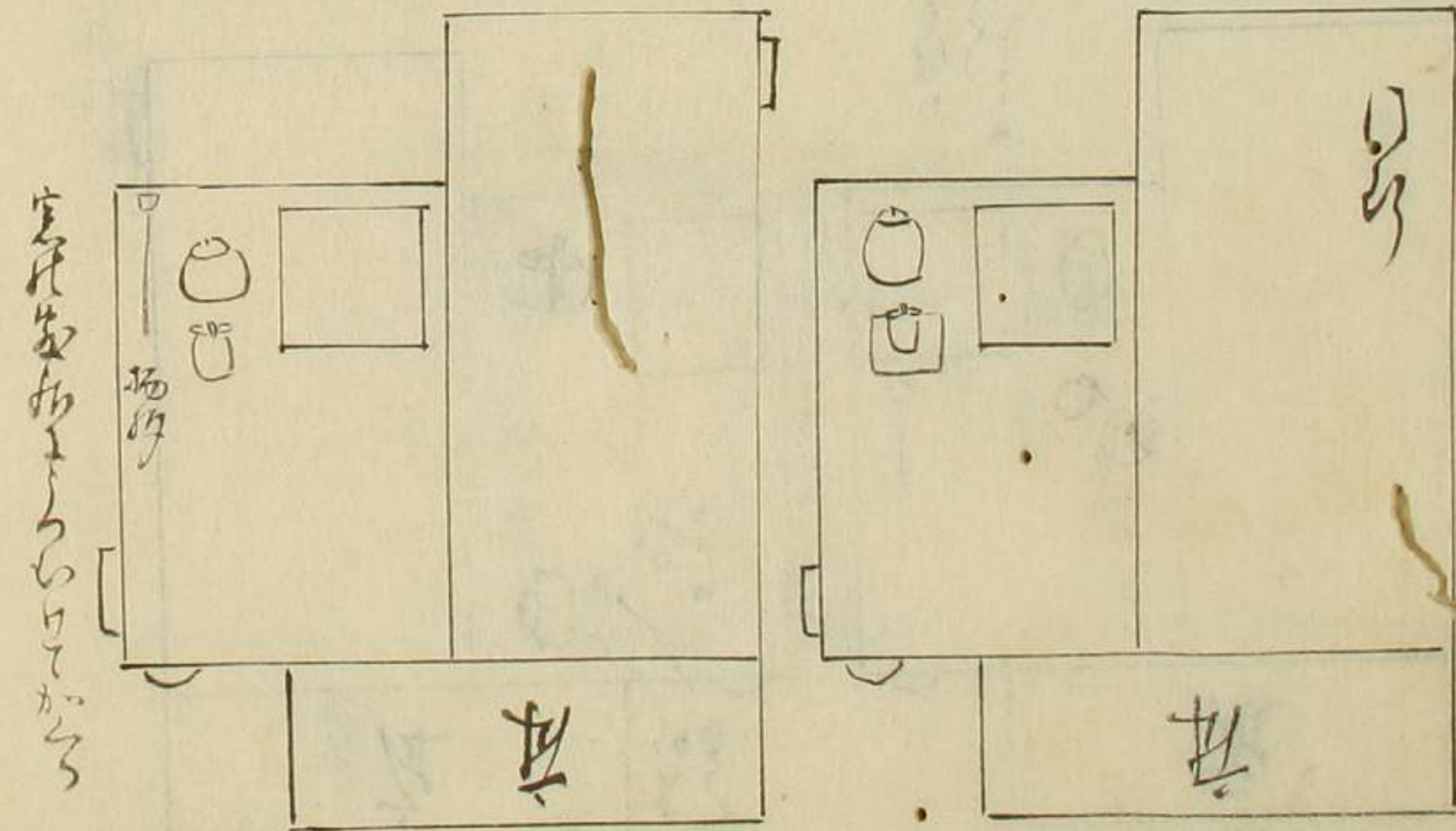
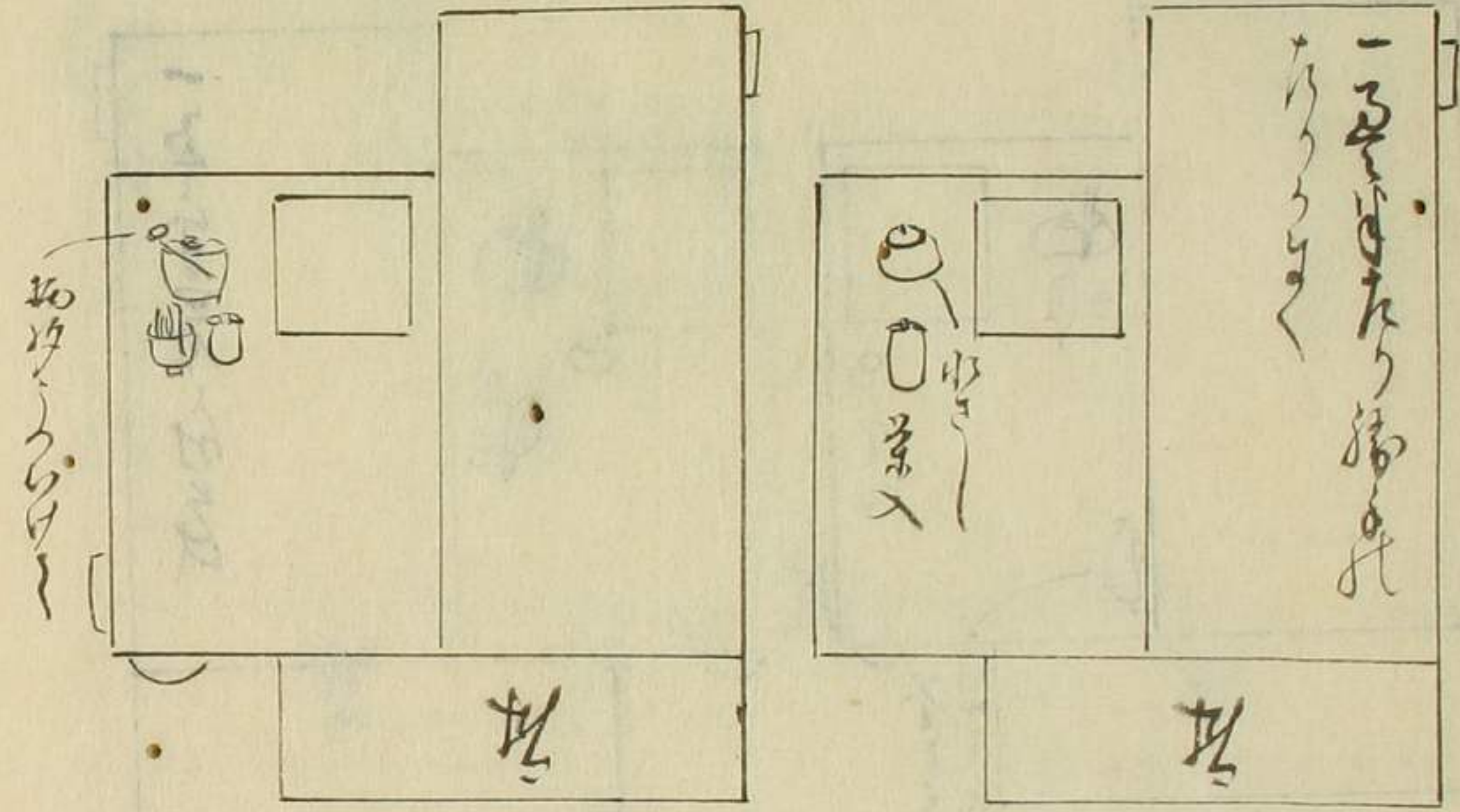
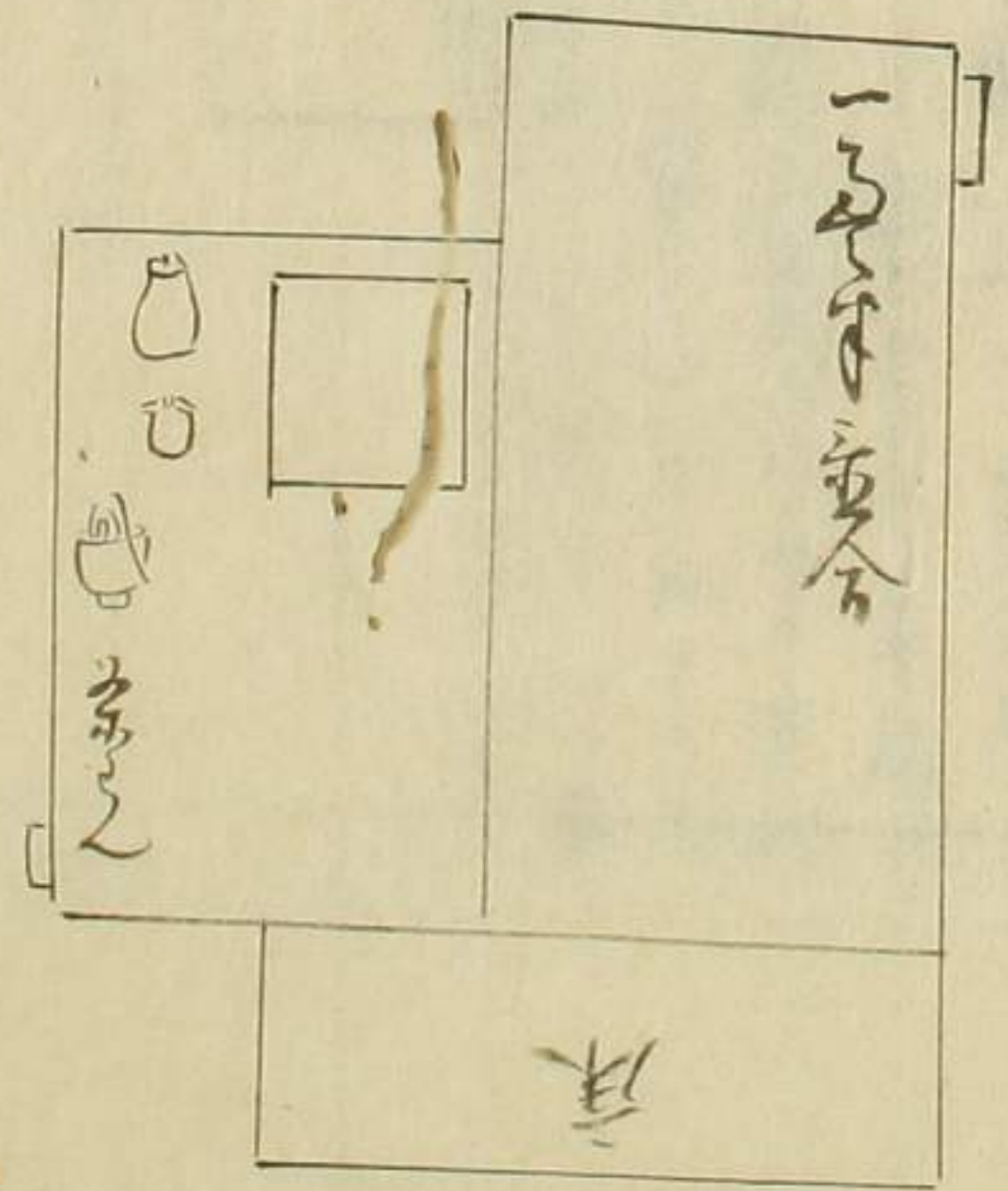
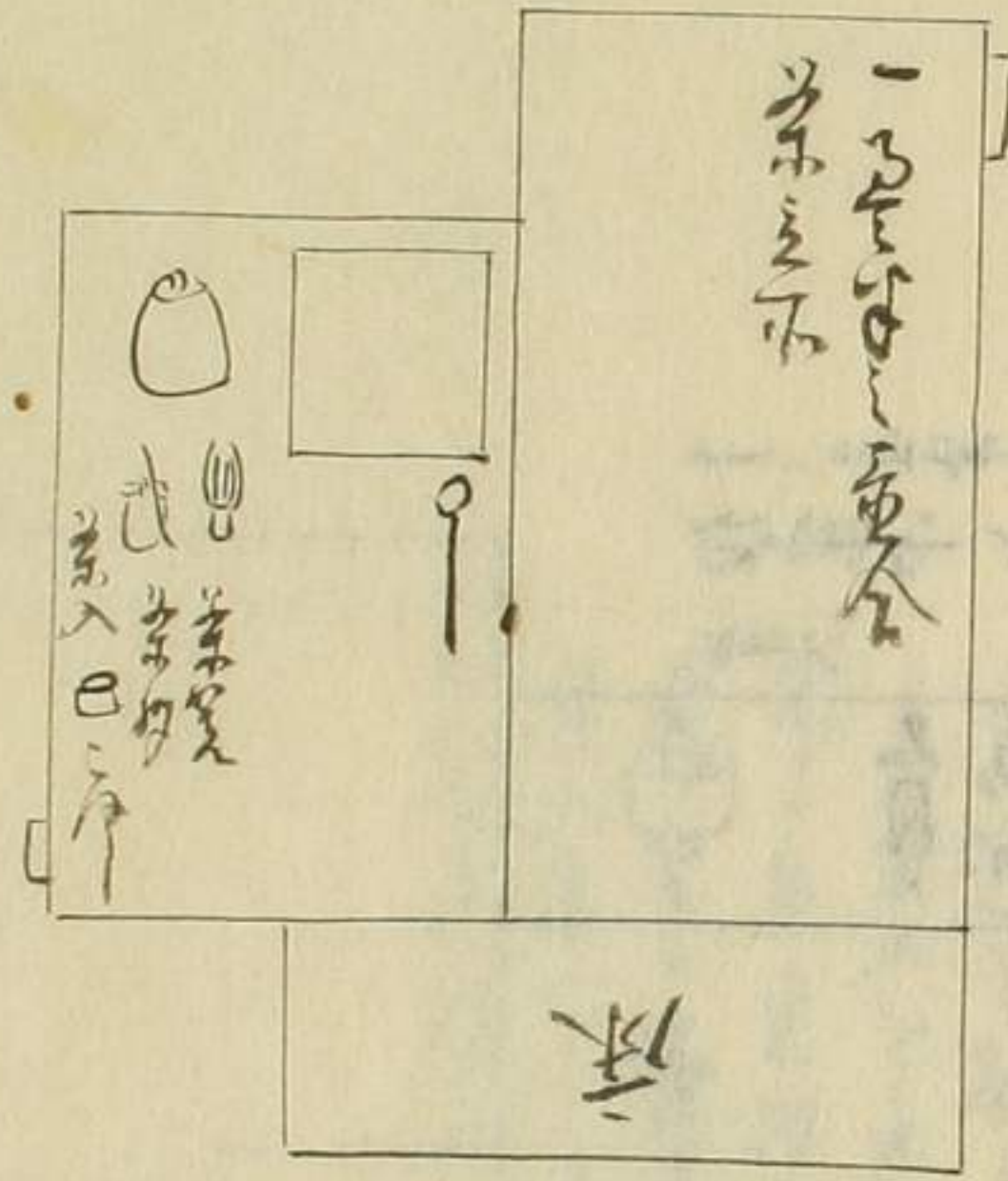
床

火盆
床
火盆
床
火盆
床



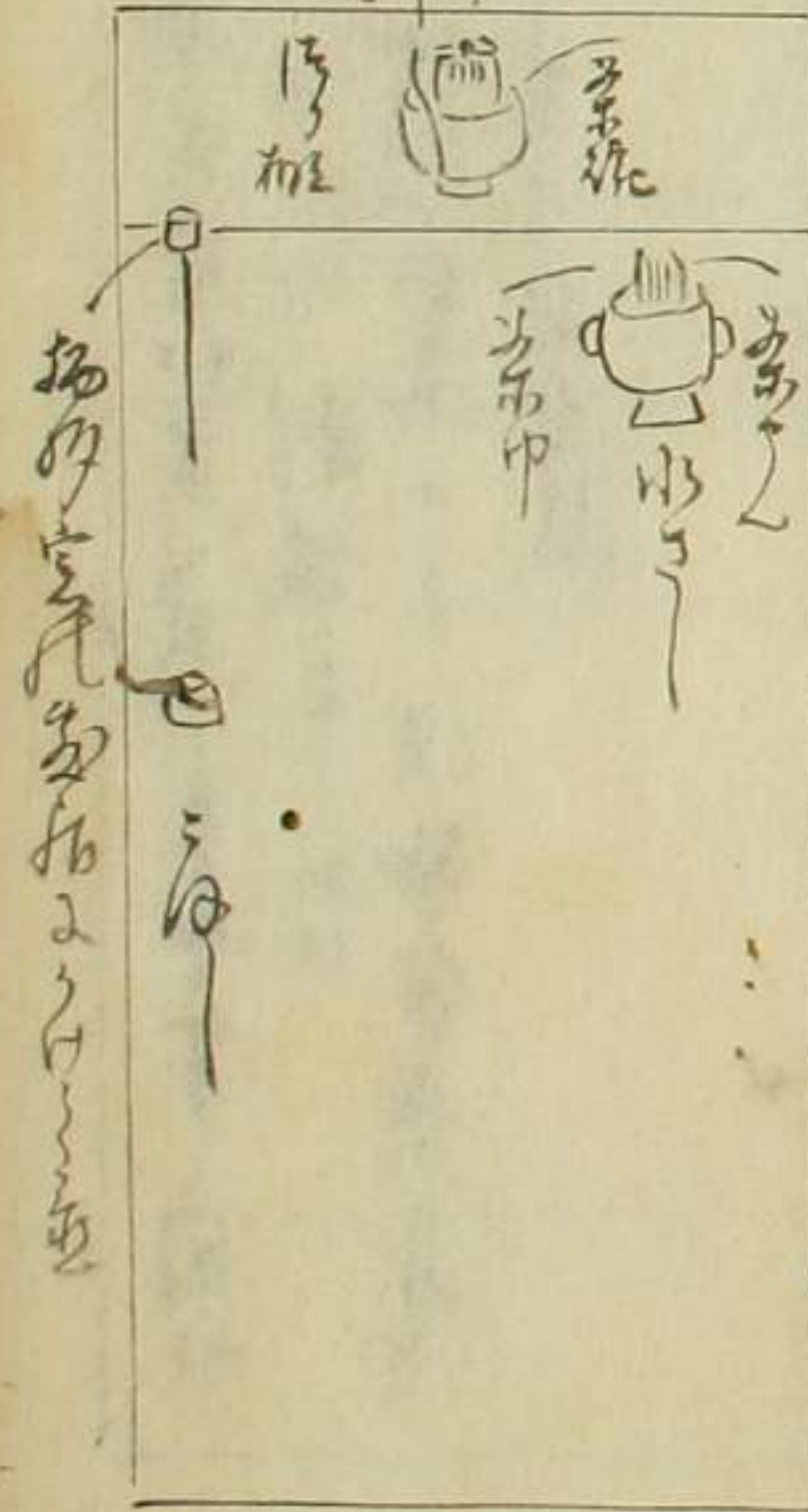
床





石州茶湯

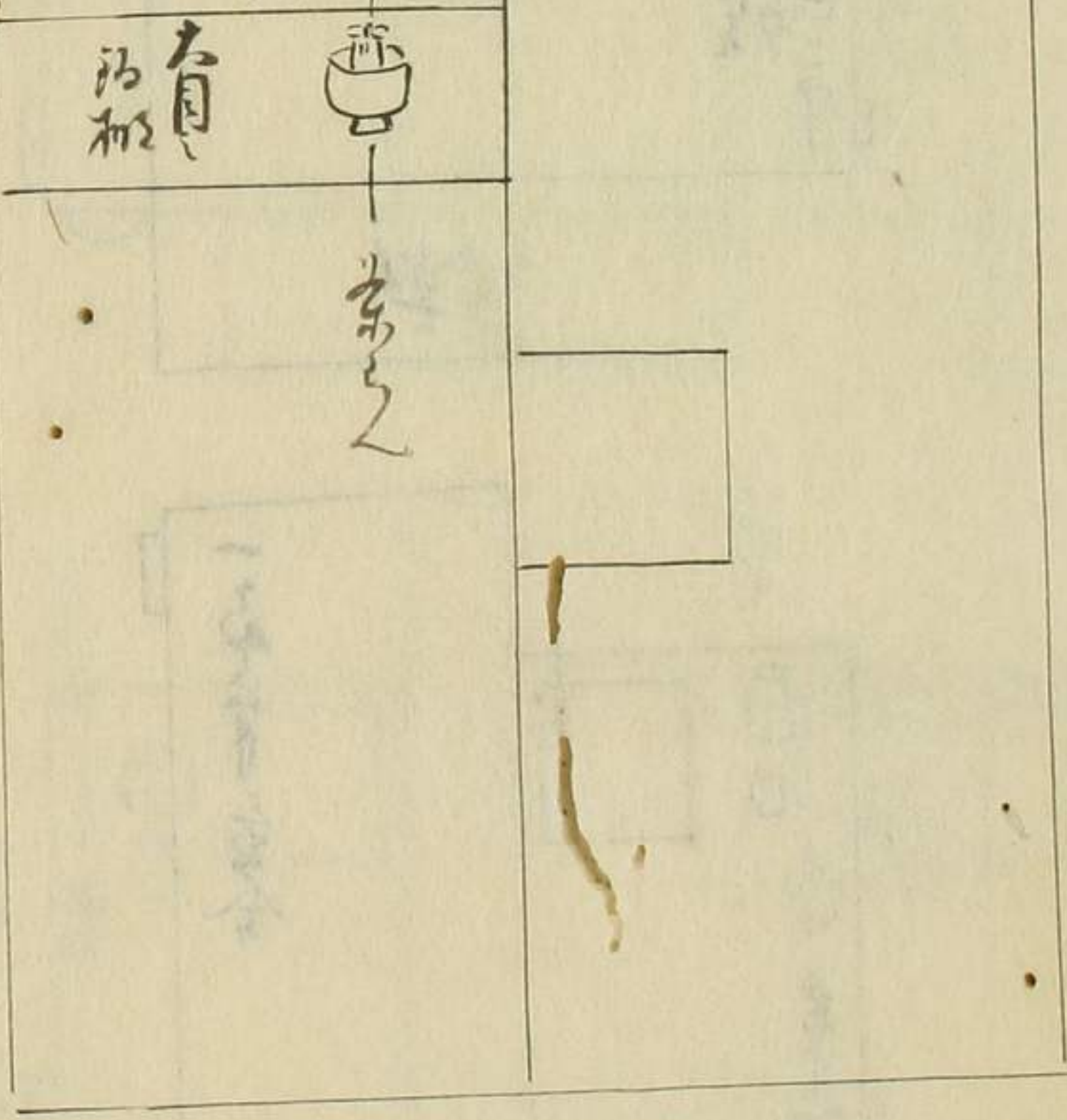
茶入
茶入
茶入

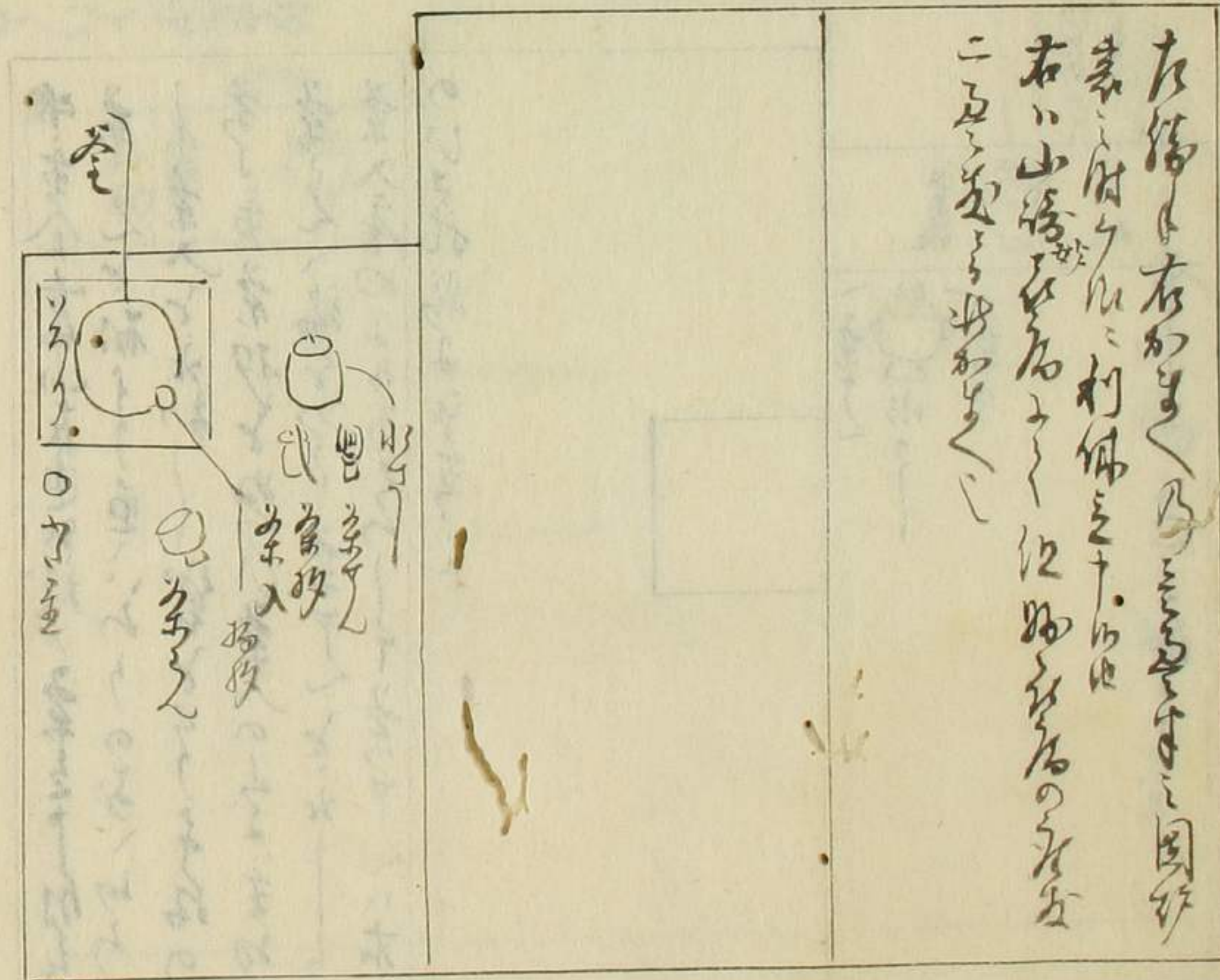
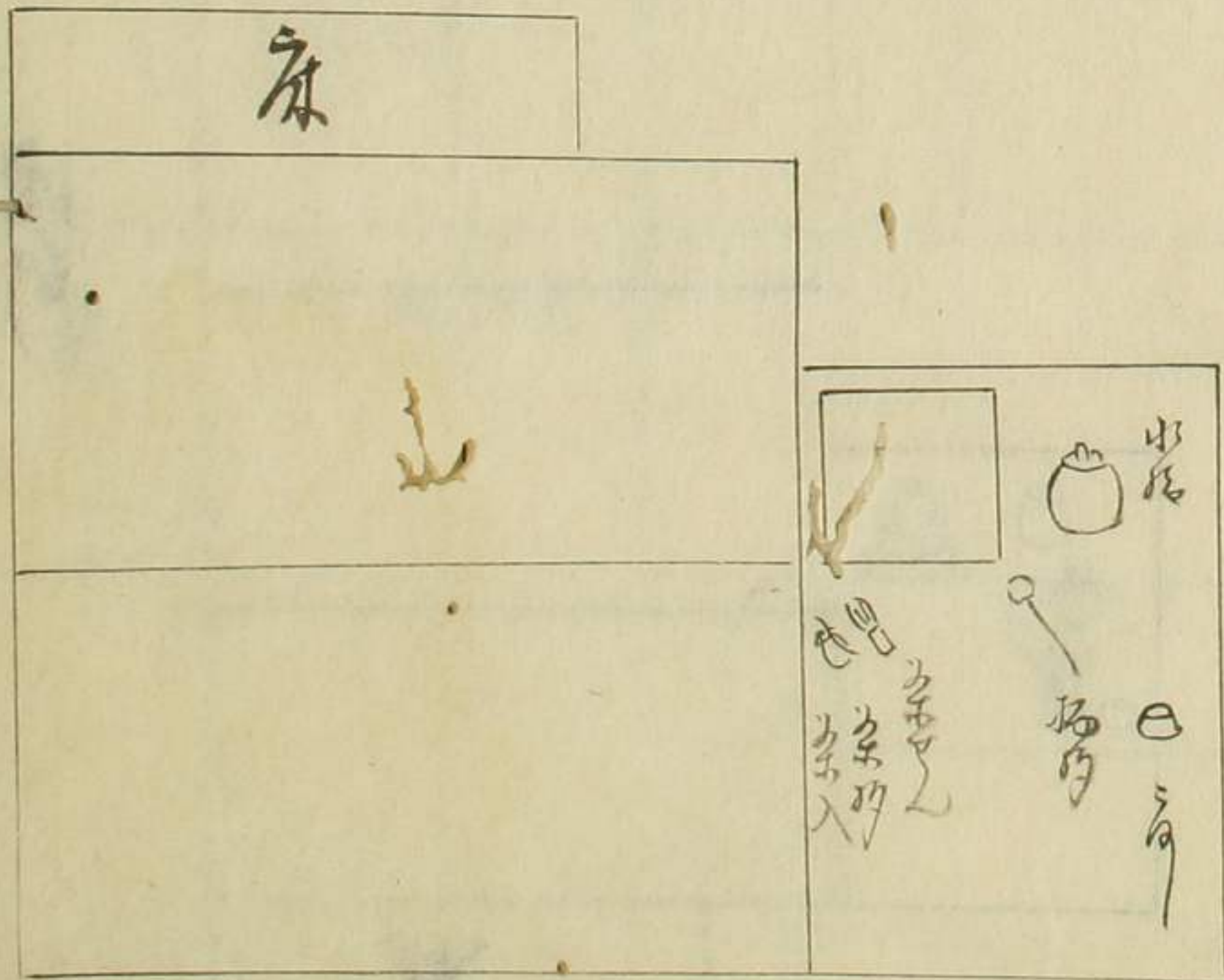
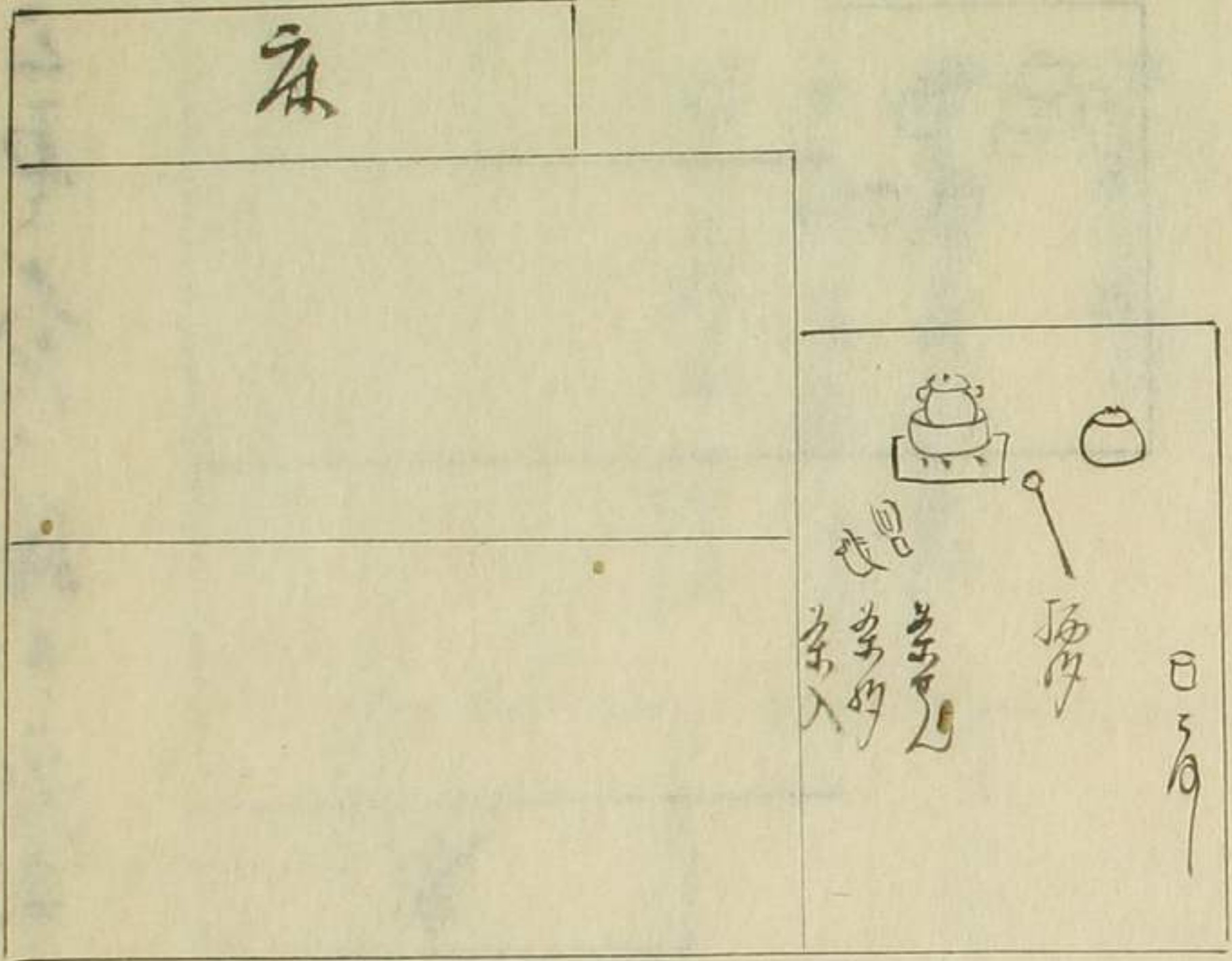


中意人吉山本通紅波々茶之りめ
茶之りと初より重なりありのあひり
一茶入と茶入一袋とさうすねの
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね
茶入茶入とぬりの茶入のさすまね

石州茶湯

茶入
茶入
茶入

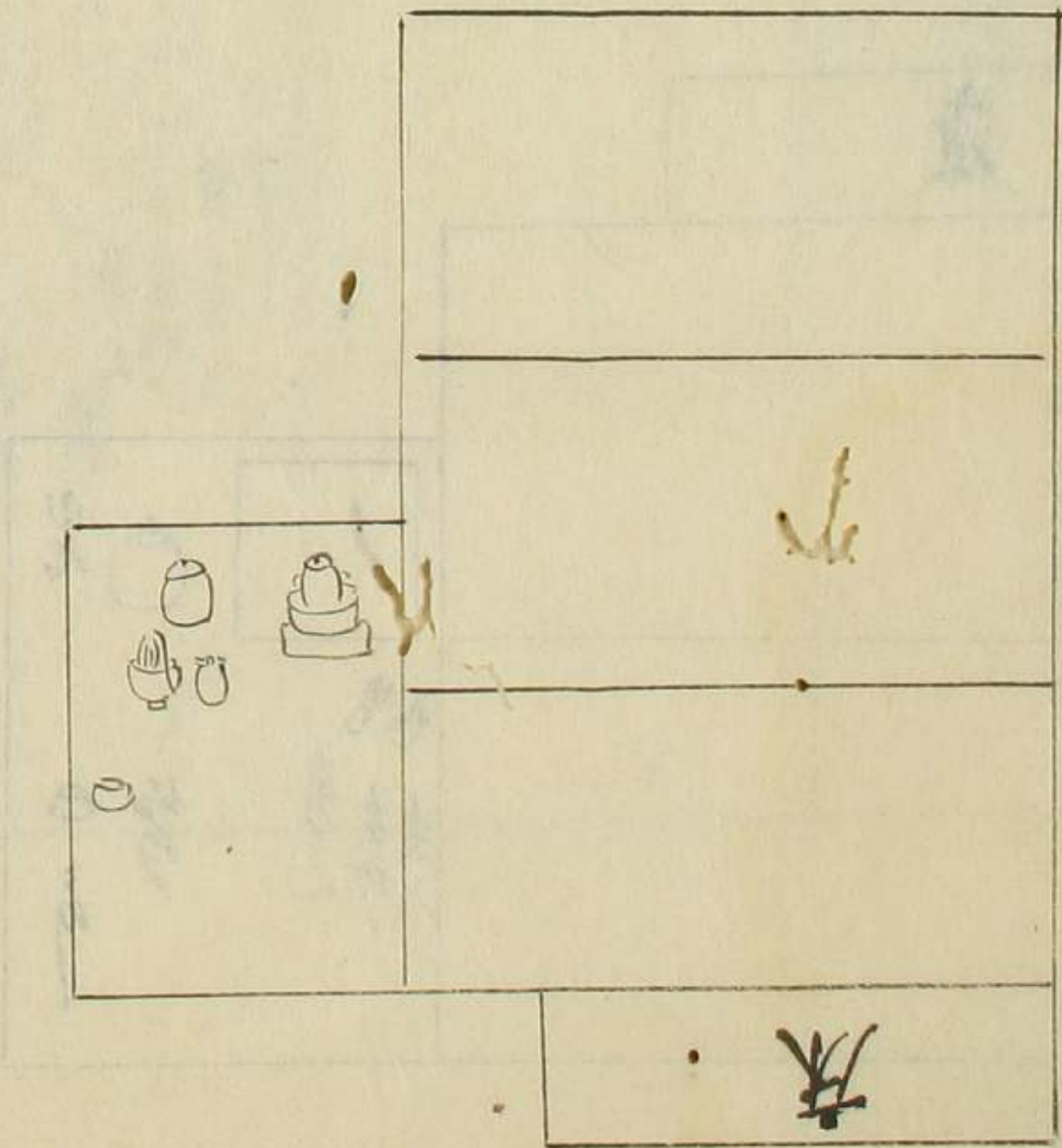
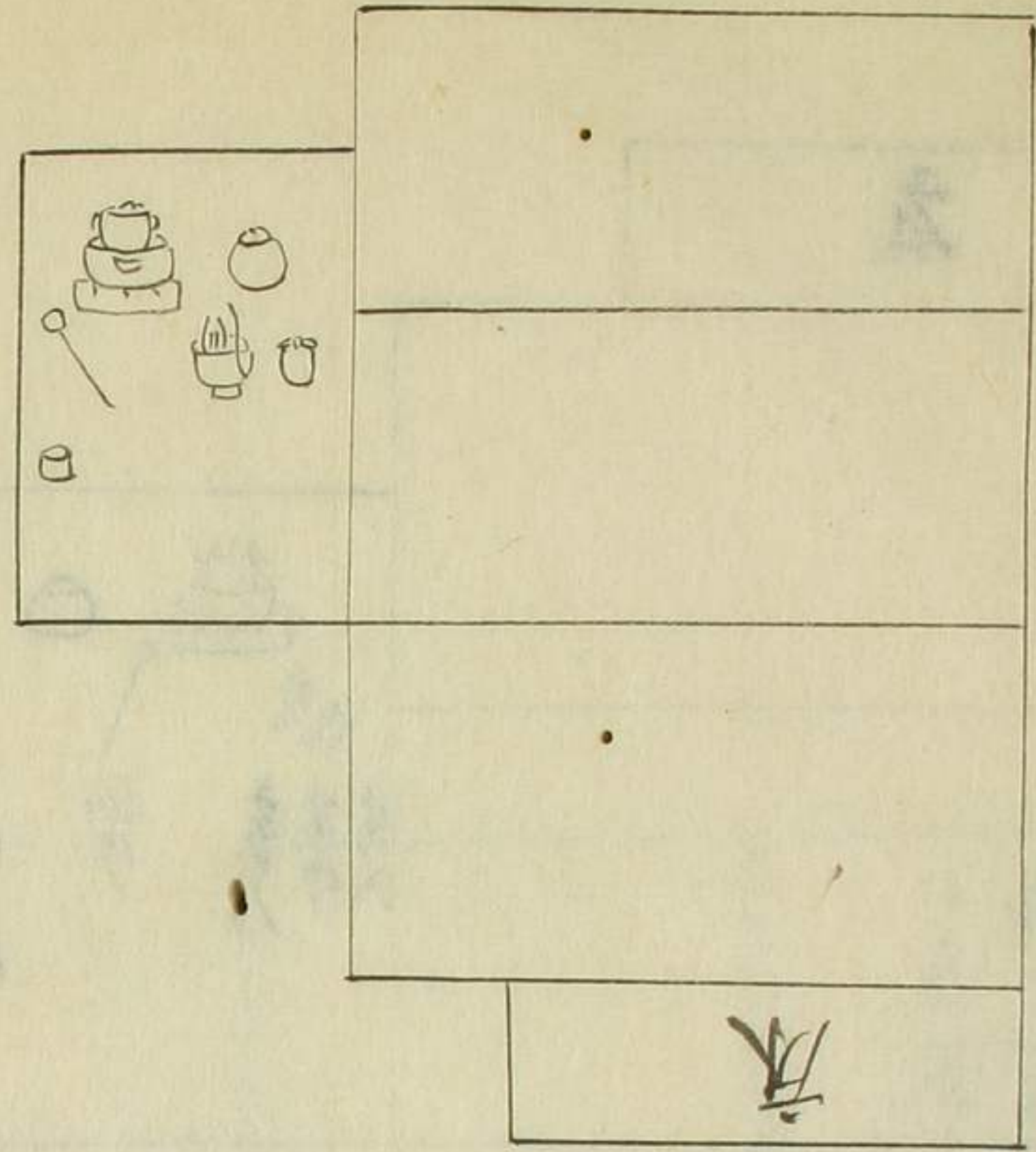




左端より右向きに
 表に付くは、
 右に山崎
 二五と云ふ

とる大なり物に

は



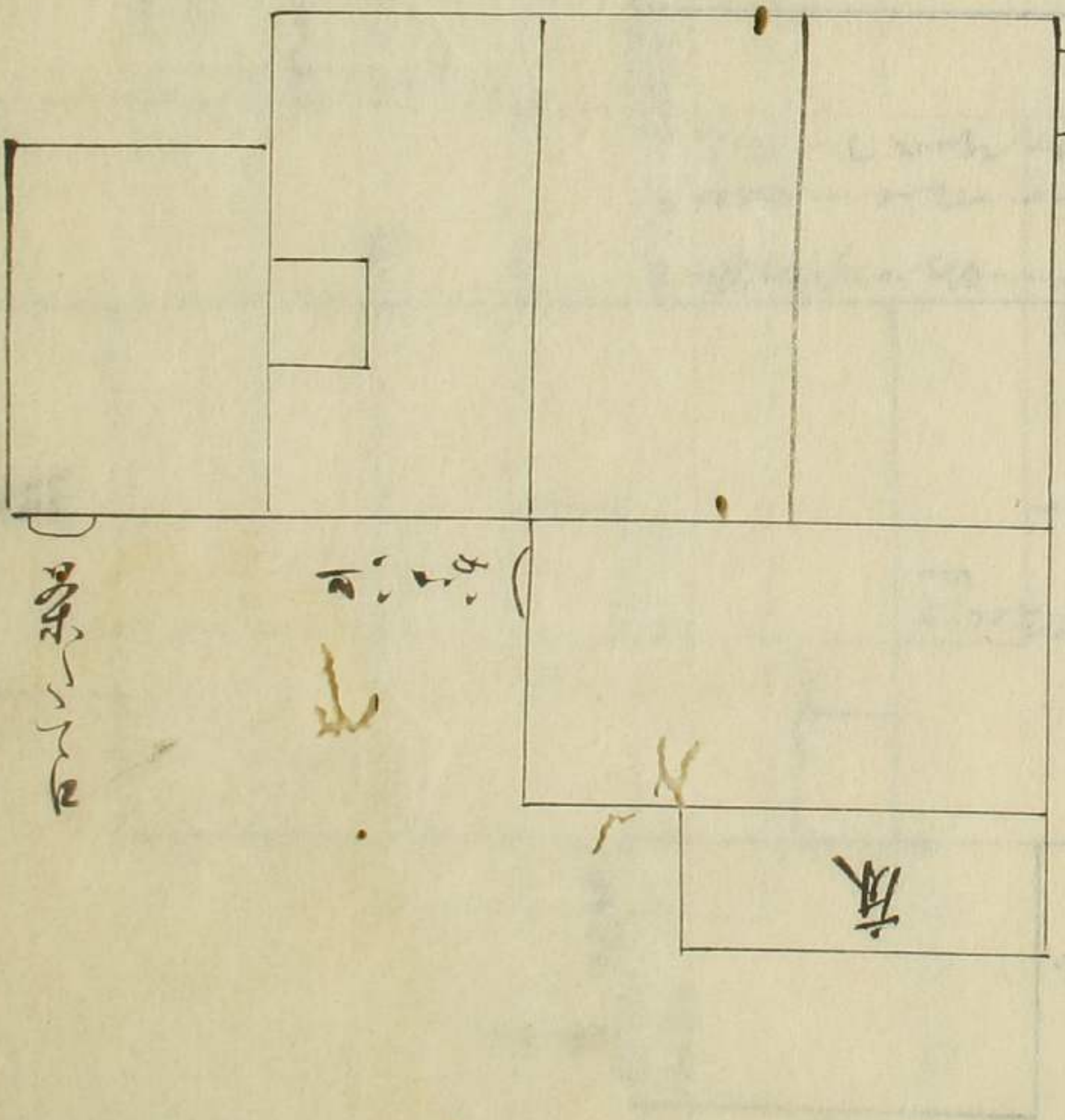
里を大目

水戸を人

室別は

時を

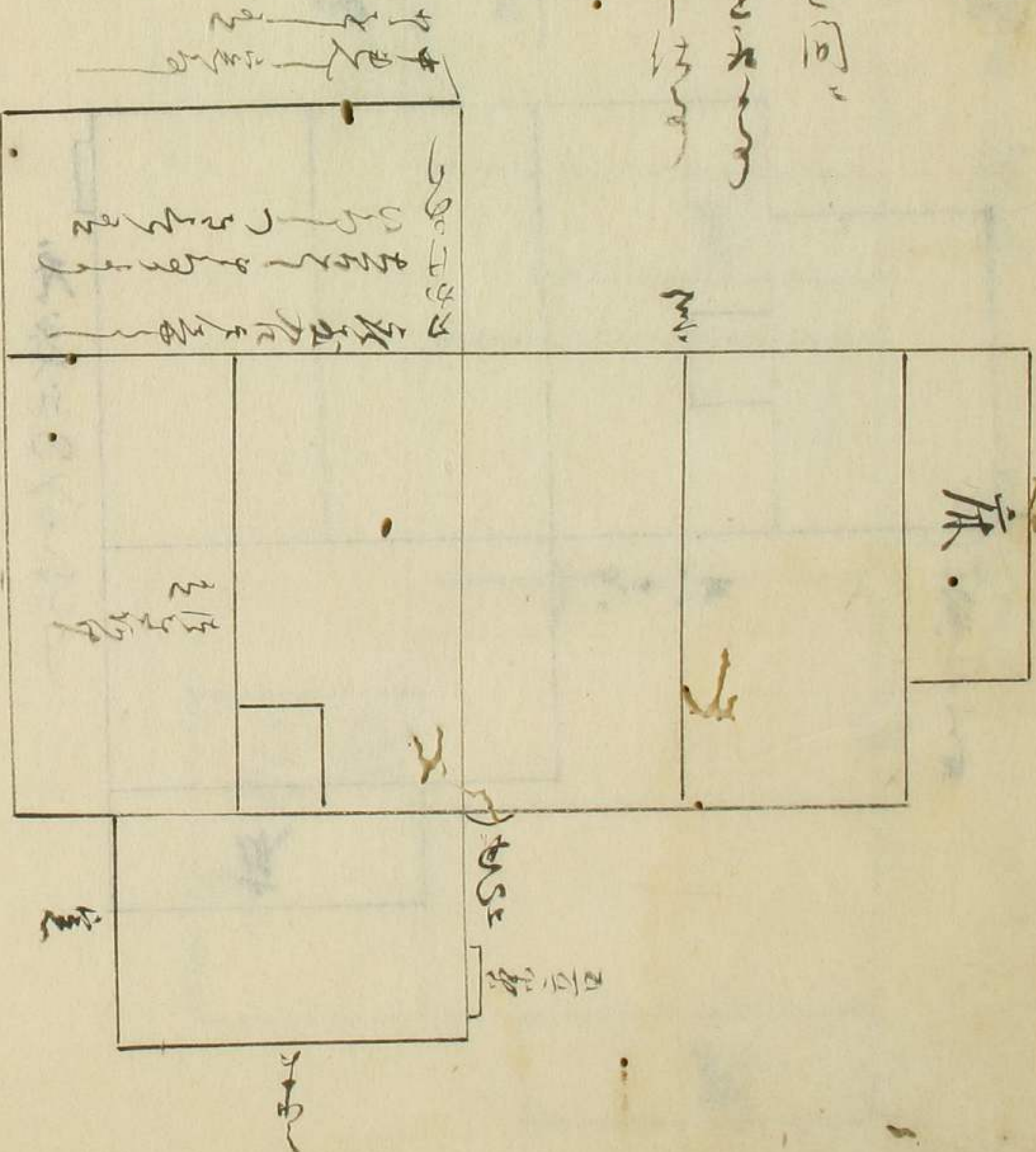
庭裏の入り



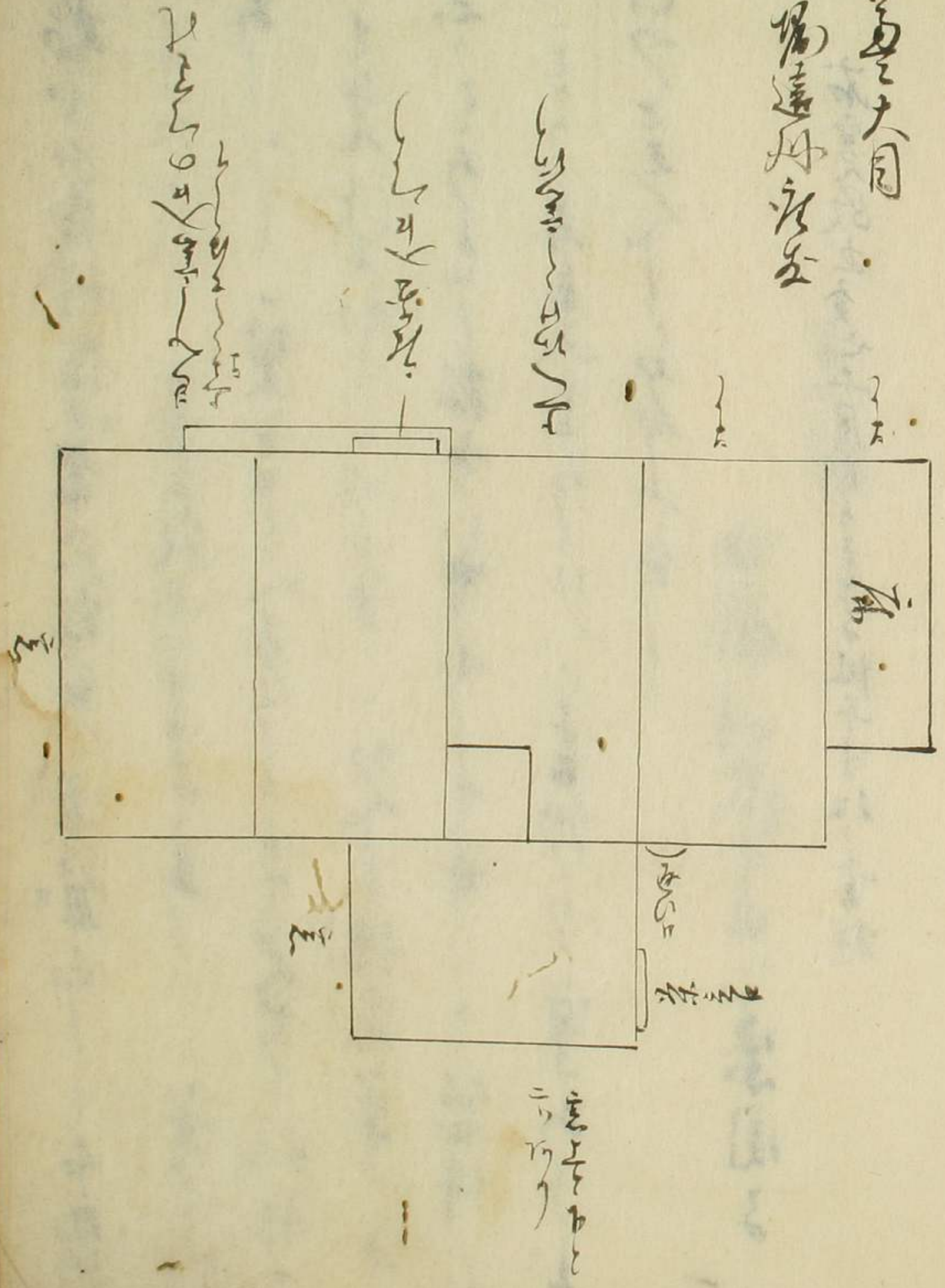
茶室

四角大目

青山左近屋敷世同
座敷のゆふと間とわき
いはれと人々には
り



四角大目
小場遠舟屋敷



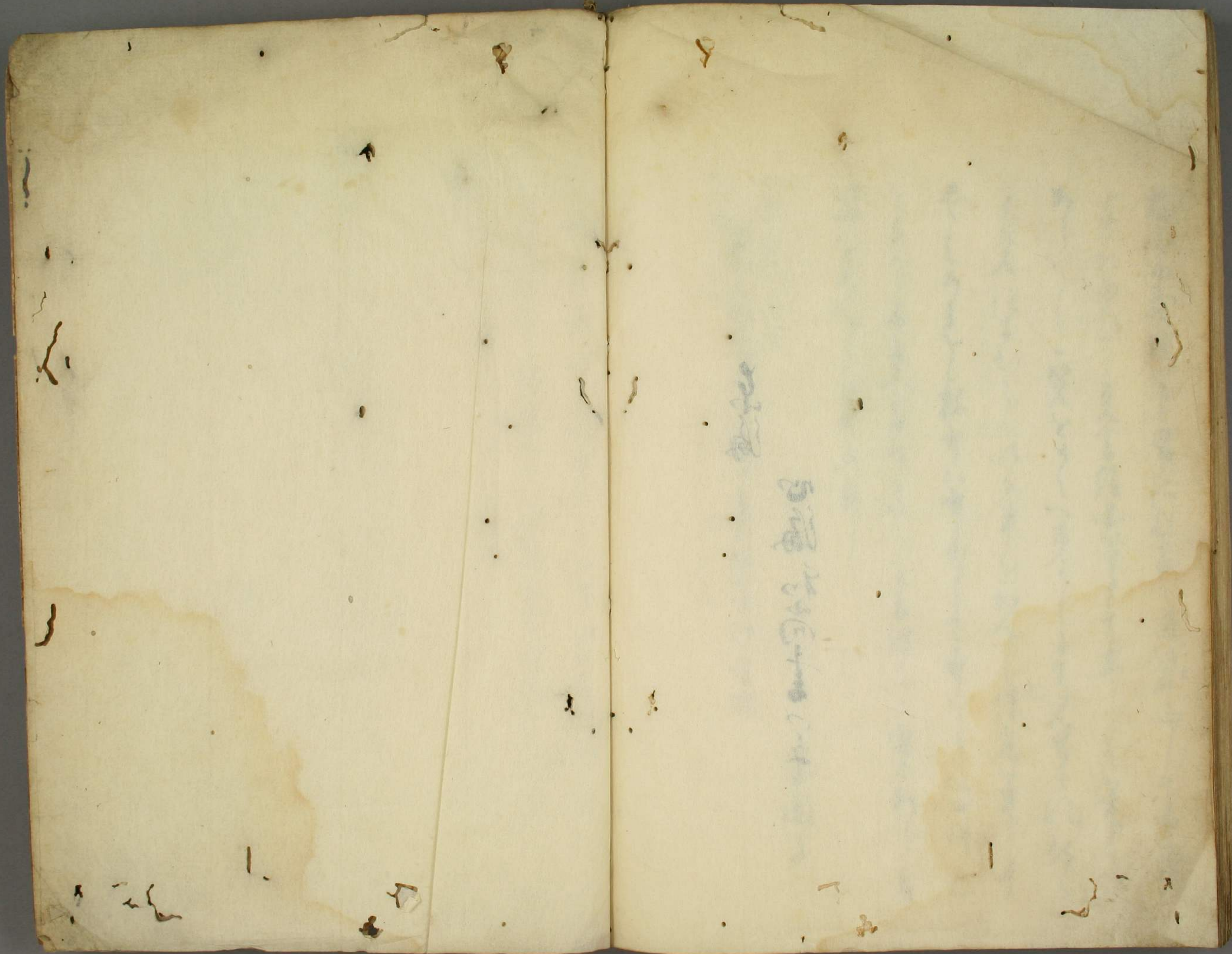
福島の義雅信士常仁松子と道平と一りや如
 と分れたゆひく是書経思等とてま〜筆に
 あ〜い〜一覽と〜と〜〜と〜と〜と〜と
 と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
 ともり〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
 けつと〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

宗圓子

右字改也 癸七二月十日 壬午寸 ねり書 櫃

東海

心海和尚書つて



Page

100

